資料２

令和6年度
高知市男女共同参画に関する市民の意識調査
報　告　書

令和7年7月

高知市市民協働部

人権同和・男女共同参画課

目 次

Ⅰ 調査概要 1
1. 調査の目的 1
2. 調査の方法 1
3. 回収状況 2
4. 注意事項 2

Ⅱ 回答者の属性 3
(1)年齢 3
(2)性別 3
(3)職業 4
(4)配偶関係 4
(4－1) 共働き 5
(5)同居している子どもの有無 5
(5－1) 一番小さい子どもの年代 6
(6)世帯構成 6

Ⅲ 調査結果 7
1. 男女共同参画に関する意識について 7
(1)男女の地位の平等感 7
(2)意思決定の場に女性の参画が少ない理由 32
(3)意思決定の場に女性が参画することについての考え 34
2. 家庭や職場における男女共同参画について 36
(1)1日の労働時間 36
(2)1日の家事関連時間 38
(3)理想とする家庭における男女の役割分担 41
(4)実際の家庭における役割分担 45
(5)職場における性別の違いによる不当な扱いの有無 56
(6)望ましい女性の働き方 58
(7)女性の就労継続・再就職のために必要だと思うこと 61
(8)男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと 64
3. ドメスティック・バイオレンス(DV)について 68
(1)配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験 68
(2)配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談状況 72
(3)配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先 73
(4)配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由 75
(5)配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なこと 77

4. 困難を抱える女性への支援について 79
(1)知っている性暴力等に関する相談窓口 79
(2)性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うこと 81
(3)性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援 83
5. ハラスメントについて 85
(1)ハラスメントを受けた経験 85
6. 防災分野における男女共同参画について 89
(1)防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取組 89
7. 男女共同参画に関する用語について 91
(1)男女共同参画に関する用語の認知度 91
8. 高知市の男女共同参画への取組について 99
(1)男女共同参画社会実現のために必要な取組 99
9. 男女共同参画に関する意見・感想について 106

Ⅳ その他・自由意見 113

Ⅴ 調査票 125

高知市男女共同参画に関する市民の意識調査

Ⅰ　調査概要

Ⅰ　調査概要

1. 調査の目的

高知市民の男女共同参画への意識、浸透度の現状把握を行い、次期プラン策定に向けての指標とすることを目的に、「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施した。

2. 調査の方法

・調査地域　　高知市内全域

・調査対象　　満18歳以上の市民 3,000 人
（女性 1,620 人、男性 1,380 人）

・抽出方法　　住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出

・抽 出 日　　令和6年 10 月 23 日

＜年代別性別抽出状況＞

年代	総数	女性	男性
10 代	64	32	32
20 代	308	151	157
30 代	330	169	161
40 代	471	241	230
50 代	520	270	250
60 代	440	234	206
70 代	466	264	202
80 代以上	401	259	142
合計	3,000	1,620	1,380

・調査方法　　郵送及び WEB 調査法

・調査期間　　令和6年 11 月 8 日～令和6年 11 月 28 日

3. 回収状況

・有効回収数　　872 人（女性 489 人、男性 366 人、性別その他無回答 17 人）

・有効回収率　　29.1%（女性 30.19%、男性 26.52%）
※年代不明、性別その他無回答を含めた回収率

＜年代別性別回収状況＞

年代	女性			男性		
	抽出数	回答数	回答率	抽出数	回答数	回答率
10 代	32	4	12.50%	32	5	15.63%
20 代	151	25	16.56%	157	22	14.01%
30 代	169	47	27.81%	161	33	20.50%
40 代	241	85	35.27%	230	51	22.17%
50 代	270	74	27.41%	250	62	24.80%
60 代	234	95	40.60%	206	81	39.32%
70 代	264	95	35.98%	202	68	33.66%
80 代以上	259	63	24.32%	142	44	30.99%
不明		1			-	
合計	1,620	489	30.19%	1,380	366	26.52%

4. 注意事項

○図表中の「n」（Number of samples の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。

○図表中の構成比（%）は、小数点第 2 位以下を四捨五入している。

○複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。
「MA%」（Multiple Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
「3LA%」（3 Limited Answer）＝回答選択肢のなかからあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合

○各設問の集計は、無回答を含めて集計している。

○グラフとして示したもののうち、回答数が 0 の場合は表示を省略している。

○本調査において比較対象としている「前回調査」の概要は以下のとおりである。

令和元年度　高知市男女共同参画に関する市民の意識調査

調 査 対 象	高知在住の満 20 歳から 79 歳までの男女 3,000 人 （女性 1,567 人、男性 1,433 人）
調 査 方 法	郵送調査法
調 査 期 間	令和元年 10 月 10 日～令和元年 11 月 11 日
有効回収数	1,023 人（女性 605 人、男性 409 人、性別無回答 9 人）
有効回収率	34.1%（女性 38.60%、男性 28.54%） ※年齢・性別不明を含めた回収率

高知市男女共同参画に関する市民の意識調査

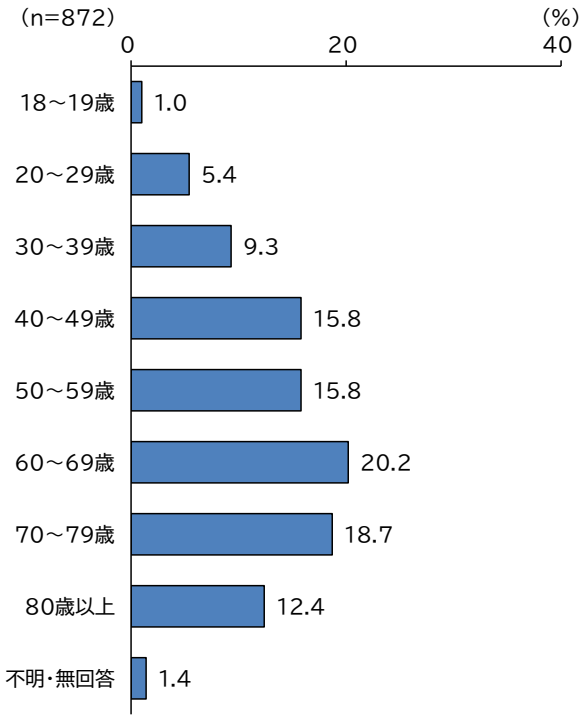
Ⅱ　回答者の属性

Ⅱ　回答者の属性

(1)年齢

【全体】
○　年齢について、「60～69歳」が20.2%で最も多く、次いで「70～79歳」が18.7%、「40～49歳」「50～59歳」が15.8%となっている。

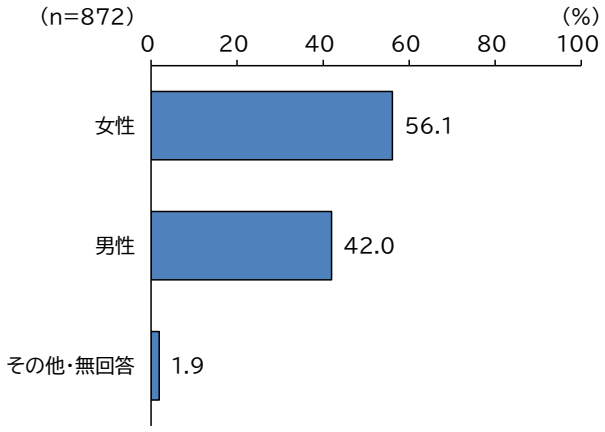
【年齢】



(2)性別

【全体】
○　性別について、「女性」が56.1%、「男性」が42.0%、「その他・無回答」が1.9%となっている。

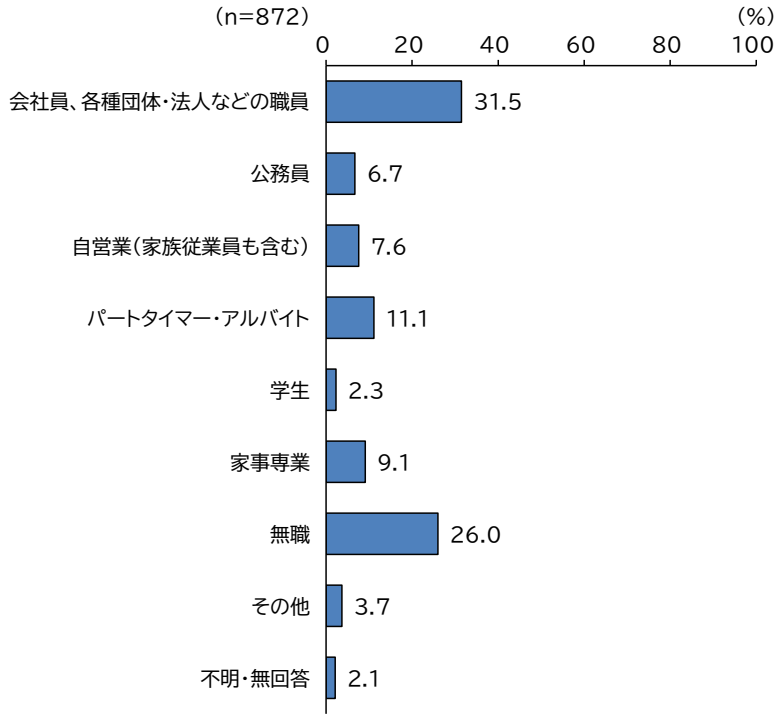
【性別】



(3)職業

【全体】
○　職業について、「会社員、各種団体・法人などの職員」が31.5%で最も多く、次いで「無職」が26.0%、「パートタイマー・アルバイト」が11.1%となっている。

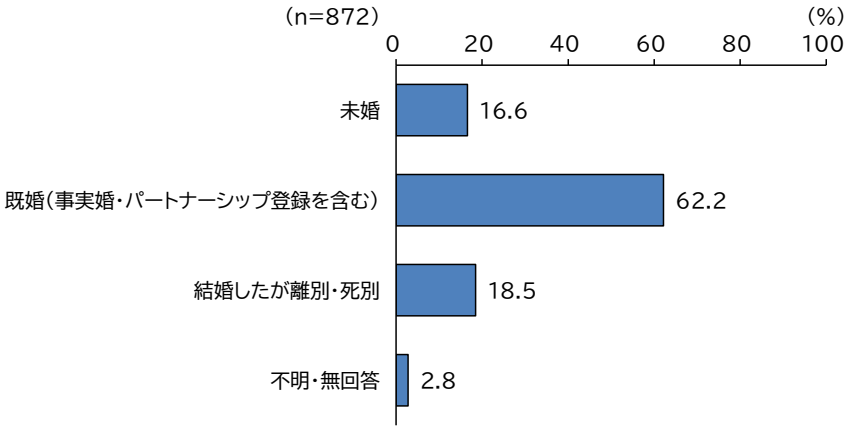
【職業】



(4)配偶関係

【全体】
○　配偶関係について、「既婚(事実婚・パートナーシップ登録を含む)」が62.2%で最も多く、次いで「結婚したが離別・死別」が18.5%、「未婚」が16.6%となっている。

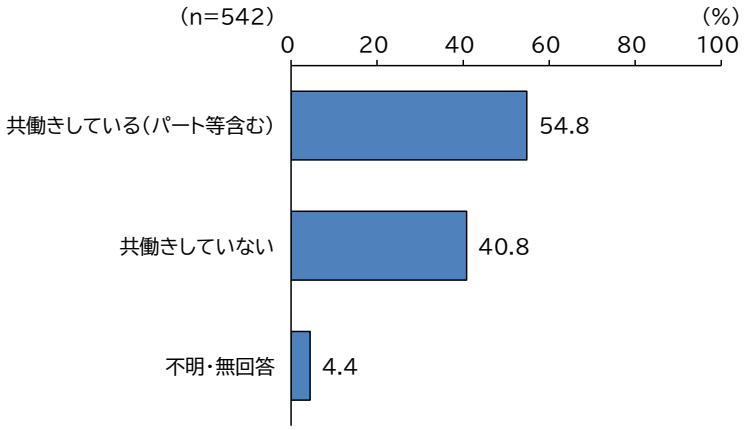
【配偶関係】



（4－1）共働き

【全体】
○　共働きについて、「共働きしている（パート等含む）」が54.8%、「共働きしていない」が40.8%となっている。

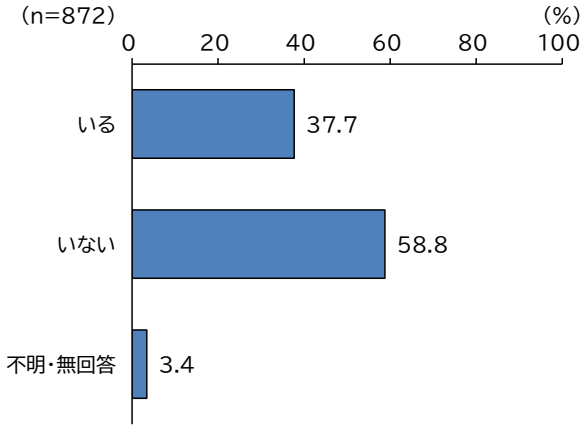
【共働き】



(5)同居している子どもの有無

【全体】
○　同居している子どもの有無について、「いる」が37.7%、「いない」が58.8%となっている。

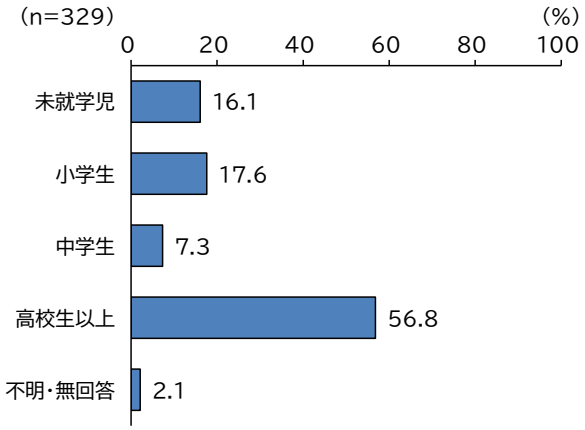
【同居している子どもの有無】



（5－1）一番小さい子どもの年代

【全体】
○　一番小さい子どもの年代について、「高校生以上」が56.8%で最も多く、次いで「小学生」が17.6%、「未就学児」が16.1%となっている。

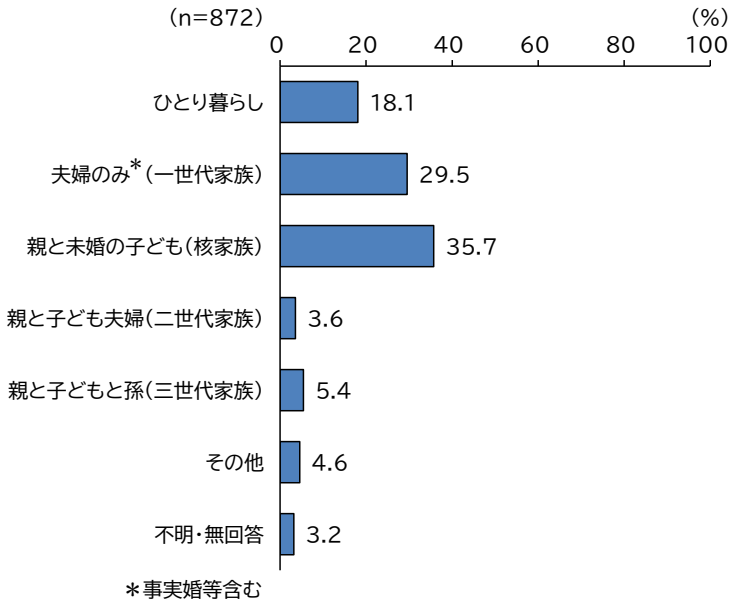
【一番小さい子どもの年代】



(6)世帯構成

【全体】
○　世帯構成について、「親と未婚の子ども（核家族）」が35.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ（一世代家族）」が29.5%、「ひとり暮らし」が18.1%となっている。

【世帯構成】



高知市男女共同参画に関する市民の意識調査

Ⅲ　調査結果

Ⅲ 調査結果

1. 男女共同参画に関する意識について

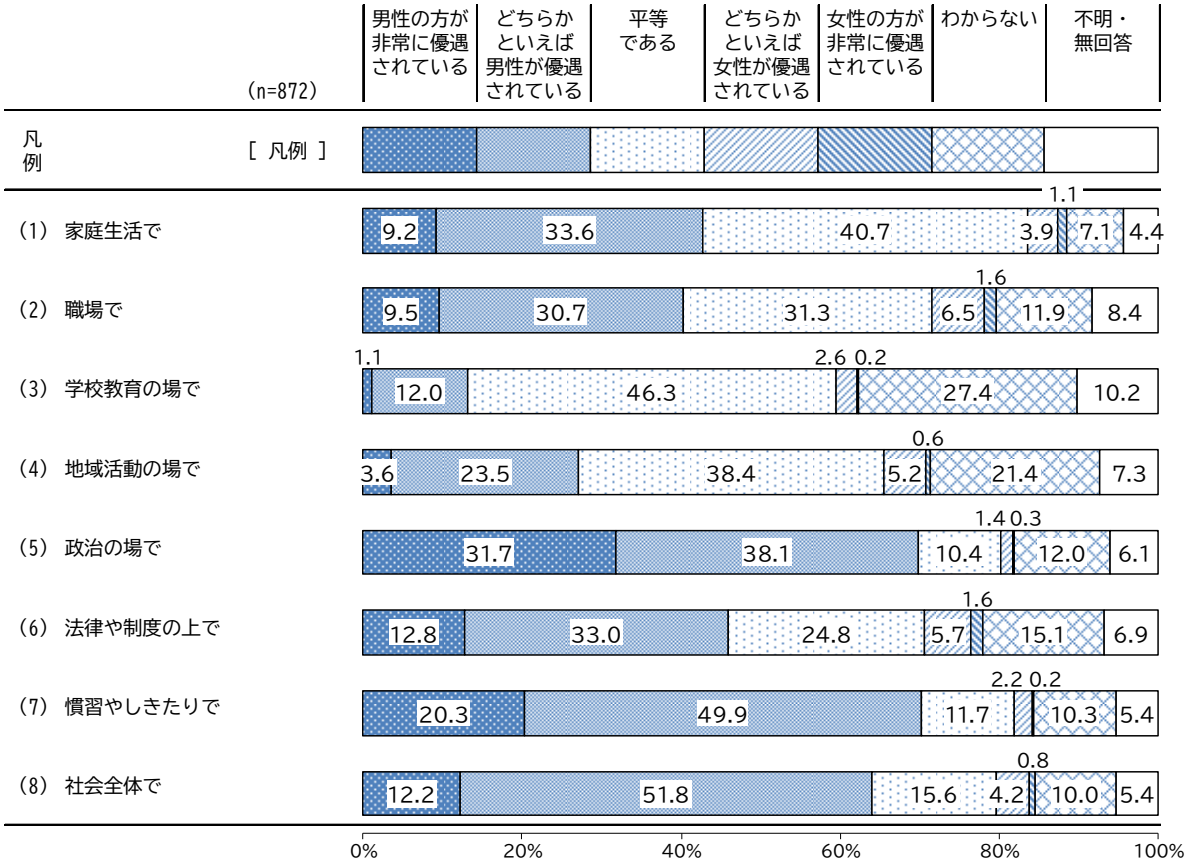
(1)男女の地位の平等感

問2(1) あなたは、次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(8)のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(項目ごとに○は1つずつ)

【全体】

○ 男女の地位の平等感について、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”が最も多いものは「慣習やしきたりで」(70.2%)で、次いで「政治の場で」(69.8%)、「社会全体で」(64.0%)となっている。「平等である」が最も多いのは「学校教育の場で」(46.3%)となっている。

【男女の地位の平等感】



① 家庭生活で

【全体】

○ 家庭生活でについて、「平等である」が40.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が33.6%、「男性の方が非常に優遇されている」が9.2%となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は42.8%となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は5.0%となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性は“男性優遇”、男性は「平等である」が最も多くなっている。

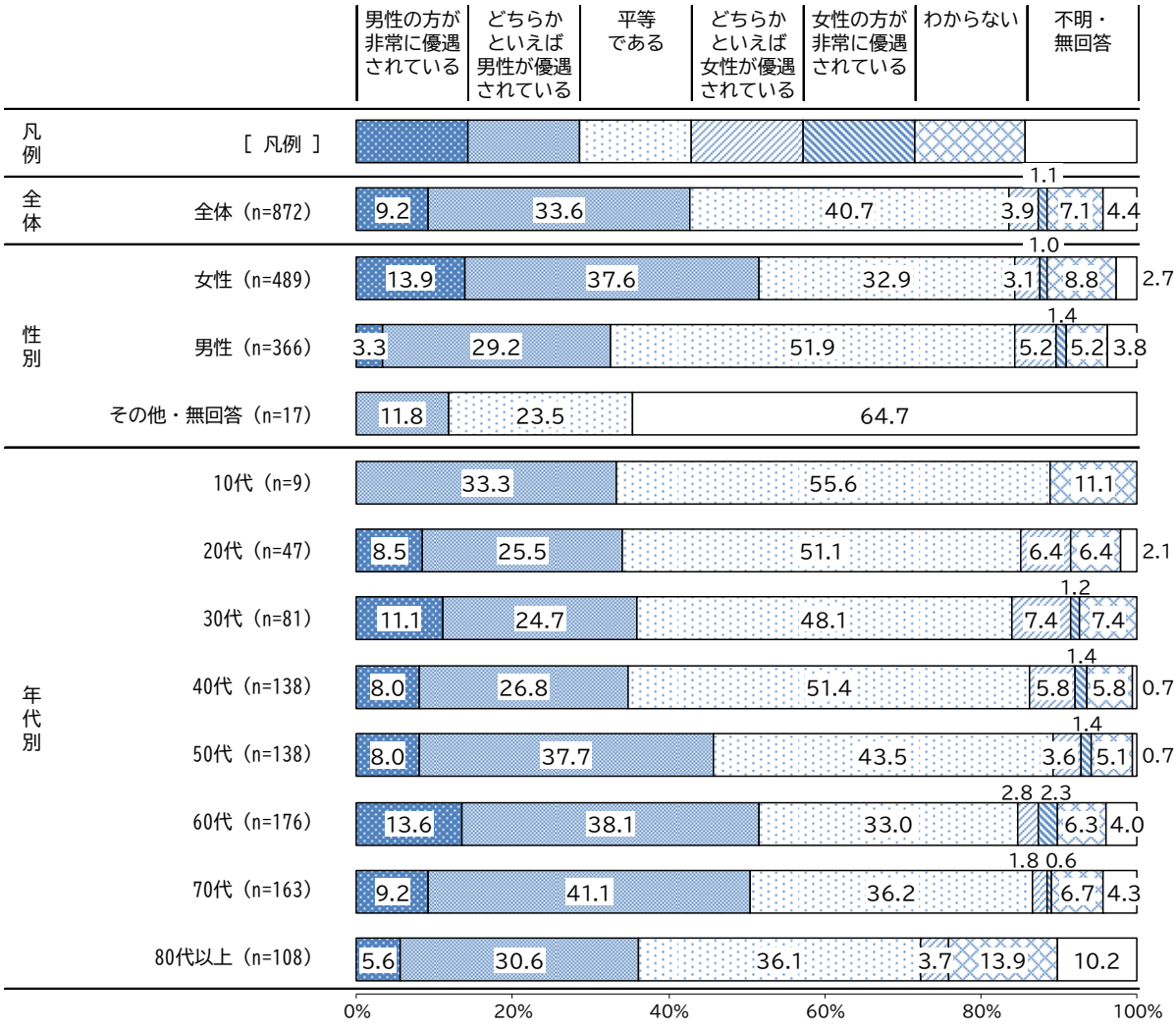
○ 女性は“男性優遇”が男性より19.0ポイント多くなっている。男性は「平等である」が女性より19.0ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10～40代は「平等である」、50代以上は“男性優遇”が最も多くなっている。

○ 40代は「平等である」が全体より10.7ポイント多くなっている。

【性別、年代別 男女の地位の平等感 － 家庭生活で】

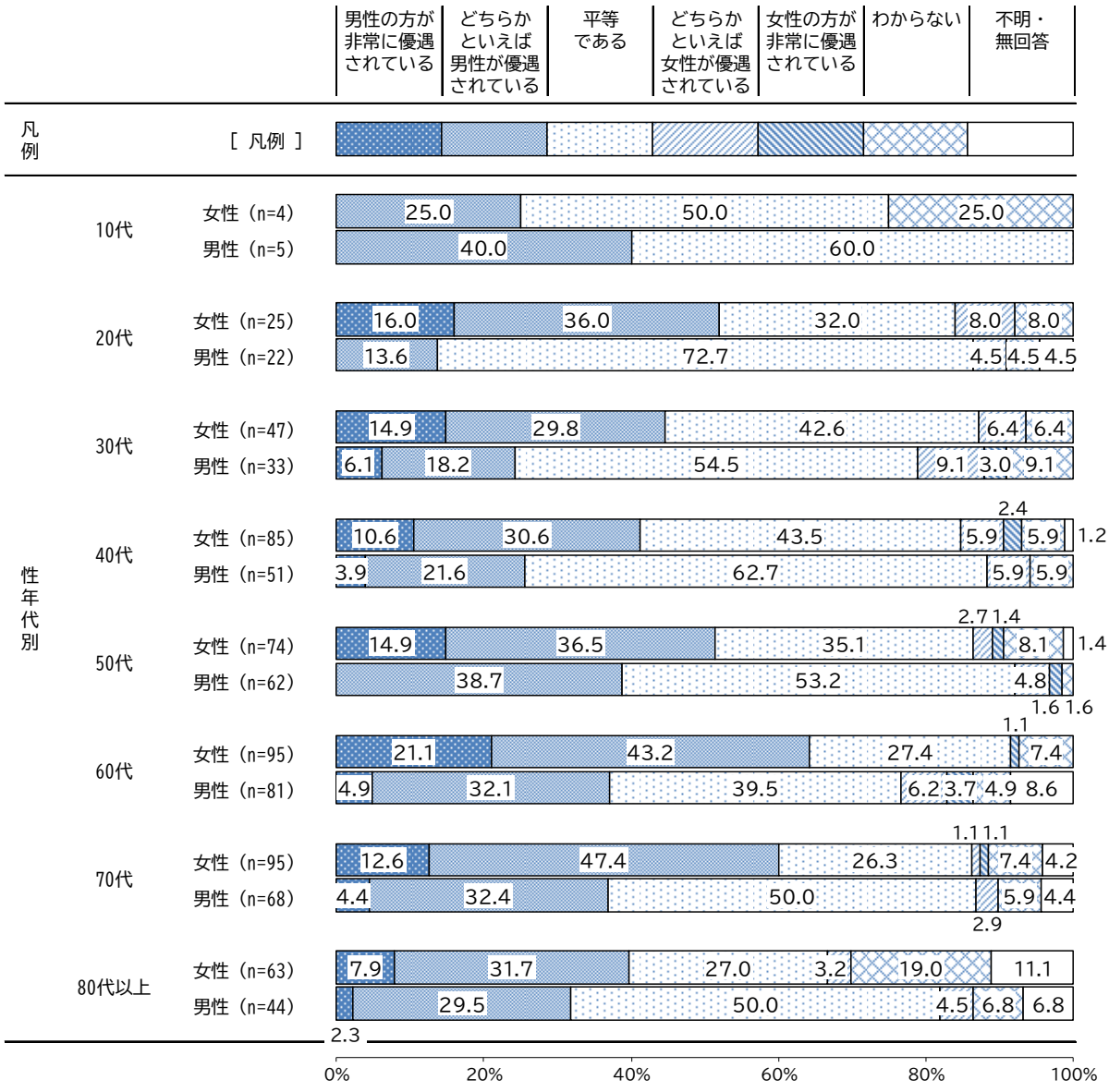


【性年代別】

○　性年代別でみると、10・40代の女性、全年代の男性は「平等である」、20・30代、50代以上の女性は“男性優遇”が最も多くなっている。

○　60・70代の女性は“男性優遇”が全体より約20ポイント多くなっている。80代以上女性は「わからない」が全体より11.9ポイント多くなっている。20・40代の男性は「平等である」が全体より約20～30ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　家庭生活で】



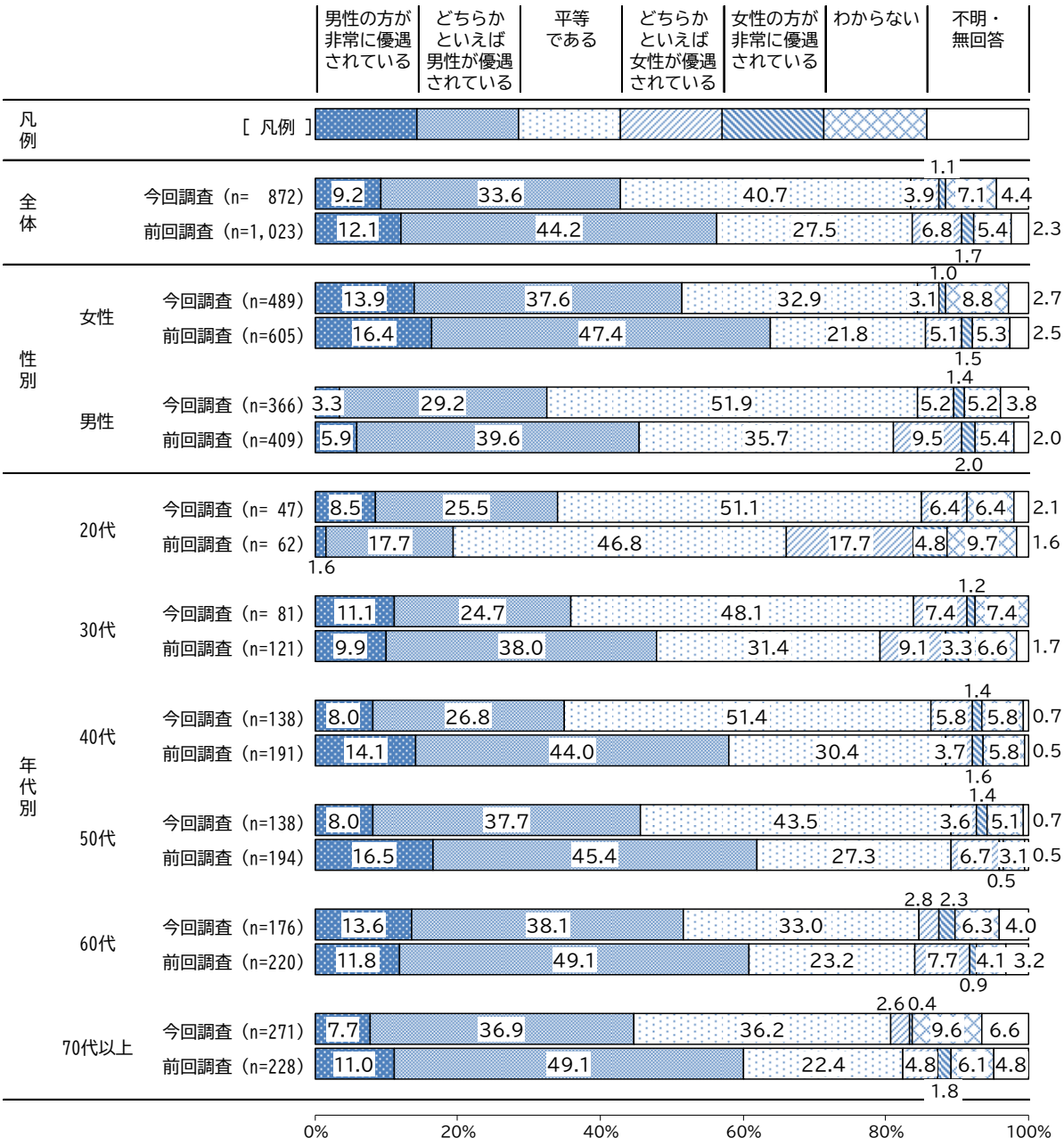
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも“男性優遇”が13.5ポイント少なく、「平等である」が13.2ポイント多くなっている。

○　性別でみると、“男性優遇”が女性で12.3ポイント、男性で13.0ポイント前回調査よりも少なく、「平等である」が女性で11.1ポイント、男性で16.2ポイント前回調査よりも多くなっている。

○　年代別でみると、20代は“男性優遇”が10ポイント以上前回調査よりも多く、“女性優遇”が10ポイント以上前回調査よりも少なくなっている。30～50代、70代以上はいずれも“男性優遇”が10ポイント以上前回調査よりも少なく、「平等である」が10ポイント以上前回調査よりも多くなっている。

【男女の地位の平等感　－　家庭生活で（前回調査との比較）】



※　今回調査の全体、性別集計には 10 代（9 件）が含まれる。

② 職場で

【全体】

○ 職場でについて、「平等である」が31.3％で最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が30.7％、「わからない」が11.9％となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は40.2％となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は8.1％となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性は“男性優遇”、男性は「平等である」が最も多くなっている。

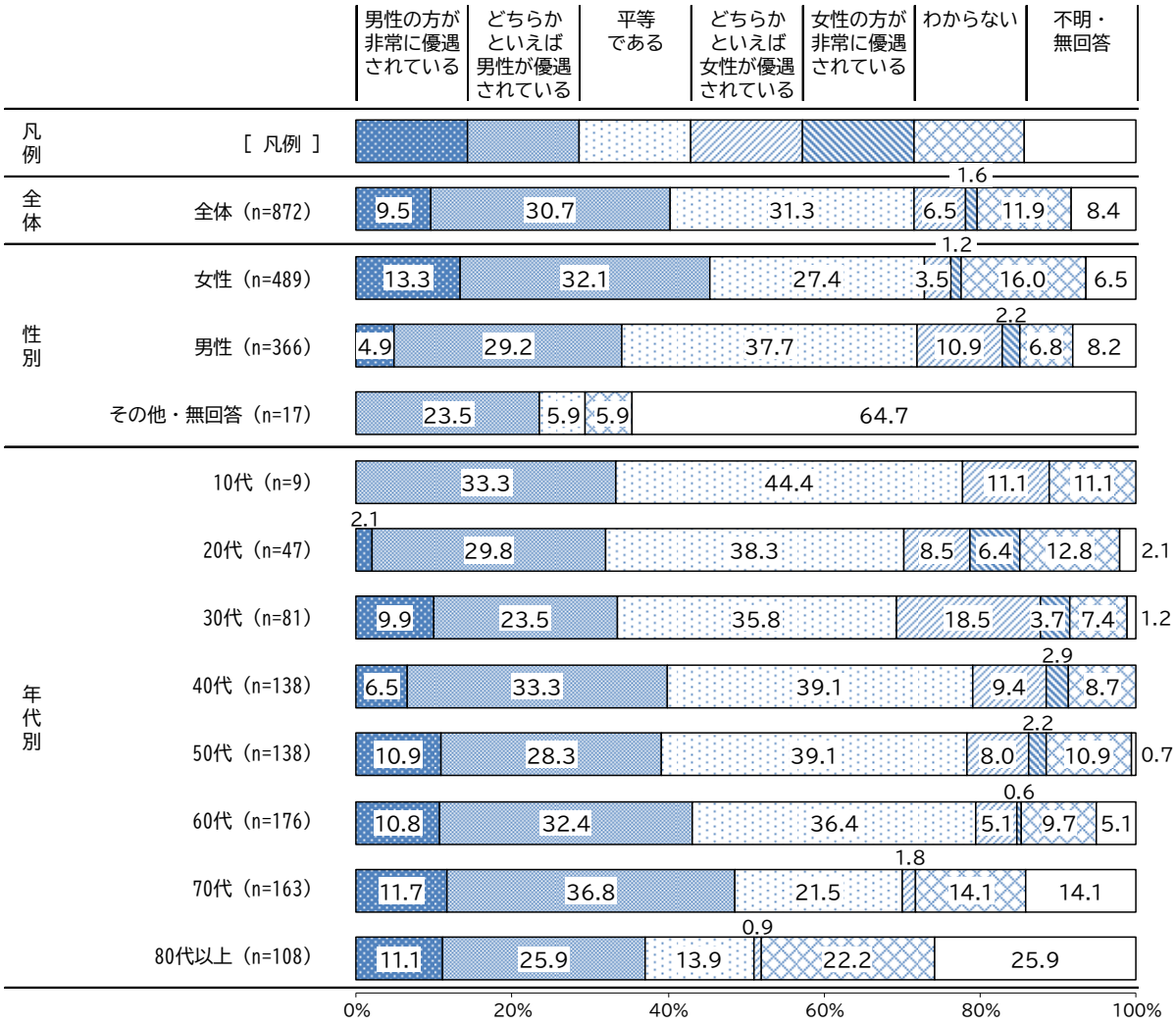
○ 女性は“男性優遇”が男性より11.3ポイント多くなっている。男性は「平等である」と“女性優遇”が女性より約10ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10～30代は「平等である」、40代以上は“男性優遇”が最も多くなっている。

○ 30代は“女性優遇”が全体より14.1ポイント多くなっている。80代以上は「わからない」が全体より10.3ポイント多くなっている。

【性別、年代別 男女の地位の平等感 － 職場で】

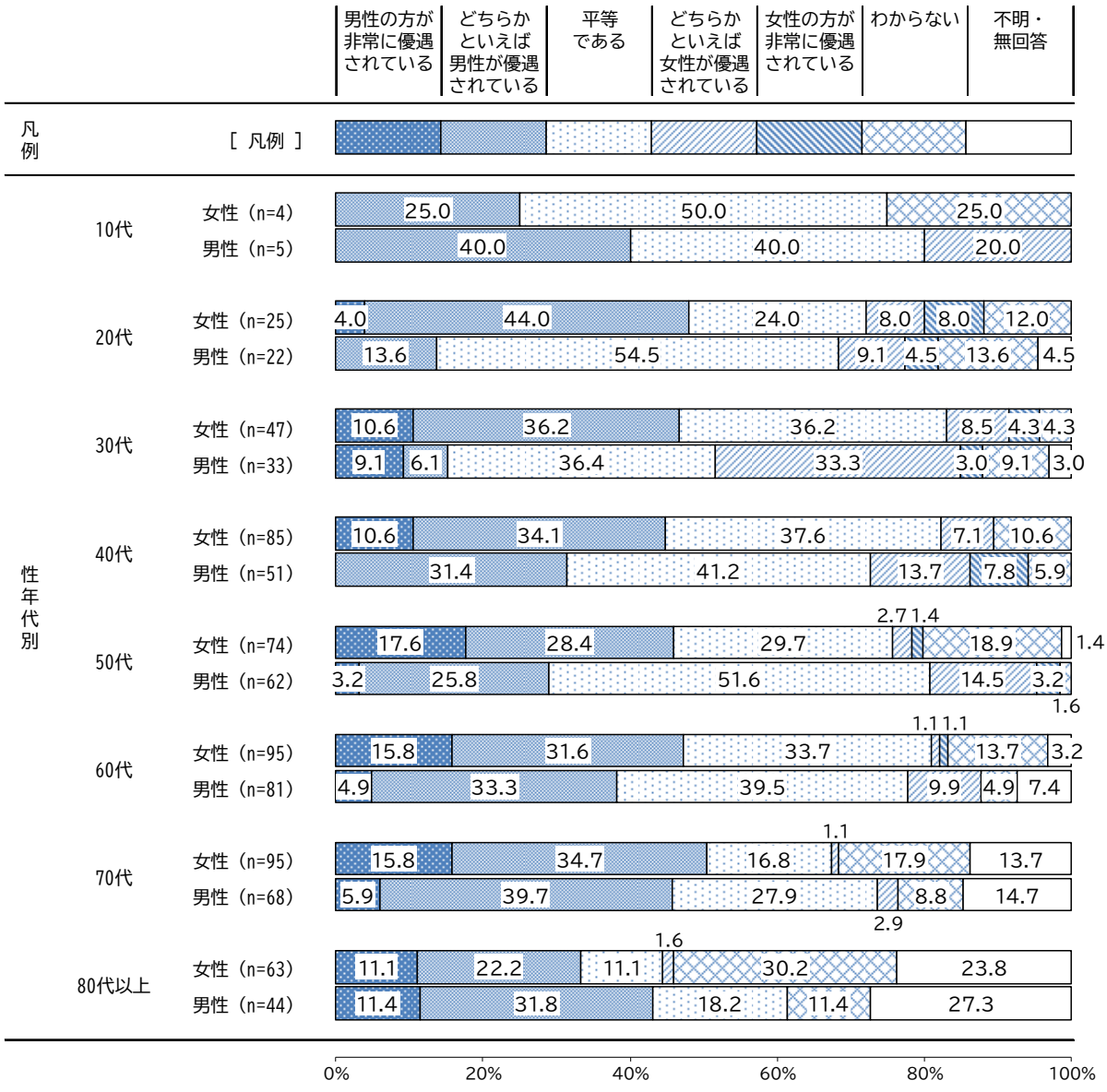


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性、20～60代の男性は「平等である」、10代男性は“男性優遇”と「平等である」、20代以上の女性、70代以上の男性は“男性優遇”が最も多くなっている。

○　70代女性は“男性優遇”が全体より10.3ポイント多くなっている。80代以上女性は「わからない」が全体より18.3ポイント多くなっている。20・50代の男性は「平等である」が全体より約20ポイント多くなっている。30・40代の男性は“女性優遇”が全体より約10～30ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　職場で】



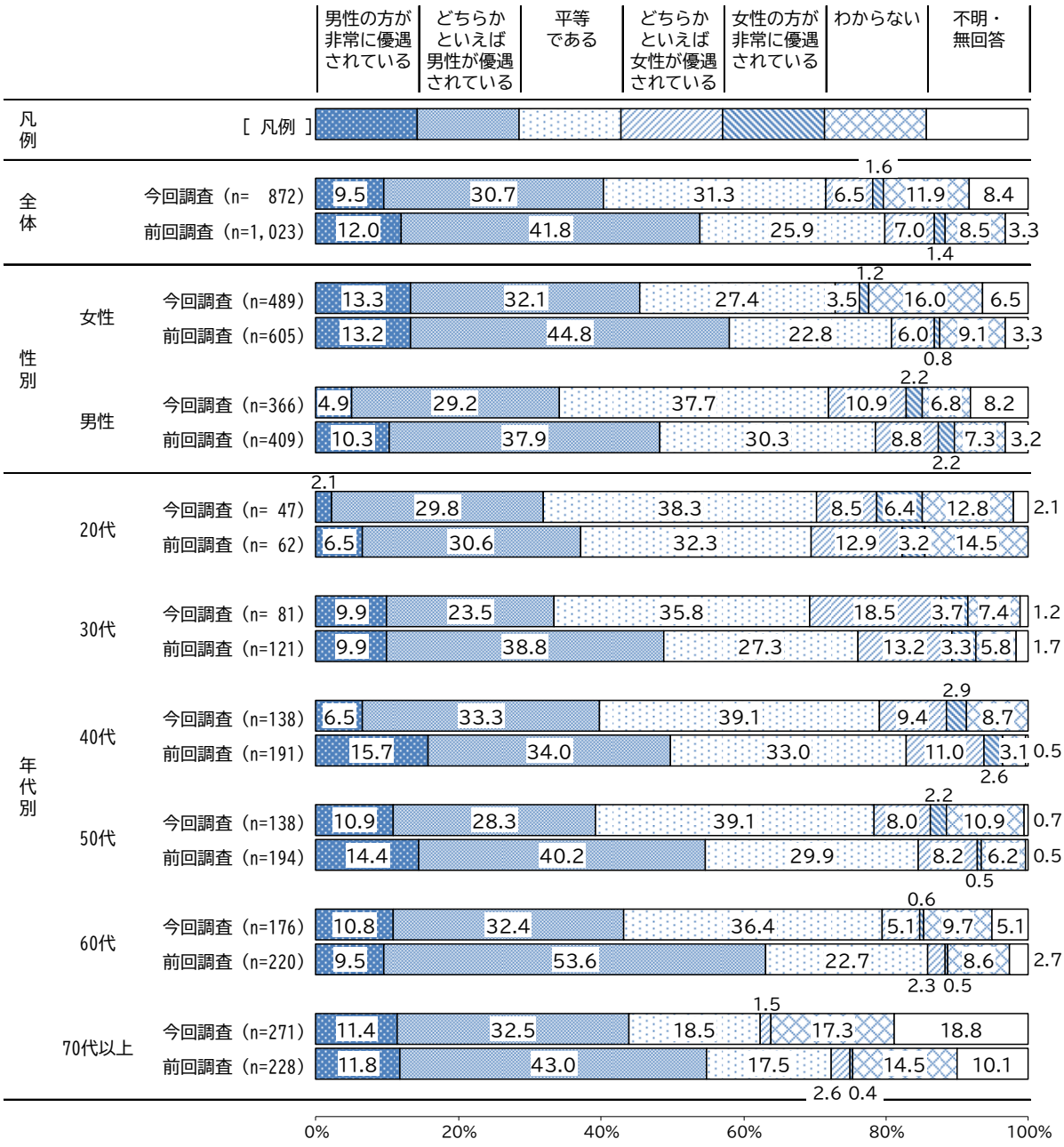
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも“男性優遇”が13.6ポイント少なく、「平等である」が5.4ポイント多くなっている。

○　性別でみると、“男性優遇”が女性で12.6ポイント、男性で14.1ポイント前回調査よりも少なくなっている。女性は「わからない」が6.9ポイント前回調査よりも多くなっている。男性は「平等である」が7.4ポイント前回調査よりも多くなっている。

○　年代別でみると、30代、50代以上は“男性優遇”が10ポイント以上前回調査よりも少なくなっている。60代は「平等である」が13.7ポイント前回調査よりも多くなっている。

【男女の地位の平等感　－　職場で(前回調査との比較)】



※ 今回調査の全体、性別集計には 10 代(9 件)が含まれる。

③ 学校教育の場で

【全体】

○　学校教育の場でについて、「平等である」が46.3％で最も多く、次いで「わからない」が27.4％、「どちらかといえば男性が優遇されている」が12.0％となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は13.1％となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は2.8％となっている。

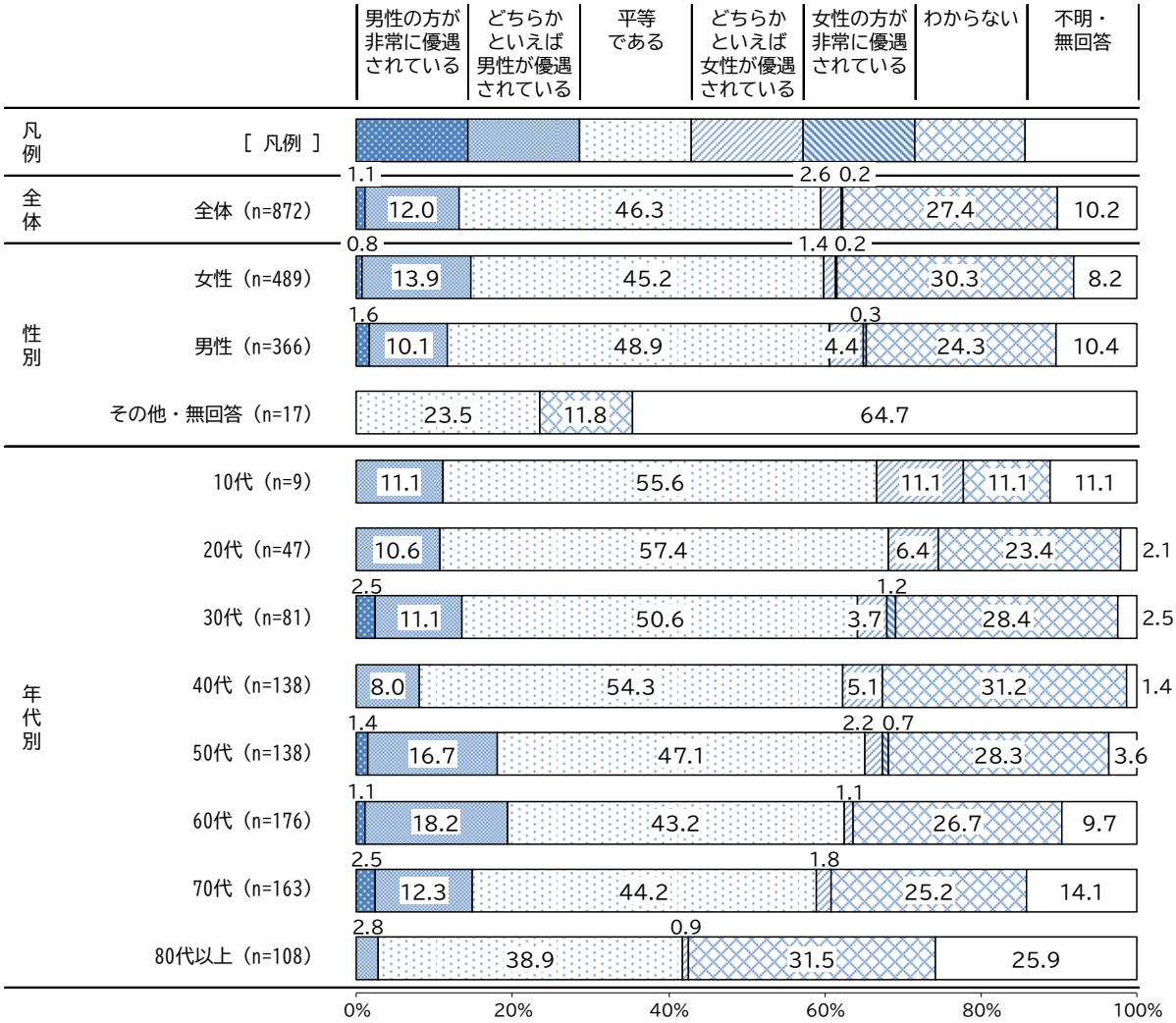
【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「平等である」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、いずれも「平等である」が最も多くなっている。

【性別、年代別　男女の地位の平等感　－　学校教育の場で】

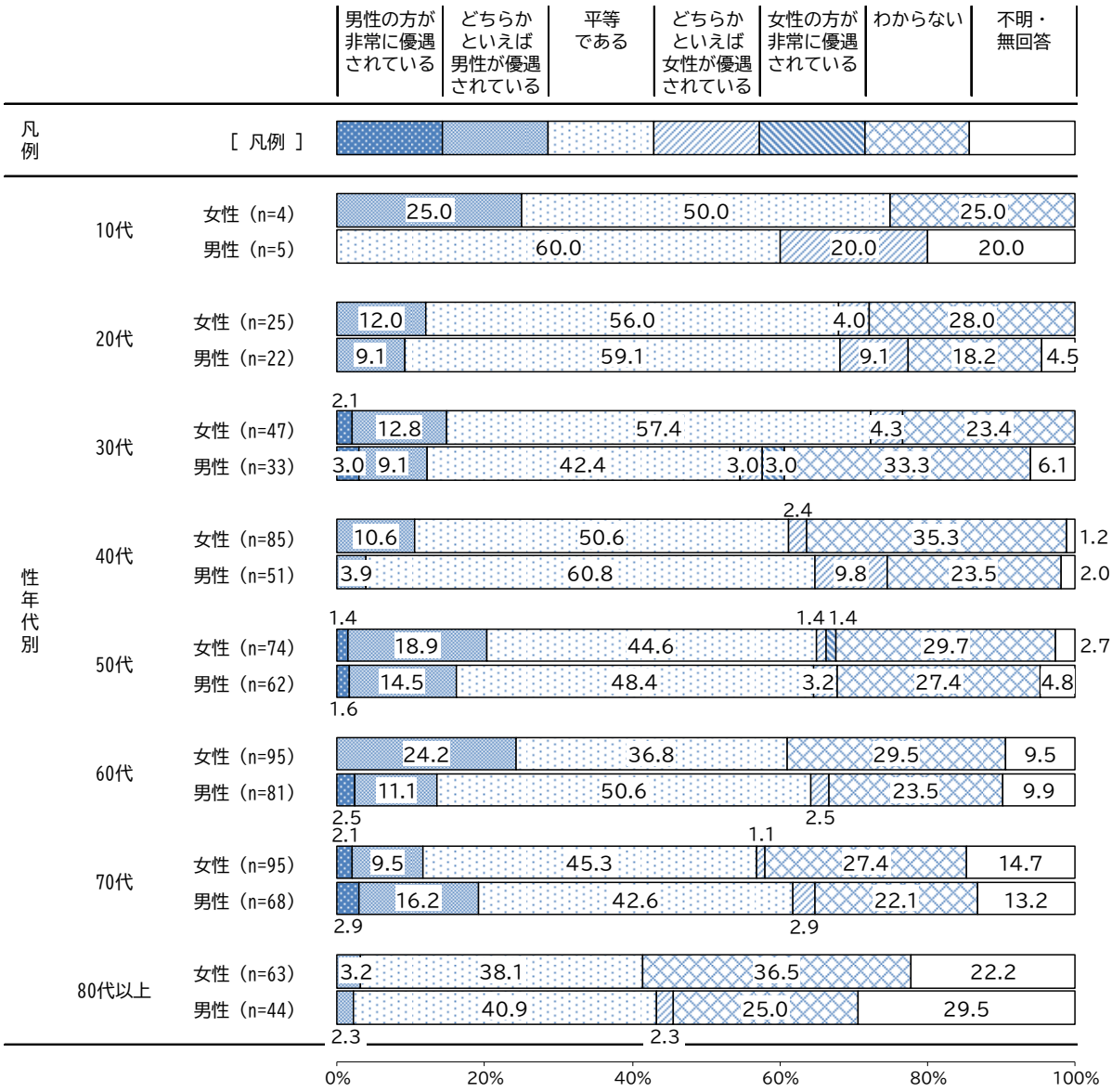


【性年代別】

○　性年代別でみると、いずれも「平等である」が最も多くなっている。

○　60代女性は“男性優遇”が全体より11.1ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　学校教育の場で】



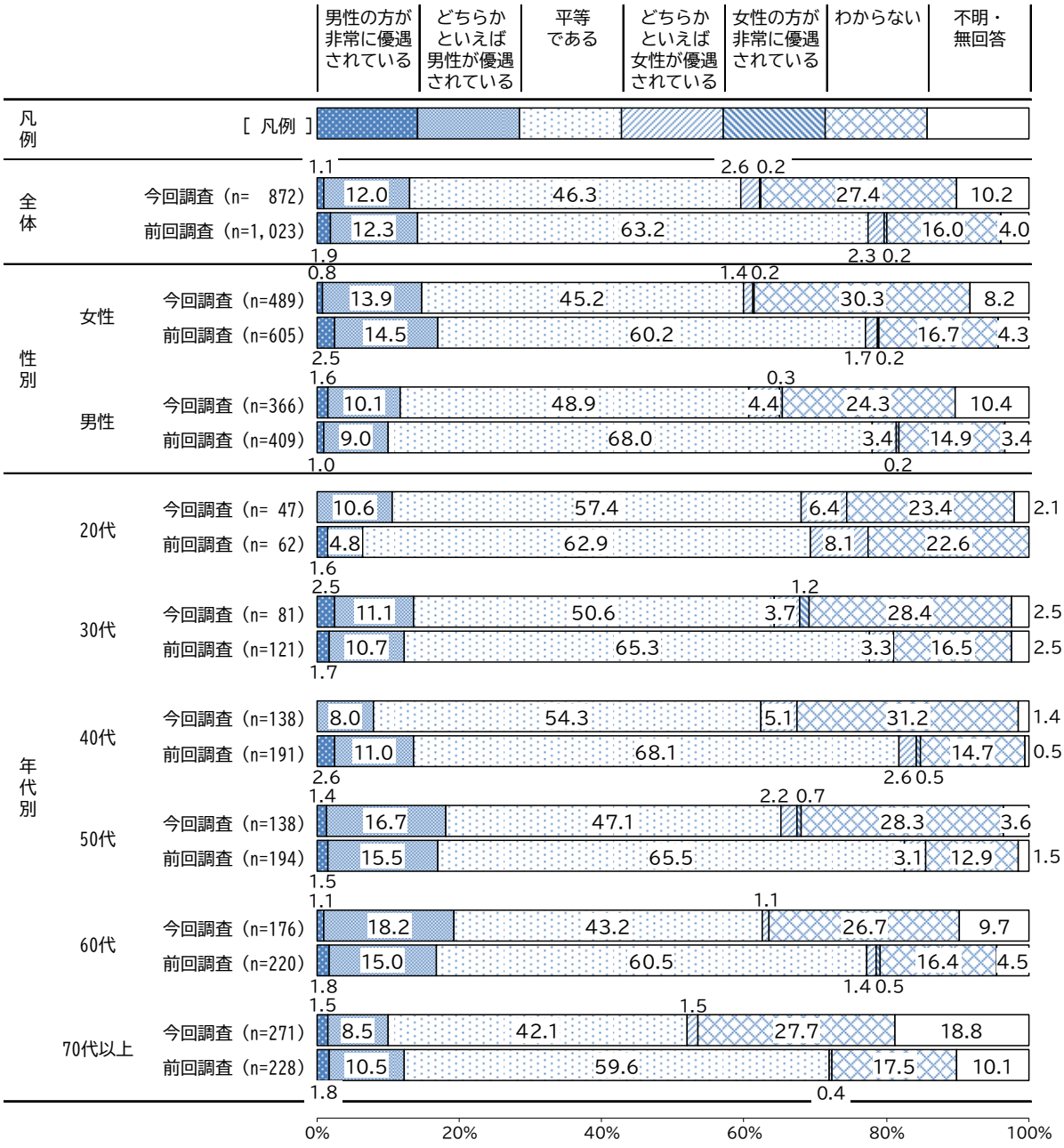
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも「平等である」が16.9ポイント少なく、「わからない」が11.4ポイント多くなっている。

○　性別でみると、「平等である」は女性で15.0ポイント、男性で19.1ポイント前回調査よりも少なく、「わからない」が女性で13.6ポイント、男性で9.4ポイント前回調査よりも多くなっている。

○　年代別でみると、30代以上はいずれも「平等である」が10ポイント以上前回調査よりも少なく、「わからない」が10ポイント以上前回調査よりも多くなっている。

【男女の地位の平等感　－　学校教育の場で（前回調査との比較）】



※ 今回調査の全体、性別集計には 10 代(9 件)が含まれる。

④ 地域活動の場で

【全体】

○　地域活動の場でについて、「平等である」が38.4％で最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が23.5％、「わからない」が21.4％となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は27.1％となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は5.8％となっている。

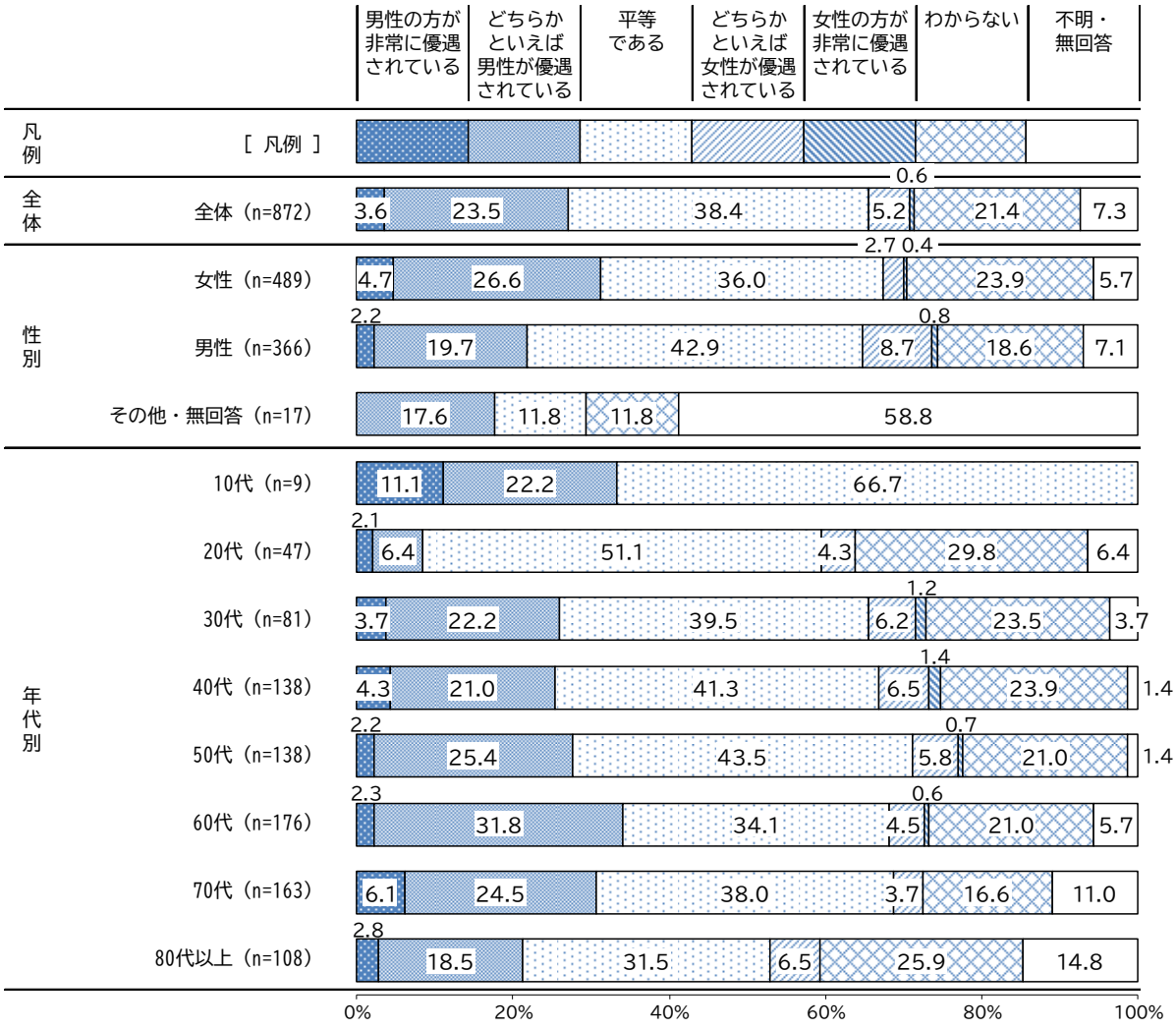
【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「平等である」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10～50代、70代以上は「平等である」、60代は“男性優遇”と「平等である」が最も多くなっている。

【性別、年代別　男女の地位の平等感　－　地域活動の場で】

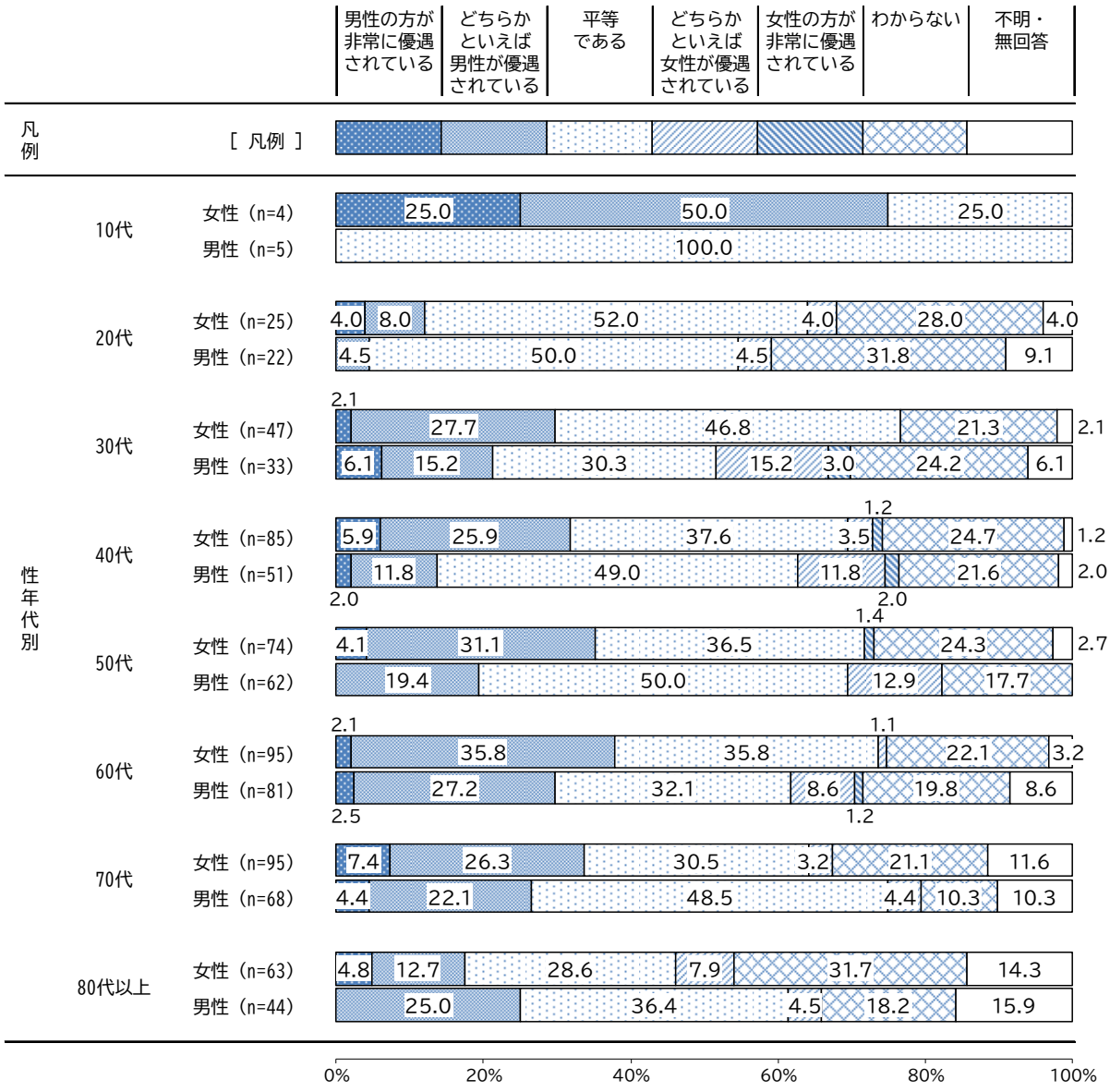


【性年代別】

○　性年代別でみると、10・60・70代の女性は“男性優遇”、20～50代の女性、全年代の男性は「平等である」、80代以上女性は「わからない」が最も多くなっている。

○　60代女性は“男性優遇”が全体より10.8ポイント多くなっている。80代以上女性は「わからない」が全体より10.3ポイント多くなっている。70代男性は「平等である」が全体より10.1ポイント多くなっている。30代男性は“女性優遇”が全体より12.4ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　地域活動の場で】



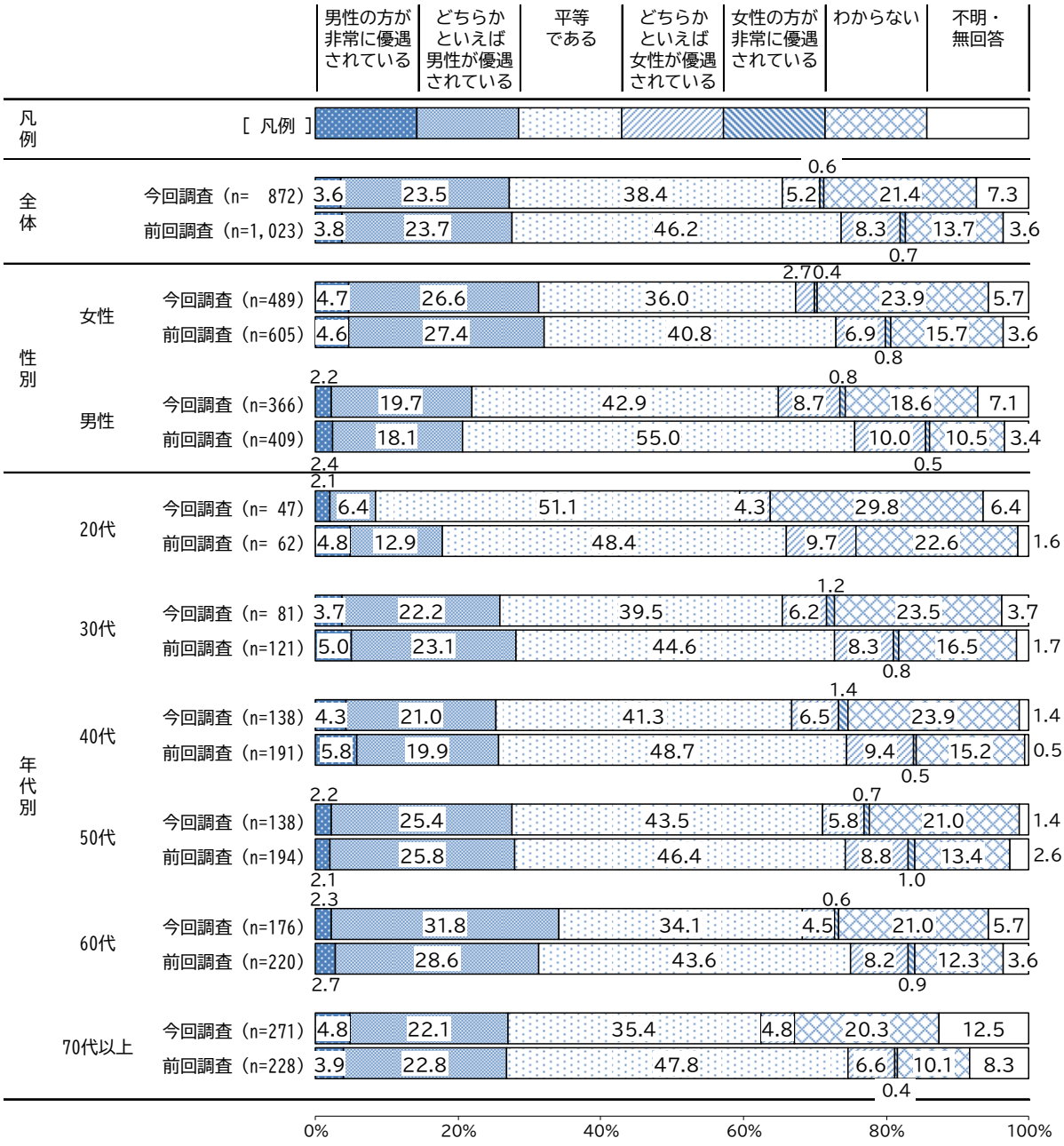
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも「平等である」が7.8ポイント少なく、「わからない」が7.7ポイント多くなっている。

○　性別でみると、「わからない」が女性で8.2ポイント、男性で8.1ポイント前回調査よりも多くなっている。男性は「平等である」が12.1ポイント前回調査よりも少なくなっている。

○　年代別でみると、70代以上は「平等である」が12.4ポイント前回調査よりも少なくなり、「わからない」が10.2ポイント前回調査よりも多くなっている。

【男女の地位の平等感　－　地域活動の場で（前回調査との比較）】



※ 今回調査の全体、性別集計には10代(9件)が含まれる。

⑤ 政治の場で

【全体】

○ 政治の場でについて、「どちらかといえば男性が優遇されている」が38.1%で最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が31.7%、「わからない」が12.0%となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は69.8%となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は1.7%となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性、男性ともに“男性優遇”が最も多くなっている。

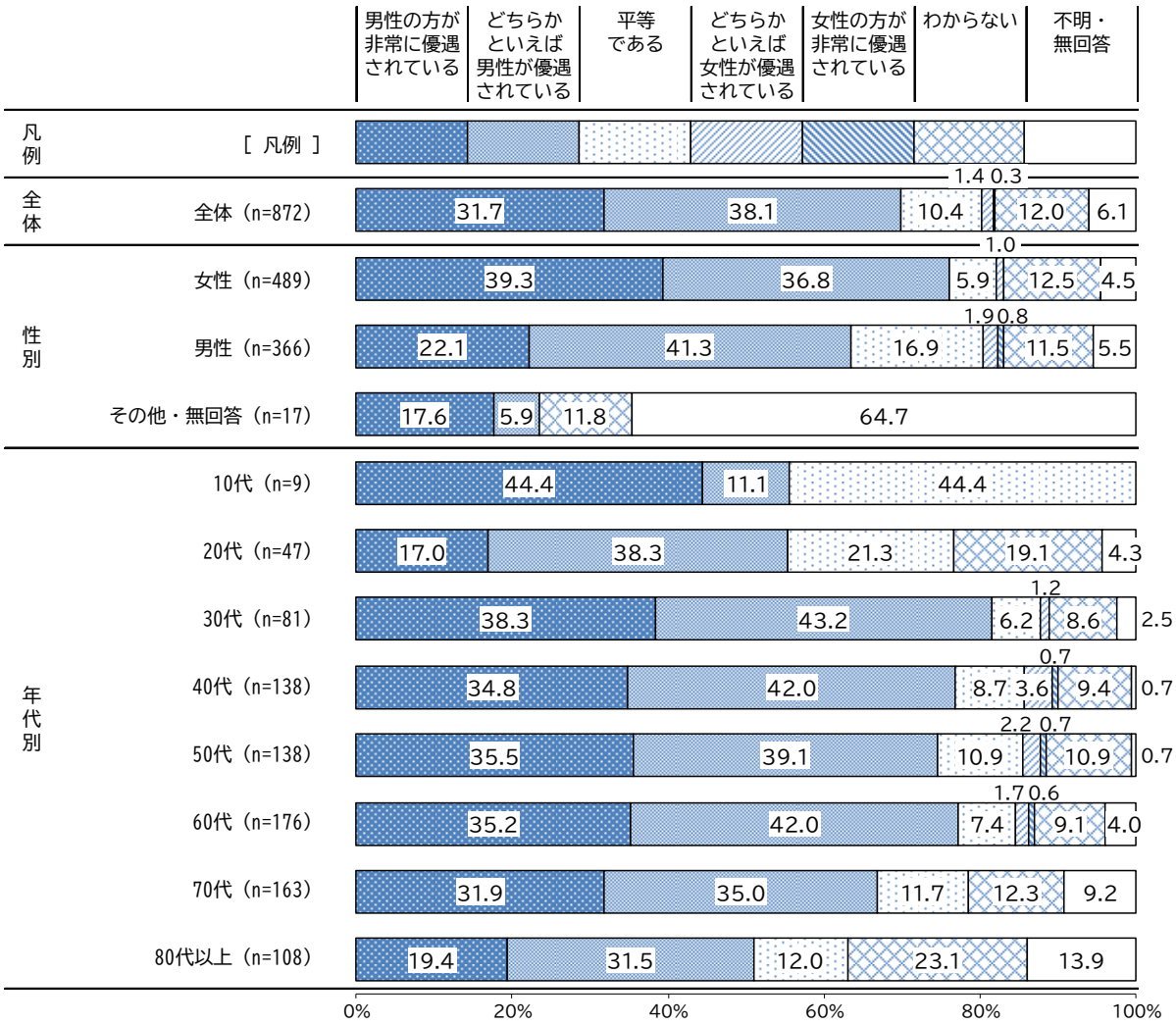
○ 女性は“男性優遇”が男性より12.7ポイント多くなっている。男性は「平等である」が女性より11.0ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、いずれも“男性優遇”が最も多くなっている。

○ 10・20代は「平等である」が全体より約10～30ポイント多くなっている。30代は“男性優遇”が全体より11.7ポイント多くなっている。80代以上は「わからない」が全体より11.1ポイント多くなっている。

【性別、年代別　男女の地位の平等感　－　政治の場で】

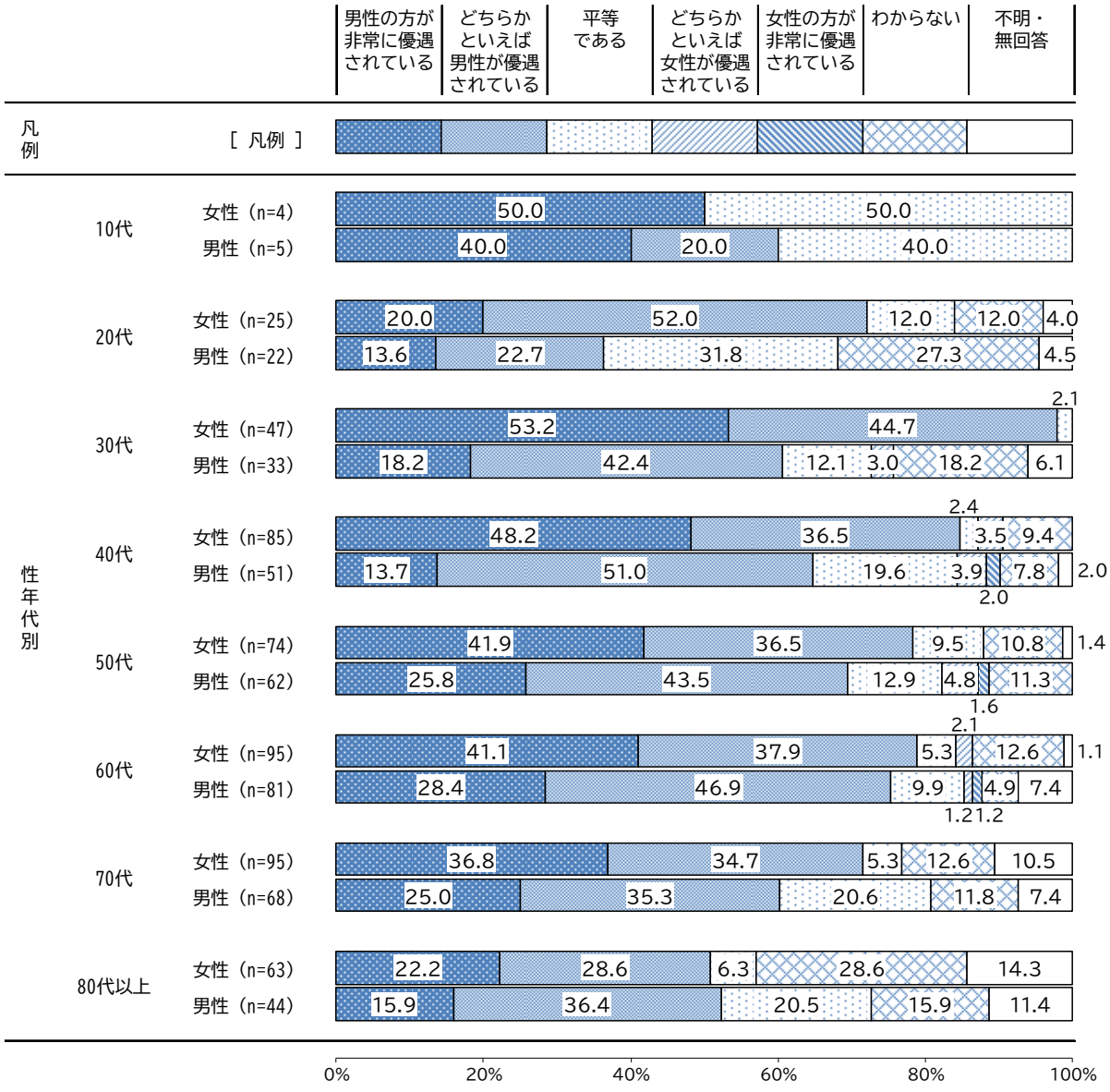


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性は“男性優遇”と「平等である」、20代以上の女性、全年代の男性は“男性優遇”が最も多くなっている。

○　20代、70代以上の男性は「平等である」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、20代男性は「わからない」が全体より15.3ポイント多くなっている。30・40代の女性は“男性優遇”が全体より約10～30ポイント多くなっている。80代以上女性は「わからない」が全体より16.6ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　政治の場で】



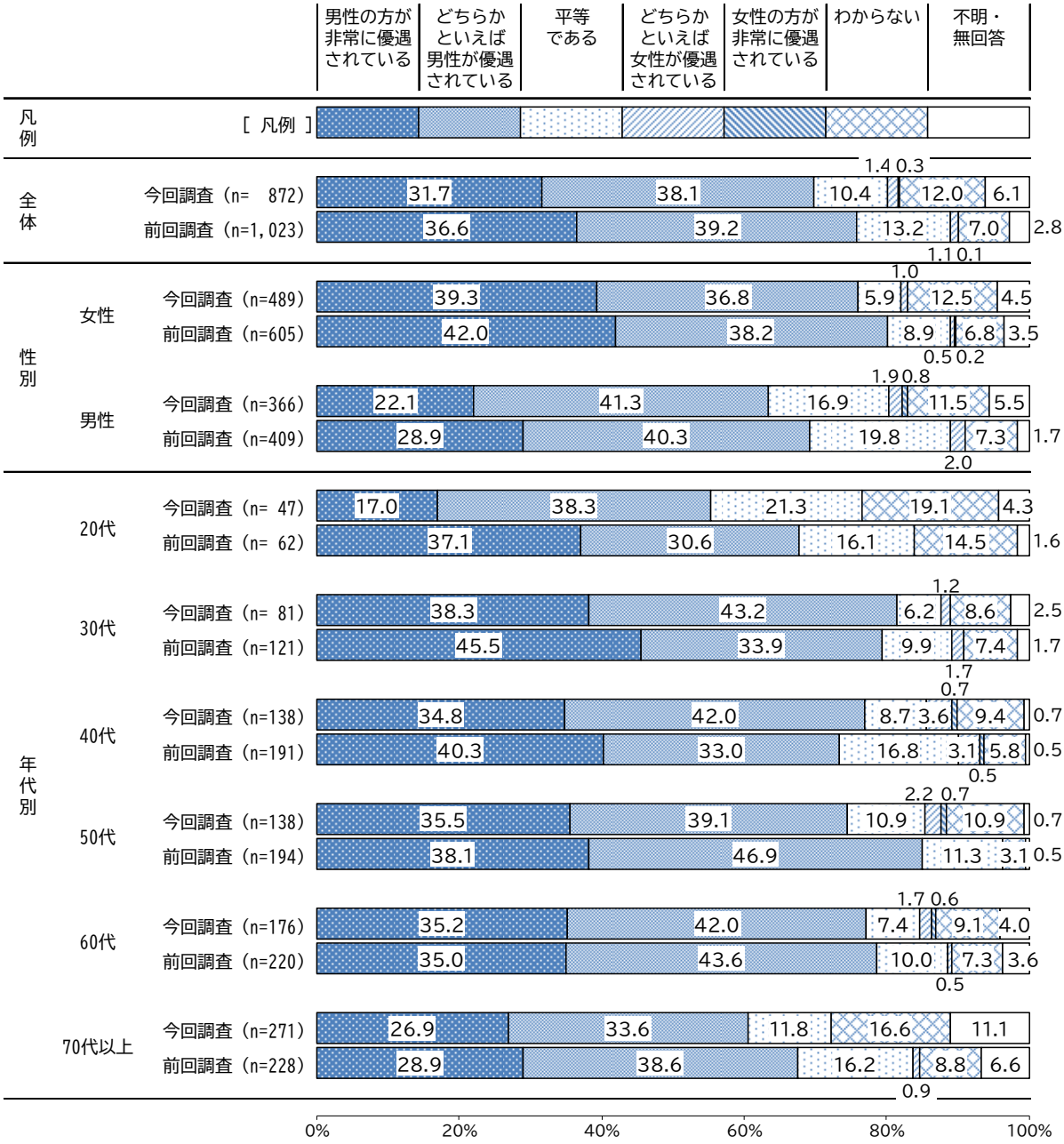
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも“男性優遇”が6.0ポイント少なく、「わからない」が5.0ポイント多くなっている。

○　性別でみると、女性は「わからない」が5.7ポイント前回調査よりも多くなっている。男性は“男性優遇”が5.8ポイント前回調査よりも少なくなっている。

○　年代別でみると、20・50代は“男性優遇”が10ポイント以上前回調査よりも少なくなっている。

【男女の地位の平等感　－　政治の場で（前回調査との比較）】



※　今回調査の全体、性別集計には10代（9件）が含まれる。

⑥ 法律や制度の上で

【全体】

○ 法律や制度の上でについて、「どちらかといえば男性が優遇されている」が33.0％で最も多く、次いで「平等である」が24.8％、「わからない」が15.1％となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は45.8％となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は7.3％となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性、男性ともに“男性優遇”が最も多くなっている。

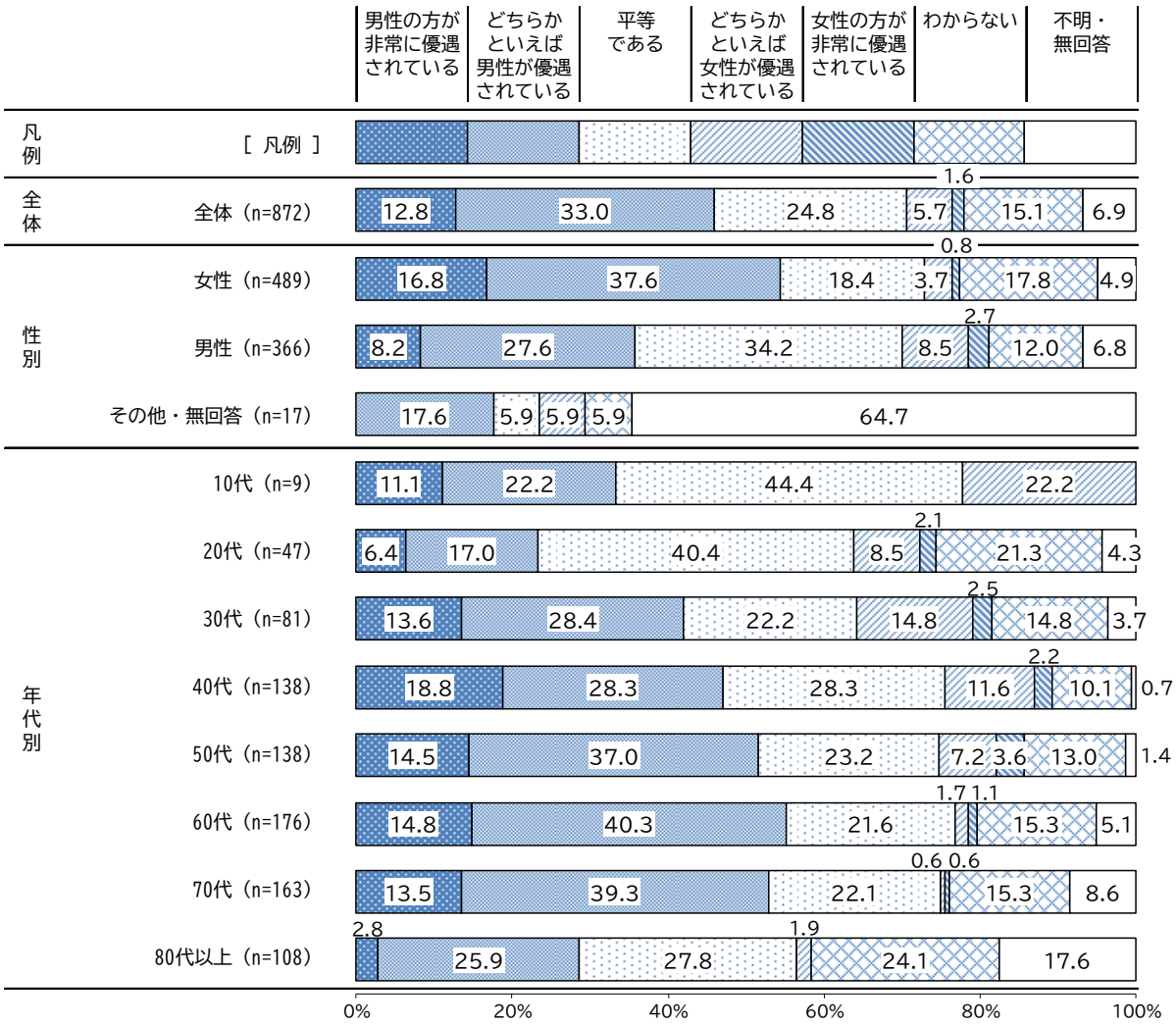
○ 女性は“男性優遇”が男性より18.6ポイント多くなっている。男性は「平等である」が女性より15.8ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10・20代は「平等である」、30代以上は“男性優遇”が最も多くなっている。

○ 20代は「平等である」が全体より15.6ポイント多くなっている。30代は“女性優遇”が全体より10.0ポイント多くなっている。

【性別、年代別　男女の地位の平等感　－　法律や制度の上で】

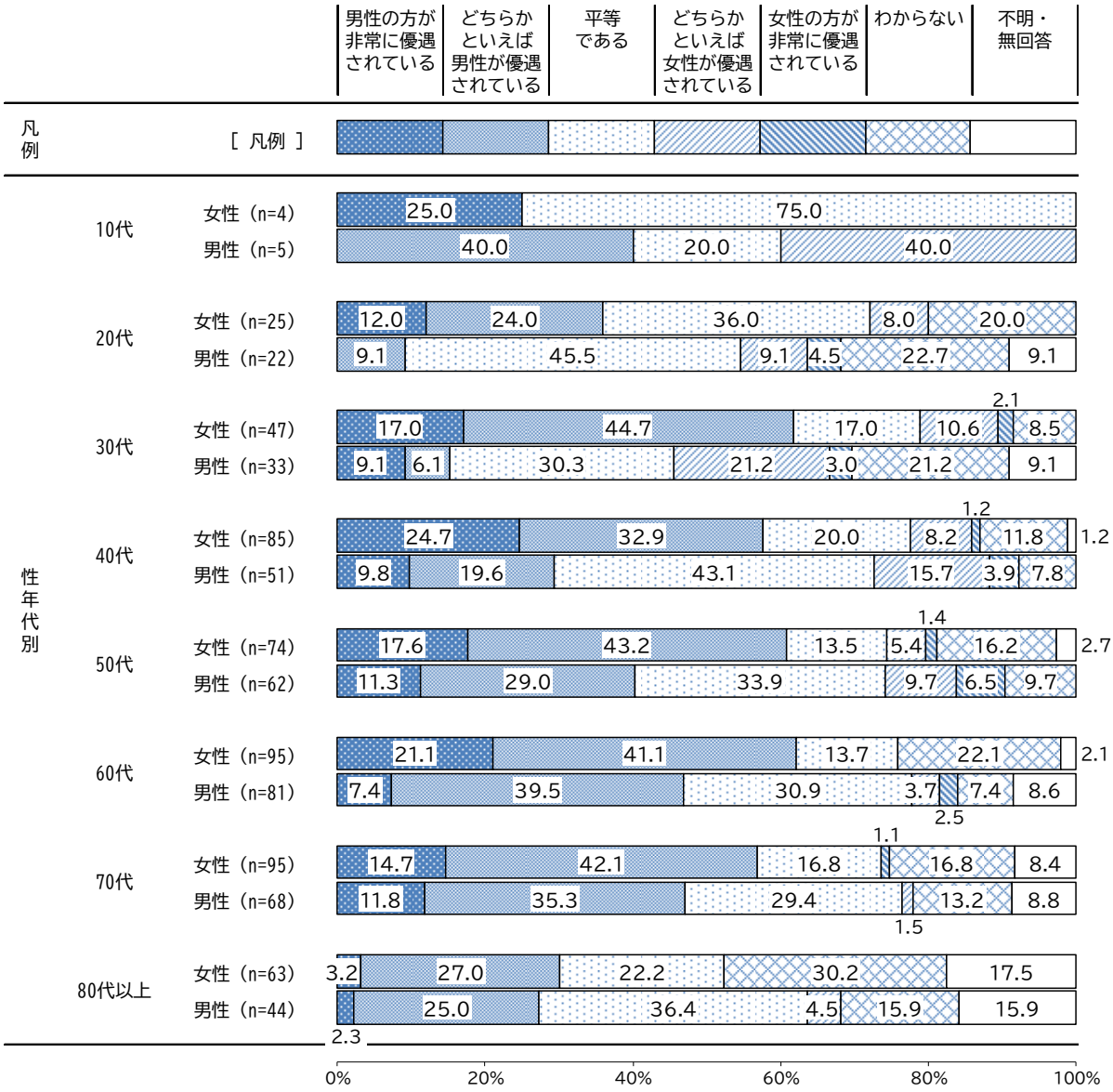


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性、20～40代、80代以上の男性は「平等である」、10代男性は“男性優遇”と“女性優遇”、20代女性は“男性優遇”と「平等である」、30～70代の女性、50～70代の男性は“男性優遇”、80代以上女性は“男性優遇”と「わからない」が最も多くなっている。

○　20･40代、80代以上の男性は「平等である」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、40代男性は“女性優遇”が全体より12.3ポイント多くなっている。30～70代の女性は“男性優遇”が全体より約10～20ポイント多くなっている。80代以上女性は「わからない」が全体より15.1ポイント多くなっている。30代男性は“女性優遇”が全体より16.9ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　法律や制度の上で】



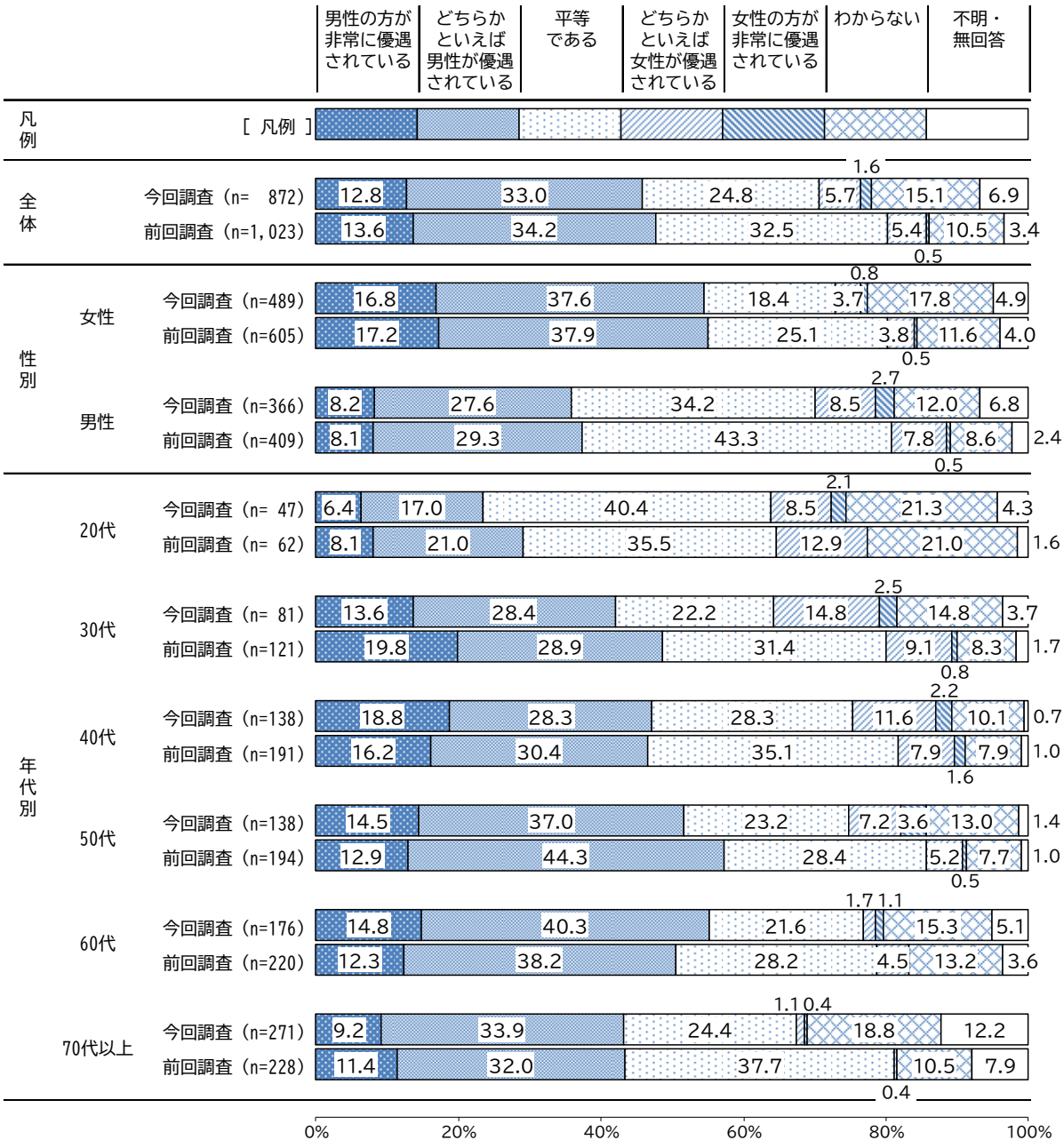
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも「平等である」が7.7ポイント少なくなっている。

○　性別でみると、「平等である」が女性で6.7ポイント、男性で9.1ポイント前回調査よりも少なくなっている。女性は「わからない」が6.2ポイント前回調査よりも多くなっている。

○　年代別でみると、70代以上は「平等である」が13.3ポイント前回調査よりも少なくなっている。

【男女の地位の平等感　－　法律や制度の上で(前回調査との比較)】



※ 今回調査の全体、性別集計には10代(9件)が含まれる。

⑦ 慣習やしきたりで

【全体】

○ 慣習やしきたりでについて、「どちらかといえば男性が優遇されている」が49.9％で最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が20.3％、「平等である」が11.7％となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は70.2％となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は2.4％となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性、男性ともに“男性優遇”が最も多くなっている。

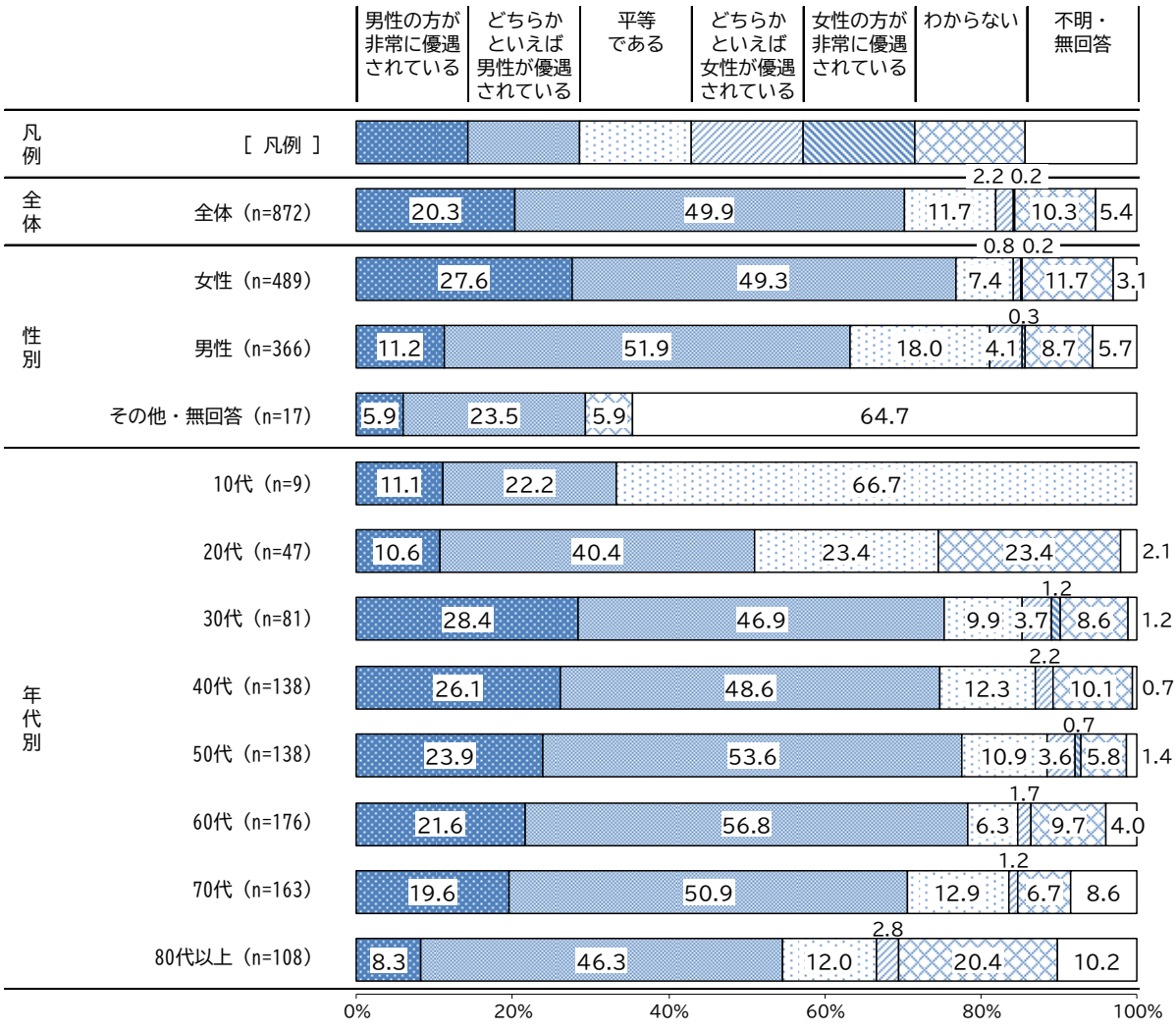
○ 女性は“男性優遇”が男性より13.8ポイント多くなっている。男性は「平等である」が女性より10.6ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10代は「平等である」、20代以上は“男性優遇”が最も多くなっている。

○ 10・20代は「平等である」が全体より約10～60ポイント多くなっている。また、20代は「わからない」が全体より13.1ポイント多くなっている。80代以上は「わからない」が全体より10.1ポイント多くなっている。

【性別、年代別　男女の地位の平等感　－　慣習やしきたりで】

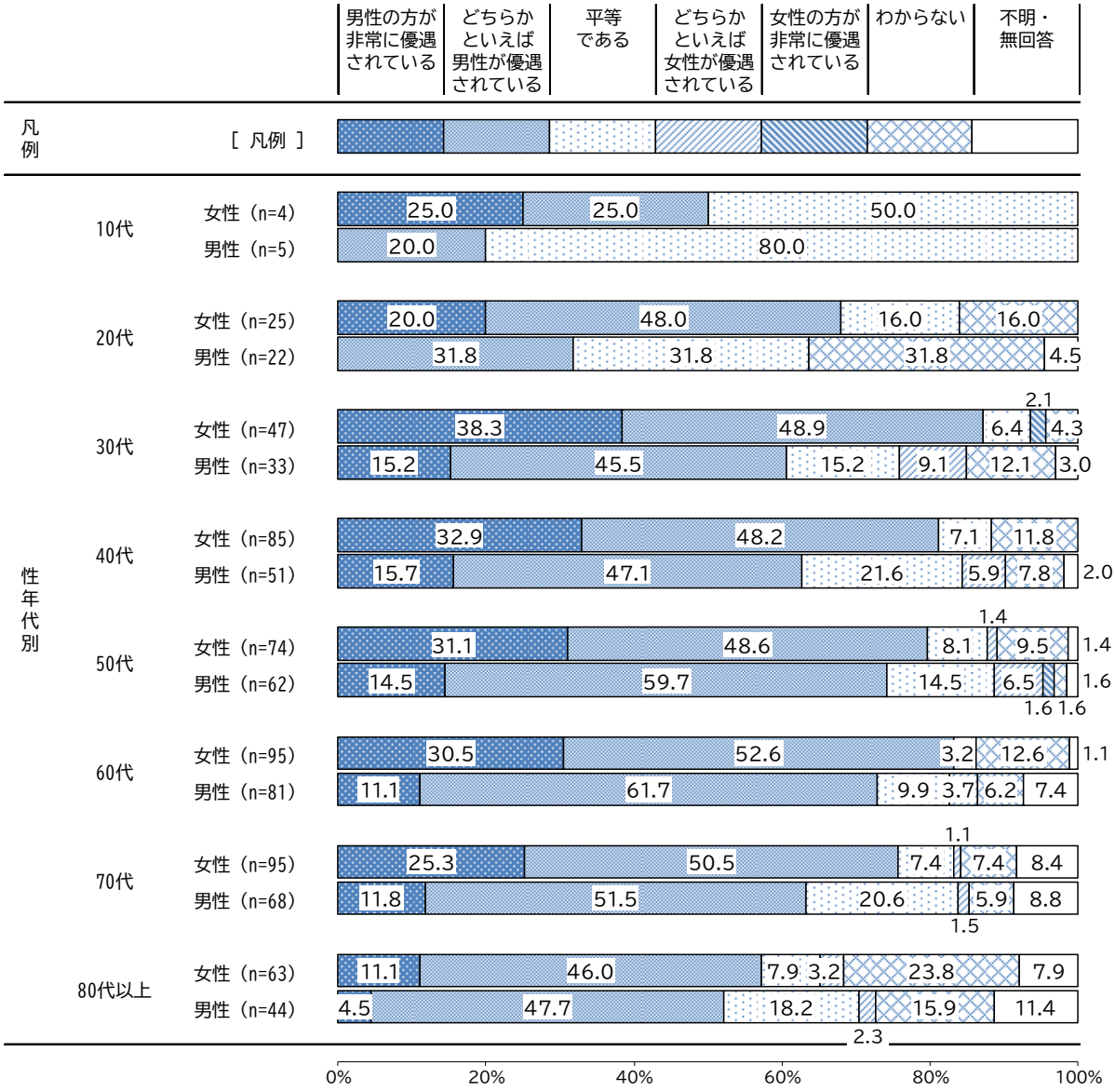


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性は“男性優遇”と「平等である」、10代男性は「平等である」、20代以上の女性、30代以上の男性は“男性優遇”、20代男性は“男性優遇”、「平等である」、「わからない」が最も多くなっている。

○　20代男性は「平等である」が全体より20.1ポイント多くなっている。また、20代男性は「わからない」が全体より21.5ポイント多くなっている。30・60代の女性は“男性優遇”が全体より約10～20ポイント多くなっている。80代以上女性は「わからない」が全体より13.5ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　慣習やしきたりで】



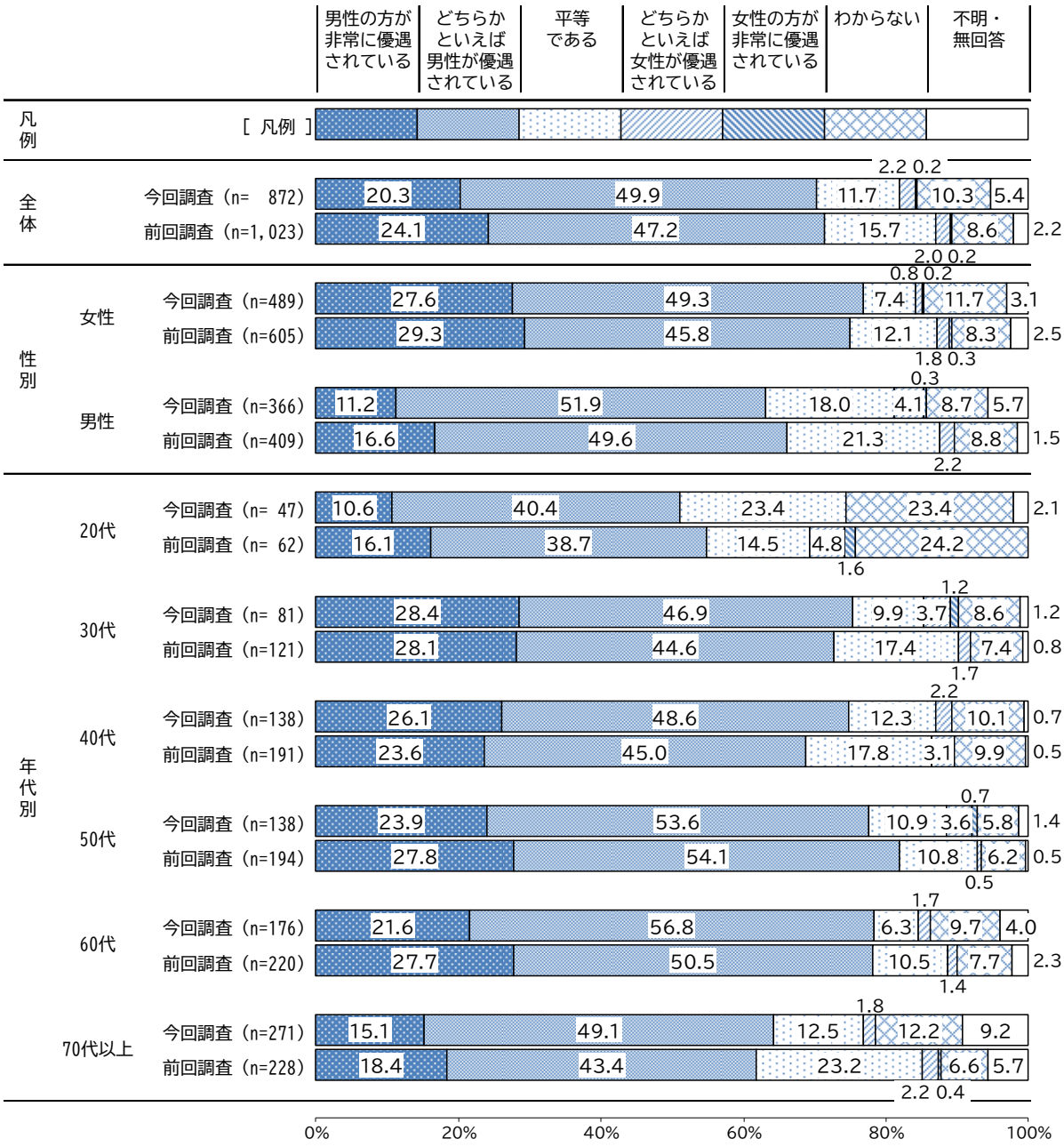
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも「平等である」が4.0ポイント少なくなっている。

○　性別でみると、「平等である」が女性で4.7ポイント、男性で3.3ポイント前回調査よりも少なくなっている。

○　年代別でみると、70代以上は「平等である」が10.7ポイント前回調査よりも少なくなっている。

【男女の地位の平等感　－　慣習やしきたりで(前回調査との比較)】



※ 今回調査の全体、性別集計には 10 代(9 件)が含まれる。

⑧ 社会全体で

【全体】

○ 社会全体でについて、「どちらかといえば男性が優遇されている」が51.8%で最も多く、次いで「平等である」が15.6%、「男性の方が非常に優遇されている」が12.2%となっている。「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は64.0%となっている。「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”は5.0%となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性、男性ともに“男性優遇”が最も多くなっている。

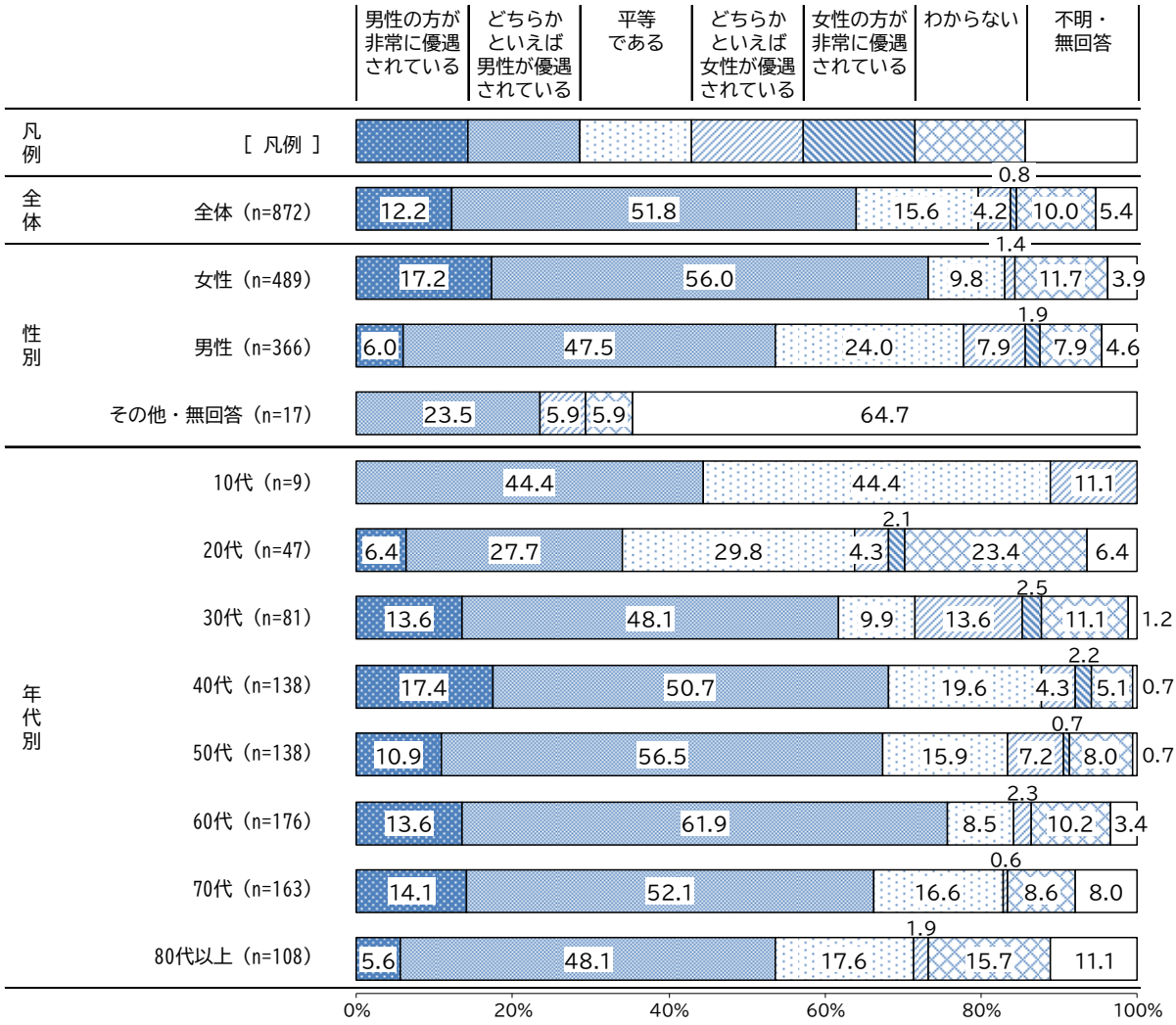
○ 女性は“男性優遇”が男性より19.7ポイント多くなっている。男性は「平等である」が女性より14.2ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10代は“男性優遇”と「平等である」、20代以上は“男性優遇”が最も多くなっている。

○ 10・20代は「平等である」が全体より約10～30ポイント多くなっている。また、20代は「わからない」が全体より13.4ポイント多くなっている。30代は“女性優遇”が全体より11.1ポイント多くなっている。60代は“男性優遇”が全体より11.5ポイント多くなっている。

【性別、年代別　男女の地位の平等感　－　社会全体で】

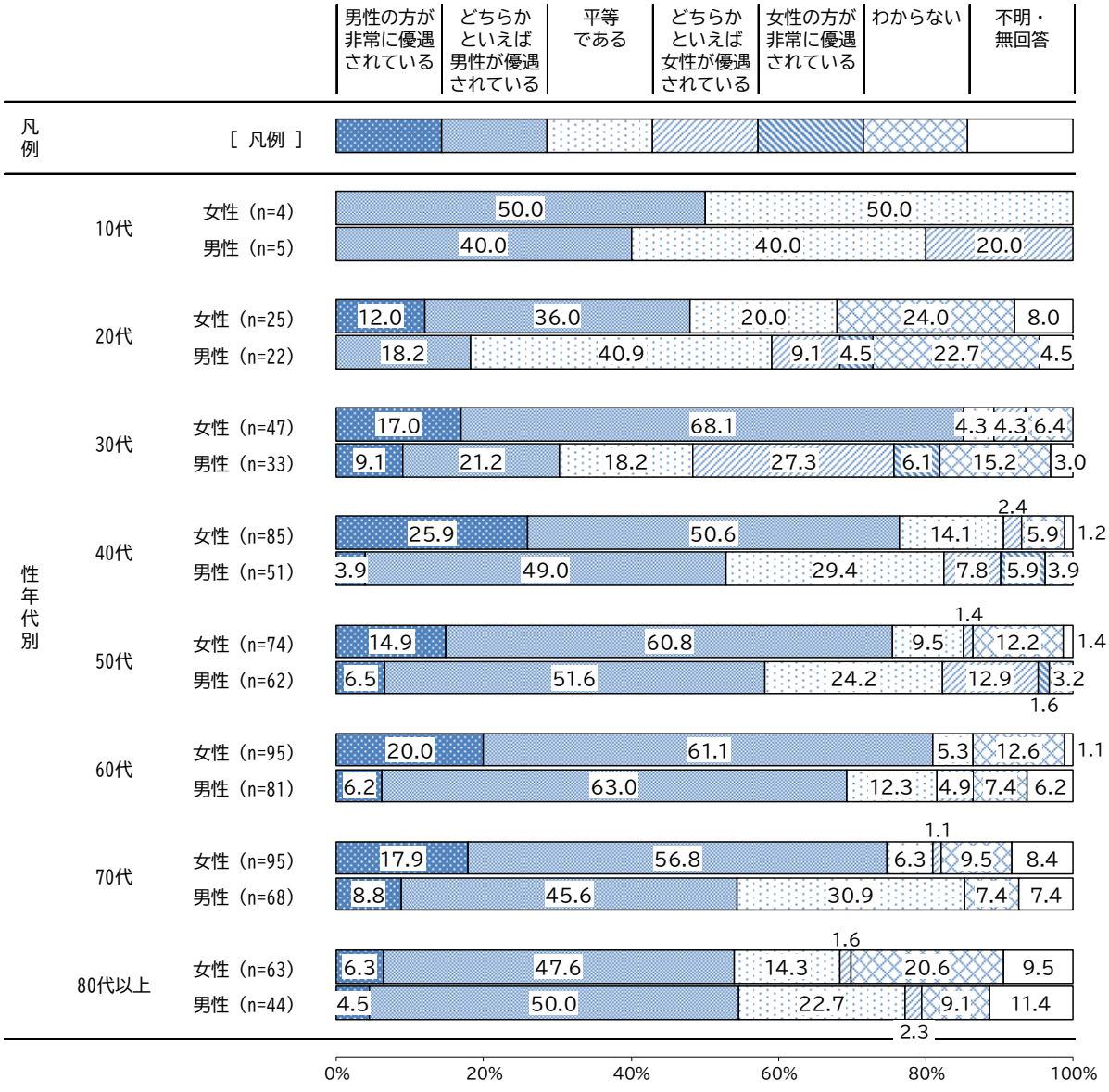


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代男女は“男性優遇”と「平等である」、20代以上の女性、40代以上の男性は“男性優遇”、20代男性は「平等である」、30代男性は“女性優遇”が最も多くなっている。

○　20・40・70代の男性は「平等である」が全体より約10～30ポイント多くなっている。20代男女、80代以上女性は「わからない」が全体より約10ポイント多くなっている。30～70代の女性は“男性優遇”が全体より約10～20ポイント多くなっている。30代男性は“女性優遇”が全体より28.4ポイント多くなっている。

【性年代別　男女の地位の平等感　－　社会全体で】



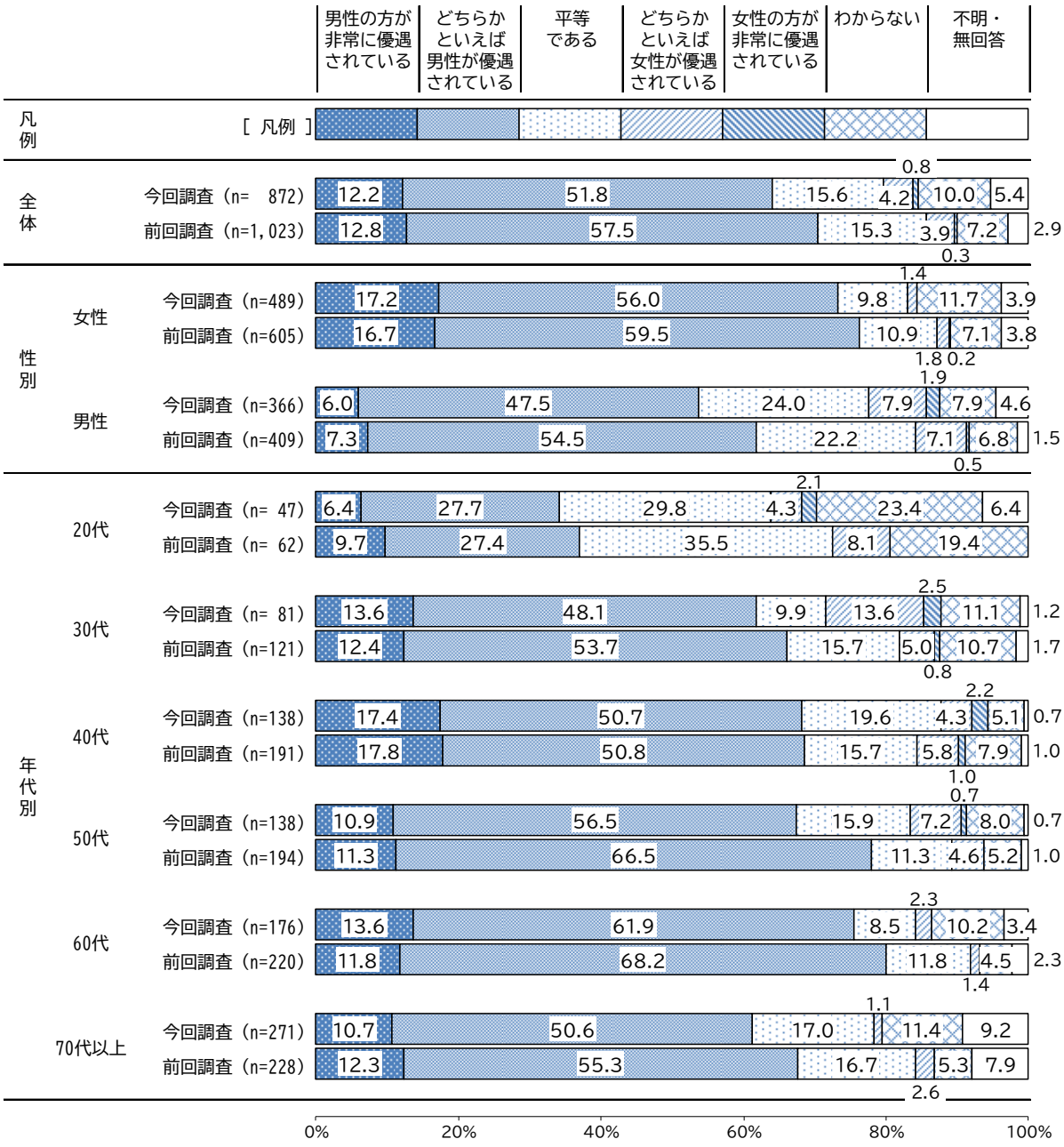
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも“男性優遇”が6.3ポイント少なくなっている。

○　性別でみると、男性は“男性優遇”が前回調査よりも8.3ポイント少なくなっている。

○　年代別でみると、30代は“女性優遇”が10.3ポイント前回調査よりも多くなっている。50代は“男性優遇”が10.4ポイント前回調査よりも少なくなっている。

【男女の地位の平等感　－　社会全体で(前回調査との比較)】



※ 今回調査の全体、性別集計には 10 代(9 件)が含まれる。

(2)意思決定の場に女性の参画が少ない理由

問2(2) 社会においては、政策や方針決定などの意思決定の場への女性の参画が、男性よりも低い状況です。あなたは、女性の参画が少ない理由をどのように考えますか。(○は3つまで)

【全体】

○ 意思決定の場に女性の参画が少ない理由について、「性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているため」が60.7%で最も多く、次いで「社会全体として男性中心の組織運営であるため」が58.4%、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため」が31.0%となっている。

【性別】

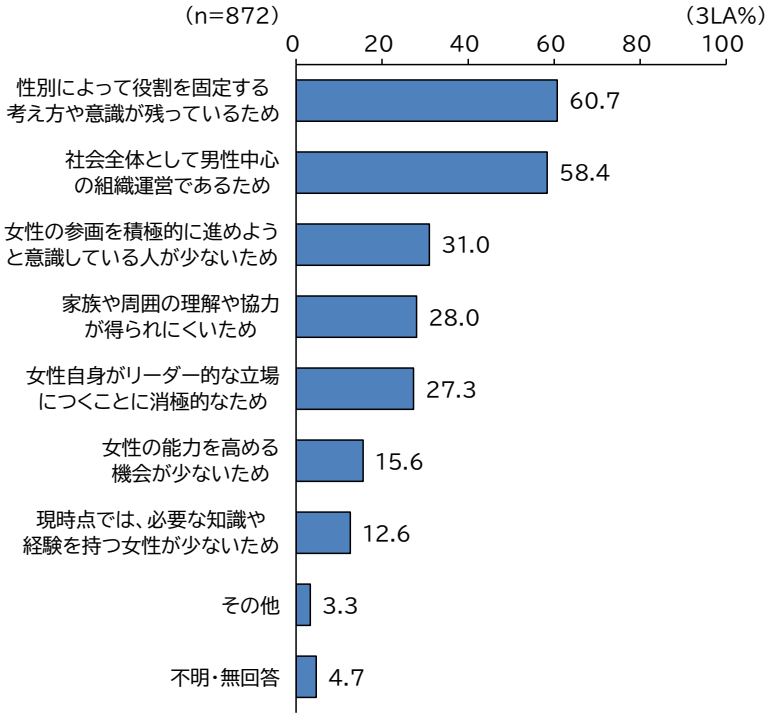
○ 性別でみると、女性、男性ともに「性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているため」が最も多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10・20代、40～60代は「性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているため」、30代、70代以上は「社会全体として男性中心の組織運営であるため」が最も多くなっている。

○ 80代以上は「現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないため」が全体より12.4ポイント多くなっている。

【意思決定の場に女性の参画が少ない理由】



【性年代別】

○　性年代別でみると、60・70代の男性は「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため」が全体より約10ポイント多くなっている。30・60代の女性は「家族や周囲の理解や協力が得られにくいため」が全体より約10ポイント多くなっている。70代女性は「女性の能力を高める機会が少ないため」が全体より13.9ポイント多くなっている。80代以上の男女は「現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないため」が全体より約10ポイント以上多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　意思決定の場に女性の参画が少ない理由】

単位：%

		母数（n）	意思決定の場に女性の参画が少ない理由								
			性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているため	社会全体として男性中心の組織運営であるため	女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため	家族や周囲の理解や協力が得られにくいため	女性自身がリーダー的な立場につくことに消極的なため	女性の能力を高める機会が少ないため	現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないため	その他	不明・無回答
全体		872	60.7	58.4	31.0	28.0	27.3	15.6	12.6	3.3	4.7
性別	女性	489	63.8	60.9	29.9	32.3	25.6	18.8	12.7	1.8	3.1
	男性	366	57.9	56.6	33.3	23.5	30.1	11.5	13.1	5.5	4.1
	その他・無回答	17	29.4	23.5	11.8	－	17.6	11.8	－	－	64.7
年代別	10代	9	66.7	44.4	33.3	55.6	11.1	22.2	11.1	11.1	－
	20代	47	61.7	42.6	23.4	29.8	29.8	4.3	8.5	2.1	8.5
	30代	81	53.1	59.3	30.9	35.8	27.2	6.2	13.6	2.5	－
	40代	138	64.5	63.0	27.5	26.8	23.9	17.4	10.1	3.6	1.4
	50代	138	68.1	60.1	25.4	28.3	32.6	17.4	8.0	6.5	1.4
	60代	176	68.2	59.7	34.1	30.7	25.6	17.6	11.4	3.4	1.7
	70代	163	54.6	61.3	38.7	30.7	27.0	21.5	13.5	0.6	5.5
	80代以上	108	52.8	56.5	31.5	13.9	31.5	11.1	25.0	3.7	10.2
性年代別	10代　女性	4	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	－	25.0	－	－
	10代　男性	5	80.0	40.0	－	80.0	－	40.0	－	20.0	－
	20代　女性	25	68.0	44.0	16.0	32.0	36.0	8.0	12.0	－	－
	20代　男性	22	54.5	40.9	31.8	27.3	22.7	－	4.5	4.5	18.2
	30代　女性	47	57.4	70.2	36.2	42.6	17.0	4.3	8.5	2.1	－
	30代　男性	33	48.5	45.5	21.2	27.3	39.4	9.1	21.2	3.0	－
	40代　女性	85	67.1	67.1	30.6	30.6	20.0	17.6	9.4	2.4	1.2
	40代　男性	51	58.8	54.9	23.5	21.6	29.4	15.7	11.8	5.9	2.0
	50代　女性	74	71.6	64.9	25.7	29.7	28.4	18.9	5.4	4.1	2.7
	50代　男性	62	62.9	53.2	25.8	27.4	37.1	16.1	11.3	9.7	－
	60代　女性	95	70.5	61.1	26.3	38.9	25.3	24.2	13.7	1.1	－
	60代　男性	81	65.4	58.0	43.2	21.0	25.9	9.9	8.6	6.2	3.7
	70代　女性	95	54.7	58.9	35.8	34.7	24.2	29.5	14.7	－	4.2
	70代　男性	68	54.4	64.7	42.6	25.0	30.9	10.3	11.8	1.5	7.4
	80代以上　女性	63	57.1	50.8	28.6	15.9	34.9	12.7	23.8	3.2	12.7
	80代以上　男性	44	47.7	65.9	36.4	11.4	27.3	9.1	27.3	4.5	4.5

(3)意思決定の場に女性が参画することについての考え

問2(3)　あなたは、意思決定の場に女性が参画することについてどのように考えますか。(○は1つ)

【全体】

○　意思決定の場に女性が参画することについての考えについて、「女性の参画は必要である」が64.8%で最も多く、次いで「女性の参画はどちらかといえば必要である」が26.0%、「わからない」が3.4%となっている。「女性の参画は必要である」「女性の参画はどちらかといえば必要である」を合わせた“必要”は90.8%となっている。「女性の参画はどちらかといえば必要ない」「女性の参画は必要ない」を合わせた“不要”は0.9%となっている。

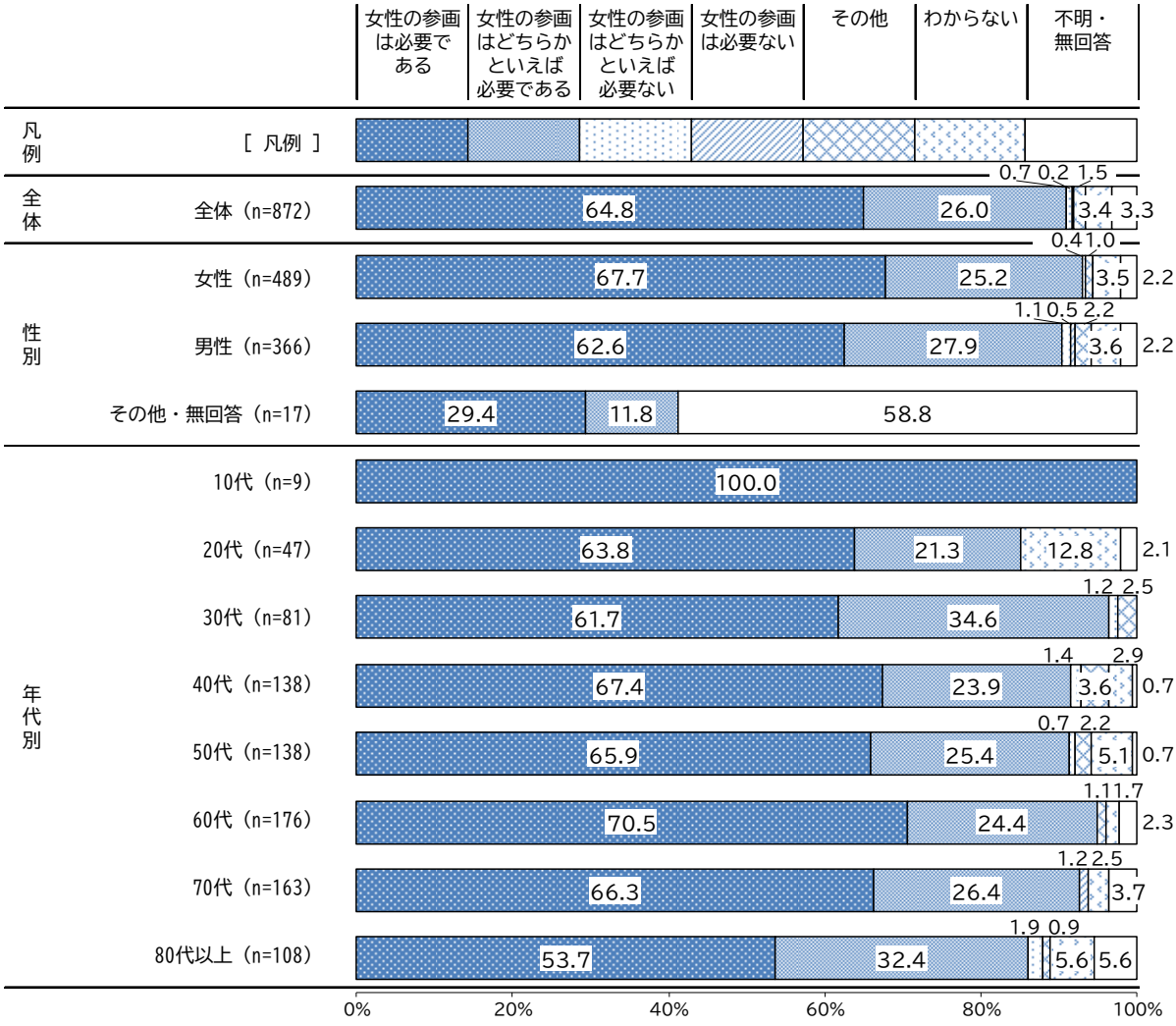
【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに“必要”が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、いずれも“必要”が最も多くなっている。

【性別、年代別　意思決定の場に女性が参画することについての考え】

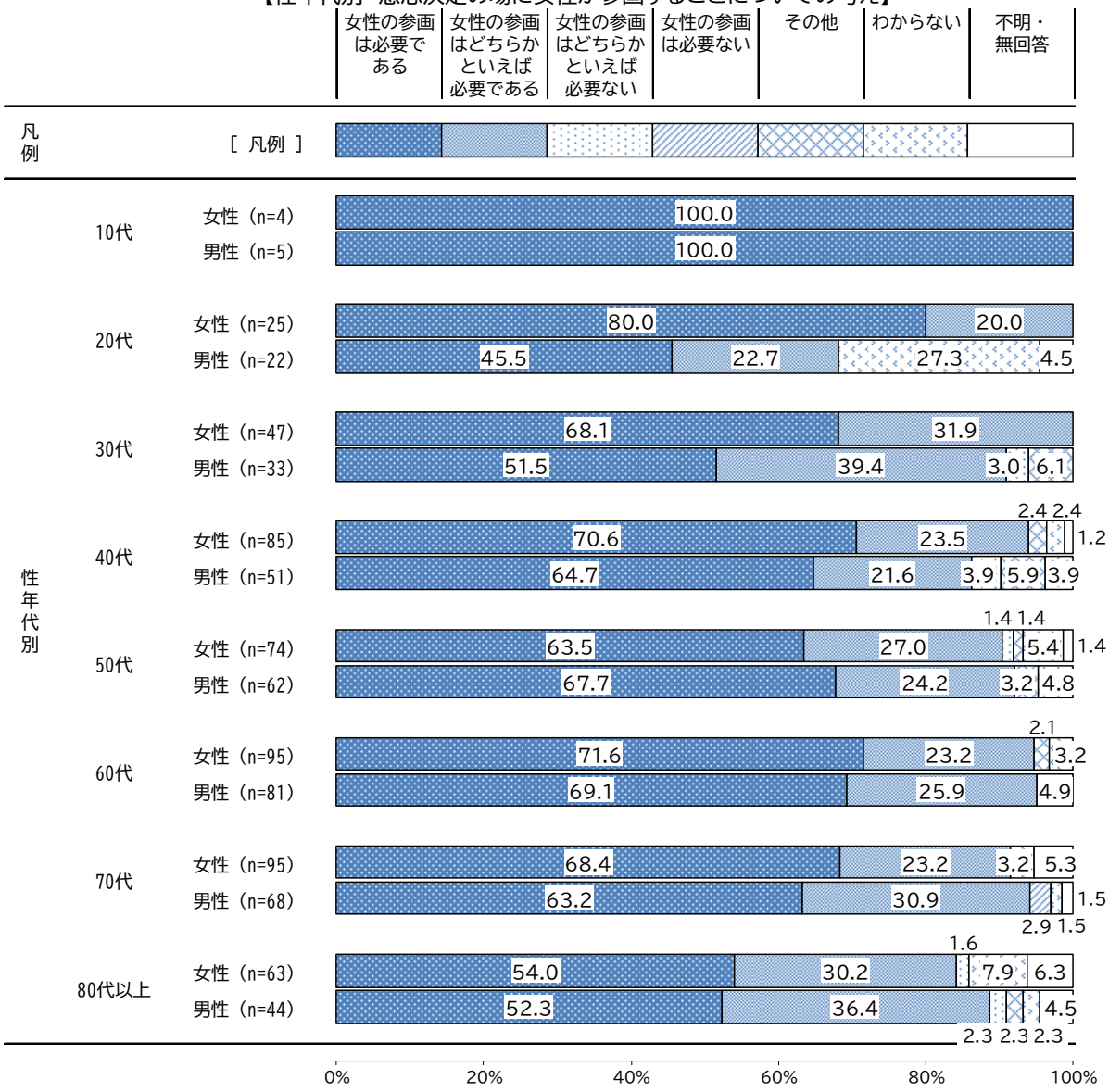


【性年代別】

○　性年代別でみると、いずれも“必要”が最も多くなっている。

○　20代男性は「わからない」が全体より23.9ポイント多くなっている。

【性年代別　意思決定の場に女性が参画することについての考え】



2. 家庭や職場における男女共同参画について

(1)1日の労働時間

問3(1)　あなたの1日の労働時間(有償で働いている時間)は平均して何時間になりますか。(○は1つ)

【全体】

○　1日の労働時間について、「8～10時間未満」が26.0%で最も多く、次いで「0時間」が25.8%、「6～8時間未満」が19.4%となっている。

【性別】

○　性別でみると、女性は「0時間」、男性は「8～10時間未満」が最も多くなっている。

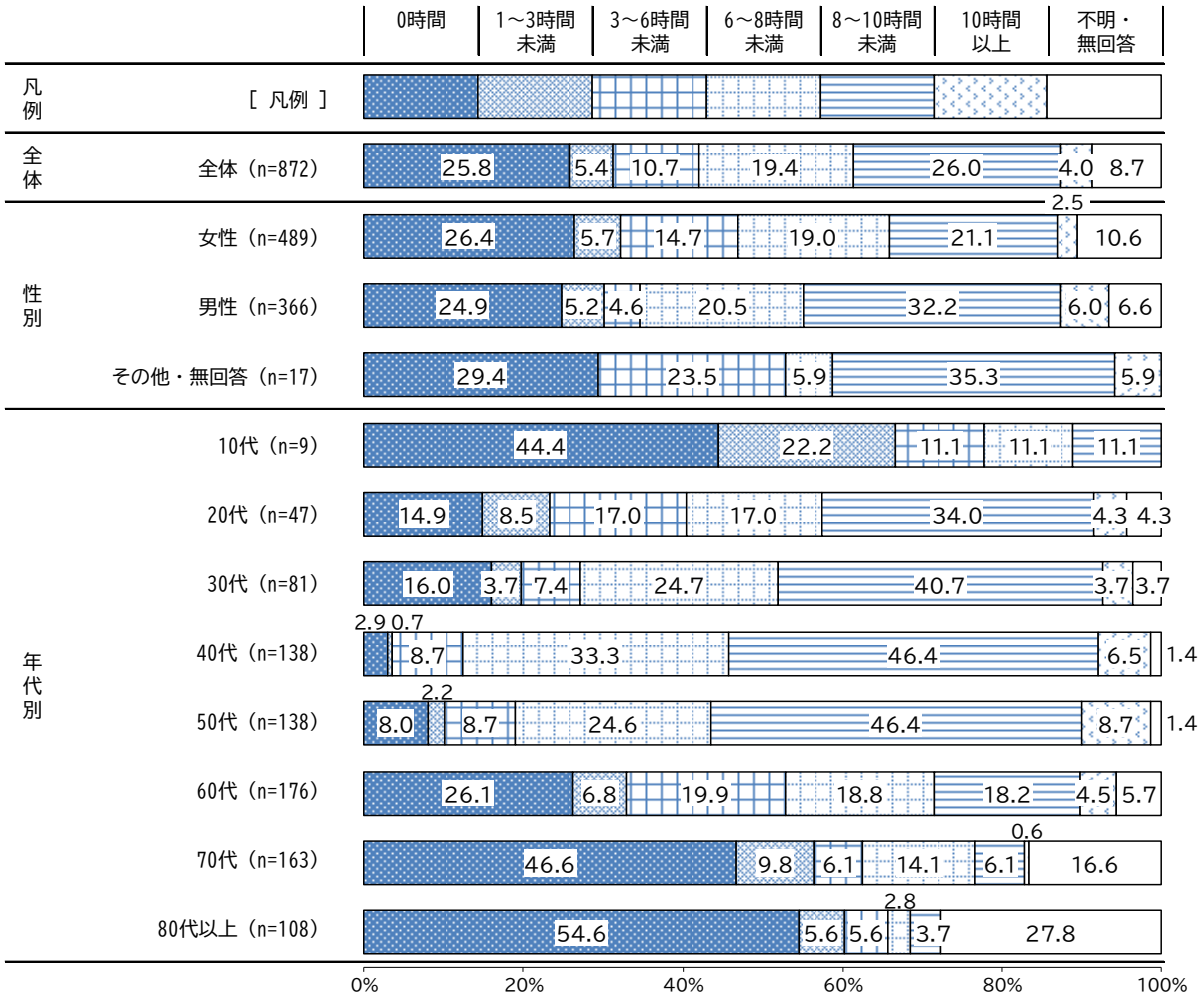
○　男性は「8～10時間未満」が女性より11.1ポイント多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10代、60代以上は「0時間」、20～50代は「8～10時間未満」が最も多くなっている。

○　10代は「1～3時間未満」が全体より16.8ポイント多くなっている。30～50代は「8～10時間未満」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、40代は「6～8時間未満」が全体より13.9ポイント多くなっている。70代以上は「0時間」が全体より約20～30ポイント多くなっている。

【性別、年代別　1日の労働時間】

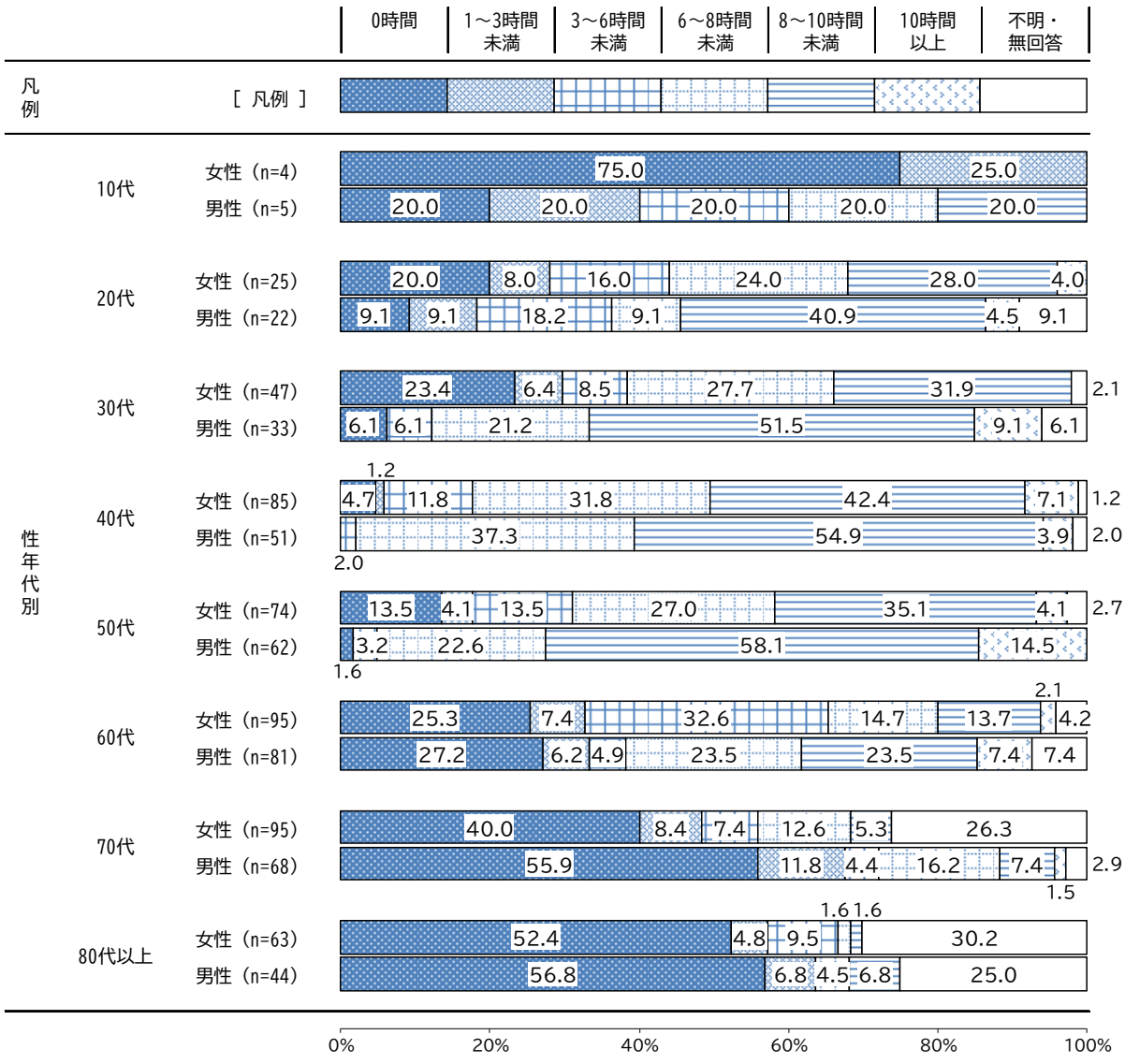


【性年代別】

○　性年代別でみると、20～50代の男女は「8～10時間未満」、60代女性は「3～6時間未満」が最も多くなっている。

○　40代男女は「6～8時間未満」「8～10時間未満」が全体より約10～30ポイント多くなっている。60代女性は「3～6時間未満」が全体より21.9ポイント多くなっている。30・50代の男性は「8～10時間未満」が全体より約30ポイント多くなっている。また、50代男性は「10時間以上」が全体より10.5ポイント多くなっている。

【性年代別　1日の労働時間】



(2)1日の家事関連時間

問3(2) あなたは1日に平均して家事、育児、介護など家庭生活にかかわる仕事をどれくらいしていますか。(○は1つ)

【全体】

○ 1日の家事関連時間について、「1～2時間未満」が19.3％で最も多く、次いで「2～3時間未満」が14.7％、「30分～1時間未満」が14.4％となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性は「4～5時間未満」「5時間以上」が男性より約10ポイント多くなっている。男性は「全くしない」「15～30分未満」「30分～1時間未満」が女性より約10～20ポイント多くなっている。

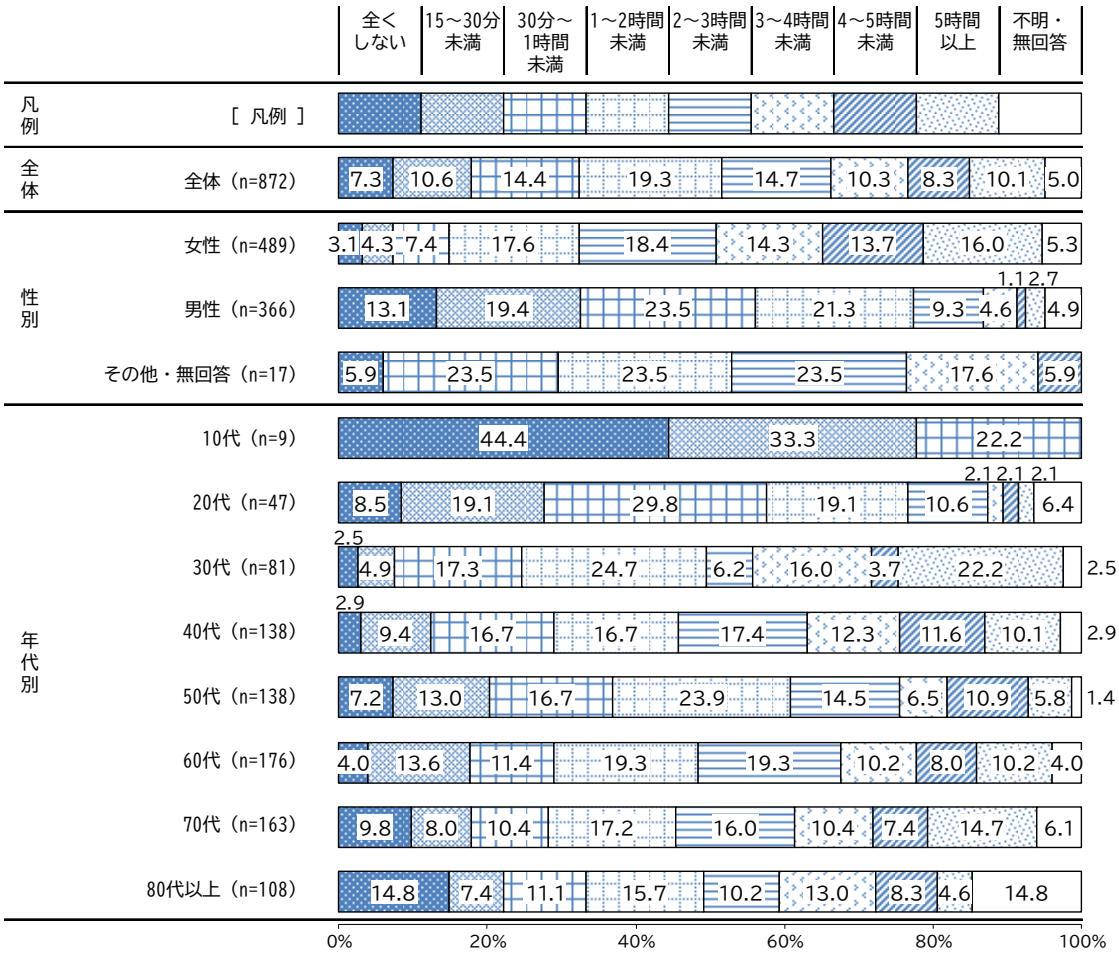
【年代別】

○ 年代別でみると、30代は「5時間以上」が全体より12.1ポイント多くなっている。

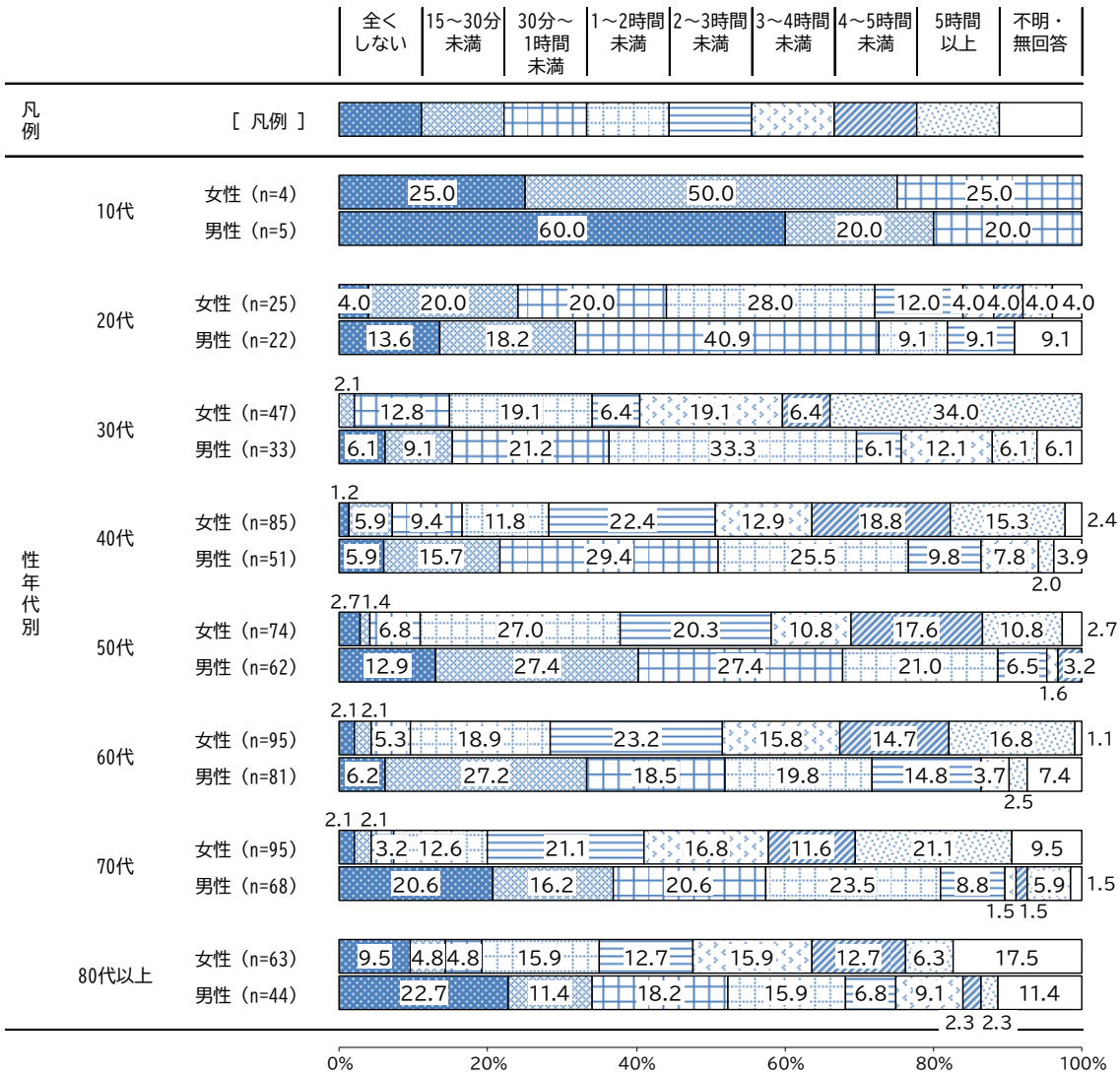
【性年代別】

○ 性年代別でみると、50・60代の男性は「15～30分未満」が全体より約20ポイント多くなっている。また、50代男性は「30分～1時間未満」が全体より13.0ポイント多くなっている。30・70代の女性は「5時間以上」が全体より約10～20ポイント多くなっている。40代女性は「4～5時間未満」が全体より10.5ポイント多くなっている。70代以上の男性は「全くしない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。20・40代の男性は「30分～1時間未満」が全体より約20～30ポイント多くなっている。30代男性は「1～2時間未満」が全体より14.0ポイント多くなっている。

【性別、年代別　1日の家事関連時間】



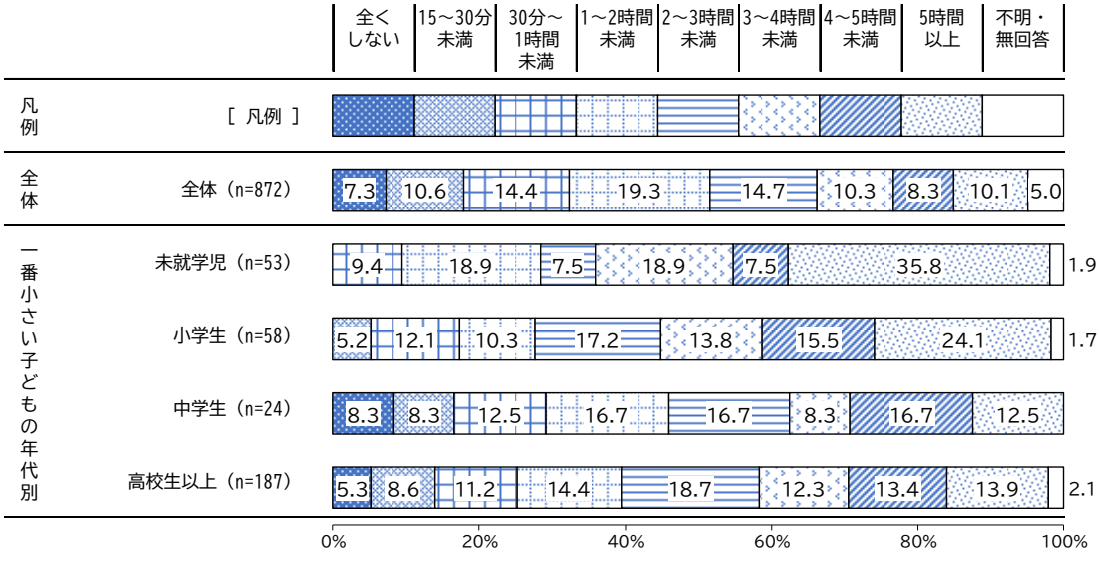
【性年代別　1日の家事関連時間】



【一番小さい子どもの年代別】

○　一番小さい子どもの年代別でみると、未就学児、小学生は「5時間以上」が全体より約10～30ポイント多くなっている。

【一番小さい子どもの年代別　1日の家事関連時間】



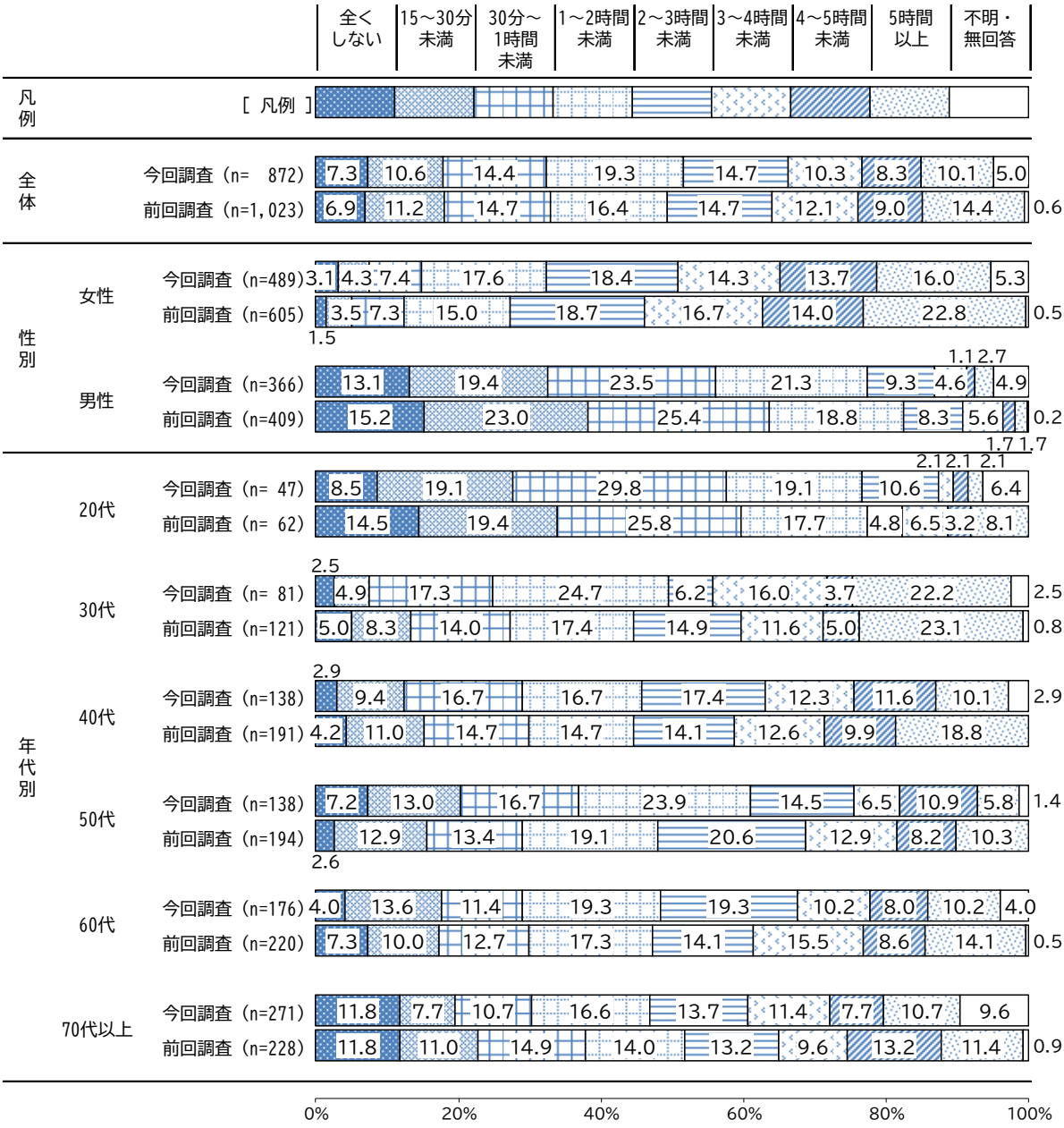
【前回調査との比較】

○　全体でみると、2時間以上の合計が今回調査では43.4%と前回調査の50.2%より6.8ポイント少なくなっている。

○　性別でみると、女性では2時間以上の合計が今回調査では62.4%と前回調査の72.2%より9.8ポイント少なくなっている。

○　年代別にみると、30代以外は前回調査より家事関連時間が短くなる傾向がみられる。

【1日の家事関連時間（前回調査との比較）】



※ 今回調査の全体、性別集計には 10 代(9 件)が含まれる。

(3)理想とする家庭における男女の役割分担

問3(3)　家庭における男女の役割分担について、あなたの理想に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

【全体】

○　理想とする家庭における男女の役割分担について、「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」が45.1%で最も多く、次いで「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」が32.7%、「男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児・介護を行う」が8.5%となっている。

【性別】

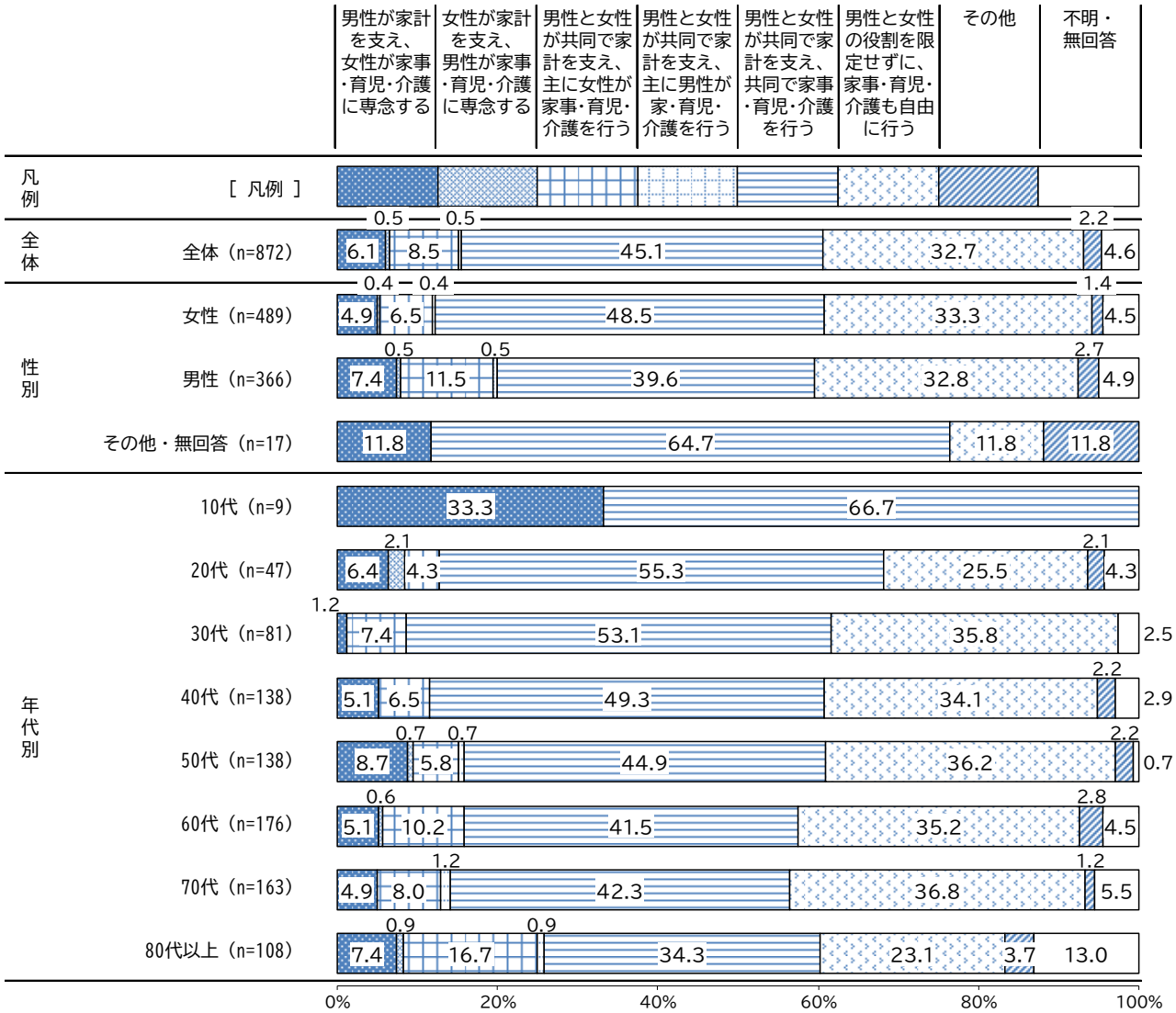
○　性別でみると、女性、男性ともに「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、いずれも「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」が最も多くなっている。

○　10代は「男性が家計を支え、女性が家事・育児・介護に専念する」が全体より27.2ポイント多くなっている。

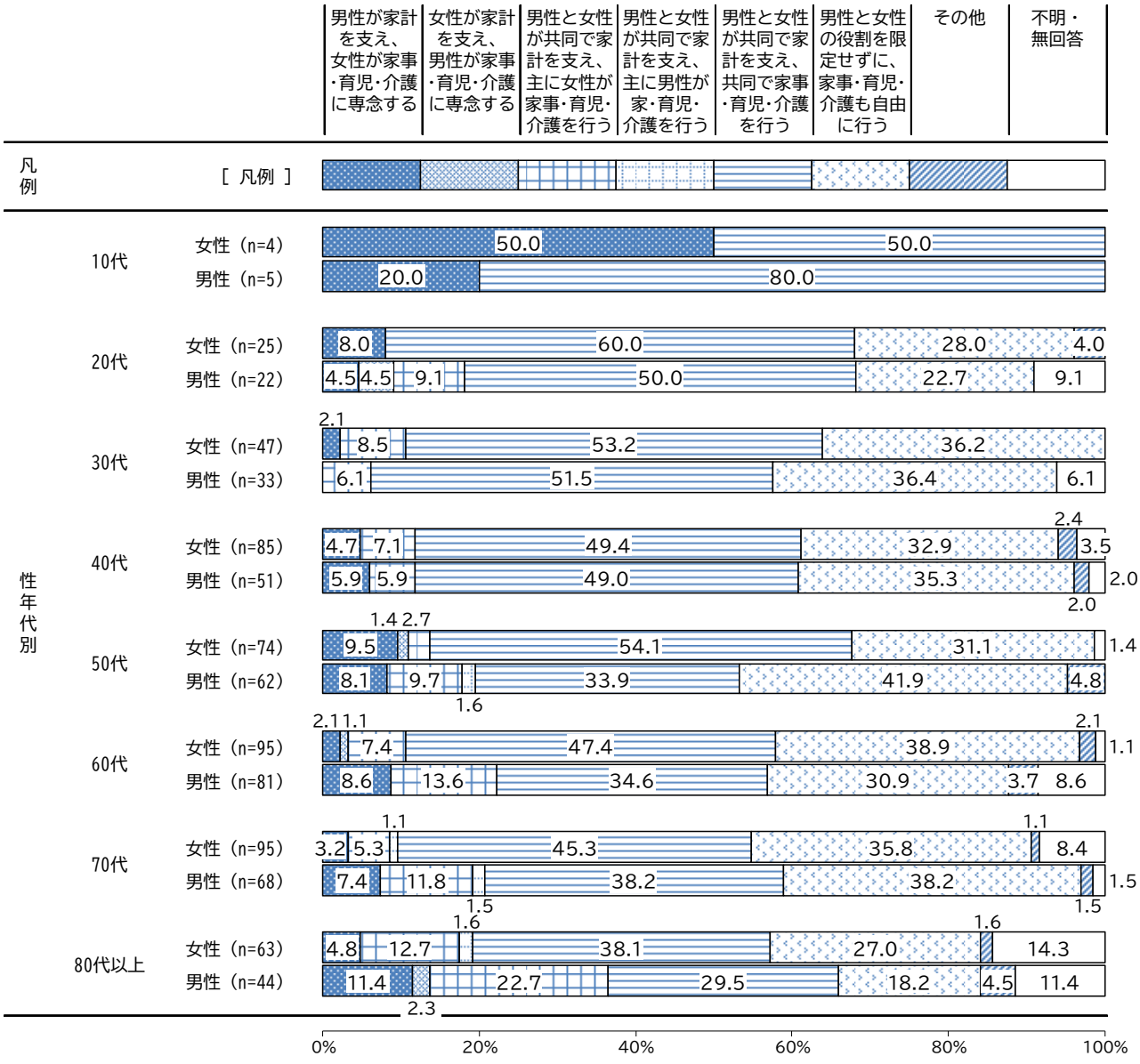
【性別、年代別　理想とする家庭における男女の役割分担】



【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性は「男性が家計を支え、女性が家事・育児・介護に専念する」と「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」、20代以上の女性、10～40代、60代、80代以上の男性は「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」、50代男性は「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」、70代男性は「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」と「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」が最も多くなっている。

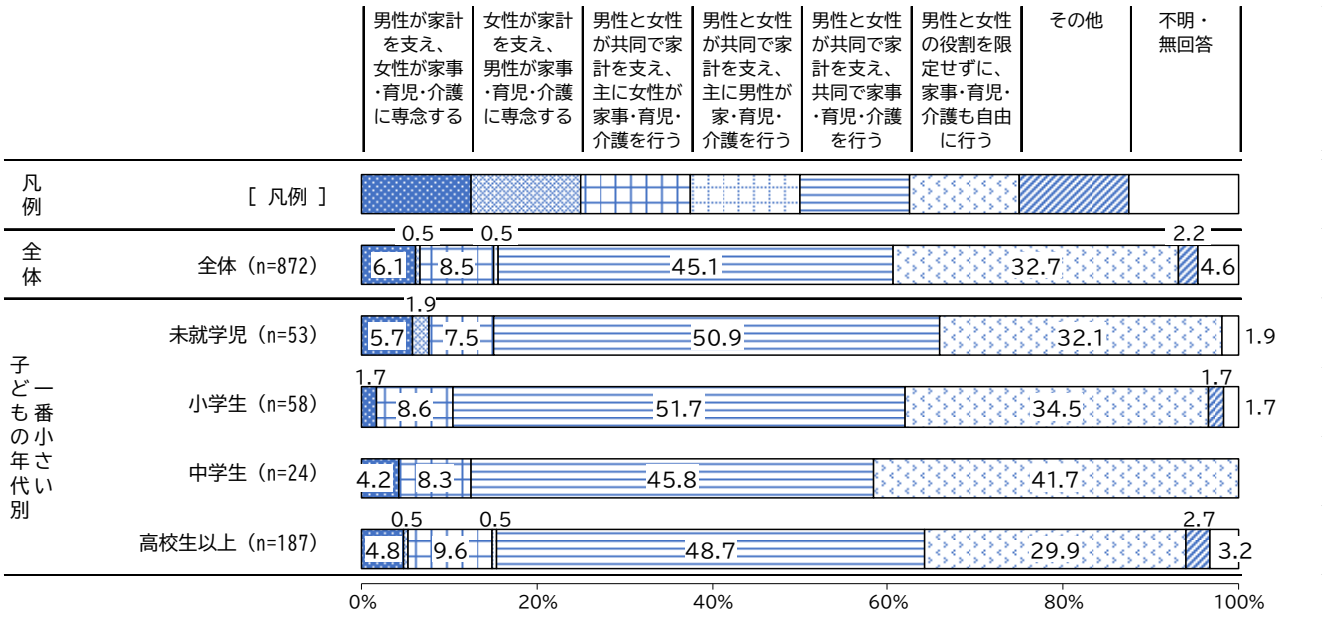
【性年代別　理想とする家庭における男女の役割分担】



【一番小さい子どもの年代別】

○　一番小さい子どもの年代別でみると、いずれも「男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」が最も多くなっている。

【一番小さい子どもの年代別　理想とする家庭における男女の役割分担】



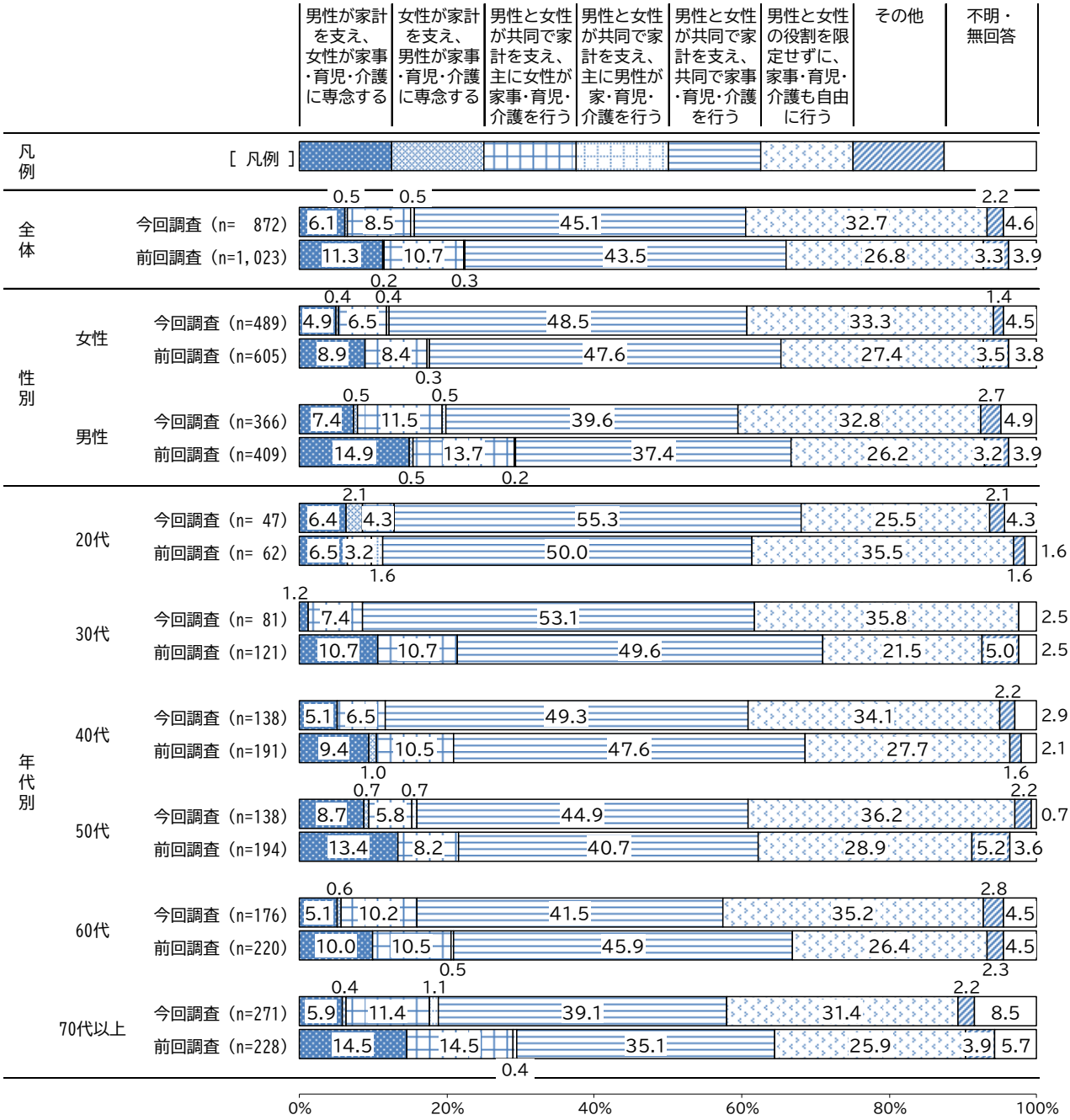
【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも「男性が家計を支え、女性が家事・育児・介護に専念する」が5.2ポイント少なく、「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」が5.9ポイント多くなっている。

○　性別でみると、「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」が女性で5.9ポイント、男性で6.6ポイント前回調査よりも多くなっている。男性は「男性が家計を支え、女性が家事・育児・介護に専念する」が7.5ポイント前回調査よりも少なくなっている。

○　年代別でみると、20代は「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」が10.0ポイント前回調査よりも少なくなっている。30代は「男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」が14.3ポイント前回調査よりも多くなっている。

【理想とする家庭における男女の役割分担　（前回調査との比較）】



※　前回調査の選択肢は「夫が家計を支え、妻が家事・育児・介護に専念する」「妻が家計を支え、夫が家事・育児・介護に専念する」「夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児・介護を行う」「夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児・介護を行う」「夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う」「夫と妻の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う」「その他」

※　今回調査の全体、性別集計には10代(9件)が含まれる。

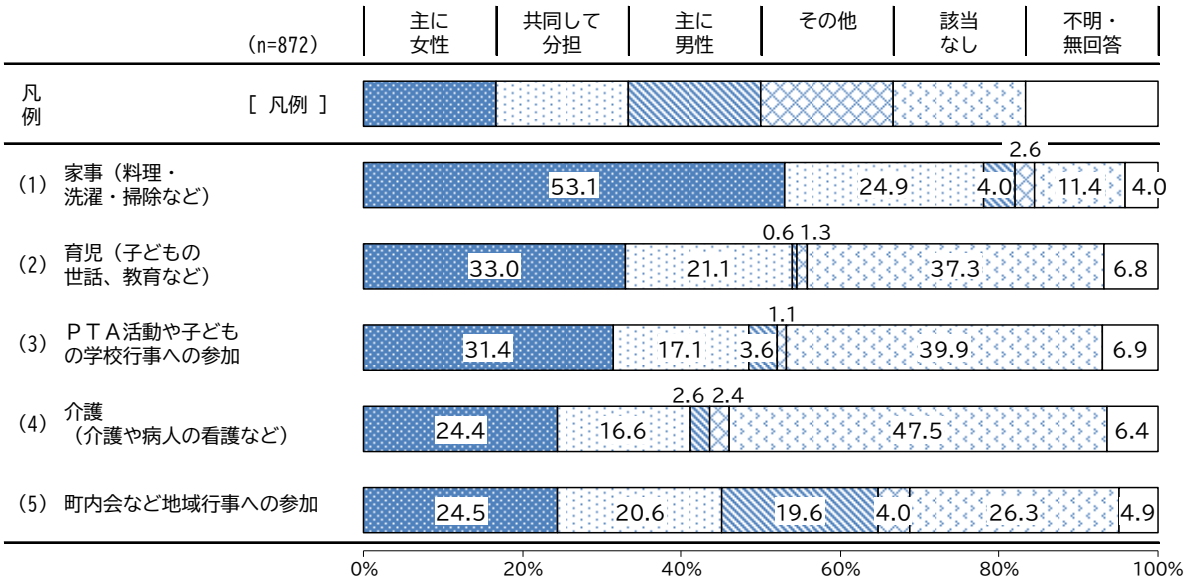
(4)実際の家庭における役割分担

問3(4)　あなたの家庭では、次の(1)～(5)にあげる項目は実際にどのように分担されていますか。または、分担されていましたか。(項目ごとに○は1つずつ)なお、ひとり暮らし等で該当する項目がない場合は「該当なし」に○をつけてください。

【全体】

○　実際の家庭における役割分担について、「主に女性」の割合が最も多いものは「家事(料理・洗濯・掃除など)」で53.1%となっており、「該当なし」を除くといずれも「主に女性」の割合が多くなっている。

【実際の家庭における役割分担】



① 家事（料理・洗濯・掃除など）

【全体】

○ 家事（料理・洗濯・掃除など）について、「主に女性」が53.1％で最も多く、次いで「共同して分担」が24.9％、「主に男性」が4.0％となっている。

【性別】

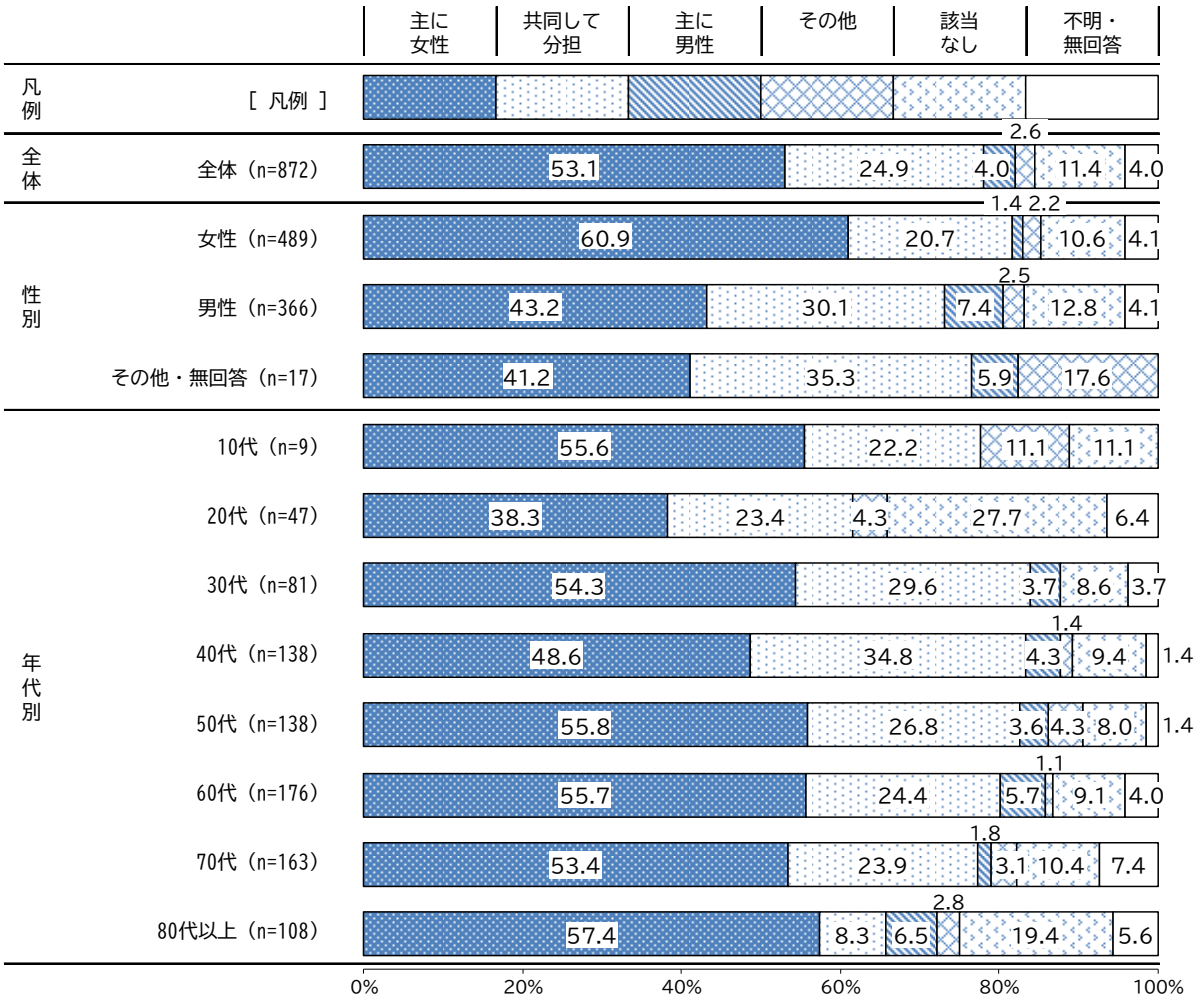
○ 性別でみると、女性、男性ともに「主に女性」が最も多くなっている。

○ 女性は「主に女性」が男性より17.7ポイント多くなっている。男性は「共同して分担」が女性より9.4ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、いずれも「主に女性」が最も多くなっている。

【性別、年代別 実際の家庭における役割分担 － 家事】

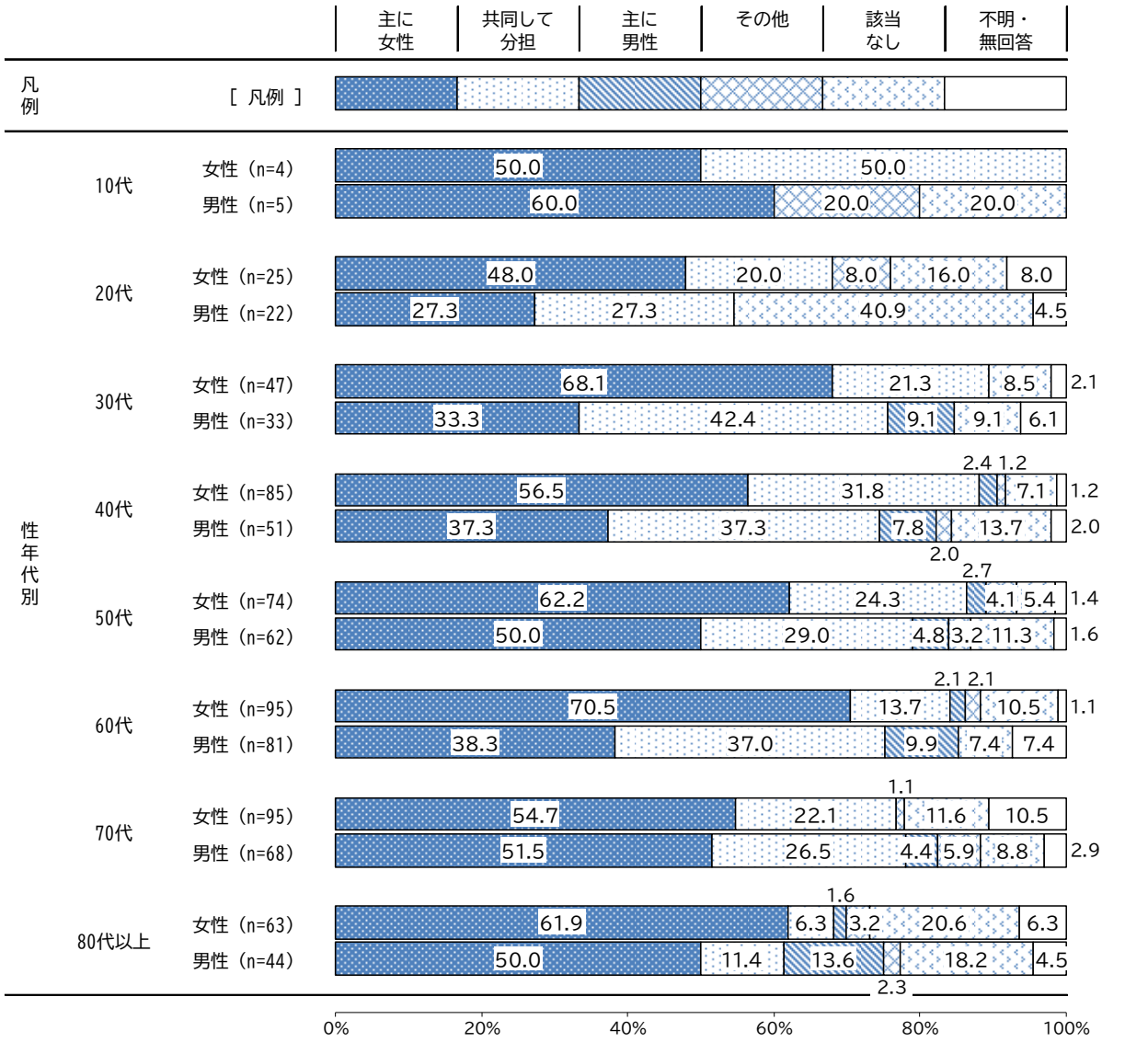


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性、20・40代の男性は「主に女性」と「共同して分担」、20代以上の女性、10代、50代以上の男性は「主に女性」、30代男性は「共同して分担」が最も多くなっている。

○　60代女性は「主に女性」が全体より17.4ポイント多くなっている。30・40・60代の男性は「共同して分担」が全体より約10～20ポイント多くなっている。

【性年代別　実際の家庭における役割分担　－　家事】



② 育児（子どもの世話、教育など）

【全体】

○ 育児（子どもの世話、教育など）について、「主に女性」が33.0％で最も多く、次いで「共同して分担」が21.1％、「その他」が1.3％となっている。

【性別】

○ 性別でみると、女性、男性ともに「主に女性」が最も多くなっている。

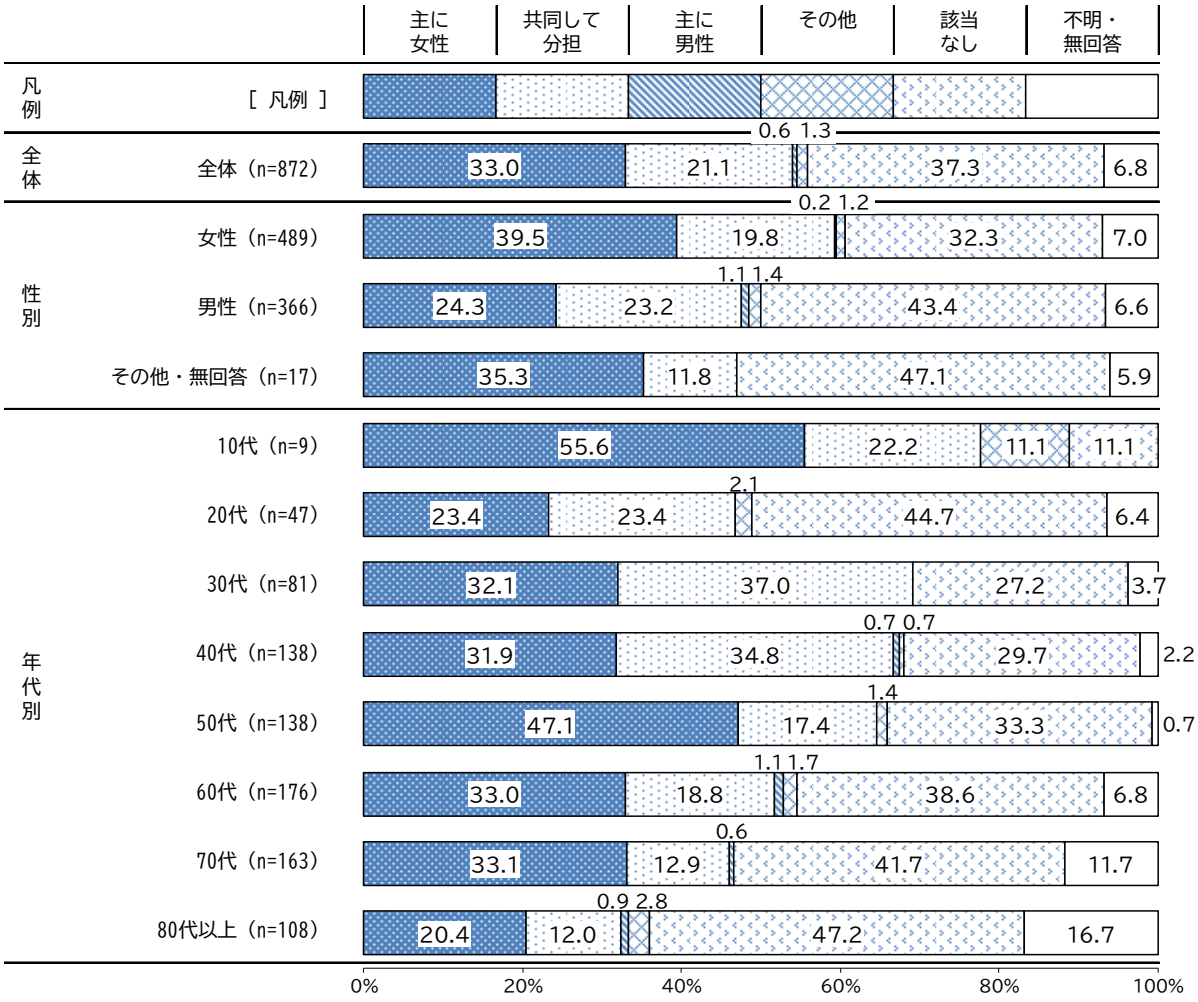
○ 女性は「主に女性」が男性より15.2ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10代、50代以上は「主に女性」、20代は「主に女性」と「共同して分担」、30・40代は「共同して分担」が最も多くなっている。

○ 30・40代は「共同して分担」が全体より約10～20ポイント多くなっている。50代は「主に女性」が全体より14.1ポイント多くなっている。

【性別、年代別　実際の家庭における役割分担　－　育児】

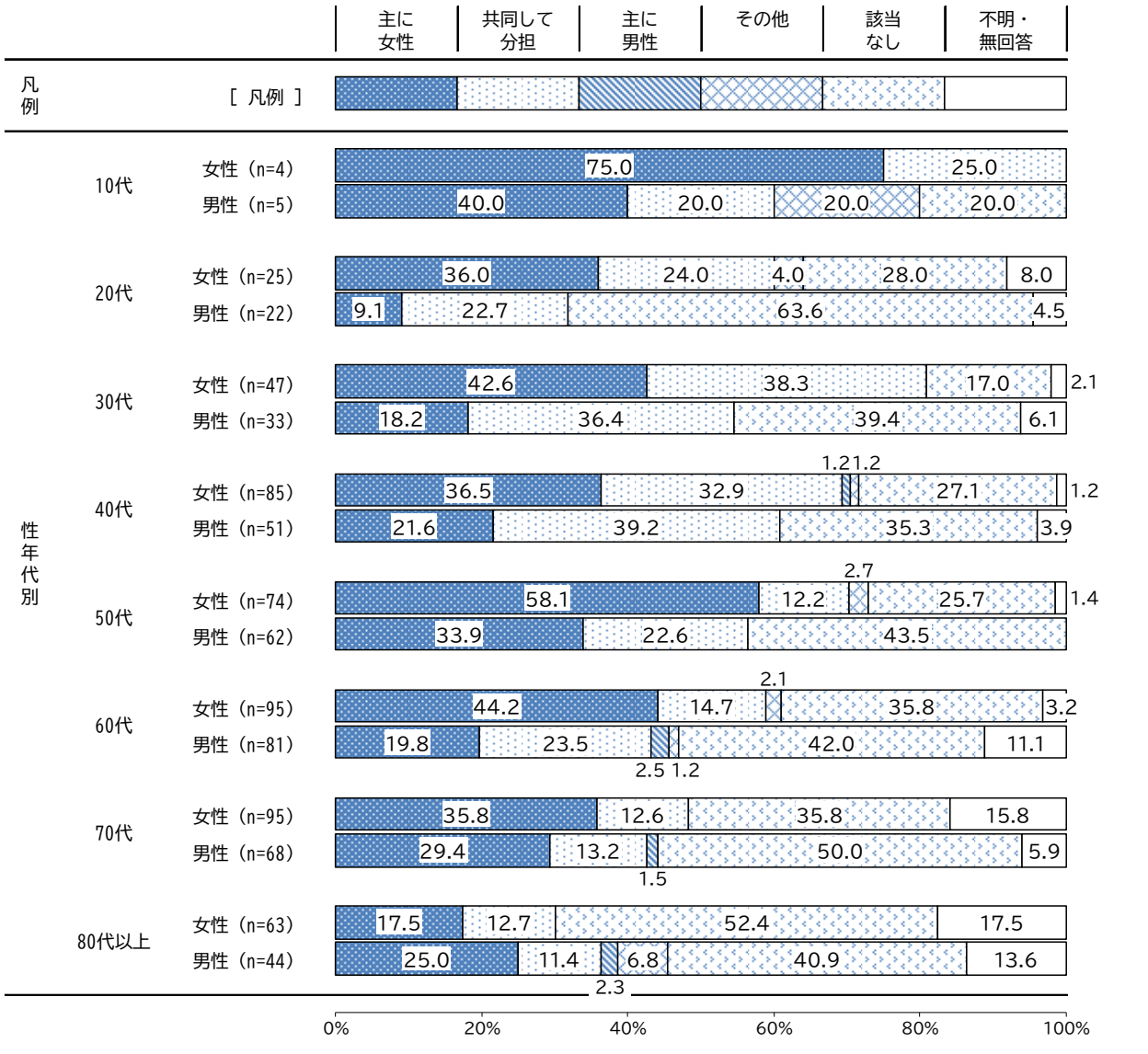


【性年代別】

○　性年代別でみると、全年代の女性、10･50代、70代以上の男性は「主に女性」、20～40代、60代の男性は「共同して分担」が最も多くなっている。

○　50･60代の女性は「主に女性」が全体より約10～30ポイント多くなっている。30･40代の男女は「共同して分担」が全体より約10～20ポイント多くなっている。

【性年代別　実際の家庭における役割分担　－　育児】



③ PTA活動や子どもの学校行事への参加

【全体】

○　PTA活動や子どもの学校行事への参加について、「主に女性」が31.4％で最も多く、次いで「共同して分担」が17.1％、「主に男性」が3.6％となっている。

【性別】

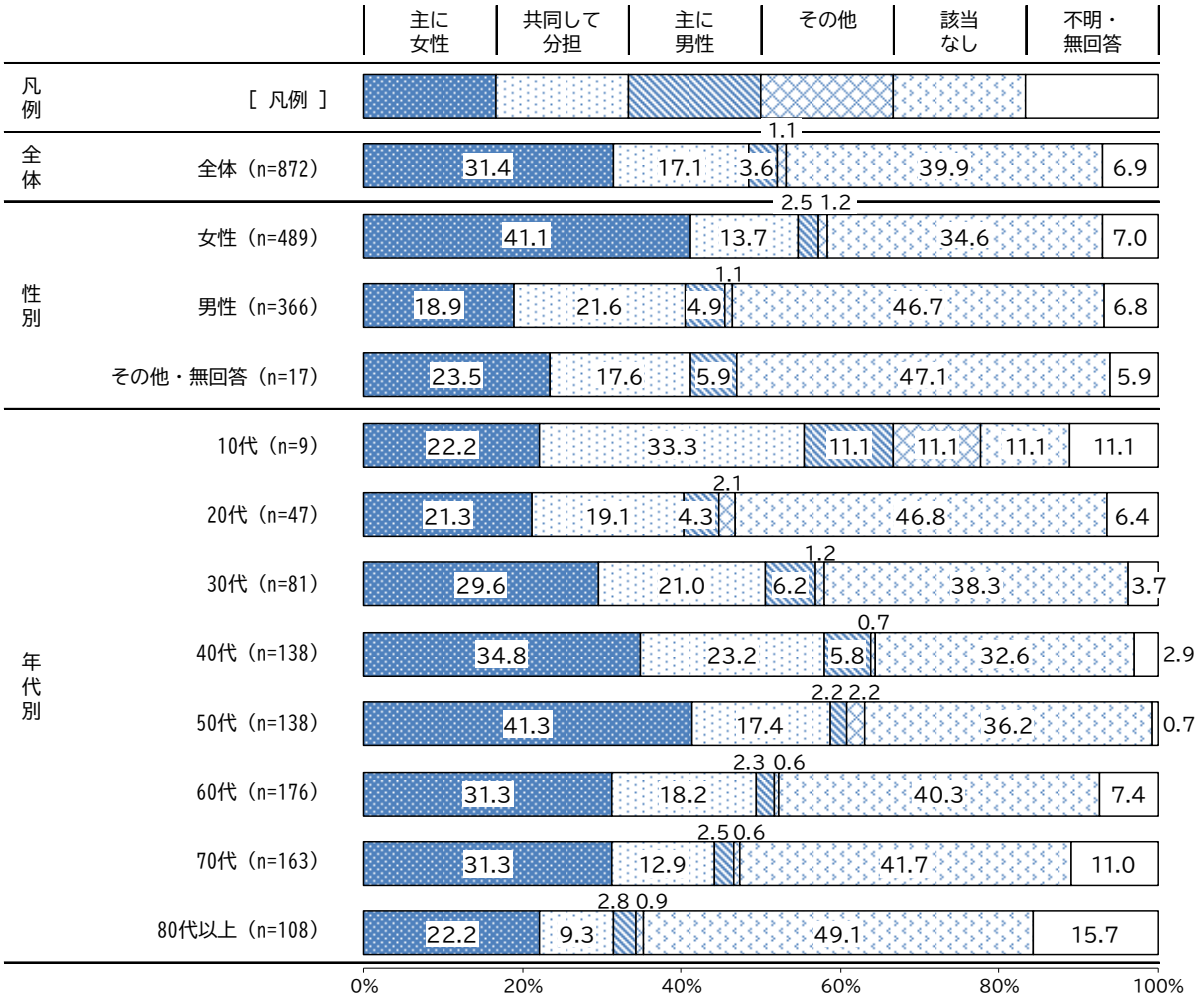
○　性別でみると、女性は「主に女性」、男性は「共同して分担」が最も多くなっている。

○　女性は「主に女性」が男性より22.2ポイント多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10代は「共同して分担」、20代以上は「主に女性」が最も多くなっている。

【性別、年代別　実際の家庭における役割分担　－　PTA活動や子どもの学校行事への参加】

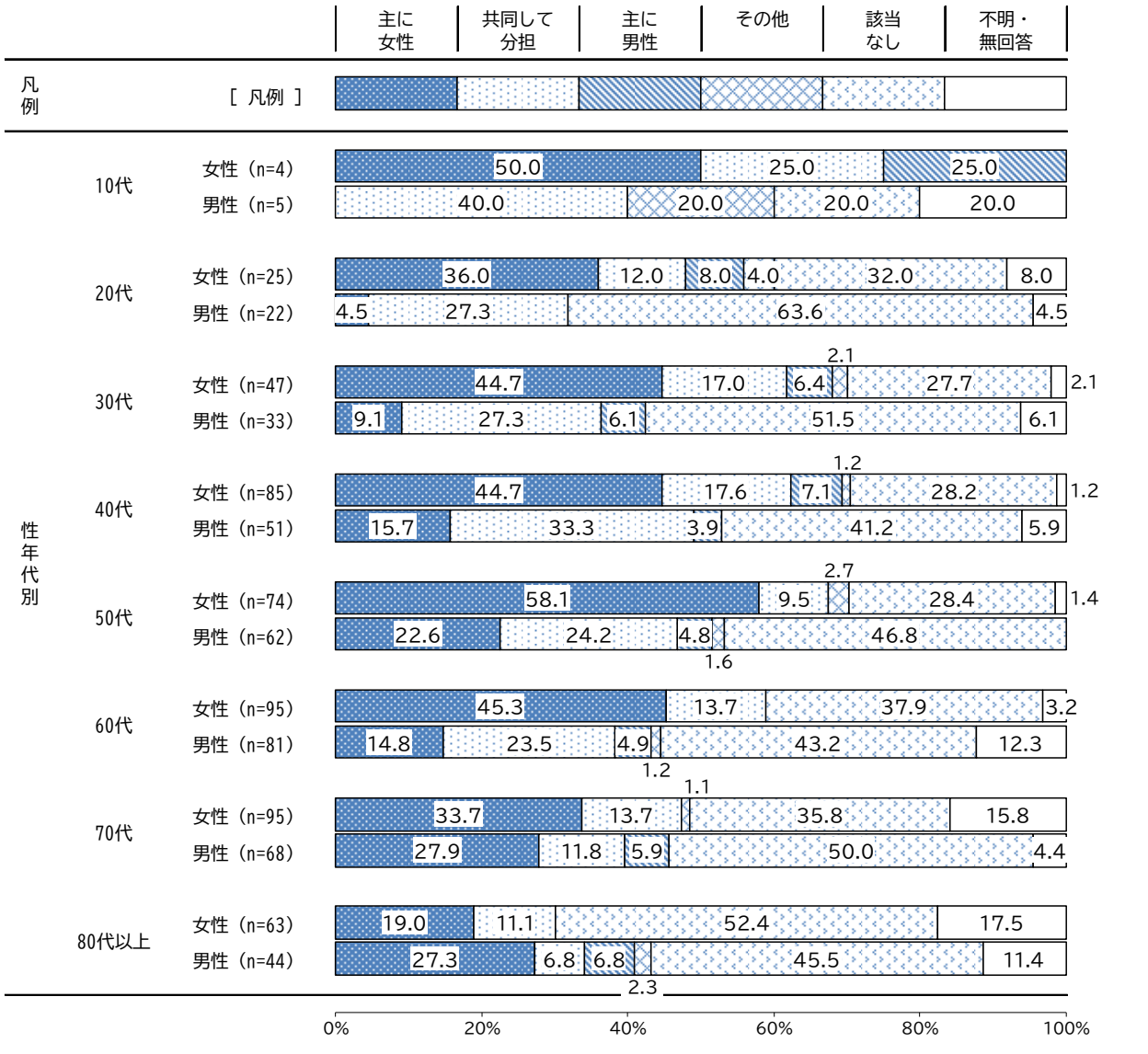


【性年代別】

○　性年代別でみると、全年代の女性、70代以上の男性は「主に女性」、10～60代の男性は「共同して分担」が最も多くなっている。

○　30～60代の女性は「主に女性」が全体より約10～30ポイント多くなっている。40代男性は「共同して分担」が全体より16.2ポイント多くなっている。

【性年代別　実際の家庭における役割分担　－　PTA活動や子どもの学校行事への参加】



④ 介護（介護や病人の看護など）

【全体】

○　介護（介護や病人の看護など）について、「主に女性」が24.4％で最も多く、次いで「共同して分担」が16.6％、「主に男性」が2.6％となっている。

【性別】

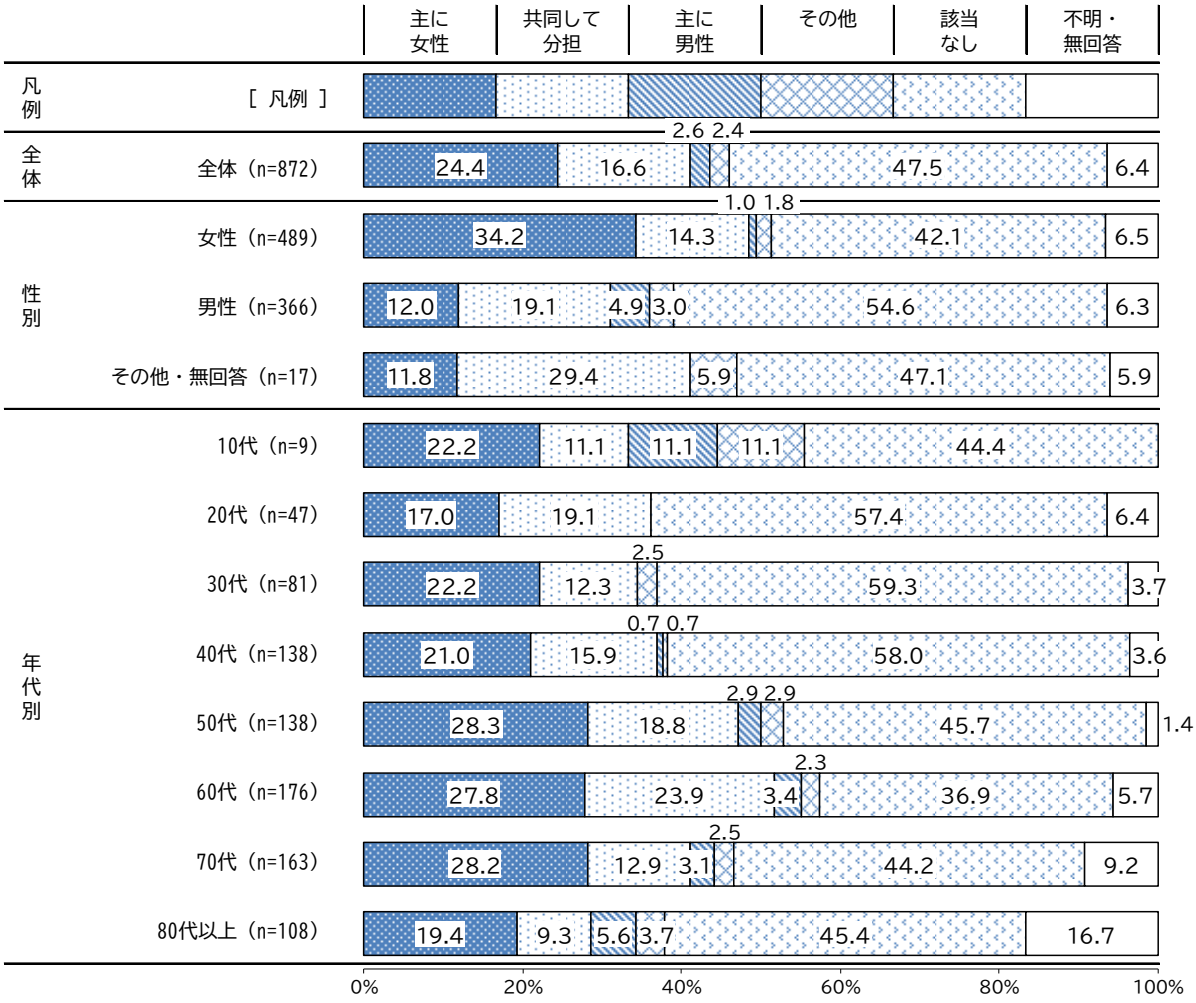
○　性別でみると、女性は「主に女性」、男性は「共同して分担」が最も多くなっている。

○　女性は「主に女性」が男性より22.2ポイント多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10代、30代以上は「主に女性」、20代は「共同して分担」が最も多くなっている。

【性別、年代別　実際の家庭における役割分担　－　介護】

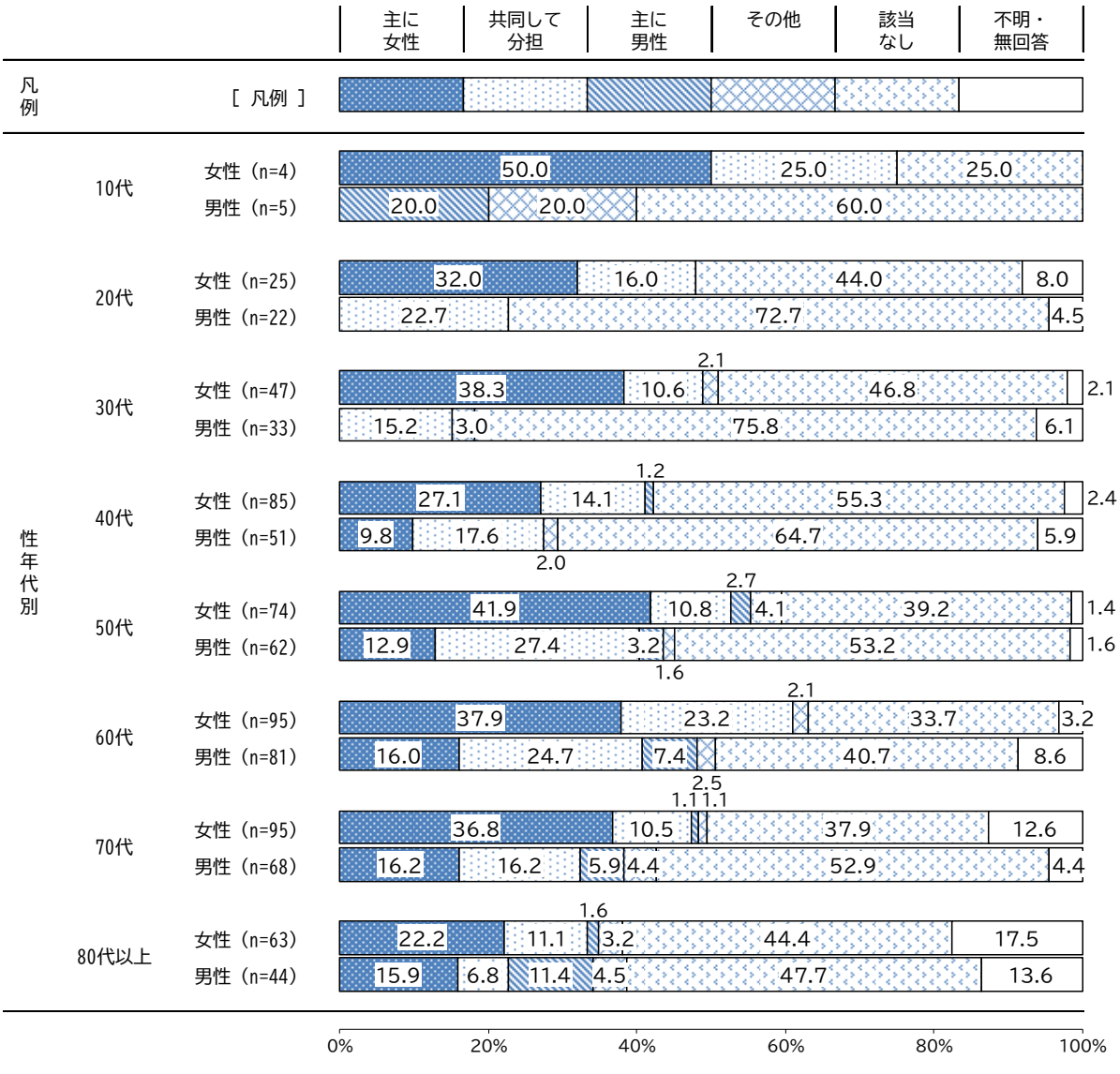


【性年代別】

○　性年代別でみると、全年代の女性、80代以上男性は「主に女性」、10代男性は「主に男性」と「その他」、20～60代の男性は「共同して分担」、70代男性は「主に女性」と「共同して分担」が最も多くなっている。

○　30代、50～70代の女性は「主に女性」が全体より約10～20ポイント多くなっている。50代男性は「共同して分担」が全体より10.8ポイント多くなっている。

【性年代別　実際の家庭における役割分担　－　介護】



⑤ 町内会など地域行事への参加

【全体】

○ 町内会など地域行事への参加について、「主に女性」が24.5%で最も多く、次いで「共同して分担」が20.6%、「主に男性」が19.6%となっている。

【性別】

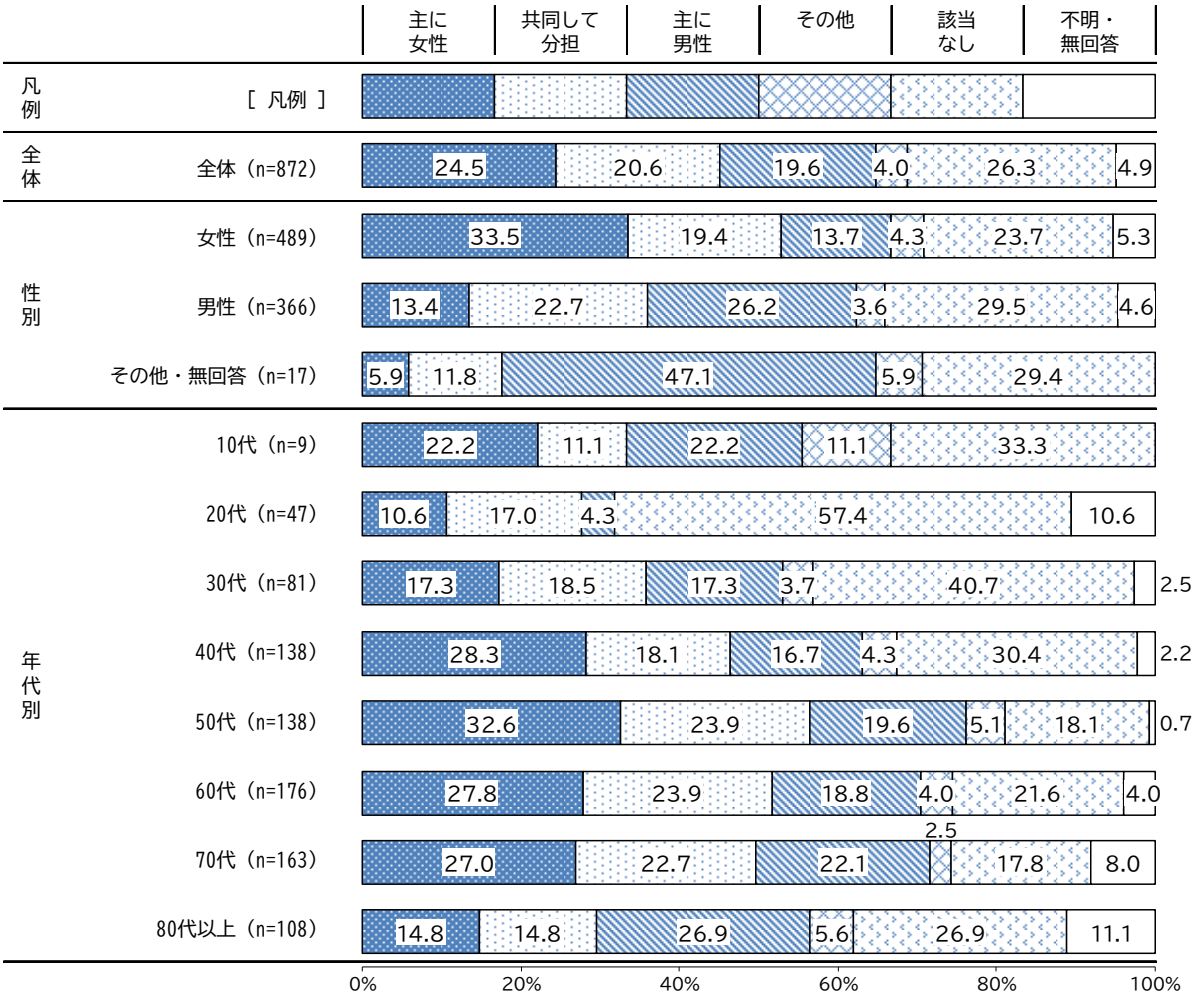
○ 性別でみると、女性は「主に女性」、男性は「主に男性」が最も多くなっている。

○ 女性は「主に女性」が男性より20.1ポイント多くなっている。男性は「主に男性」が女性より12.5ポイント多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10代は「主に女性」と「主に男性」、20・30代は「共同して分担」、40～70代は「主に女性」、80代以上は「主に男性」が最も多くなっている。

【性別、年代別 実際の家庭における役割分担 － 町内会など地域行事への参加】

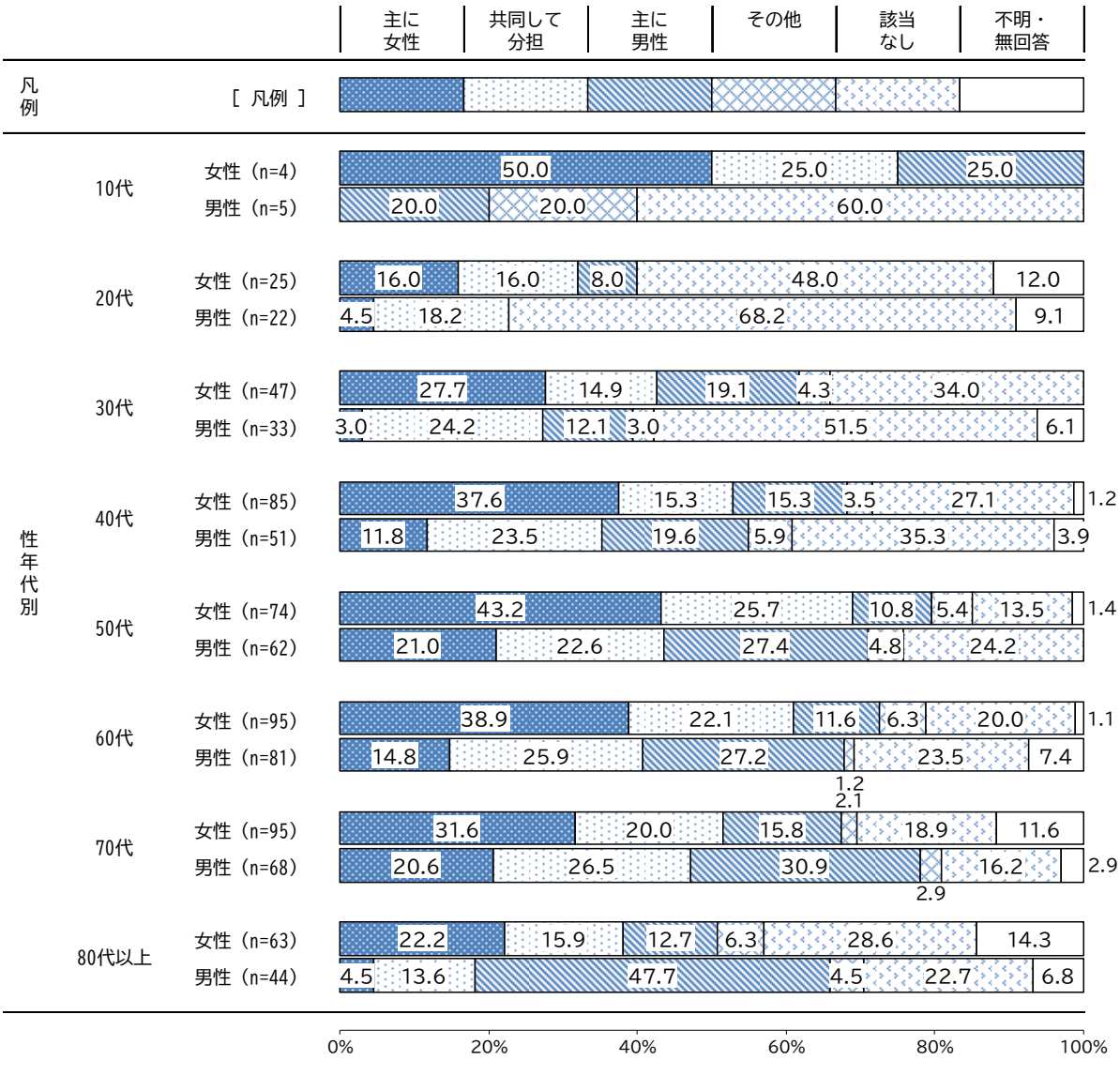


【性年代別】

○　性年代別でみると、10代、30代以上の女性は「主に女性」、10代男性は「主に男性」と「その他」、20代女性は「主に女性」と「共同して分担」、20～40代の男性は「共同して分担」、50代以上の男性は「主に男性」が最も多くなっている。

○　40～60代の女性は「主に女性」が全体より約10～20ポイント多くなっている。70代以上の男性は「主に男性」が全体より約10～30ポイント多くなっている。

【性年代別　実際の家庭における役割分担　－　町内会など地域行事への参加】



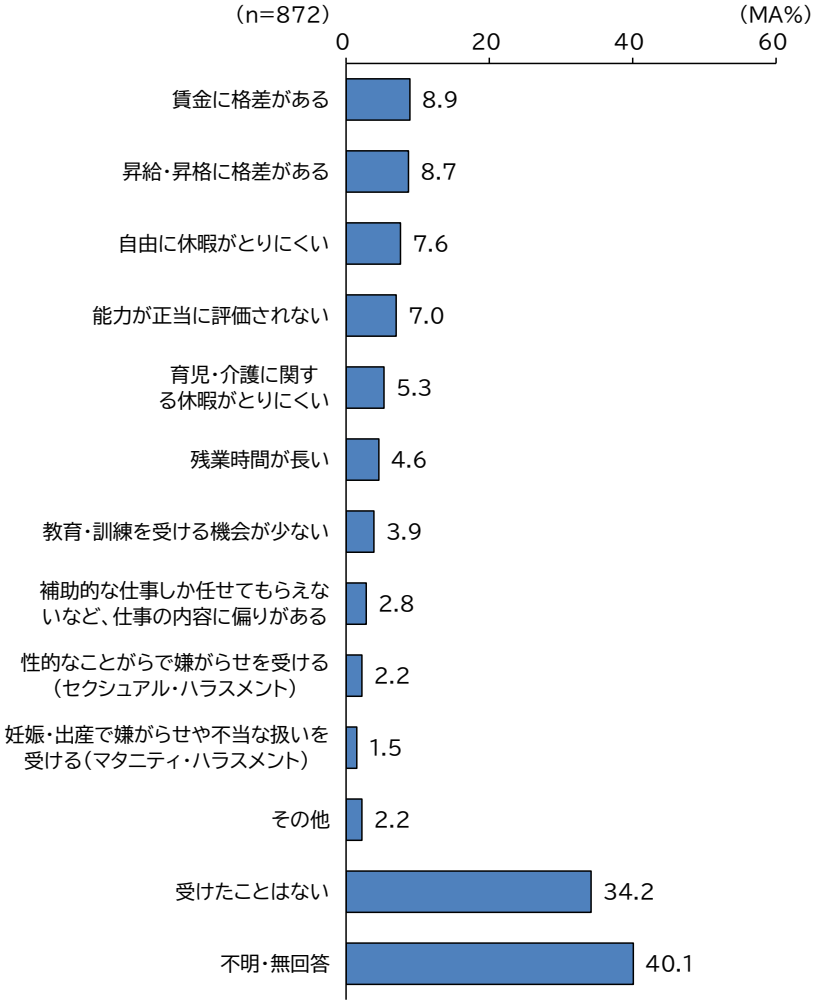
(5)職場における性別の違いによる不当な扱いの有無

問3(5) [働いている方におたずねします]あなたの職場において、次のようなことで、性別の違いによる不当な扱いをされたことがありますか。(○はいくつでも)

【全体】

○ 職場における性別の違いによる不当な扱いの有無について、「受けたことはない」が34.2%で最も多く、次いで「賃金に格差がある」が8.9%、「昇給・昇格に格差がある」が8.7%となっている。

【職場における性別の違いによる不当な扱いの有無】



【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「受けたことはない」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、いずれも「受けたことはない」が最も多くなっている。

【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性は「賃金に格差がある」、「昇給・昇格に格差がある」、「自由に休暇がとりにくい」、「受けたことはない」、20代以上の女性、全年代の男性は「受けたことはない」が最も多くなっている。

○　30代女性は「性的なことがらで嫌がらせを受ける（セクシュアル・ハラスメント）」が全体より16.9ポイント多くなっている。30・50代の男性は「残業時間が長い」が全体より約10ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　職場における性別の違いによる不当な扱いの有無】

単位：%

		母数（n）	職場における性別の違いによる不当な扱いの有無												
			賃金に格差がある	昇給・昇格に格差がある	自由に休暇がとりにくい	能力が正当に評価されない	育児・介護に関する休暇がとりにくい	残業時間が長い	教育・訓練を受ける機会が少ない	補助的な仕事しか任せてもらえないなど、仕事の内容に偏りがある	性的なことがらで嫌がらせを受ける（セクシュアル・ハラスメント）	妊娠・出産で嫌がらせや不当な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）	その他	受けたことはない	不明・無回答
全体		872	8.9	8.7	7.6	7.0	5.3	4.6	3.9	2.8	2.2	1.5	2.2	34.2	40.1
性別	女性	489	10.2	9.6	7.0	6.7	5.7	1.6	4.9	2.9	3.3	2.0	2.2	31.5	43.4
	男性	366	6.8	7.4	8.5	7.4	4.6	8.2	2.2	2.7	0.8	0.5	2.2	38.0	35.8
	その他・無回答	17	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9	11.8	11.8	－	－	5.9	－	29.4	41.2
年代別	10代	9	11.1	11.1	11.1	－	－	－	－	－	－	－	－	44.4	44.4
	20代	47	6.4	4.3	6.4	2.1	－	2.1	4.3	－	－	－	－	55.3	29.8
	30代	81	9.9	13.6	14.8	8.6	9.9	8.6	2.5	6.2	11.1	3.7	1.2	40.7	19.8
	40代	138	10.9	10.1	8.7	11.6	6.5	3.6	9.4	8.0	5.1	2.2	5.1	55.8	6.5
	50代	138	12.3	16.7	8.7	11.6	9.4	9.4	6.5	2.9	－	2.9	4.3	46.4	12.3
	60代	176	11.4	9.7	10.2	9.1	5.1	5.1	2.3	1.7	1.7	1.1	1.1	34.7	37.5
	70代	163	6.1	3.7	4.9	2.5	3.7	1.8	1.8	0.6	－	0.6	1.8	14.7	73.0
	80代以上	108	2.8	0.9	－	0.9	0.9	0.9	－	－	－	－	－	4.6	91.7
性年代別	10代　女性	4	25.0	25.0	25.0	－	－	－	－	－	－	－	－	25.0	50.0
	10代　男性	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	60.0	40.0
	20代　女性	25	8.0	8.0	12.0	4.0	－	－	4.0	－	－	－	－	48.0	32.0
	20代　男性	22	4.5	－	－	－	－	4.5	4.5	－	－	－	－	63.6	27.3
	30代　女性	47	14.9	19.1	17.0	8.5	10.6	4.3	2.1	8.5	19.1	6.4	2.1	38.3	19.1
	30代　男性	33	3.0	6.1	12.1	9.1	9.1	15.2	3.0	3.0	－	－	－	45.5	18.2
	40代　女性	85	10.6	9.4	7.1	10.6	7.1	1.2	11.8	7.1	7.1	3.5	4.7	55.3	8.2
	40代　男性	51	9.8	11.8	11.8	13.7	5.9	7.8	5.9	9.8	2.0	－	5.9	56.9	3.9
	50代　女性	74	14.9	18.9	4.1	12.2	8.1	1.4	9.5	4.1	－	2.7	5.4	36.5	21.6
	50代　男性	62	8.1	12.9	12.9	9.7	9.7	17.7	1.6	1.6	－	1.6	3.2	59.7	1.6
	60代　女性	95	10.5	9.5	8.4	8.4	5.3	3.2	2.1	1.1	1.1	1.1	－	38.9	38.9
	60代　男性	81	12.3	9.9	12.3	9.9	4.9	7.4	2.5	2.5	2.5	1.2	2.5	29.6	35.8
	70代　女性	95	8.4	3.2	5.3	2.1	5.3	1.1	3.2	－	－	1.1	2.1	9.5	77.9
	70代　男性	68	2.9	4.4	4.4	2.9	1.5	2.9	－	1.5	－	－	1.5	22.1	66.2
	80代以上　女性	63	3.2	1.6	－	－	1.6	－	－	－	－	－	－	4.8	92.1
	80代以上　男性	44	2.3	－	－	2.3	－	2.3	－	－	－	－	－	4.5	90.9

(6)望ましい女性の働き方

問3(6) 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのはどれですか。(○は1つ)

【全体】

○ 望ましい女性の働き方について、「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が63.4%で最も多く、次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」が14.3%、「わからない」が7.3%となっている。

【性別】

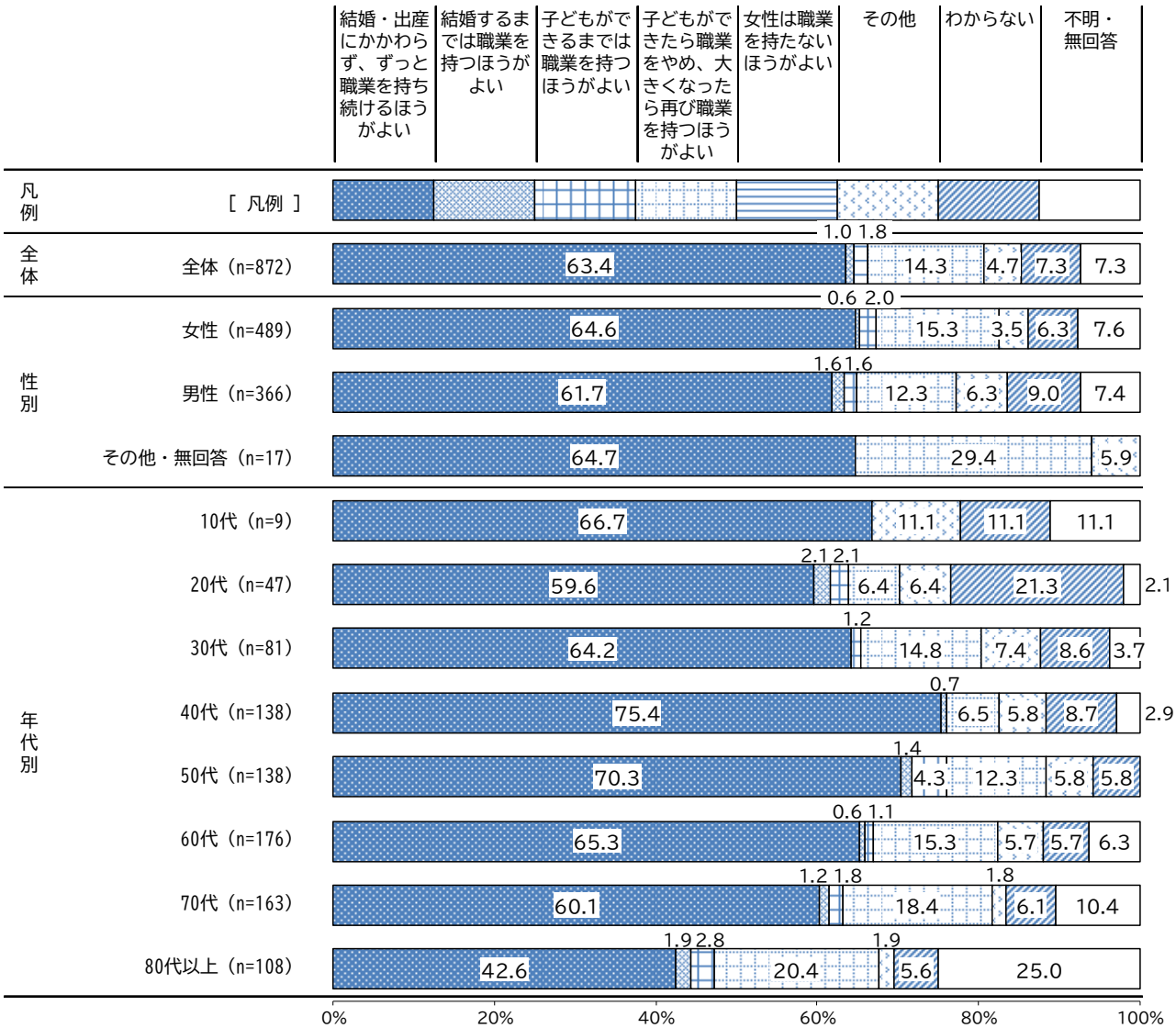
○ 性別でみると、女性、男性ともに「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が最も多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、いずれも「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が最も多くなっている。

○ 20代は「わからない」が全体より14.0ポイント多くなっている。40代は「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が全体より12.0ポイント多くなっている。

【性別、年代別 望ましい女性の働き方】

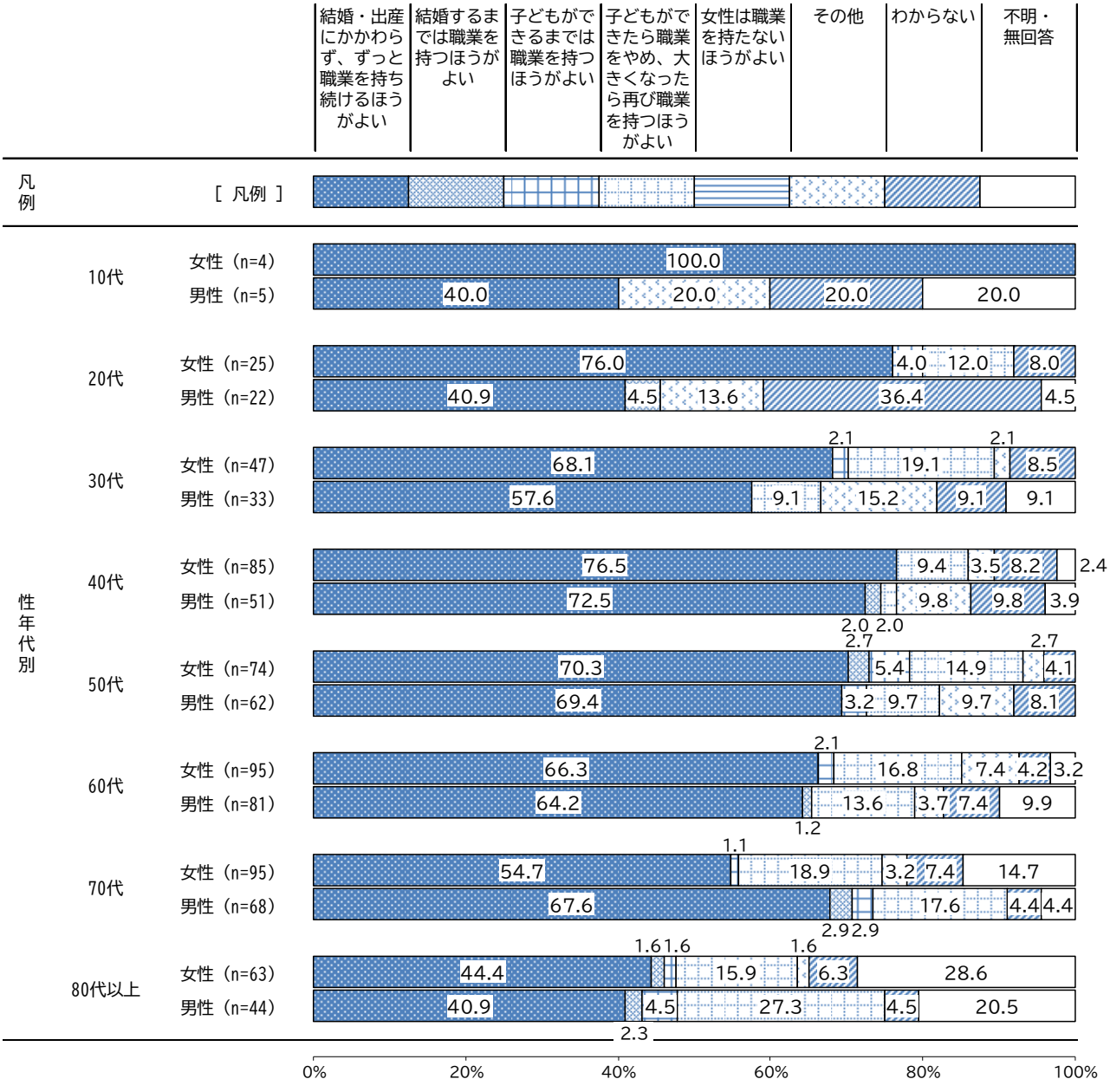


【性年代別】

○　性年代別でみると、いずれも「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が最も多くなっている。

○　40代女性は「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が全体より13.1ポイント多くなっている。30代男性は「その他」が全体より10.5ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より29.1ポイント多くなっている。80代以上男性は「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」が全体より13.0ポイント多くなっている。

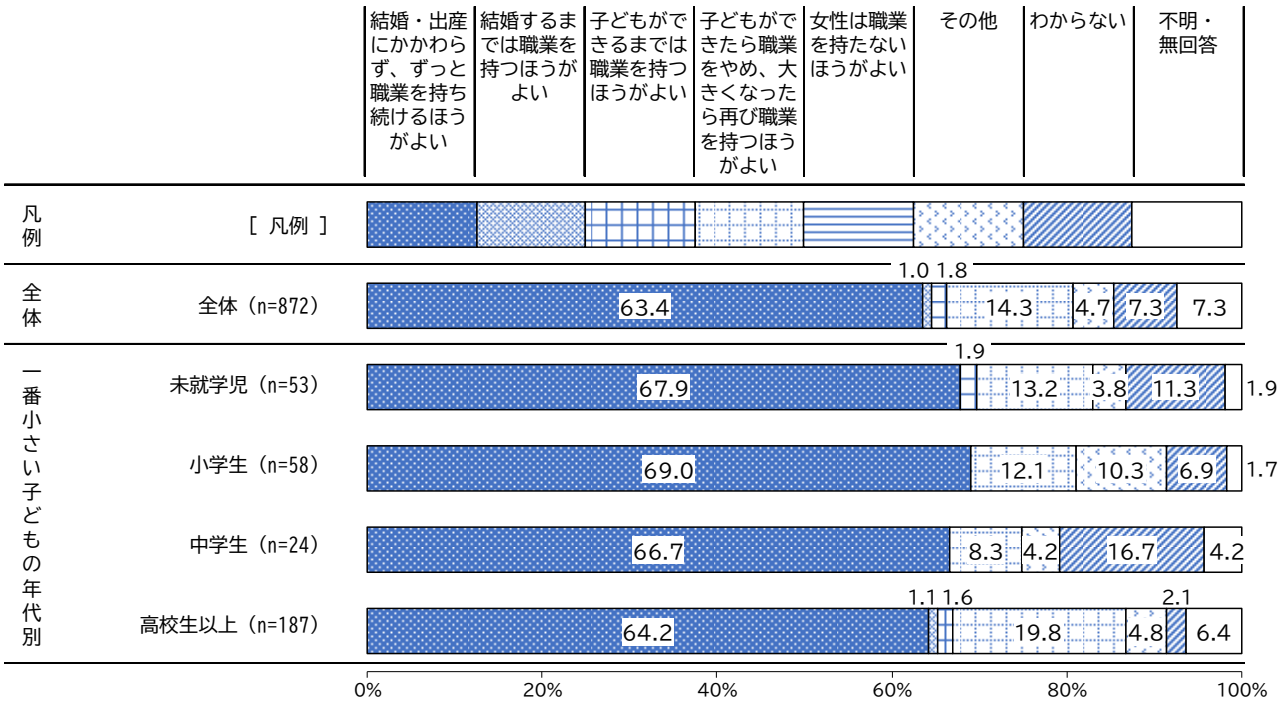
【性年代別　望ましい女性の働き方】



【一番小さい子どもの年代別】

○　一番小さい子どもの年代別でみると、いずれも「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」が最も多くなっている。

【一番小さい子どもの年代別　望ましい女性の働き方】



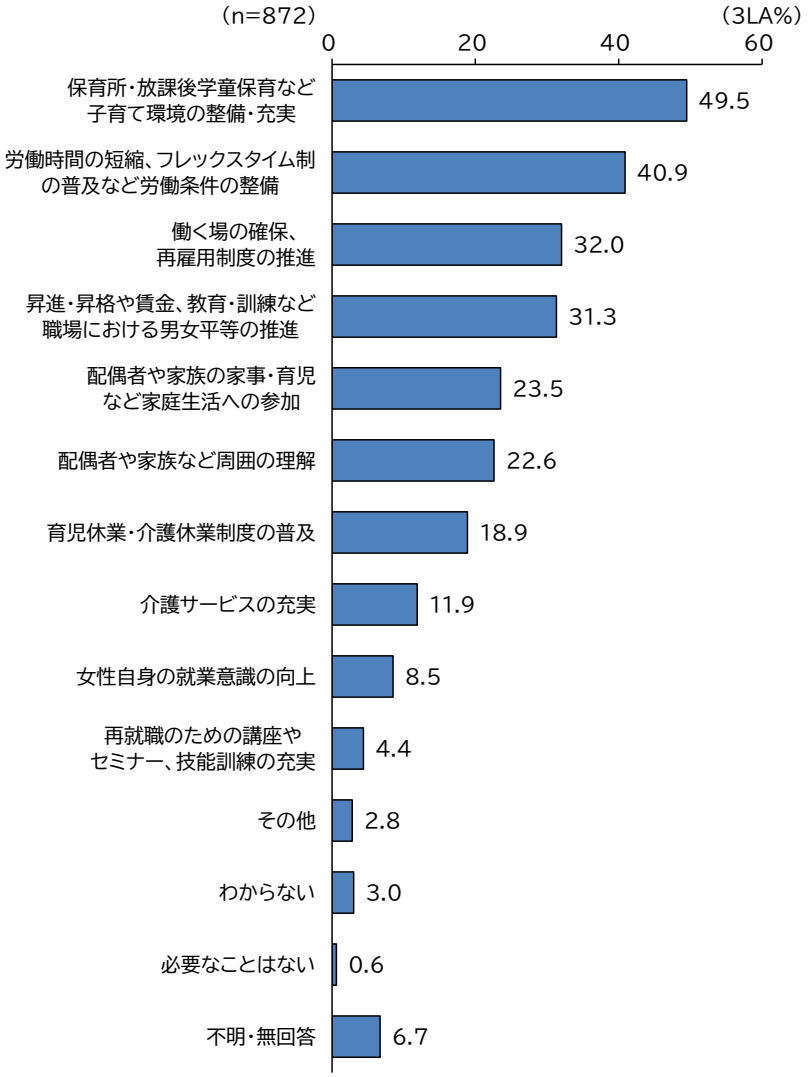
(7)女性の就労継続・再就職のために必要だと思うこと

問3(7) あなたは、女性が希望どおり働き続けたり、再就職したりするために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

○ 女性の就労継続・再就職のために必要だと思うことについて、「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」が49.5%で最も多く、次いで「労働時間の短縮、フレックスタイム制の普及など労働条件の整備」が40.9%、「働く場の確保、再雇用制度の推進」が32.0%となっている。

【女性の就労継続・再就職のために必要だと思うこと】



【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10代は「昇進・昇格や賃金、教育・訓練など職場における男女平等の推進」、「労働時間の短縮、フレックスタイム制の普及など労働条件の整備」、「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」、20代以上は「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」が最も多くなっている。

【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性は「昇進・昇格や賃金、教育・訓練など職場における男女平等の推進」、10代男性は「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」、「労働時間の短縮、フレックスタイム制の普及など労働条件の整備」、「配偶者や家族の家事・育児など家庭生活への参加」、「育児休業・介護休業制度の普及」、20代女性、80代以上男性は「働く場の確保、再雇用制度の推進」、30代以上の女性、20～70代の男性は「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」が最も多くなっている。

○　40代女性は「配偶者や家族の家事・育児など家庭生活への参加」が全体より17.7ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より15.2ポイント多くなっている。

【一番小さい子どもの年代別】

○　一番小さい子どもの年代別でみると、未就学児、小学生、高校生以上は「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」、中学生は「労働時間の短縮、フレックスタイム制の普及など労働条件の整備」が最も多くなっている。

○　未就学児は「保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実」が全体より22.2ポイント多くなっている。小学生は「配偶者や家族の家事・育児など家庭生活への参加」が全体より19.6ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別、一番小さい子どもの年代別　女性の就労継続･再就職のために必要だと思うこと】

単位：%

		母数(n)	女性の就労継続・再就職のために必要だと思うこと													
			保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実	労働時間の短縮、フレックスタイム制の普及など労働条件の整備	働く場の確保、再雇用制度の推進	昇進・昇格や賃金、教育・訓練など職場における男女平等の推進	配偶者や家族の家事・育児など家庭生活への参加	配偶者や家族など周囲の理解	育児休業・介護休業制度の普及	介護サービスの充実	女性自身の就業意識の向上	再就職のための講座やセミナー、技能訓練の充実	その他	わからない	必要なことはない	不明・無回答
全体		872	49.5	40.9	32.0	31.3	23.5	22.6	18.9	11.9	8.5	4.4	2.8	3.0	0.6	6.7
性別	女性	489	48.9	42.3	33.3	28.0	27.4	21.9	18.8	13.7	8.2	5.9	2.5	2.5	0.4	7.2
	男性	366	51.1	38.5	30.1	35.0	19.1	23.0	19.1	9.8	8.7	2.5	3.0	3.8	0.8	6.3
	その他・無回答	17	35.3	52.9	35.3	47.1	5.9	35.3	17.6	5.9	11.8	－	5.9	－	－	－
年代別	10代	9	44.4	44.4	22.2	44.4	22.2	－	33.3	11.1	－	11.1	－	－	－	11.1
	20代	47	42.6	36.2	34.0	31.9	21.3	12.8	25.5	2.1	8.5	4.3	2.1	10.6	2.1	2.1
	30代	81	66.7	50.6	30.9	27.2	27.2	18.5	17.3	9.9	11.1	1.2	3.7	1.2	－	3.7
	40代	138	52.9	42.8	34.8	35.5	33.3	22.5	21.0	10.9	8.7	3.6	6.5	0.7	－	2.2
	50代	138	47.8	44.2	39.9	31.2	23.9	24.6	15.9	19.6	6.5	6.5	5.8	1.4	0.7	－
	60代	176	54.5	43.2	35.8	30.7	27.3	23.3	20.5	14.2	8.5	5.7	0.6	1.7	0.6	3.4
	70代	163	45.4	39.9	21.5	36.8	20.9	28.2	17.2	7.4	11.0	2.5	0.6	2.5	0.6	11.7
	80代以上	108	36.1	24.1	29.6	19.4	8.3	18.5	15.7	13.9	6.5	5.6	－	9.3	0.9	23.1
性年代別	10代　女性	4	50.0	50.0	25.0	75.0	－	－	25.0	25.0	－	25.0	－	－	－	－
	男性	5	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	－	40.0	－	－	－	－	－	－	20.0
	20代　女性	25	36.0	40.0	44.0	32.0	24.0	20.0	36.0	－	8.0	8.0	－	4.0	－	－
	男性	22	50.0	31.8	22.7	31.8	18.2	4.5	13.6	4.5	9.1	－	4.5	18.2	4.5	4.5
	30代　女性	47	68.1	59.6	42.6	27.7	31.9	14.9	17.0	12.8	8.5	2.1	4.3	－	－	－
	男性	33	66.7	39.4	15.2	24.2	21.2	24.2	18.2	6.1	15.2	－	3.0	3.0	－	9.1
	40代　女性	85	52.9	47.1	32.9	35.3	41.2	20.0	22.4	11.8	8.2	4.7	4.7	－	－	1.2
	男性	51	52.9	37.3	35.3	35.3	21.6	25.5	19.6	9.8	7.8	2.0	9.8	2.0	－	3.9
	50代　女性	74	44.6	43.2	40.5	29.7	31.1	23.0	17.6	21.6	2.7	12.2	6.8	1.4	1.4	－
	男性	62	53.2	43.5	38.7	32.3	16.1	27.4	14.5	16.1	9.7	－	4.8	1.6	－	－
	60代　女性	95	56.8	47.4	38.9	26.3	30.5	26.3	14.7	12.6	10.5	7.4	1.1	1.1	－	2.1
	男性	81	51.9	38.3	32.1	35.8	23.5	19.8	27.2	16.0	6.2	3.7	－	2.5	1.2	4.9
	70代　女性	95	40.0	37.9	20.0	27.4	21.1	26.3	18.9	10.5	10.5	3.2	－	3.2	－	16.8
	男性	68	52.9	42.6	23.5	50.0	20.6	30.9	14.7	2.9	11.8	1.5	1.5	1.5	1.5	4.4
	80代以上　女性	63	39.7	20.6	27.0	15.9	9.5	17.5	14.3	19.0	7.9	3.2	－	9.5	1.6	25.4
	男性	44	31.8	29.5	34.1	25.0	6.8	18.2	18.2	6.8	4.5	9.1	－	9.1	－	20.5
一番小さい子どもの年代別	未就学児	53	71.7	54.7	30.2	28.3	28.3	20.8	18.9	3.8	7.5	－	5.7	－	－	1.9
	小学生	58	58.6	48.3	36.2	29.3	43.1	24.1	6.9	5.2	8.6	5.2	5.2	－	－	1.7
	中学生	24	41.7	54.2	45.8	37.5	20.8	25.0	12.5	4.2	8.3	4.2	8.3	－	－	4.2
	高校生以上	187	51.3	43.3	34.2	30.5	25.1	23.5	19.3	16.0	5.9	8.0	1.1	1.6	0.5	5.3

(8)男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと

問3(8)　女性と男性がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくためには、次の(ア)と(イ)それぞれの場面において、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(項目ごとに○は3つまで)

(ア)家庭生活等において必要なこと

【全体】

○　(ア)家庭生活等において必要なことについて、「配偶者や家族間で、お互いに相手を尊重し合うこと」が68.6%で最も多く、次いで「配偶者や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が61.5%、「社会の中で男性の家事・育児などに参加することに対する意識を変えること」が41.5%となっている。

【性別】

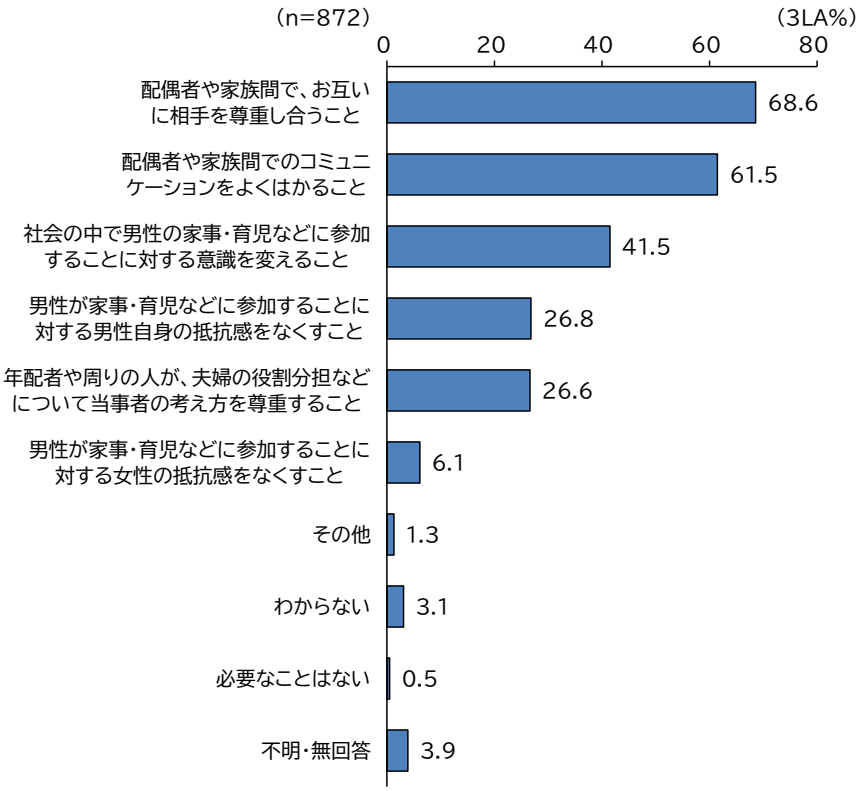
○　性別でみると、女性、男性ともに「配偶者や家族間で、お互いに相手を尊重し合うこと」が最も多くなっている。

○　女性は「社会の中で男性の家事・育児などに参加することに対する意識を変えること」が男性より12.8ポイント多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、いずれも「配偶者や家族間で、お互いに相手を尊重し合うこと」が最も多くなっている。

【家庭生活等において男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと】



【性年代別】

○　性年代別でみると、40代女性は「社会の中で男性の家事・育児などに参加することに対する意識を変えること」が全体より20.9ポイント多くなっている。80代以上女性は「年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重すること」が全体より14.7ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より19.6ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　家庭生活等において男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと】

単位：%

		母数（n）	（ア）家庭生活等において必要なこと									
			配偶者や家族間で、お互いに相手を尊重し合うこと	配偶者や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	社会の中で男性の家事・育児などに参加することに対する意識を変えること	男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重すること	男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	その他	わからない	必要なことはない	不明・無回答
全体		872	68.6	61.5	41.5	26.8	26.6	6.1	1.3	3.1	0.5	3.9
性別	女性	489	66.7	60.9	47.0	28.2	30.9	5.3	0.6	2.0	0.4	4.3
	男性	366	71.6	61.5	34.2	25.1	21.3	7.1	2.2	4.4	0.5	3.6
	その他・無回答	17	58.8	76.5	41.2	23.5	17.6	5.9	－	5.9	－	－
年代別	10代	9	88.9	66.7	44.4	44.4	22.2	－	－	－	－	11.1
	20代	47	63.8	57.4	34.0	23.4	12.8	6.4	4.3	10.6	2.1	2.1
	30代	81	76.5	60.5	42.0	35.8	21.0	8.6	－	－	－	－
	40代	138	72.5	66.7	48.6	21.0	20.3	5.1	2.2	2.9	－	1.4
	50代	138	73.9	67.4	46.4	26.8	27.5	6.5	2.2	1.4	－	0.7
	60代	176	70.5	68.2	40.9	27.3	28.4	5.7	1.7	4.0	－	1.7
	70代	163	63.8	55.2	44.8	29.4	33.1	6.1	－	1.8	1.2	6.1
	80代以上	108	56.5	45.4	24.1	25.0	31.5	5.6	－	4.6	0.9	14.8
性年代別	10代　女性	4	100.0	50.0	75.0	50.0	25.0	－	－	－	－	－
	10代　男性	5	80.0	80.0	20.0	40.0	20.0	－	－	－	－	20.0
	20代　女性	25	76.0	64.0	44.0	28.0	16.0	8.0	4.0	－	－	－
	20代　男性	22	50.0	50.0	22.7	18.2	9.1	4.5	4.5	22.7	4.5	4.5
	30代　女性	47	72.3	63.8	51.1	40.4	27.7	6.4	－	－	－	－
	30代　男性	33	81.8	57.6	30.3	27.3	12.1	12.1	－	－	－	－
	40代　女性	85	69.4	62.4	62.4	17.6	22.4	4.7	－	1.2	－	1.2
	40代　男性	51	78.4	72.5	23.5	25.5	17.6	5.9	5.9	5.9	－	2.0
	50代　女性	74	66.2	64.9	48.6	32.4	32.4	6.8	1.4	2.7	－	1.4
	50代　男性	62	82.3	71.0	45.2	19.4	22.6	6.5	3.2	－	－	－
	60代　女性	95	67.4	70.5	48.4	32.6	32.6	2.1	1.1	3.2	－	1.1
	60代　男性	81	74.1	65.4	32.1	21.0	23.5	9.9	2.5	4.9	－	2.5
	70代　女性	95	63.2	57.9	44.2	28.4	34.7	5.3	－	1.1	1.1	7.4
	70代　男性	68	64.7	51.5	45.6	30.9	30.9	7.4	－	2.9	1.5	4.4
	80代以上　女性	63	57.1	41.3	22.2	20.6	41.3	7.9	－	4.8	1.6	17.5
	80代以上　男性	44	56.8	50.0	27.3	31.8	18.2	2.3	－	4.5	－	11.4

（イ）職場において必要なこと

【全体】

○　（イ）職場において必要なことについて、「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」が50.2％で最も多く、次いで「育児休業や介護休業などの制度が整っている、または取得しやすい雰囲気があること」が42.5％、「労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め、仕事以外の時間を多くもてるようにすること」が40.9％となっている。

【性別】

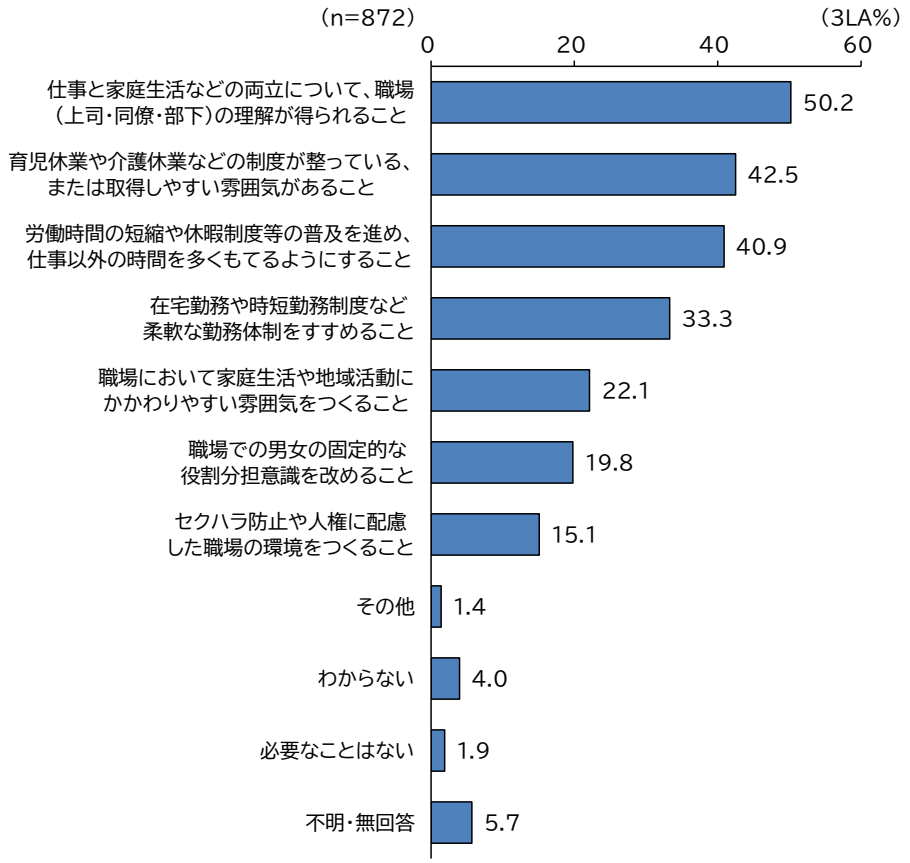
○　性別でみると、女性、男性ともに「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10代、30～60代は「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」、20代は「労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め、仕事以外の時間を多くもてるようにすること」、70代以上は「育児休業や介護休業などの制度が整っている、または取得しやすい雰囲気があること」が最も多くなっている。

○　40代は「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」が全体より11.4ポイント多くなっている。

【職場において男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと】



【性年代別】

○　性年代別でみると、30～60代の女性、10・30・50・60代の男性は「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」、20代女性、40代男性は「労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め、仕事以外の時間を多くもてるようにすること」と「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」、20代男性は「労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め、仕事以外の時間を多くもてるようにすること」が最も多くなっている。

○　70代男性は「セクハラ防止や人権に配慮した職場の環境をつくること」が全体より14.3ポイント多くなっている。30・40代の女性は「仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること」が全体より約20ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より18.7ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　職場において男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと】

単位：%

		母数(n)	（イ）職場において必要なこと										
			仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること	育児休業や介護休業などの制度が整っている、または取得しやすい雰囲気があること	労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め、仕事以外の時間を多くもてるようにすること	在宅勤務や時短勤務制度など柔軟な勤務体制をすすめること	職場において家庭生活や地域活動にかかわりやすい雰囲気をつくること	職場での男女の固定的な役割分担意識を改めること	セクハラ防止や人権に配慮した職場の環境をつくること	その他	わからない	必要なことはない	不明・無回答
全体		872	50.2	42.5	40.9	33.3	22.1	19.8	15.1	1.4	4.0	1.9	5.7
性別	女性	489	54.0	44.0	40.9	33.3	20.4	19.2	15.3	1.2	3.7	2.0	6.5
	男性	366	45.9	41.3	40.2	32.8	24.3	21.0	13.9	1.4	4.6	1.9	4.9
	その他・無回答	17	35.3	29.4	58.8	41.2	23.5	11.8	35.3	5.9	－	－	－
年代別	10代	9	55.6	22.2	44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	－	－	－	11.1
	20代	47	40.4	31.9	44.7	31.9	19.1	14.9	10.6	－	10.6	4.3	2.1
	30代	81	60.5	46.9	54.3	43.2	25.9	11.1	6.2	2.5	－	1.2	1.2
	40代	138	61.6	39.9	49.3	36.2	19.6	18.8	13.8	2.2	2.2	2.9	2.2
	50代	138	50.0	42.8	43.5	34.8	26.1	18.8	16.7	3.6	2.2	2.2	0.7
	60代	176	55.1	44.9	39.2	35.2	23.9	24.4	13.6	0.6	4.0	0.6	2.3
	70代	163	43.6	46.0	33.1	28.8	23.9	23.9	22.7	－	4.9	2.5	9.2
	80代以上	108	36.1	38.9	27.8	21.3	13.0	18.5	11.1	0.9	8.3	1.9	22.2
性年代別	10代　女性	4	50.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	－	－	－	－
	10代　男性	5	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	－	－	－	－	20.0
	20代　女性	25	48.0	32.0	48.0	36.0	28.0	12.0	16.0	－	－	4.0	－
	20代　男性	22	31.8	31.8	40.9	27.3	9.1	18.2	4.5	－	22.7	4.5	4.5
	30代　女性	47	68.1	48.9	61.7	53.2	25.5	10.6	－	2.1	－	2.1	－
	30代　男性	33	51.5	45.5	42.4	30.3	27.3	12.1	15.2	3.0	－	－	3.0
	40代　女性	85	71.8	44.7	52.9	37.6	16.5	17.6	11.8	1.2	1.2	1.2	1.2
	40代　男性	51	43.1	33.3	43.1	35.3	21.6	19.6	17.6	3.9	3.9	5.9	3.9
	50代　女性	74	47.3	41.9	44.6	32.4	21.6	21.6	17.6	4.1	4.1	4.1	1.4
	50代　男性	62	54.8	45.2	41.9	35.5	30.6	16.1	14.5	3.2	－	－	－
	60代　女性	95	61.1	49.5	32.6	32.6	18.9	22.1	20.0	1.1	3.2	－	2.1
	60代　男性	81	48.1	39.5	46.9	38.3	29.6	27.2	6.2	－	4.9	1.2	2.5
	70代　女性	95	44.2	45.3	34.7	28.4	23.2	21.1	17.9	－	6.3	2.1	12.6
	70代　男性	68	42.6	47.1	30.9	29.4	25.0	27.9	29.4	－	2.9	2.9	4.4
	80代以上　女性	63	34.9	36.5	23.8	19.0	12.7	20.6	15.9	－	7.9	3.2	25.4
	80代以上　男性	44	38.6	43.2	34.1	25.0	13.6	15.9	4.5	－	9.1	－	18.2

3.ドメスティック・バイオレンス(DV)について

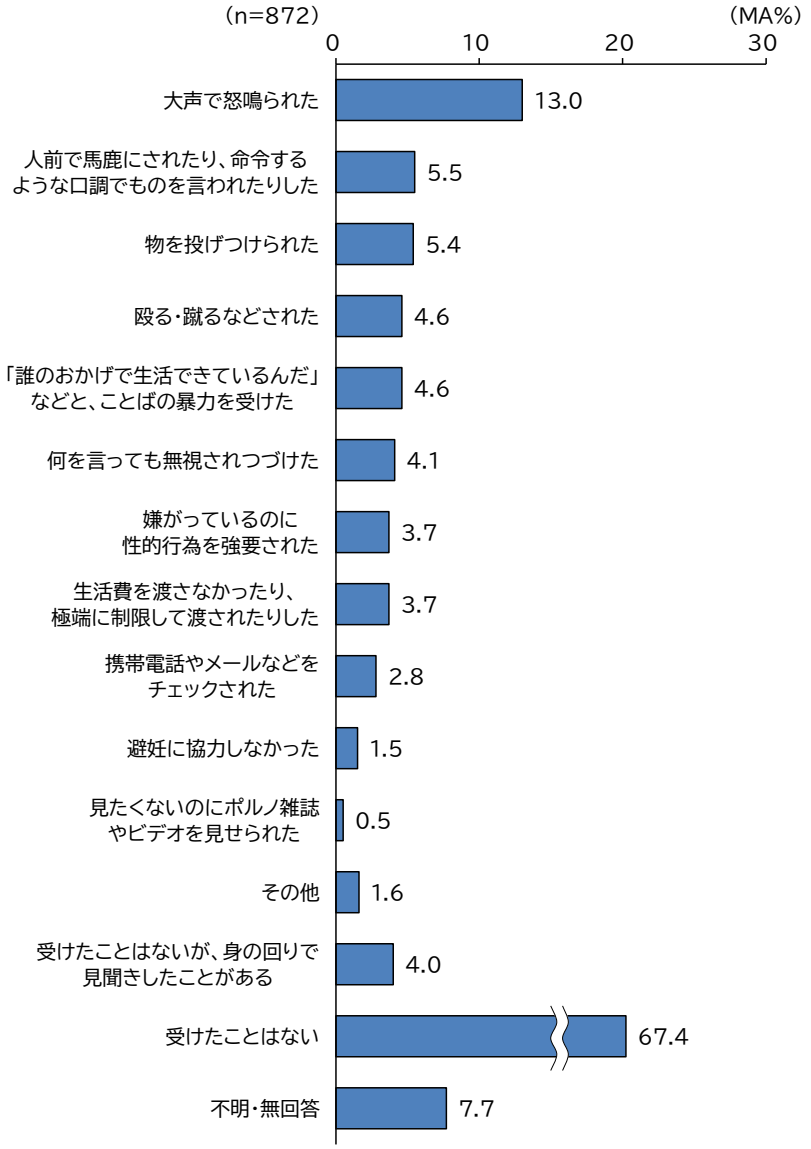
(1)配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験

問4(1)　あなたは配偶者(事実婚や同棲、離別等を含む)や恋人などのパートナーから、次のような行為をされたことがありますか。あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

【全体】

○　配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験について、「受けたことはない」が67.4%で最も多く、次いで「大声で怒鳴られた」が13.0%、「人前で馬鹿にされたり、命令するような口調でものを言われたりした」が5.5%となっている。

【配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験】



【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「受けたことはない」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、いずれも「受けたことはない」が最も多くなっている。

○　20代は「受けたことはない」が全体より22.0ポイント多くなっている。

【性年代別】

○　性年代別でみると、50・60代の女性は「大声で怒鳴られた」が全体より約10ポイント多くなっている。また、60代女性は「殴る・蹴るなどされた」が全体より10.1ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験】

単位：%

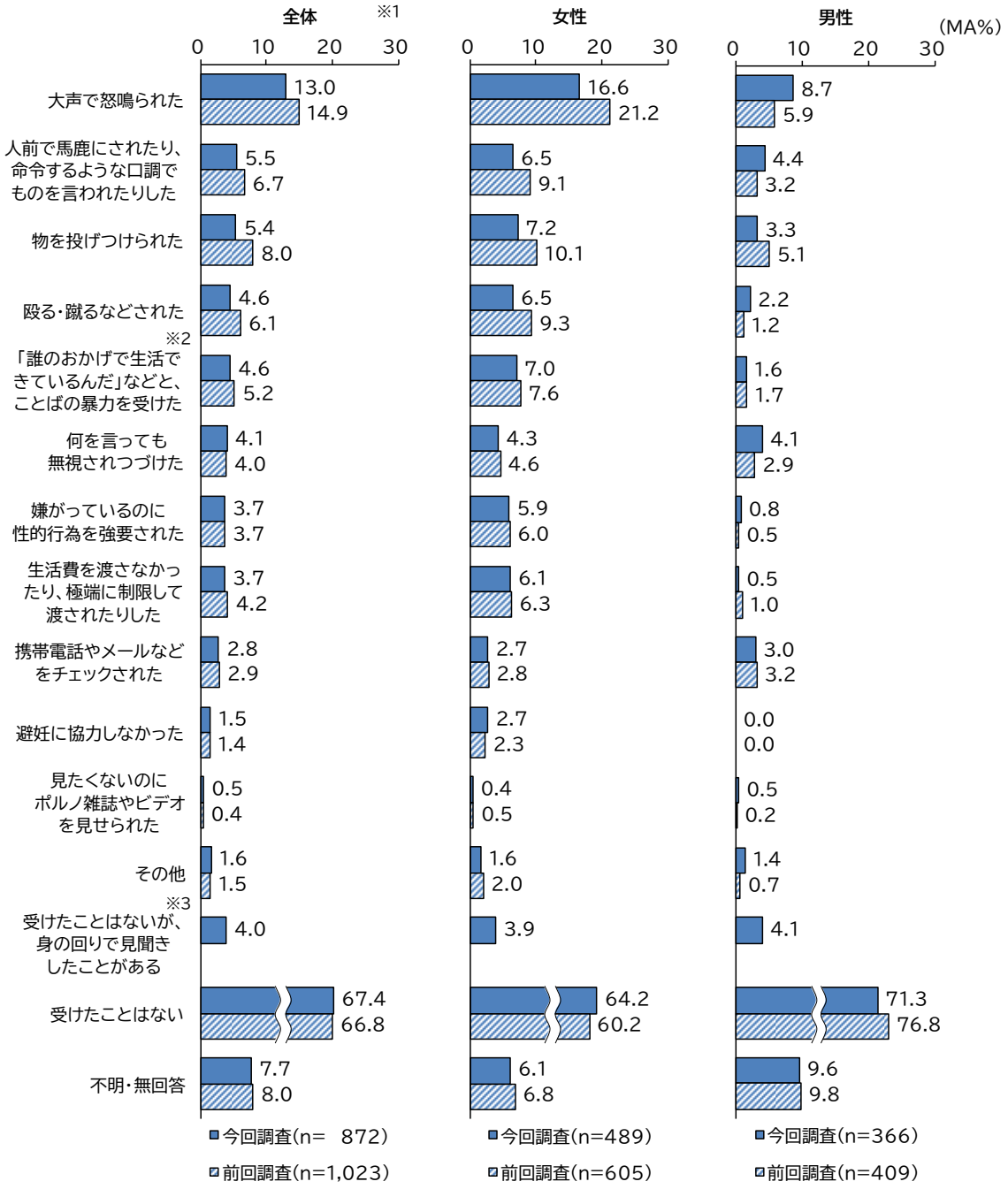
		母数(n)	配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験														
			大声で怒鳴られた	人前で馬鹿にされたり、命令するような口調でものを言われたりした	物を投げつけられた	殴る・蹴るなどされた	「誰のおかげで生活できているんだ」などと、ことばの暴力を受けた	何を言っても無視されつづけた	嫌がっているのに性的行為を強要された	生活費を渡さなかったり、極端に制限して渡されたりした	携帯電話やメールなどをチェックされた	避妊に協力しなかった	見たくないのにポルノ雑誌やビデオを見せられた	その他	受けたことはないが、身の回りで見聞きしたことがある	受けたことはない	不明・無回答
全体		872	13.0	5.5	5.4	4.6	4.6	4.1	3.7	3.7	2.8	1.5	0.5	1.6	4.0	67.4	7.7
性別	女性	489	16.6	6.5	7.2	6.5	7.0	4.3	5.9	6.1	2.7	2.7	0.4	1.6	3.9	64.2	6.1
	男性	366	8.7	4.4	3.3	2.2	1.6	4.1	0.8	0.5	3.0	－	0.5	1.4	4.1	71.3	9.6
	その他・無回答	17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5.9	5.9	76.5	11.8
年代別	10代	9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	88.9	11.1
	20代	47	2.1	－	－	－	－	－	2.1	－	2.1	2.1	－	－	－	89.4	6.4
	30代	81	13.6	6.2	6.2	4.9	6.2	4.9	2.5	3.7	2.5	2.5	－	1.2	2.5	77.8	2.5
	40代	138	14.5	5.8	5.1	4.3	5.1	5.8	4.3	5.1	8.0	4.3	0.7	0.7	2.2	72.5	2.2
	50代	138	17.4	10.9	8.0	6.5	5.8	6.5	7.2	8.0	3.6	－	－	4.3	4.3	65.2	0.7
	60代	176	18.8	6.8	9.1	8.5	6.8	4.5	2.8	4.5	1.7	1.1	0.6	1.1	2.3	64.8	5.1
	70代	163	11.7	4.3	3.7	2.5	3.7	3.7	4.3	1.8	1.2	0.6	0.6	1.2	5.5	63.2	10.4
	80代以上	108	4.6	0.9	1.9	1.9	1.9	0.9	0.9	－	－	0.9	0.9	0.9	9.3	54.6	27.8
性年代別	10代　女性	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	10代　男性	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	－	－	－	－	－	－	4.0	－	－	4.0	－	－	－	92.0	4.0
	20代　男性	22	4.5	－	－	－	－	－	－	－	4.5	－	－	－	－	86.4	9.1
	30代　女性	47	14.9	6.4	6.4	6.4	8.5	6.4	2.1	6.4	2.1	4.3	－	－	－	83.0	－
	30代　男性	33	12.1	6.1	6.1	3.0	3.0	3.0	3.0	－	3.0	－	－	3.0	6.1	72.7	3.0
	40代　女性	85	16.5	7.1	5.9	5.9	8.2	5.9	7.1	8.2	8.2	7.1	1.2	1.2	2.4	70.6	1.2
	40代　男性	51	11.8	3.9	3.9	2.0	－	5.9	－	－	7.8	－	－	－	2.0	74.5	3.9
	50代　女性	74	23.0	13.5	9.5	5.4	9.5	5.4	13.5	13.5	4.1	－	－	5.4	6.8	55.4	1.4
	50代　男性	62	11.3	8.1	6.5	8.1	1.6	8.1	－	1.6	3.2	－	－	3.2	1.6	75.8	－
	60代　女性	95	25.3	7.4	13.7	14.7	8.4	4.2	3.2	7.4	1.1	2.1	－	1.1	3.2	55.8	5.3
	60代　男性	81	11.1	6.2	3.7	1.2	4.9	4.9	2.5	1.2	2.5	－	1.2	1.2	1.2	75.3	4.9
	70代　女性	95	15.8	6.3	5.3	4.2	6.3	5.3	7.4	3.2	1.1	1.1	1.1	1.1	2.1	58.9	9.5
	70代　男性	68	5.9	1.5	1.5	－	－	1.5	－	－	1.5	－	－	1.5	10.3	69.1	11.8
	80代以上　女性	63	6.3	－	3.2	3.2	3.2	－	1.6	－	－	1.6	－	1.6	11.1	58.7	20.6
	80代以上　男性	44	2.3	2.3	－	－	－	2.3	－	－	－	－	2.3	－	6.8	47.7	38.6

【前回調査との比較】

○　全体でみると、今回調査は前回調査よりも「物を投げつけられた」が2.6ポイント少なくなっているが、大きな変化はみられなかった。

○　性別でみると、男性は「受けたことはない」が5.5ポイント前回調査より少なくなっている。

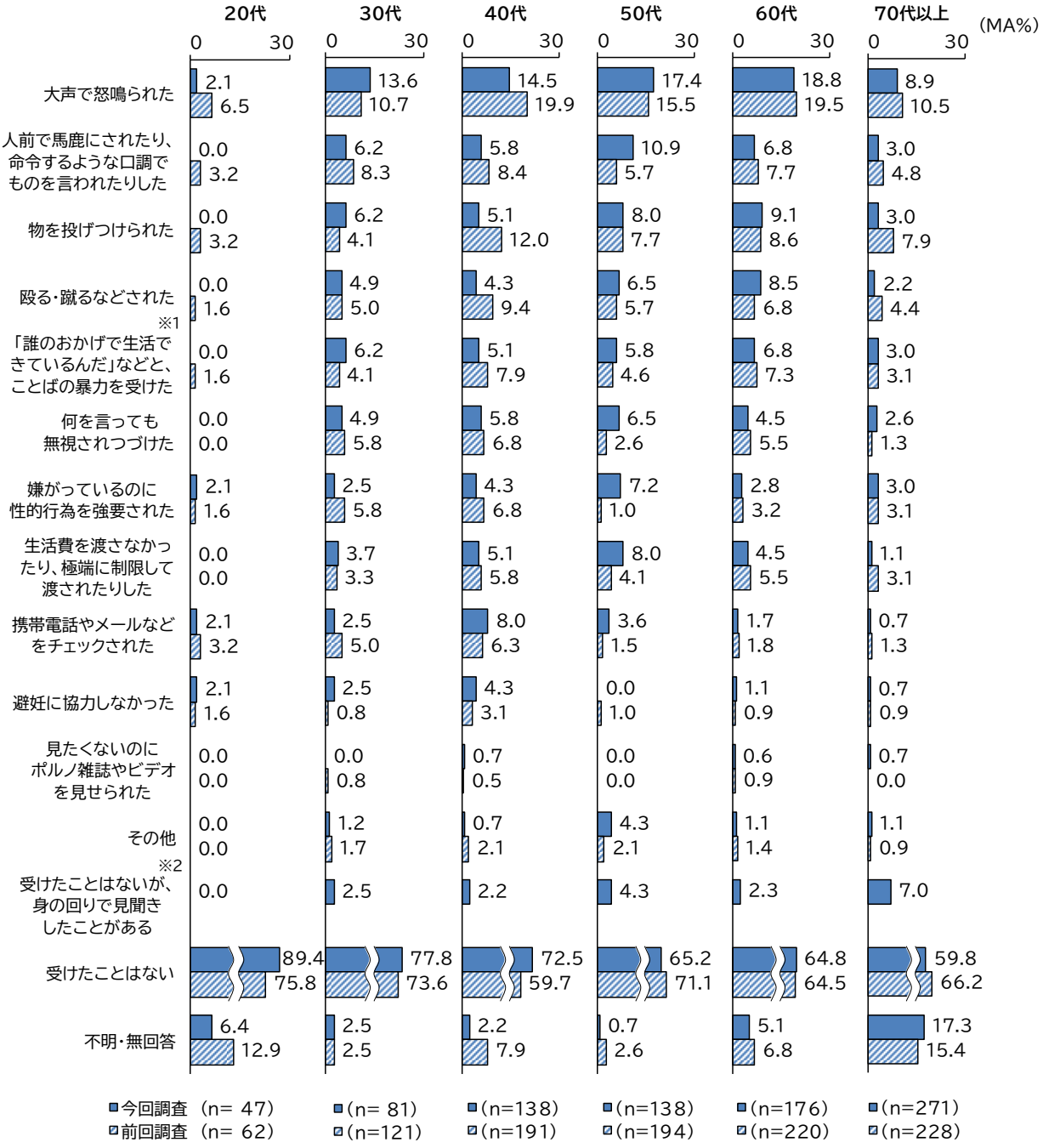
【配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験　前回調査との比較】



※1　今回調査の全体、性別集計には 10 代(9 件)が含まれる。
※2　前回調査の選択肢は「『誰のおかげで生活できているんだ』『甲斐性なし』などと，ことばの暴力を受けた」
※3　今回調査のみの選択肢

【前回調査との比較(続き)】

○　年代別でみると、20・40代は「受けたことはない」が10ポイント以上前回調査よりも多くなっている。



※1　前回調査の選択肢は「『誰のおかげで生活できているんだ』『甲斐性なし』などと，ことばの暴力を受けた」
※2　今回調査のみの選択肢

(2)配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談状況

問4(2) [(1)の問で 1 から 13 のいずれかを選んだ方におたずねします]
そのことについて、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つ)

【全体】

○ 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談状況について、「相談した」が28.1%、「相談しなかった」が63.6%となっている。

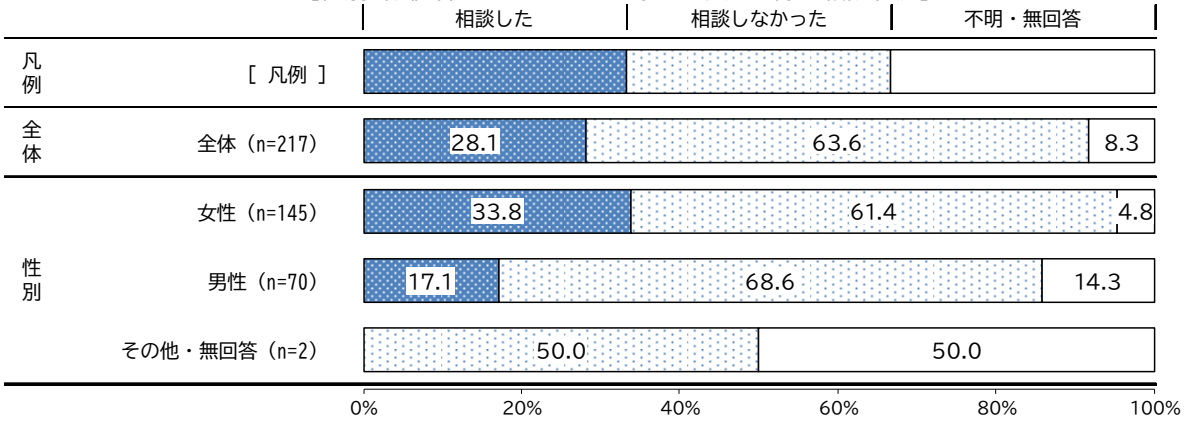
【性別】

○ 性別でみると、女性、男性ともに「相談しなかった」が最も多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、20代は「相談した」と「相談しなかった」、30代以上は「相談しなかった」が最も多くなっている。

【性別 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談状況】



【年代別、性年代別 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談状況】

単位：%

		母数(n)	配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談状況		
			相談した	相談しなかった	不明・無回答
全体		217	28.1	63.6	8.3
年代別	10代	-	-	-	-
	20代	2	50.0	50.0	-
	30代	16	31.3	62.5	6.3
	40代	35	34.3	60.0	5.7
	50代	47	38.3	61.7	-
	60代	53	35.8	60.4	3.8
	70代	43	11.6	69.8	18.6
	80代以上	19	5.3	73.7	21.1
性年代別	10代 女性	-	-	-	-
	10代 男性	-	-	-	-
	20代 女性	1	-	100.0	-
	20代 男性	1	100.0	-	-
	30代 女性	8	37.5	62.5	-
	30代 男性	8	25.0	62.5	12.5
	40代 女性	24	41.7	58.3	-
	40代 男性	11	18.2	63.6	18.2
	50代 女性	32	46.9	53.1	-
	50代 男性	15	20.0	80.0	-
	60代 女性	37	40.5	54.1	5.4
	60代 男性	16	25.0	75.0	-
	70代 女性	30	16.7	76.7	6.7
	70代 男性	13	-	53.8	46.2
	80代以上 女性	13	7.7	69.2	23.1
	80代以上 男性	6	-	83.3	16.7

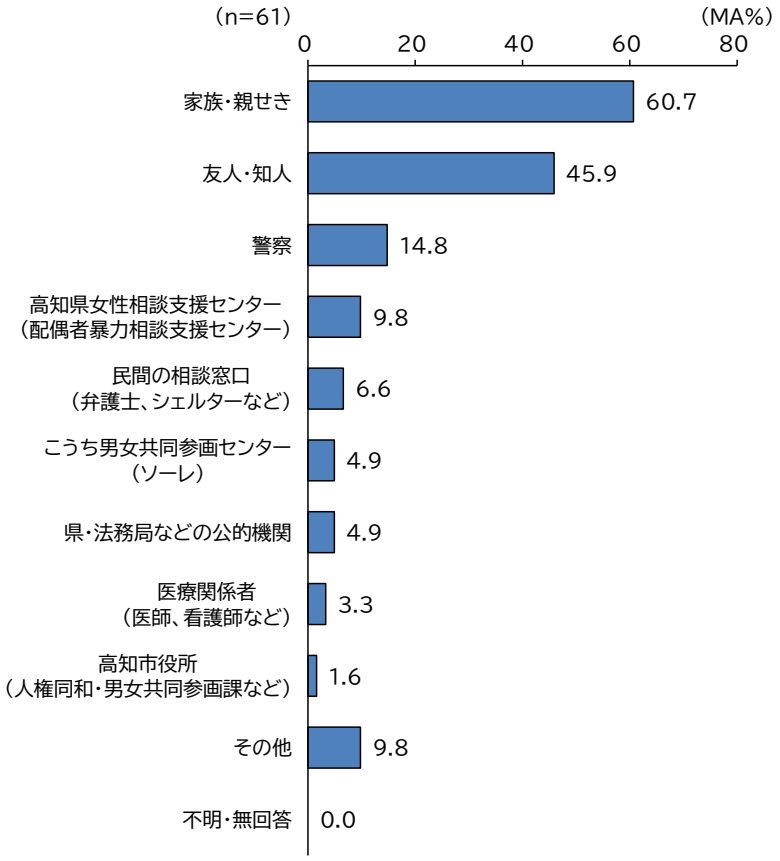
(3)配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先

問4(3) [(2)の問で「相談した」とお答えの方におたずねします]
どこ(誰)に相談しましたか。あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

【全体】

○ 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先について、「家族・親せき」が60.7%で最も多く、次いで「友人・知人」が45.9%、「警察」が14.8%となっている。

【配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先】



【性別】

○　性別でみると、女性は「家族・親せき」、男性は「友人・知人」が最も多くなっている。

○　女性は「家族・親せき」が男性より34.0ポイント多くなっている。男性は「その他」が女性より18.9ポイント多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、20・30代は「友人・知人」、40～70代は「家族・親せき」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先】

単位：%

		母数（n）	配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先										
			家族・親せき	友人・知人	警察	高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）	民間の相談窓口（弁護士、シェルターなど）	こうち男女共同参画センター（ソーレ）	県・法務局などの公的機関	医療関係者（医師、看護師など）	高知市役所（人権同和・男女共同参画課など）	その他	不明・無回答
全体		61	60.7	45.9	14.8	9.8	6.6	4.9	4.9	3.3	1.6	9.8	－
性別	女性	49	67.3	44.9	14.3	12.2	4.1	6.1	4.1	2.0	2.0	6.1	－
	男性	12	33.3	50.0	16.7	－	16.7	－	8.3	8.3	－	25.0	－
	その他・無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
年代別	10代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20代	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	30代	5	60.0	80.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40代	12	66.7	58.3	16.7	16.7	－	16.7	8.3	－	－	－	－
	50代	18	72.2	44.4	16.7	5.6	5.6	－	5.6	－	－	11.1	－
	60代	19	42.1	31.6	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	15.8	－
	70代	5	100.0	40.0	40.0	40.0	20.0	－	－	20.0	－	－	－
	80代以上	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
性年代別	10代　女性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20代　女性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	30代　女性	3	66.7	66.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性	2	50.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40代　女性	10	70.0	60.0	10.0	20.0	－	20.0	－	－	－	－	－
	男性	2	50.0	50.0	50.0	－	－	－	50.0	－	－	－	－
	50代　女性	15	73.3	46.7	20.0	6.7	6.7	－	6.7	－	－	6.7	－
	男性	3	66.7	33.3	－	－	－	－	－	－	－	33.3	－
	60代　女性	15	53.3	33.3	6.7	6.7	－	6.7	6.7	－	6.7	6.7	－
	男性	4	－	25.0	25.0	－	50.0	－	－	25.0	－	50.0	－
	70代　女性	5	100.0	40.0	40.0	40.0	20.0	－	－	20.0	－	－	－
	男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	80代以上　女性	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

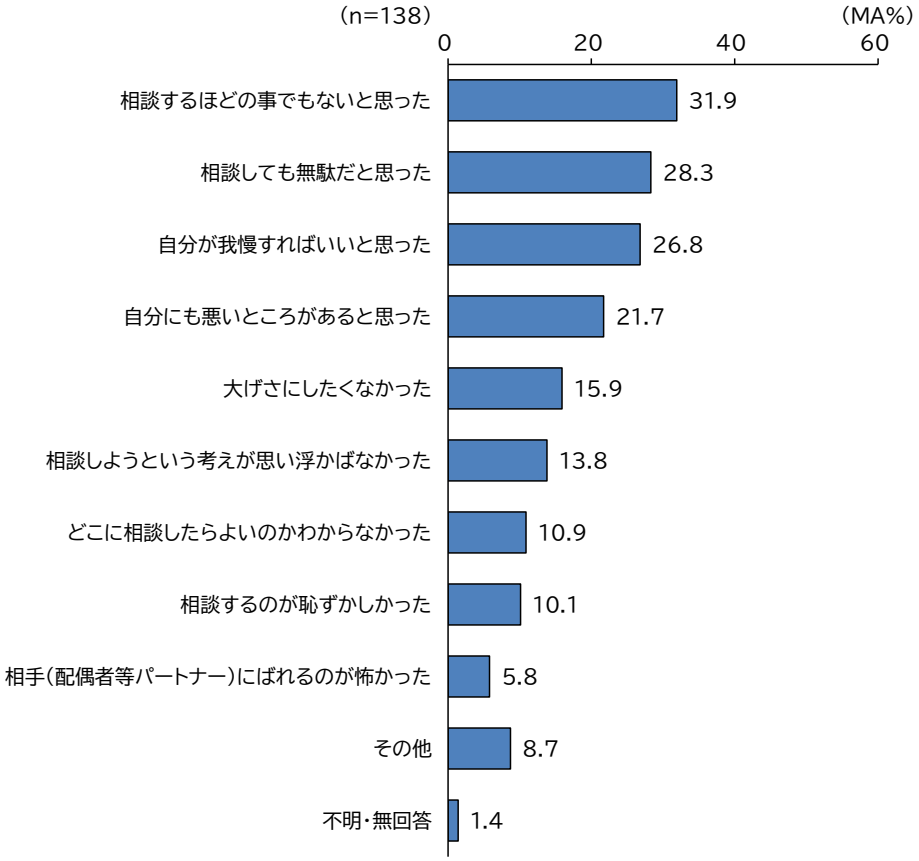
(4)配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由

問4(4) [(2)の問で「相談しなかった」とお答えの方におたずねします]
相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

【全体】

○ 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由について、「相談するほどの事でもないと思った」が31.9%で最も多く、次いで「相談しても無駄だと思った」が28.3%、「自分が我慢すればいいと思った」が26.8%となっている。

【配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由】



【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「相談するほどの事でもないと思った」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、20代は「相談するのが恥ずかしかった」、30代は「相談しても無駄だと思った」と「自分が我慢すればいいと思った」、40・50代は「相談しても無駄だと思った」、60・70代は「相談するほどの事でもないと思った」、80代以上は「どこに相談したらよいのかわからなかった」、「相談しようという考えが思い浮かばなかった」、「自分にも悪いところがあると思った」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由】

単位：%

		母数（n）	配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由										
			相談するほどの事でもないと思った	相談しても無駄だと思った	自分が我慢すればいいと思った	自分にも悪いところがあると思った	大げさにしたくなかった	相談しようという考えが思い浮かばなかった	どこに相談したらよいのかわからなかった	相談するのが恥ずかしかった	相手（配偶者等パートナー）にばれるのが怖かった	その他	不明・無回答
全体		138	31.9	28.3	26.8	21.7	15.9	13.8	10.9	10.1	5.8	8.7	1.4
性別	女性	89	30.3	25.8	27.0	16.9	12.4	15.7	11.2	12.4	4.5	9.0	2.2
	男性	48	35.4	31.3	27.1	31.3	22.9	10.4	10.4	6.3	8.3	8.3	－
	その他・無回答	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
年代別	10代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20代	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	30代	10	30.0	40.0	40.0	20.0	30.0	10.0	－	－	10.0	20.0	－
	40代	21	28.6	33.3	19.0	14.3	9.5	19.0	4.8	4.8	－	4.8	4.8
	50代	29	31.0	34.5	24.1	27.6	10.3	10.3	6.9	17.2	6.9	10.3	－
	60代	32	37.5	31.3	31.3	34.4	21.9	12.5	15.6	6.3	9.4	6.3	－
	70代	30	43.3	20.0	33.3	10.0	20.0	13.3	13.3	13.3	3.3	10.0	－
	80代以上	14	7.1	7.1	14.3	21.4	7.1	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1
性年代別	10代　女性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20代　女性	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	30代　女性	5	40.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	－	－	－	－	－
	男性	5	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	－	－	－	20.0	40.0	－
	40代　女性	14	28.6	28.6	14.3	14.3	－	28.6	7.1	7.1	－	－	7.1
	男性	7	28.6	42.9	28.6	14.3	28.6	－	－	－	－	14.3	－
	50代　女性	17	35.3	41.2	29.4	23.5	5.9	5.9	5.9	17.6	11.8	11.8	－
	男性	12	25.0	25.0	16.7	33.3	16.7	16.7	8.3	16.7	－	8.3	－
	60代　女性	20	30.0	25.0	25.0	25.0	20.0	15.0	15.0	10.0	5.0	10.0	－
	男性	12	50.0	41.7	41.7	50.0	25.0	8.3	16.7	－	16.7	－	－
	70代　女性	23	39.1	17.4	39.1	4.3	17.4	13.0	13.0	13.0	4.3	13.0	－
	男性	7	57.1	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	－	－	－
	80代以上　女性	9	－	－	11.1	22.2	－	22.2	22.2	11.1	－	11.1	11.1
	男性	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	－	20.0	－	－

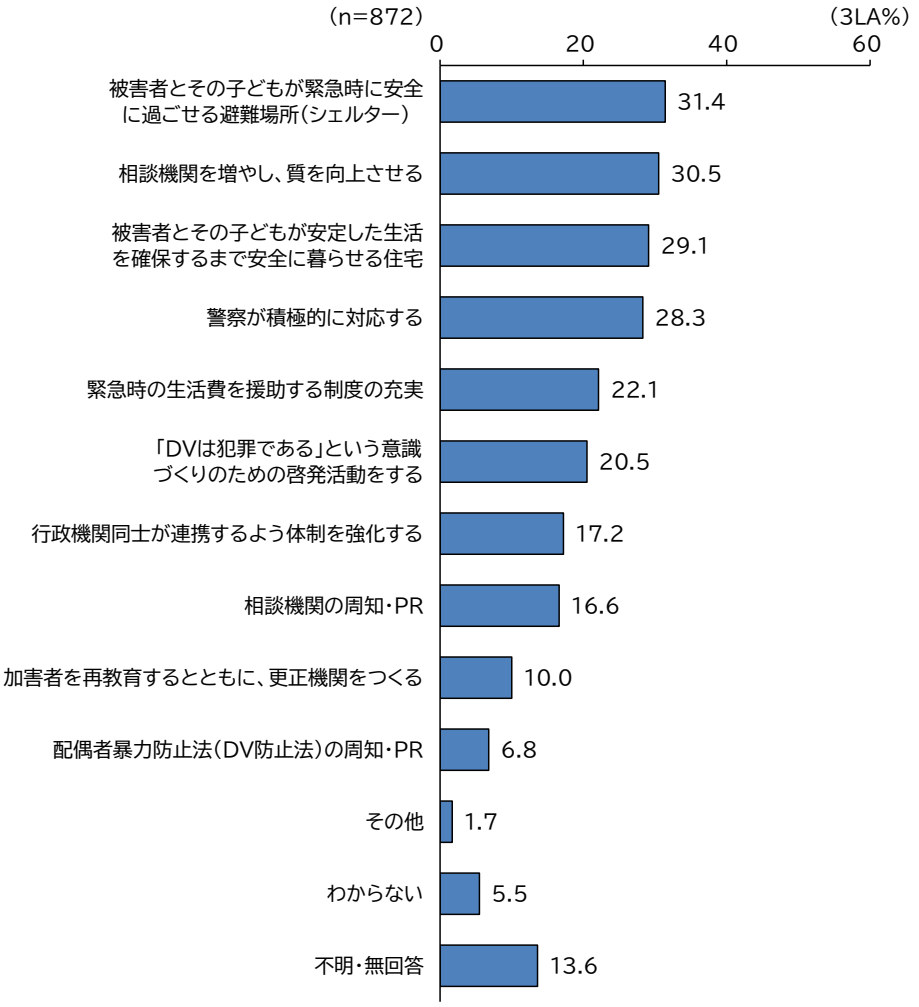
(5)配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なこと

問4(5) 配偶者や恋人などのパートナーからの暴力に対する対策や援助として、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

○ 配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なことについて、「被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所(シェルター)」が31.4%で最も多く、次いで「相談機関を増やし、質を向上させる」が30.5%、「被害者とその子どもが安定した生活を確保するまで安全に暮らせる住宅」が29.1%となっている。

【配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なこと】



【性別】

○　性別でみると、男性は「警察が積極的に対応する」が女性より9.8ポイント多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10・30代は「被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所（シェルター）」が全体より約20～40ポイント多くなっている。また、「被害者とその子どもが安定した生活を確保するまで安全に暮らせる住宅」が10代は全体より37.6ポイント、40代は全体より10.0ポイント多くなっている。

【性年代別】

○　性年代別でみると、40代女性は「被害者とその子どもが安定した生活を確保するまで安全に暮らせる住宅」が全体より14.4ポイント多くなっている。30代女性は「被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所（シェルター）」が全体より26.0ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より21.8ポイント多くなっている。40代男性は「警察が積極的に対応する」が全体より16.8ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なこと】

単位：%

		母数（n）	配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なこと												
			被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所（シェルター）	相談機関を増やし、質を向上させる	被害者とその子どもが安定した生活を確保するまで安全に暮らせる住宅	警察が積極的に対応する	緊急時の生活費を援助する制度の充実	「DVは犯罪である」という意識づくりのための啓発活動をする	行政機関同士が連携するよう体制を強化する	相談機関の周知・PR	加害者を再教育するとともに、更正機関をつくる	配偶者暴力防止法（DV防止法）の周知・PR	その他	わからない	不明・無回答
全体		872	31.4	30.5	29.1	28.3	22.1	20.5	17.2	16.6	10.0	6.8	1.7	5.5	13.6
性別	女性	489	32.3	30.9	32.9	24.1	23.5	24.1	14.9	16.2	11.7	6.7	1.4	4.1	14.3
	男性	366	30.6	30.9	24.0	33.9	19.7	16.4	20.5	17.8	8.2	6.8	1.9	6.8	12.3
	その他・無回答	17	23.5	11.8	29.4	29.4	35.3	5.9	11.8	5.9	－	5.9	5.9	17.6	23.5
年代別	10代	9	66.7	33.3	66.7	33.3	22.2	－	11.1	11.1	－	11.1	－	－	11.1
	20代	47	34.0	34.0	27.7	38.3	14.9	27.7	12.8	14.9	12.8	2.1	2.1	14.9	2.1
	30代	81	50.6	28.4	38.3	27.2	21.0	16.0	13.6	9.9	8.6	6.2	－	4.9	16.0
	40代	138	35.5	34.1	39.1	37.0	23.9	21.0	15.9	14.5	10.9	8.0	4.3	2.9	8.0
	50代	138	30.4	31.9	34.8	35.5	26.8	24.6	17.4	15.9	14.5	4.3	2.2	4.3	5.8
	60代	176	33.5	34.1	22.2	30.1	22.7	21.6	17.0	19.3	7.4	5.7	2.3	5.1	10.8
	70代	163	22.1	28.8	28.2	22.7	23.3	19.6	22.1	21.5	12.3	9.2	－	2.5	17.8
	80代以上	108	20.4	22.2	12.0	10.2	13.9	17.6	16.7	15.7	5.6	8.3	－	11.1	32.4
性年代別	10代　女性	4	75.0	50.0	75.0	25.0	50.0	－	－	－	－	25.0	－	－	－
	10代　男性	5	60.0	20.0	60.0	40.0	－	－	20.0	20.0	－	－	－	－	20.0
	20代　女性	25	44.0	32.0	36.0	40.0	16.0	44.0	8.0	16.0	16.0	4.0	－	4.0	－
	20代　男性	22	22.7	36.4	18.2	36.4	13.6	9.1	18.2	13.6	9.1	－	4.5	27.3	4.5
	30代　女性	47	57.4	27.7	40.4	27.7	23.4	19.1	17.0	6.4	8.5	2.1	－	4.3	14.9
	30代　男性	33	42.4	30.3	36.4	27.3	18.2	12.1	9.1	15.2	9.1	12.1	－	6.1	15.2
	40代　女性	85	34.1	37.6	43.5	31.8	25.9	23.5	14.1	11.8	12.9	7.1	3.5	1.2	8.2
	40代　男性	51	37.3	29.4	31.4	45.1	17.6	17.6	17.6	19.6	7.8	9.8	5.9	5.9	7.8
	50代　女性	74	33.8	39.2	37.8	29.7	27.0	23.0	13.5	13.5	16.2	4.1	2.7	2.7	6.8
	50代　男性	62	27.4	24.2	30.6	41.9	25.8	27.4	22.6	19.4	12.9	4.8	1.6	4.8	4.8
	60代　女性	95	31.6	28.4	24.2	26.3	22.1	28.4	16.8	17.9	10.5	6.3	2.1	6.3	11.6
	60代　男性	81	35.8	40.7	19.8	34.6	23.5	13.6	17.3	21.0	3.7	4.9	2.5	3.7	9.9
	70代　女性	95	17.9	28.4	33.7	14.7	26.3	23.2	15.8	25.3	11.6	8.4	－	1.1	21.1
	70代　男性	68	27.9	29.4	20.6	33.8	19.1	14.7	30.9	16.2	13.2	10.3	－	4.4	13.2
	80代以上　女性	63	25.4	20.6	14.3	9.5	14.3	19.0	14.3	17.5	7.9	11.1	－	11.1	31.7
	80代以上　男性	44	13.6	25.0	9.1	11.4	13.6	15.9	20.5	13.6	2.3	4.5	－	11.4	31.8

4. 困難を抱える女性への支援について

(1)知っている性暴力等に関する相談窓口

問5(1)　あなたは性暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口として知っているものはありますか。(○はいくつでも)

【全体】

○　知っている性暴力等に関する相談窓口について、「こうち男女共同参画センター(ソーレ)」が42.7%で最も多く、次いで「知っているものはない」が33.3%、「高知市役所(人権同和・男女共同参画課など)」が30.0%となっている。

【性別】

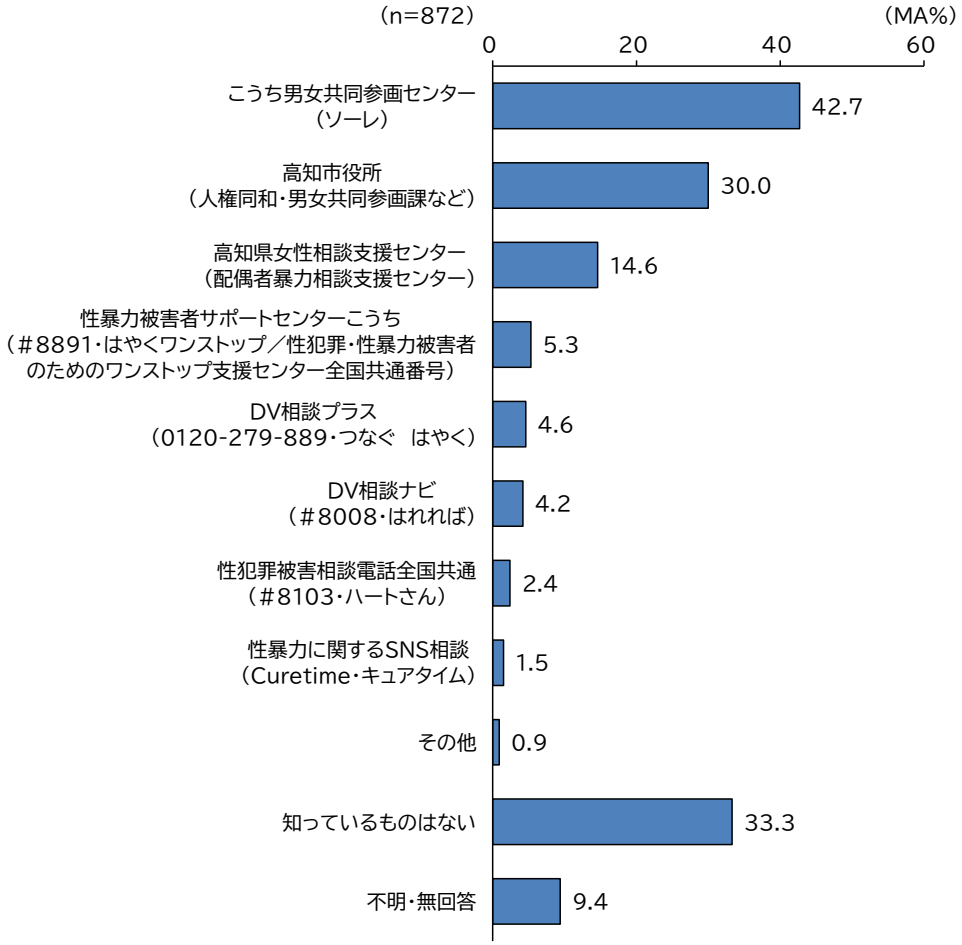
○　性別でみると、女性、男性ともに「こうち男女共同参画センター(ソーレ)」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10・20代、80代以上は「知っているものはない」、30～70代は「こうち男女共同参画センター(ソーレ)」が最も多くなっている。

○　20代は「知っているものはない」が全体より13.5ポイント多くなっている。60代は「こうち男女共同参画センター(ソーレ)」が全体より14.1ポイント多くなっている。

【知っている性暴力等に関する相談窓口】



【性年代別】

○　性年代別でみると、10代女性は「高知市役所（人権同和・男女共同参画課など）」と「知っているものはない」、80代以上女性、10・20・50代、80代以上の男性は「知っているものはない」、20～70代の女性、30・40・60・70代の男性は「こうち男女共同参画センター（ソーレ）」が最も多くなっている。

○　20代女性は「DV相談ナビ（＃8008・はれれば）」が全体より11.8ポイント多くなっている。40・60代の女性、30代・60代の男性は「こうち男女共同参画センター（ソーレ）」が全体より約10ポイント多くなっている。20代男性は「知っているものはない」が全体より30.3ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　知っている性暴力等に関する相談窓口】

単位：％

		母数（n）	知っている性暴力等に関する相談窓口										
			こうち男女共同参画センター（ソーレ）	高知市役所（人権同和・男女共同参画課など）	高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）	性暴力被害者サポートセンターこうち（＃8891・はやくワンストップ／性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター全国共通番号）	DV相談プラス（0120-279-889・つなぐ　はやく）	DV相談ナビ（＃8008・はれれば）	性犯罪被害相談電話全国共通（＃8103・ハートさん）	性暴力に関するSNS相談（Curetime・キュアタイム）	その他	知っているものはない	不明・無回答
全体		872	42.7	30.0	14.6	5.3	4.6	4.2	2.4	1.5	0.9	33.3	9.4
性別	女性	489	46.2	28.0	17.2	5.1	5.3	3.7	2.0	0.8	0.6	31.1	8.6
	男性	366	39.3	33.6	11.2	5.5	3.8	4.9	2.7	2.5	1.4	35.2	10.1
	その他・無回答	17	11.8	11.8	11.8	5.9	－	5.9	5.9	－	－	52.9	17.6
年代別	10代	9	－	22.2	－	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	－	55.6	11.1
	20代	47	25.5	29.8	14.9	4.3	4.3	8.5	8.5	2.1	－	46.8	8.5
	30代	81	50.6	35.8	13.6	6.2	3.7	6.2	3.7	1.2	1.2	33.3	3.7
	40代	138	49.3	28.3	17.4	6.5	9.4	5.8	0.7	1.4	0.7	26.8	5.8
	50代	138	43.5	28.3	18.1	8.7	4.3	4.3	2.9	1.4	－	39.1	3.6
	60代	176	56.8	33.5	17.0	5.1	6.3	4.5	2.8	1.1	1.1	27.8	5.7
	70代	163	39.9	28.8	12.9	3.7	1.8	1.8	1.2	2.5	1.8	30.1	14.7
	80代以上	108	22.2	28.7	7.4	0.9	0.9	1.9	－	－	0.9	36.1	24.1
性年代別	10代　女性	4	－	50.0	－	－	－	－	25.0	－	－	50.0	－
	10代　男性	5	－	－	－	20.0	20.0	20.0	－	20.0	－	60.0	20.0
	20代　女性	25	40.0	36.0	24.0	8.0	8.0	16.0	12.0	－	－	32.0	4.0
	20代　男性	22	9.1	22.7	4.5	－	－	－	4.5	4.5	－	63.6	13.6
	30代　女性	47	48.9	34.0	19.1	8.5	4.3	8.5	4.3	－	－	38.3	2.1
	30代　男性	33	54.5	39.4	6.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	27.3	3.0
	40代　女性	85	56.5	24.7	22.4	4.7	12.9	4.7	－	1.2	－	22.4	3.5
	40代　男性	51	37.3	33.3	7.8	7.8	3.9	5.9	－	2.0	2.0	35.3	9.8
	50代　女性	74	47.3	23.0	17.6	6.8	1.4	－	1.4	－	－	35.1	6.8
	50代　男性	62	40.3	35.5	17.7	11.3	8.1	9.7	4.8	3.2	－	43.5	－
	60代　女性	95	56.8	29.5	21.1	5.3	7.4	3.2	2.1	1.1	1.1	33.7	1.1
	60代　男性	81	56.8	38.3	12.3	4.9	4.9	6.2	3.7	1.2	1.2	21.0	11.1
	70代　女性	95	41.1	27.4	10.5	4.2	3.2	2.1	－	2.1	1.1	28.4	16.8
	70代　男性	68	38.2	30.9	16.2	2.9	－	1.5	2.9	2.9	2.9	32.4	11.8
	80代以上　女性	63	25.4	27.0	9.5	－	－	1.6	－	－	1.6	31.7	23.8
	80代以上　男性	44	18.2	31.8	4.5	2.3	2.3	2.3	－	－	－	43.2	22.7

(2)性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うこと

問5(2) あなたが性暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

【全体】

○ 性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことについて、「匿名で相談ができる」が51.4%で最も多く、次いで「24時間いつでも相談ができる」が47.2%、「同性の相談員がいる」が38.2%となっている。

【性別】

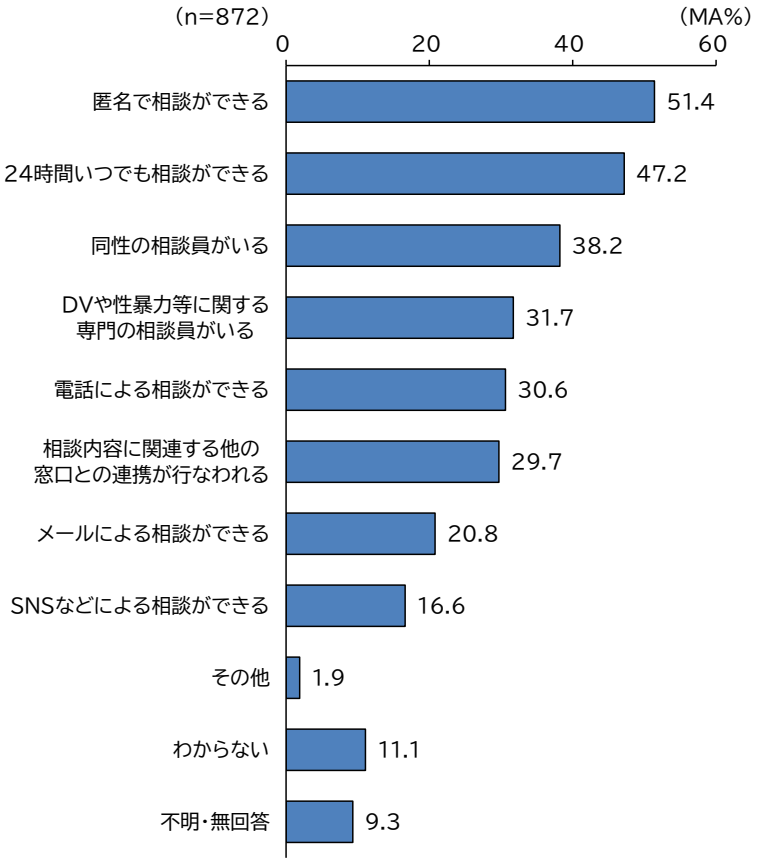
○ 性別でみると、女性、男性ともに「匿名で相談ができる」が最も多くなっている。

【年代別】

○ 年代別でみると、10代、30～70代は「匿名で相談ができる」、20代は「24時間いつでも相談ができる」、80代以上は「電話による相談ができる」が最も多くなっている。

○ 20～40代は「メールによる相談ができる」「SNSなどによる相談ができる」が全体より約10～20ポイント多くなっている。

【性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うこと】



【性年代別】

○　性年代別でみると、20～40代の女性は「メールによる相談ができる」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、「SNSなどによる相談ができる」が30代女性は全体より28.1ポイント、40代男性は全体より18.7ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より16.2ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うこと】

単位：%

		母数（n）	性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うこと										
			匿名で相談ができる	24時間いつでも相談ができる	同性の相談員がいる	DVや性暴力等に関する専門の相談員がいる	電話による相談ができる	相談内容に関連する他の窓口との連携が行われる	メールによる相談ができる	SNSなどによる相談ができる	その他	わからない	不明・無回答
全体		872	51.4	47.2	38.2	31.7	30.6	29.7	20.8	16.6	1.9	11.1	9.3
性別	女性	489	55.6	49.5	42.3	33.5	29.2	29.0	21.5	15.5	2.0	8.6	8.2
	男性	366	45.6	44.3	33.6	29.0	32.8	30.6	20.5	18.0	1.6	14.2	10.4
	その他・無回答	17	52.9	47.1	17.6	35.3	23.5	29.4	5.9	17.6	5.9	17.6	17.6
年代別	10代	9	77.8	66.7	22.2	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	－	－	11.1
	20代	47	53.2	55.3	42.6	27.7	25.5	31.9	34.0	29.8	－	17.0	4.3
	30代	81	63.0	58.0	42.0	25.9	28.4	27.2	33.3	37.0	2.5	9.9	3.7
	40代	138	61.6	52.9	46.4	40.6	23.9	33.3	31.2	29.0	5.1	5.8	3.6
	50代	138	58.0	49.3	44.9	40.6	27.5	34.8	23.9	18.8	2.9	8.0	1.4
	60代	176	51.1	50.6	37.5	34.1	35.2	33.5	20.5	9.7	1.7	12.5	6.3
	70代	163	43.6	41.7	37.4	27.6	36.2	27.6	11.0	7.4	－	12.3	16.0
	80代以上	108	29.6	26.9	19.4	16.7	32.4	14.8	5.6	3.7	－	16.7	27.8
性年代別	10代　女性	4	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	－	－	－
	10代　男性	5	60.0	40.0	－	20.0	－	－	20.0	20.0	－	－	20.0
	20代　女性	25	68.0	64.0	44.0	24.0	20.0	20.0	44.0	32.0	－	8.0	4.0
	20代　男性	22	36.4	45.5	40.9	31.8	31.8	45.5	22.7	27.3	－	27.3	4.5
	30代　女性	47	63.8	63.8	51.1	31.9	21.3	36.2	36.2	44.7	－	6.4	2.1
	30代　男性	33	63.6	51.5	30.3	18.2	39.4	15.2	30.3	27.3	6.1	15.2	3.0
	40代　女性	85	62.4	52.9	52.9	43.5	22.4	35.3	31.8	23.5	5.9	2.4	2.4
	40代　男性	51	58.8	51.0	37.3	35.3	25.5	31.4	31.4	35.3	3.9	11.8	5.9
	50代　女性	74	63.5	54.1	43.2	45.9	23.0	32.4	20.3	14.9	4.1	1.4	2.7
	50代　男性	62	51.6	43.5	46.8	33.9	32.3	38.7	27.4	22.6	1.6	14.5	－
	60代　女性	95	53.7	54.7	41.1	36.8	34.7	31.6	22.1	10.5	2.1	13.7	1.1
	60代　男性	81	48.1	45.7	33.3	30.9	35.8	35.8	18.5	8.6	1.2	11.1	12.3
	70代　女性	95	50.5	40.0	42.1	25.3	37.9	26.3	10.5	3.2	－	9.5	18.9
	70代　男性	68	33.8	44.1	30.9	30.9	33.8	29.4	11.8	13.2	－	16.2	11.8
	80代以上　女性	63	33.3	25.4	20.6	17.5	31.7	12.7	4.8	3.2	－	19.0	23.8
	80代以上　男性	44	25.0	29.5	18.2	15.9	34.1	18.2	6.8	4.5	－	13.6	31.8

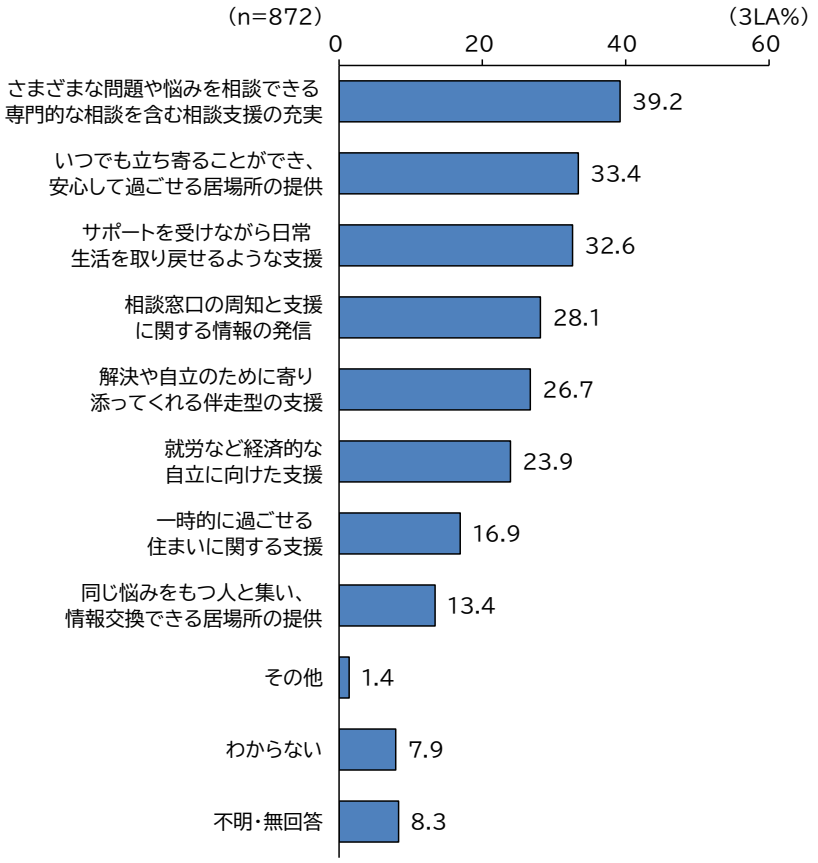
(3)性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援

問5(3) あなたは性暴力や様々な悩みなどに解決に向けてどのような支援があればよいと思いますか。
(○は3つまで)

【全体】

○ 性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援について、「さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実」が39.2%で最も多く、次いで「いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供」が33.4%、「サポートを受けながら日常生活を取り戻せるような支援」が32.6%となっている。

【性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援】



【性別】

○　性別でみると、女性、男性ともに「さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、10代は「さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実」と「いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供」、20代は「いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供」、30代は「いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供」と「サポートを受けながら日常生活を取り戻せるような支援」、40代は「サポートを受けながら日常生活を取り戻せるような支援」、50代以上は「さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実」が最も多くなっている。

【性年代別】

○　性年代別でみると、20代女性は「いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供」が全体より22.6ポイント多くなっている。30・40代の女性は「サポートを受けながら日常生活を取り戻せるような支援」が全体より約10～20ポイント多くなっている。60・70代の女性は「さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実」が全体より約20ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より19.4ポイント多くなっている。50代男性は「就労など経済的な自立に向けた支援」が全体より16.4ポイント多くなっている。60代男性は「相談窓口の周知と支援に関する情報の発信」が全体より11.4ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援】

単位：%

		母数(n)	性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援										
			さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実	いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供	サポートを受けながら日常生活を取り戻せるような支援	相談窓口の周知と支援に関する情報の発信	解決や自立のために寄り添ってくれる伴走型の支援	就労など経済的な自立に向けた支援	一時的に過ごせる住まいに関する支援	同じ悩みをもつ人と集い、情報交換できる居場所の提供	その他	わからない	不明・無回答
全体		872	39.2	33.4	32.6	28.1	26.7	23.9	16.9	13.4	1.4	7.9	8.3
性別	女性	489	43.1	33.3	36.0	26.8	28.6	27.0	17.8	12.1	0.6	6.7	6.7
	男性	366	33.9	33.3	27.9	30.1	24.6	20.2	15.3	14.8	2.2	9.8	9.8
	その他・無回答	17	41.2	35.3	35.3	23.5	17.6	11.8	23.5	23.5	5.9	－	17.6
年代別	10代	9	55.6	55.6	33.3	22.2	44.4	－	11.1	44.4	－	－	11.1
	20代	47	27.7	46.8	31.9	21.3	23.4	17.0	17.0	10.6	－	17.0	4.3
	30代	81	33.3	39.5	39.5	19.8	37.0	27.2	23.5	16.0	2.5	4.9	3.7
	40代	138	30.4	42.0	45.7	22.5	32.6	26.1	22.5	12.3	2.2	5.1	2.9
	50代	138	38.4	35.5	30.4	32.6	26.8	34.1	21.0	18.8	1.4	5.8	1.4
	60代	176	46.0	30.1	31.3	33.0	23.3	23.9	19.9	11.9	1.7	8.5	6.3
	70代	163	49.1	23.3	30.1	31.9	25.8	20.2	10.4	9.2	0.6	9.8	11.7
	80代以上	108	32.4	26.9	21.3	25.0	18.5	16.7	4.6	11.1	－	10.2	26.9
性年代別	10代　女性	4	50.0	100.0	－	25.0	75.0	－	－	50.0	－	－	－
	10代　男性	5	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	－	20.0	40.0	－	－	20.0
	20代　女性	25	32.0	56.0	32.0	24.0	28.0	12.0	20.0	12.0	－	8.0	4.0
	20代　男性	22	22.7	36.4	31.8	18.2	18.2	22.7	13.6	9.1	－	27.3	4.5
	30代　女性	47	31.9	38.3	48.9	21.3	40.4	36.2	23.4	19.1	2.1	2.1	2.1
	30代　男性	33	36.4	42.4	27.3	18.2	33.3	15.2	24.2	12.1	3.0	9.1	3.0
	40代　女性	85	32.9	40.0	47.1	17.6	36.5	34.1	25.9	9.4	1.2	2.4	1.2
	40代　男性	51	25.5	45.1	41.2	31.4	27.5	13.7	15.7	15.7	3.9	9.8	5.9
	50代　女性	74	41.9	37.8	35.1	35.1	21.6	29.7	21.6	13.5	1.4	6.8	2.7
	50代　男性	62	33.9	33.9	22.6	30.6	32.3	40.3	19.4	25.8	1.6	4.8	－
	60代　女性	95	55.8	30.5	34.7	27.4	25.3	28.4	18.9	12.6	－	9.5	1.1
	60代　男性	81	34.6	29.6	27.2	39.5	21.0	18.5	21.0	11.1	3.7	7.4	12.3
	70代　女性	95	54.7	20.0	30.5	30.5	25.3	23.2	11.6	8.4	－	6.3	14.7
	70代　男性	68	41.2	27.9	29.4	33.8	26.5	16.2	8.8	10.3	1.5	14.7	7.4
	80代以上　女性	63	33.3	27.0	27.0	28.6	23.8	19.0	6.3	9.5	－	12.7	20.6
	80代以上　男性	44	31.8	27.3	13.6	20.5	11.4	13.6	2.3	13.6	－	6.8	34.1

5. ハラスメントについて

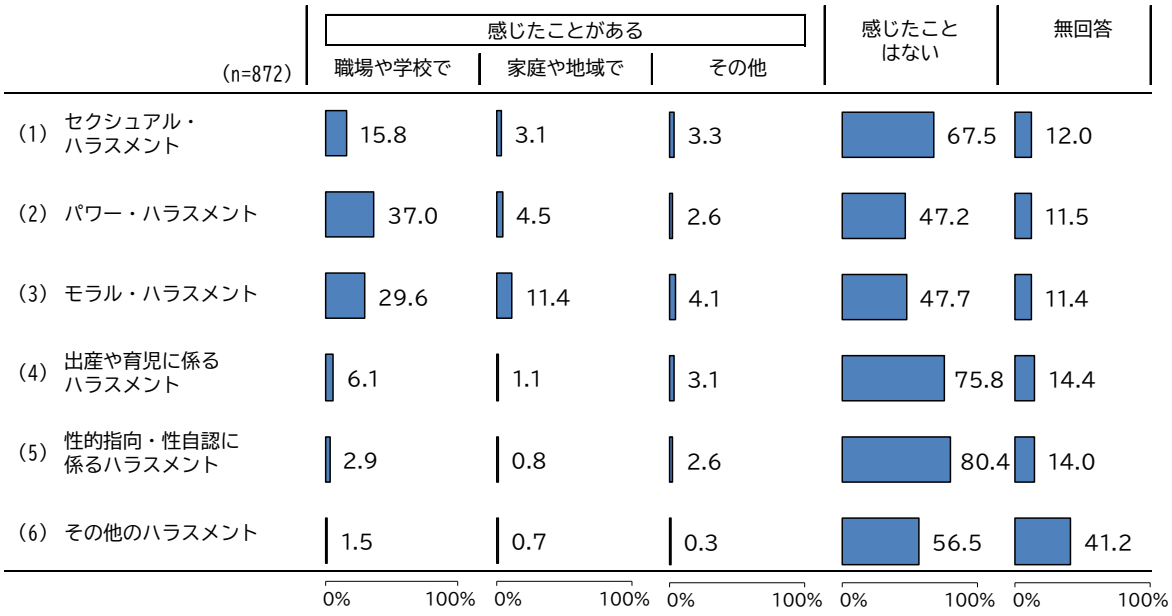
(1)ハラスメントを受けた経験

問6　次のハラスメントについて、あなたが被害を受けたと感じた経験がありますか。また、それはどこで感じましたか。(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものをすべて選んでください。(項目ごとに○はいくつでも)

【全体】

○　ハラスメントを受けた経験について、職場や学校で「感じたことがある」の割合は、「パワー・ハラスメント」で37.0%、「モラル・ハラスメント」で29.6%、「セクシュアル・ハラスメント」で15.8%となっている。

【ハラスメントを受けた経験】



(1) セクシュアル・ハラスメント	職場や家庭、学校、地域社会において、相手の意に反して性的な行為を強要したり、性的な言動によって個人の尊厳を傷つけたり、不利益を与えたりすること
(2) パワー・ハラスメント	職場等において、大声による叱責や過度な業務の強要など、立場の優位性を背景に、業務の適切な範囲を超えて嫌がらせをすること
(3) モラル・ハラスメント	暴言を浴びせる、無視をする、理由なく不機嫌な態度をとるなど、言動や態度によって相手に精神的苦痛を与えること
(4) 出産や育児に係るハラスメント	妊娠・出産・育児に関わる制度(産前休業や育児休業等)の利用を理由に、嫌がらせをしたり雇用条件等の面で不当な扱いをすること
(5) 性的指向・性自認に係るハラスメント	性的指向や性自認について、勝手に他人に暴露したり、侮辱的な言動や差別によって嫌がらせをすること

【① セクシュアル・ハラスメント】

○ 性別でみると、女性は「感じたことがある（職場や学校で）」が男性より11.3ポイント多くなっている。男性は「感じたことはない」が女性より9.8ポイント多くなっている。

○ 性年代別でみると、30～50代の女性は「感じたことがある（職場や学校で）」が全体より約10～20ポイント多くなっている。20代男性は「感じたことはない」が全体より23.4ポイント多くなっている。

【② パワー・ハラスメント】

○ 年代別でみると、10・20代は「感じたことはない」が全体より約20～30ポイント多くなっている。30～50代は「感じたことがある（職場や学校で）」が全体より約10～20ポイント多くなっている。

○ 性年代別でみると、30・40代の女性、30～60代の男性は「感じたことがある（職場や学校で）」が全体より約10～30ポイント多くなっている。70代以上の女性、20代男性は「感じたことはない」が全体より約10～30ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　ハラスメントを受けた経験】

単位：%

		母数（n）	セクシュアル・ハラスメント					パワー・ハラスメント				
			感じたことがある（職場や学校で）	感じたことがある（家庭や地域で）	感じたことがある（その他）	感じたことはない	不明・無回答	感じたことがある（職場や学校で）	感じたことがある（家庭や地域で）	感じたことがある（その他）	感じたことはない	不明・無回答
全体		872	15.8	3.1	3.3	67.5	12.0	37.0	4.5	2.6	47.2	11.5
性別	女性	489	20.9	3.9	3.1	63.4	10.8	35.2	5.5	1.4	49.7	11.2
	男性	366	9.6	2.2	3.6	73.2	13.1	40.4	3.3	4.1	43.7	11.2
	その他・無回答	17	5.9	－	5.9	64.7	23.5	17.6	－	5.9	52.9	23.5
年代別	10代	9	－	－	11.1	77.8	11.1	11.1	－	－	77.8	11.1
	20代	47	10.6	2.1	－	78.7	8.5	27.7	2.1	－	63.8	6.4
	30代	81	23.5	6.2	6.2	64.2	6.2	60.5	3.7	2.5	37.0	2.5
	40代	138	25.4	3.6	7.2	62.3	4.3	53.6	8.0	2.9	37.7	2.2
	50代	138	21.7	3.6	2.9	68.8	4.3	47.8	5.8	2.9	44.2	4.3
	60代	176	16.5	1.7	2.3	73.9	6.8	42.6	5.7	4.0	43.2	7.4
	70代	163	8.6	3.7	2.5	66.9	20.2	23.3	2.5	2.5	54.0	19.0
	80代以上	108	4.6	1.9	0.9	60.2	32.4	5.6	1.9	1.9	55.6	35.2
性年代別	10代　女性	4	－	－	25.0	75.0	－	25.0	－	－	75.0	－
	10代　男性	5	－	－	－	80.0	20.0	－	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	20.0	4.0	－	68.0	8.0	40.0	4.0	－	52.0	4.0
	20代　男性	22	－	－	－	90.9	9.1	13.6	－	－	77.3	9.1
	30代　女性	47	27.7	2.1	6.4	59.6	6.4	55.3	4.3	2.1	42.6	2.1
	30代　男性	33	18.2	12.1	6.1	69.7	6.1	66.7	3.0	3.0	30.3	3.0
	40代　女性	85	32.9	4.7	8.2	57.6	1.2	52.9	9.4	1.2	40.0	2.4
	40代　男性	51	13.7	2.0	3.9	70.6	9.8	56.9	5.9	3.9	33.3	2.0
	50代　女性	74	32.4	6.8	1.4	58.1	4.1	44.6	8.1	1.4	45.9	6.8
	50代　男性	62	9.7	－	4.8	80.6	4.8	51.6	3.2	4.8	41.9	1.6
	60代　女性	95	18.9	2.1	1.1	71.6	7.4	35.8	7.4	2.1	47.4	9.5
	60代　男性	81	13.6	1.2	3.7	76.5	6.2	50.6	3.7	6.2	38.3	4.9
	70代　女性	95	11.6	5.3	2.1	67.4	15.8	21.1	2.1	1.1	58.9	16.8
	70代　男性	68	4.4	1.5	2.9	66.2	26.5	26.5	2.9	4.4	47.1	22.1
	80代以上　女性	63	4.8	1.6	－	58.7	34.9	4.8	1.6	1.6	58.7	33.3
	80代以上　男性	44	4.5	2.3	2.3	63.6	27.3	6.8	2.3	2.3	52.3	36.4

【③ モラル・ハラスメント】

○ 年代別でみると、10・20代は「感じたことはない」が全体より約20～30ポイント多くなっている。30・40代は「感じたことがある（職場や学校で）」が全体より約20ポイント多くなっている。

○ 性年代別でみると、30・40代の男女は「感じたことがある（職場や学校で）」が全体より約20～30ポイント多くなっている。20代男性は「感じたことはない」が全体より34.1ポイント多くなっている。

【④ 出産や育児に係るハラスメント】

○ 性年代別でみると、30代女性は「感じたことがある（職場や学校で）」が全体より10.9ポイント多くなっている。

単位：%

		母数（n）	モラル・ハラスメント					出産や育児に係るハラスメント				
			感じたことがある（職場や学校で）	感じたことがある（家庭や地域で）	感じたことがある（その他）	感じたことはない	不明・無回答	感じたことがある（職場や学校で）	感じたことがある（家庭や地域で）	感じたことがある（その他）	感じたことはない	不明・無回答
全体		872	29.6	11.4	4.1	47.7	11.4	6.1	1.1	3.1	75.8	14.4
性別	女性	489	29.2	15.3	2.7	47.6	10.2	7.6	1.2	2.2	76.5	13.1
	男性	366	31.1	6.6	6.3	47.0	12.0	4.1	1.1	4.1	75.4	15.8
	その他・無回答	17	5.9	－	－	64.7	29.4	5.9	－	5.9	64.7	23.5
年代別	10代	9	11.1	－	－	77.8	11.1	－	－	－	88.9	11.1
	20代	47	23.4	6.4	－	66.0	6.4	4.3	－	－	83.0	12.8
	30代	81	49.4	18.5	6.2	32.1	2.5	13.6	2.5	8.6	72.8	4.9
	40代	138	47.8	14.5	4.3	38.4	2.2	10.9	2.9	3.6	80.4	4.3
	50代	138	38.4	11.6	5.1	46.4	5.1	8.7	0.7	5.1	79.7	5.8
	60代	176	30.7	16.5	5.7	45.5	5.1	4.0	0.6	3.4	83.0	9.1
	70代	163	16.6	7.4	3.1	54.0	20.2	2.5	1.2	0.6	70.6	25.2
	80代以上	108	5.6	3.7	2.8	54.6	34.3	1.9	－	0.9	59.3	38.0
性年代別	10代 女性	4	25.0	－	－	75.0	－	－	－	－	100.0	－
	10代 男性	5	－	－	－	80.0	20.0	－	－	－	80.0	20.0
	20代 女性	25	36.0	12.0	－	52.0	4.0	8.0	－	－	80.0	12.0
	20代 男性	22	9.1	－	－	81.8	9.1	－	－	－	86.4	13.6
	30代 女性	47	46.8	21.3	2.1	38.3	2.1	17.0	4.3	8.5	66.0	6.4
	30代 男性	33	51.5	15.2	12.1	24.2	3.0	9.1	－	9.1	81.8	3.0
	40代 女性	85	44.7	20.0	3.5	38.8	1.2	10.6	1.2	3.5	84.7	2.4
	40代 男性	51	54.9	5.9	5.9	35.3	3.9	11.8	5.9	2.0	74.5	7.8
	50代 女性	74	37.8	17.6	5.4	44.6	5.4	10.8	1.4	2.7	78.4	6.8
	50代 男性	62	40.3	4.8	4.8	46.8	4.8	4.8	－	8.1	82.3	4.8
	60代 女性	95	26.3	21.1	3.2	46.3	6.3	6.3	1.1	1.1	82.1	9.5
	60代 男性	81	35.8	11.1	8.6	44.4	3.7	1.2	－	6.2	84.0	8.6
	70代 女性	95	16.8	8.4	2.1	55.8	16.8	3.2	1.1	1.1	73.7	21.1
	70代 男性	68	16.2	5.9	4.4	51.5	25.0	1.5	1.5	－	66.2	30.9
	80代以上 女性	63	6.3	6.3	－	55.6	33.3	1.6	－	－	63.5	34.9
	80代以上 男性	44	4.5	－	6.8	54.5	34.1	2.3	－	2.3	54.5	40.9

【⑤ 性的指向・性自認に係るハラスメント】

○　性別、年代別、性年代別いずれも「感じたことはない」が最も多くなっている。

【⑥ その他のハラスメント】

○　性別、年代別、性年代別いずれも「感じたことはない」が最も多くなっている。

単位：%

		母数（n）	性的指向・性自認に係るハラスメント					その他のハラスメント				
			感じたことがある（職場や学校で）	感じたことがある（家庭や地域で）	感じたことがある（その他）	感じたことはない	不明・無回答	感じたことがある（職場や学校で）	感じたことがある（家庭や地域で）	感じたことがある（その他）	感じたことはない	不明・無回答
全体		872	2.9	0.8	2.6	80.4	14.0	1.5	0.7	0.3	56.5	41.2
性別	女性	489	2.9	0.4	1.8	82.6	12.7	1.2	1.0	0.2	54.8	43.1
	男性	366	3.0	1.4	3.8	77.6	15.3	1.9	0.3	0.5	59.0	38.3
	その他・無回答	17	－	－	－	76.5	23.5	－	－	－	52.9	47.1
年代別	10代	9	－	－	－	88.9	11.1	－	－	－	77.8	22.2
	20代	47	4.3	－	－	85.1	10.6	－	－	－	72.3	27.7
	30代	81	4.9	4.9	4.9	86.4	2.5	－	－	－	70.4	29.6
	40代	138	5.1	1.4	4.3	85.5	5.1	2.9	2.2	0.7	61.6	34.1
	50代	138	4.3	－	3.6	86.2	5.8	2.2	0.7	－	62.3	34.8
	60代	176	1.7	0.6	3.4	86.9	8.0	1.7	1.1	0.6	56.3	40.3
	70代	163	1.2	－	0.6	73.6	24.5	1.2	－	－	46.0	52.8
	80代以上	108	0.9	－	0.9	59.3	38.9	0.9	－	0.9	40.7	57.4
性年代別	10代　女性	4	－	－	－	100.0	－	－	－	－	75.0	25.0
	10代　男性	5	－	－	－	80.0	20.0	－	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	8.0	－	－	84.0	8.0	－	－	－	64.0	36.0
	20代　男性	22	－	－	－	86.4	13.6	－	－	－	81.8	18.2
	30代　女性	47	4.3	4.3	2.1	89.4	2.1	－	－	－	68.1	31.9
	30代　男性	33	6.1	6.1	9.1	81.8	3.0	－	－	－	72.7	27.3
	40代　女性	85	7.1	－	4.7	85.9	3.5	3.5	3.5	1.2	60.0	34.1
	40代　男性	51	2.0	3.9	3.9	84.3	7.8	2.0	－	－	62.7	35.3
	50代　女性	74	4.1	－	4.1	85.1	6.8	4.1	－	－	55.4	40.5
	50代　男性	62	4.8	－	3.2	87.1	4.8	－	1.6	－	71.0	27.4
	60代　女性	95	－	－	1.1	89.5	9.5	－	2.1	－	54.7	43.2
	60代　男性	81	3.7	1.2	6.2	84.0	6.2	3.7	－	1.2	58.0	37.0
	70代　女性	95	1.1	－	－	78.9	20.0	－	－	－	47.4	52.6
	70代　男性	68	1.5	－	1.5	66.2	30.9	2.9	－	－	44.1	52.9
	80代以上　女性	63	－	－	－	63.5	36.5	－	－	－	42.9	57.1
	80代以上　男性	44	2.3	－	2.3	54.5	40.9	2.3	－	2.3	38.6	56.8

6. 防災分野における男女共同参画について

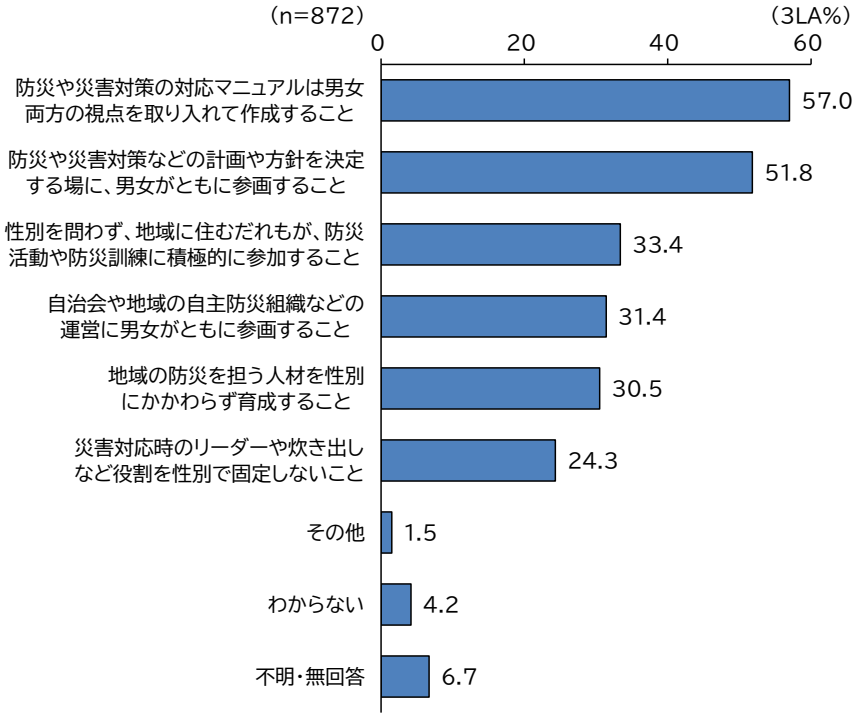
(1)防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取組

問7　東日本大震災や熊本地震などの教訓から、平常時の防災体制や災害発生後の対応にも男女共同参画の視点が求められています。防災分野における男女共同参画を進めるためには、具体的にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

○　防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取組について、「防災や災害対策の対応マニュアルは男女両方の視点を取り入れて作成すること」が57.0%で最も多く、次いで「防災や災害対策などの計画や方針を決定する場に、男女がともに参画すること」が51.8%、「性別を問わず、地域に住むだれもが、防災活動や防災訓練に積極的に参加すること」が33.4%となっている。

【防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取組】



【性別】

○　性別でみると、女性は「防災や災害対策の対応マニュアルは男女両方の視点を取り入れて作成すること」、男性は「防災や災害対策などの計画や方針を決定する場に、男女がともに参画すること」が最も多くなっている。

【年代別】

○　年代別でみると、50代は「防災や災害対策の対応マニュアルは男女両方の視点を取り入れて作成すること」が全体より15.5ポイント多くなっている。

【性年代別】

○　性年代別でみると、20代男性は「わからない」が全体より23.1ポイント多くなっている。50代男性は「防災や災害対策の対応マニュアルは男女両方の視点を取り入れて作成すること」が全体より18.8ポイント多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取組】

単位：%

		母数（n）	防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取り組み								
			防災や災害対策の対応マニュアルは男女両方の視点を取り入れて作成すること	防災や災害対策などの計画や方針を決定する場に、男女がともに参画すること	性別を問わず、地域に住むだれもが、防災活動や防災訓練に積極的に参加すること	自治会や地域の自主防災組織などの運営に男女がともに参画すること	地域の防災を担う人材を性別にかかわらず育成すること	災害対応時のリーダーや炊き出しなど役割を性別で固定しないこと	その他	わからない	不明・無回答
全体		872	57.0	51.8	33.4	31.4	30.5	24.3	1.5	4.2	6.7
性別	女性	489	60.1	48.9	35.2	31.3	30.9	26.2	1.4	3.9	5.3
	男性	366	53.3	56.3	31.4	32.0	30.1	22.1	1.4	4.9	7.9
	その他・無回答	17	47.1	41.2	23.5	23.5	29.4	17.6	5.9	－	17.6
年代別	10代	9	66.7	33.3	22.2	66.7	－	33.3	－	－	11.1
	20代	47	44.7	51.1	36.2	25.5	17.0	19.1	－	12.8	4.3
	30代	81	60.5	49.4	40.7	22.2	33.3	29.6	1.2	3.7	2.5
	40代	138	58.0	58.0	41.3	24.6	30.4	26.1	2.2	2.2	2.2
	50代	138	72.5	57.2	31.2	29.7	29.7	32.6	1.4	3.6	0.7
	60代	176	60.2	56.3	35.2	36.4	33.5	21.6	1.1	4.0	5.7
	70代	163	52.1	42.9	27.0	39.3	33.7	23.3	1.8	4.3	10.4
	80代以上	108	42.6	47.2	27.8	29.6	29.6	16.7	0.9	5.6	17.6
性年代別	10代　女性	4	50.0	25.0	25.0	100.0	－	50.0	－	－	－
	10代　男性	5	80.0	40.0	20.0	40.0	－	20.0	－	－	20.0
	20代　女性	25	48.0	60.0	48.0	40.0	24.0	24.0	－	－	－
	20代　男性	22	40.9	40.9	22.7	9.1	9.1	13.6	－	27.3	9.1
	30代　女性	47	61.7	46.8	44.7	25.5	36.2	29.8	2.1	2.1	4.3
	30代　男性	33	60.6	51.5	36.4	18.2	30.3	30.3	－	6.1	－
	40代　女性	85	60.0	56.5	41.2	24.7	27.1	29.4	2.4	3.5	1.2
	40代　男性	51	52.9	62.7	41.2	25.5	35.3	17.6	2.0	－	3.9
	50代　女性	74	68.9	52.7	29.7	25.7	31.1	32.4	1.4	4.1	1.4
	50代　男性	62	75.8	64.5	32.3	33.9	27.4	33.9	1.6	3.2	－
	60代　女性	95	65.3	48.4	37.9	32.6	33.7	25.3	－	5.3	4.2
	60代　男性	81	54.3	65.4	32.1	40.7	33.3	17.3	2.5	2.5	7.4
	70代　女性	95	58.9	38.9	27.4	38.9	33.7	21.1	2.1	4.2	9.5
	70代　男性	68	42.6	48.5	26.5	39.7	33.8	26.5	1.5	4.4	11.8
	80代以上　女性	63	49.2	47.6	28.6	28.6	28.6	20.6	1.6	4.8	14.3
	80代以上　男性	44	34.1	45.5	27.3	29.5	29.5	11.4	－	6.8	22.7

7. 男女共同参画に関する用語について

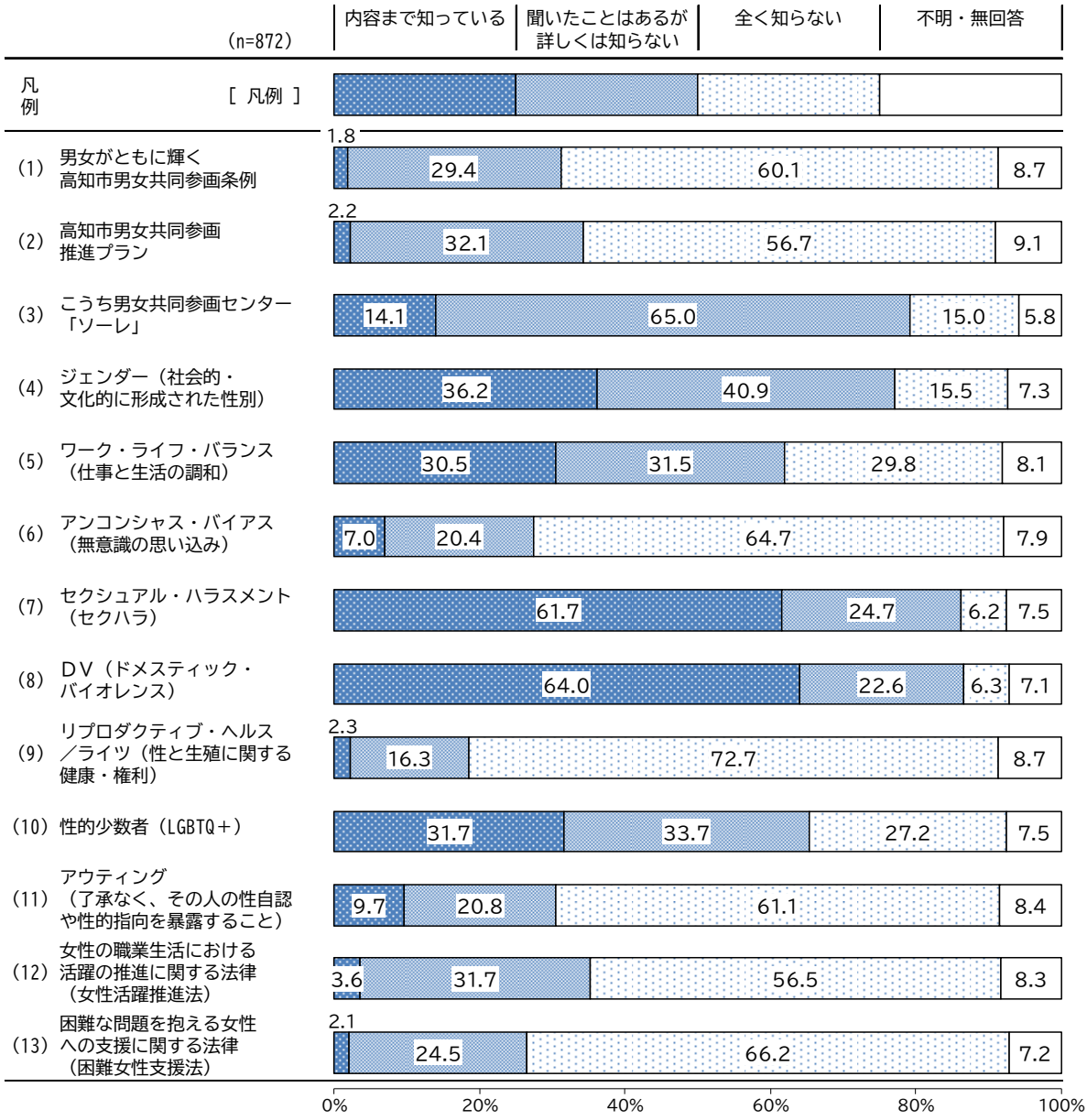
(1)男女共同参画に関する用語の認知度

問8　あなたは次にあげる男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、知っていますか。(1)から(13)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(項目ごとに○は1つずつ)

【全体】

○　男女共同参画に関する用語の認知度について、「内容まで知っている」の割合が最も多いものは「DV(ドメスティック・バイオレンス)」(64.0%)、最も割合が少ないものは「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」(1.8%)となっている。「内容まで知っている」の割合が30%以上のものは他に「セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)」「ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」「性的少数者(LGBTQ+)」「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」となっている。

【男女共同参画に関する用語の認知度】



【(1)男女がともに輝く高知市男女共同参画条例】

○　性別、年代別、性年代別いずれも「全く知らない」が最も多くなっている。

【(2)高知市男女共同参画推進プラン】

○　性別、年代別、性年代別いずれも「全く知らない」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　男女共同参画に関する用語の認知度】

単位：%

		母数(n)	男女がともに輝く高知市男女共同参画条例				高知市男女共同参画推進プラン			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	1.8	29.4	60.1	8.7	2.2	32.1	56.7	9.1
性別	女性	489	1.8	29.7	59.5	9.0	1.6	33.3	55.8	9.2
	男性	366	1.9	29.2	60.7	8.2	3.0	31.4	57.1	8.5
	その他・無回答	17	－	23.5	64.7	11.8	－	11.8	70.6	17.6
年代別	10代	9	11.1	－	66.7	22.2	－	－	66.7	33.3
	20代	47	2.1	25.5	59.6	12.8	2.1	23.4	63.8	10.6
	30代	81	－	25.9	66.7	7.4	1.2	32.1	58.0	8.6
	40代	138	0.7	25.4	66.7	7.2	1.4	33.3	59.4	5.8
	50代	138	2.9	25.4	69.6	2.2	3.6	27.5	66.7	2.2
	60代	176	2.3	34.7	59.7	3.4	2.8	37.5	54.5	5.1
	70代	163	1.8	34.4	51.5	12.3	1.2	34.4	49.7	14.7
	80代以上	108	1.9	30.6	48.1	19.4	1.9	32.4	49.1	16.7
性年代別	10代　女性	4	25.0	－	50.0	25.0	－	－	50.0	50.0
	10代　男性	5	－	－	80.0	20.0	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	4.0	28.0	60.0	8.0	4.0	28.0	60.0	8.0
	20代　男性	22	－	22.7	59.1	18.2	－	18.2	68.2	13.6
	30代　女性	47	－	29.8	63.8	6.4	－	34.0	57.4	8.5
	30代　男性	33	－	21.2	69.7	9.1	3.0	30.3	57.6	9.1
	40代　女性	85	－	24.7	68.2	7.1	1.2	35.3	58.8	4.7
	40代　男性	51	2.0	23.5	66.7	7.8	2.0	31.4	60.8	5.9
	50代　女性	74	2.7	21.6	71.6	4.1	2.7	27.0	67.6	2.7
	50代　男性	62	3.2	30.6	66.1	－	4.8	29.0	64.5	1.6
	60代　女性	95	3.2	33.7	60.0	3.2	3.2	35.8	55.8	5.3
	60代　男性	81	1.2	35.8	59.3	3.7	2.5	39.5	53.1	4.9
	70代　女性	95	2.1	34.7	50.5	12.6	－	38.9	46.3	14.7
	70代　男性	68	1.5	33.8	52.9	11.8	2.9	27.9	54.4	14.7
	80代以上　女性	63	－	33.3	44.4	22.2	－	30.2	50.8	19.0
	80代以上　男性	44	4.5	27.3	52.3	15.9	4.5	36.4	45.5	13.6

【(3)こうち男女共同参画センター「ソーレ」】

○　年代別でみると、10・20代は「全く知らない」が全体より約20～30ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、20代、80代以上の男性は「全く知らない」が全体より約10～30ポイント多くなっている。40代女性は「内容まで知っている」が全体より10.6ポイント多くなっている。50代女性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より17.4ポイント多くなっている。

【(4)ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)】

○　年代別でみると、30・40代は「内容まで知っている」が全体より約10～20ポイント多くなっている。80代以上は「全く知らない」が全体より20.6ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、20～50代の女性は「内容まで知っている」が全体より約10～30ポイント多くなっている。80代以上の男女は「全く知らない」が全体より約20ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	こうち男女共同参画センター「ソーレ」				ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	14.1	65.0	15.0	5.8	36.2	40.9	15.5	7.3
性別	女性	489	14.7	67.7	12.1	5.5	39.9	40.5	12.5	7.2
	男性	366	13.7	61.7	18.6	6.0	31.4	42.3	19.1	7.1
	その他・無回答	17	5.9	58.8	23.5	11.8	35.3	23.5	23.5	17.6
年代別	10代	9	－	44.4	44.4	11.1	22.2	33.3	33.3	11.1
	20代	47	4.3	53.2	34.0	8.5	42.6	34.0	14.9	8.5
	30代	81	21.0	59.3	16.0	3.7	54.3	28.4	11.1	6.2
	40代	138	20.3	65.9	10.1	3.6	50.7	33.3	10.9	5.1
	50代	138	16.7	75.4	7.2	0.7	44.9	44.9	8.7	1.4
	60代	176	14.2	69.3	13.6	2.8	36.9	47.7	13.1	2.3
	70代	163	12.3	62.6	14.1	11.0	23.3	47.9	15.3	13.5
	80代以上	108	6.5	59.3	23.1	11.1	11.1	38.0	36.1	14.8
性年代別	10代　女性	4	－	50.0	50.0	－	50.0	25.0	25.0	－
	10代　男性	5	－	40.0	40.0	20.0	－	40.0	40.0	20.0
	20代　女性	25	8.0	64.0	24.0	4.0	52.0	40.0	4.0	4.0
	20代　男性	22	－	40.9	45.5	13.6	31.8	27.3	27.3	13.6
	30代　女性	47	21.3	59.6	12.8	6.4	68.1	14.9	8.5	8.5
	30代　男性	33	21.2	60.6	18.2	－	36.4	48.5	12.1	3.0
	40代　女性	85	24.7	67.1	5.9	2.4	51.8	37.6	7.1	3.5
	40代　男性	51	11.8	64.7	17.6	5.9	47.1	27.5	17.6	7.8
	50代　女性	74	16.2	82.4	－	1.4	50.0	41.9	5.4	2.7
	50代　男性	62	17.7	67.7	14.5	－	38.7	48.4	12.9	－
	60代　女性	95	13.7	67.4	15.8	3.2	40.0	44.2	13.7	2.1
	60代　男性	81	14.8	71.6	11.1	2.5	33.3	51.9	12.3	2.5
	70代　女性	95	10.5	67.4	11.6	10.5	24.2	49.5	11.6	14.7
	70代　男性	68	14.7	55.9	17.6	11.8	22.1	45.6	20.6	11.8
	80代以上　女性	63	4.8	61.9	22.2	11.1	9.5	42.9	33.3	14.3
	80代以上　男性	44	9.1	54.5	25.0	11.4	13.6	31.8	38.6	15.9

【(5)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)】

○　年代別でみると、30～50代は「内容まで知っている」が全体より約10～20ポイント多くなっている。80代以上は「全く知らない」が全体より21.1ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、20～50代の女性、30代男性は「内容まで知っている」が全体より約20ポイント多くなっている。80代以上女性、70代以上の男性は「全く知らない」が全体より約10～30ポイント多くなっている。

【(6)アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)】

○　性年代別でみると、20代女性、50代男性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。40代男性は「内容まで知っている」が全体より12.6ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)				アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	30.5	31.5	29.8	8.1	7.0	20.4	64.7	7.9
性別	女性	489	30.5	32.9	28.0	8.6	5.9	20.2	65.8	8.0
	男性	366	31.4	29.5	31.7	7.4	8.5	21.0	62.8	7.7
	その他・無回答	17	11.8	35.3	41.2	11.8	5.9	11.8	70.6	11.8
年代別	10代	9	11.1	33.3	22.2	33.3	－	11.1	77.8	11.1
	20代	47	42.6	27.7	21.3	8.5	10.6	27.7	55.3	6.4
	30代	81	54.3	18.5	23.5	3.7	11.1	22.2	61.7	4.9
	40代	138	44.9	30.4	16.7	8.0	10.9	15.2	67.4	6.5
	50代	138	44.9	33.3	20.3	1.4	8.7	26.8	62.3	2.2
	60代	176	28.4	36.4	33.0	2.3	4.5	21.6	71.6	2.3
	70代	163	12.9	35.6	37.4	14.1	6.1	20.2	60.1	13.5
	80代以上	108	5.6	25.9	50.9	17.6	1.9	13.0	65.7	19.4
性年代別	10代　女性	4	25.0	25.0	－	50.0	－	25.0	75.0	－
	10代　男性	5	－	40.0	40.0	20.0	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	48.0	32.0	16.0	4.0	12.0	40.0	48.0	－
	20代　男性	22	36.4	22.7	27.3	13.6	9.1	13.6	63.6	13.6
	30代　女性	47	55.3	19.1	19.1	6.4	6.4	17.0	70.2	6.4
	30代　男性	33	54.5	18.2	27.3	－	15.2	30.3	51.5	3.0
	40代　女性	85	47.1	29.4	16.5	7.1	5.9	14.1	74.1	5.9
	40代　男性	51	41.2	31.4	17.6	9.8	19.6	17.6	54.9	7.8
	50代　女性	74	47.3	33.8	17.6	1.4	8.1	21.6	68.9	1.4
	50代　男性	62	41.9	33.9	22.6	1.6	9.7	33.9	53.2	3.2
	60代　女性	95	23.2	36.8	37.9	2.1	6.3	20.0	71.6	2.1
	60代　男性	81	34.6	35.8	27.2	2.5	2.5	23.5	71.6	2.5
	70代　女性	95	11.6	36.8	34.7	16.8	5.3	25.3	53.7	15.8
	70代　男性	68	14.7	33.8	41.2	10.3	7.4	13.2	69.1	10.3
	80代以上　女性	63	3.2	34.9	44.4	17.5	1.6	12.7	65.1	20.6
	80代以上　男性	44	9.1	13.6	59.1	18.2	2.3	13.6	65.9	18.2

【(7)セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)】

○　年代別でみると、10代、80代以上は「全く知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、80代以上は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より17.0ポイント多くなっている。30～50代は「内容まで知っている」が全体より約20ポイント多くなっている。70代は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より15.2ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、30～50代の女性、50代男性は「内容まで知っている」が全体より約20～30ポイント多くなっている。70代以上の男女は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、80代以上男性は「全く知らない」が全体より12.0ポイント多くなっている。

【(8)DV(ドメスティック・バイオレンス)】

○　年代別でみると、10代、80代以上は「全く知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。また、70代以上は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。30～50代は「内容まで知っている」が全体より約20ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、30～50代の女性、50代男性は「内容まで知っている」が全体より約20ポイント多くなっている。70代男女は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。80代以上の男女は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」「全く知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。20代男性は「全く知らない」が全体より11.9ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)				DV(ドメスティック・バイオレンス)			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	61.7	24.7	6.2	7.5	64.0	22.6	6.3	7.1
性別	女性	489	64.4	24.1	4.1	7.4	67.1	21.3	4.5	7.2
	男性	366	57.9	26.0	8.7	7.4	60.4	24.3	8.5	6.8
	その他・無回答	17	64.7	11.8	11.8	11.8	52.9	23.5	11.8	11.8
年代別	10代	9	33.3	11.1	22.2	33.3	55.6	11.1	22.2	11.1
	20代	47	61.7	17.0	8.5	12.8	63.8	14.9	10.6	10.6
	30代	81	81.5	11.1	4.9	2.5	82.7	7.4	3.7	6.2
	40代	138	78.3	15.2	2.2	4.3	79.7	13.8	2.9	3.6
	50代	138	85.5	13.0	0.7	0.7	82.6	14.5	1.4	1.4
	60代	176	65.3	25.6	5.1	4.0	69.9	22.7	4.0	3.4
	70代	163	40.5	39.9	7.4	12.3	45.4	36.2	6.7	11.7
	80代以上	108	25.0	41.7	16.7	16.7	27.8	38.9	17.6	15.7
性年代別	10代 女性	4	25.0	25.0	－	50.0	75.0	25.0	－	－
	10代 男性	5	40.0	－	40.0	20.0	40.0	－	40.0	20.0
	20代 女性	25	72.0	12.0	4.0	12.0	76.0	12.0	4.0	8.0
	20代 男性	22	50.0	22.7	13.6	13.6	50.0	18.2	18.2	13.6
	30代 女性	47	87.2	6.4	4.3	2.1	85.1	4.3	2.1	8.5
	30代 男性	33	72.7	18.2	6.1	3.0	78.8	12.1	6.1	3.0
	40代 女性	85	83.5	12.9	－	3.5	84.7	11.8	1.2	2.4
	40代 男性	51	68.6	19.6	5.9	5.9	70.6	17.6	5.9	5.9
	50代 女性	74	85.1	13.5	－	1.4	82.4	16.2	－	1.4
	50代 男性	62	85.5	12.9	1.6	－	82.3	12.9	3.2	1.6
	60代 女性	95	70.5	22.1	4.2	3.2	73.7	17.9	4.2	4.2
	60代 男性	81	59.3	29.6	6.2	4.9	65.4	28.4	3.7	2.5
	70代 女性	95	38.9	43.2	4.2	13.7	45.3	37.9	4.2	12.6
	70代 男性	68	42.6	35.3	11.8	10.3	45.6	33.8	10.3	10.3
	80代以上 女性	63	27.0	42.9	14.3	15.9	30.2	36.5	17.5	15.9
	80代以上 男性	44	22.7	40.9	18.2	18.2	25.0	40.9	18.2	15.9

【(9)リプロダクティブ・ヘルス／ライツ(性と生殖に関する健康・権利)】

○　性年代別でみると、20代女性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より15.7ポイント多くなっている。

【(10)性的少数者(LGBTQ＋)】

○　年代別でみると、20～40代は「内容まで知っている」が全体より約20～30ポイント多くなっている。80代以上は「全く知らない」が全体より21.9ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、20～40代の女性、30・40代の男性は「内容まで知っている」が全体より約10～40ポイント多くなっている。60代、80代以上の女性、80代以上男性は「全く知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。60代男性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より13.2ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康・権利）				性的少数者（LGBTQ＋）			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	2.3	16.3	72.7	8.7	31.7	33.7	27.2	7.5
性別	女性	489	2.5	16.4	72.8	8.4	33.5	32.3	27.6	6.5
	男性	366	2.2	16.7	72.4	8.7	29.2	35.8	26.5	8.5
	その他・無回答	17	－	5.9	76.5	17.6	29.4	29.4	29.4	11.8
年代別	10代	9	11.1	22.2	44.4	22.2	33.3	11.1	33.3	22.2
	20代	47	6.4	17.0	66.0	10.6	53.2	25.5	14.9	6.4
	30代	81	1.2	14.8	76.5	7.4	56.8	24.7	13.6	4.9
	40代	138	1.4	17.4	76.1	5.1	47.1	31.9	16.7	4.3
	50代	138	3.6	13.8	79.0	3.6	36.2	35.5	25.4	2.9
	60代	176	1.7	19.9	73.9	4.5	23.9	40.9	32.4	2.8
	70代	163	1.8	16.6	68.7	12.9	21.5	38.7	28.2	11.7
	80代以上	108	1.9	13.0	67.6	17.6	6.5	25.9	49.1	18.5
性年代別	10代　女性	4	25.0	50.0	－	25.0	50.0	25.0	－	25.0
	10代　男性	5	－	－	80.0	20.0	20.0	－	60.0	20.0
	20代　女性	25	8.0	32.0	52.0	8.0	72.0	20.0	8.0	－
	20代　男性	22	4.5	－	81.8	13.6	31.8	31.8	22.7	13.6
	30代　女性	47	－	10.6	80.9	8.5	59.6	19.1	14.9	6.4
	30代　男性	33	3.0	21.2	69.7	6.1	54.5	33.3	9.1	3.0
	40代　女性	85	2.4	12.9	81.2	3.5	47.1	35.3	15.3	2.4
	40代　男性	51	－	25.5	66.7	7.8	45.1	27.5	19.6	7.8
	50代　女性	74	5.4	12.2	79.7	2.7	40.5	35.1	23.0	1.4
	50代　男性	62	1.6	14.5	79.0	4.8	32.3	35.5	27.4	4.8
	60代　女性	95	2.1	20.0	73.7	4.2	22.1	35.8	40.0	2.1
	60代　男性	81	1.2	19.8	74.1	4.9	25.9	46.9	23.5	3.7
	70代　女性	95	1.1	15.8	68.4	14.7	21.1	38.9	27.4	12.6
	70代　男性	68	2.9	17.6	69.1	10.3	22.1	38.2	29.4	10.3
	80代以上　女性	63	－	15.9	66.7	17.5	7.9	23.8	50.8	17.5
	80代以上　男性	44	4.5	9.1	68.2	18.2	4.5	29.5	45.5	20.5

【(11)アウティング(了承なく、その人の性自認や性的指向を暴露すること)】

○　年代別でみると、30代は「内容まで知っている」が全体より11.3ポイント多くなっている。80代以上は「全く知らない」が全体より11.1ポイント多くなっている。

○　性年代別でみると、30代男女は「内容まで知っている」が全体より10ポイント以上多くなっている。80代以上女性は「全く知らない」が全体より11.9ポイント多くなっている。60代男性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より16.2ポイント多くなっている。

【(12)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)】

○　性年代別でみると、20代女性は「内容まで知っている」が全体より12.4ポイント多くなっている。また、20代女性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より24.3ポイント多くなっている。30代女性、60代男性は「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	アウティング(了承なく、その人の性自認や性的指向を暴露すること)				女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	9.7	20.8	61.1	8.4	3.6	31.7	56.5	8.3
性別	女性	489	11.5	18.4	61.3	8.8	3.3	31.5	57.9	7.4
	男性	366	7.7	23.8	60.9	7.7	4.1	32.2	54.4	9.3
	その他・無回答	17	5.9	23.5	58.8	11.8	－	23.5	64.7	11.8
年代別	10代	9	－	－	55.6	44.4	11.1	11.1	66.7	11.1
	20代	47	10.6	14.9	57.4	17.0	10.6	38.3	42.6	8.5
	30代	81	21.0	22.2	49.4	7.4	4.9	40.7	45.7	8.6
	40代	138	15.2	19.6	60.9	4.3	4.3	26.8	63.0	5.8
	50代	138	10.9	22.5	63.0	3.6	3.6	35.5	58.0	2.9
	60代	176	9.7	28.4	59.7	2.3	2.8	35.8	58.0	3.4
	70代	163	5.5	20.2	62.0	12.3	1.8	30.7	55.2	12.3
	80代以上	108	0.9	10.2	72.2	16.7	1.9	20.4	59.3	18.5
性年代別	10代　女性	4	－	－	25.0	75.0	25.0	25.0	50.0	－
	10代　男性	5	－	－	80.0	20.0	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	12.0	24.0	48.0	16.0	16.0	56.0	24.0	4.0
	20代　男性	22	9.1	4.5	68.2	18.2	4.5	18.2	63.6	13.6
	30代　女性	47	21.3	21.3	46.8	10.6	2.1	46.8	40.4	10.6
	30代　男性	33	21.2	24.2	51.5	3.0	9.1	33.3	51.5	6.1
	40代　女性	85	17.6	16.5	62.4	3.5	3.5	24.7	68.2	3.5
	40代　男性	51	9.8	25.5	58.8	5.9	5.9	29.4	54.9	9.8
	50代　女性	74	13.5	21.6	60.8	4.1	2.7	32.4	63.5	1.4
	50代　男性	62	8.1	22.6	66.1	3.2	4.8	38.7	51.6	4.8
	60代　女性	95	11.6	21.1	65.3	2.1	4.2	29.5	64.2	2.1
	60代　男性	81	7.4	37.0	53.1	2.5	1.2	43.2	50.6	4.9
	70代　女性	95	6.3	17.9	62.1	13.7	－	27.4	58.9	13.7
	70代　男性	68	4.4	23.5	61.8	10.3	4.4	35.3	50.0	10.3
	80代以上　女性	63	1.6	9.5	73.0	15.9	1.6	27.0	54.0	17.5
	80代以上　男性	44	－	11.4	70.5	18.2	2.3	11.4	65.9	20.5

【(13)困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(困難女性支援法)】

○　性年代別でみると、40代女性は「全く知らない」が全体より11.4ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（困難女性支援法）			
			内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない	不明・無回答
全体		872	2.1	24.5	66.2	7.2
性別	女性	489	1.6	27.4	64.0	7.0
	男性	366	2.7	21.3	68.6	7.4
	その他・無回答	17	－	11.8	76.5	11.8
年代別	10代	9	11.1	11.1	55.6	22.2
	20代	47	4.3	23.4	61.7	10.6
	30代	81	3.7	27.2	64.2	4.9
	40代	138	0.7	21.7	73.2	4.3
	50代	138	3.6	24.6	70.3	1.4
	60代	176	1.1	29.0	67.0	2.8
	70代	163	1.8	27.0	59.5	11.7
	80代以上	108	0.9	17.6	64.8	16.7
性年代別	10代　女性	4	25.0	25.0	25.0	25.0
	10代　男性	5	－	－	80.0	20.0
	20代　女性	25	4.0	32.0	56.0	8.0
	20代　男性	22	4.5	13.6	68.2	13.6
	30代　女性	47	2.1	36.2	55.3	6.4
	30代　男性	33	6.1	15.2	75.8	3.0
	40代　女性	85	－	18.8	77.6	3.5
	40代　男性	51	2.0	25.5	66.7	5.9
	50代　女性	74	4.1	27.0	67.6	1.4
	50代　男性	62	3.2	22.6	72.6	1.6
	60代　女性	95	2.1	30.5	65.3	2.1
	60代　男性	81	－	27.2	69.1	3.7
	70代　女性	95	－	28.4	58.9	12.6
	70代　男性	68	4.4	25.0	60.3	10.3
	80代以上　女性	63	－	23.8	60.3	15.9
	80代以上　男性	44	2.3	9.1	70.5	18.2

8. 高知市の男女共同参画への取組について

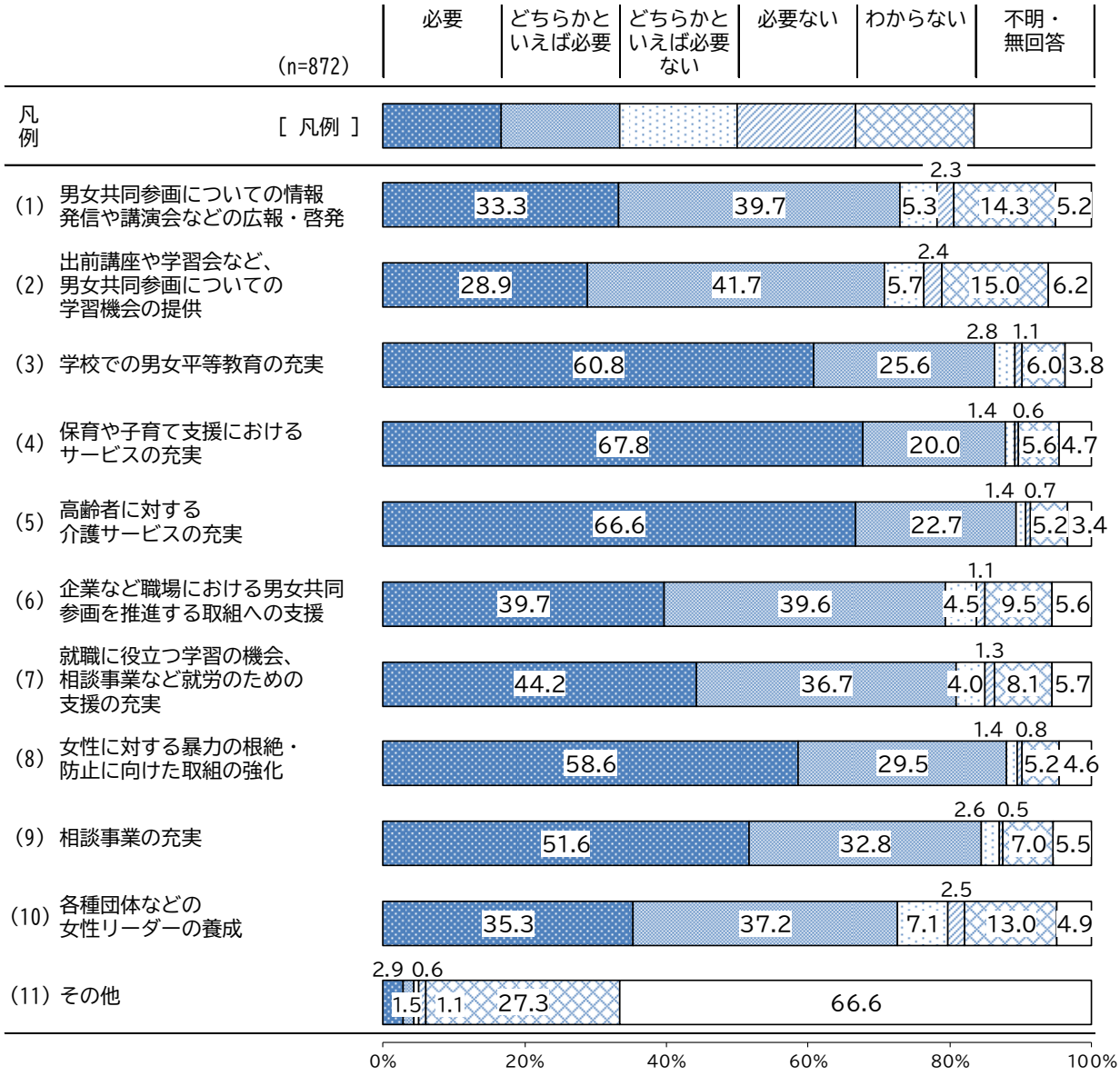
(1)男女共同参画社会実現のために必要な取組

問9　高知市では、誰もが社会の対等な一員として互いに尊重し合いながらともに参画し、喜びも責任も分かち合う「男女共同参画社会」の実現をめざして取り組んでいます。あなたは今後どのような取り組みがさらに必要だと思いますか。(1)から(11)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(項目ごとに○は1つずつ)

【全体】

○　男女共同参画社会実現のために必要な取組について、「必要」の割合が最も多いものは「保育や子育て支援におけるサービスの充実」(67.8%)、最も割合が少ないものは「その他」を除くと「出前講座や学習会など、男女共同参画についての学習機会の提供」(28.9%)となっている。「必要」の割合が50%以上のものは他に「高齢者に対する介護サービスの充実」「学校での男女平等教育の充実」「女性に対する暴力の根絶・防止に向けた取組の強化」「相談事業の充実」となっている。

【男女共同参画社会実現のために必要な取組】



【(1)男女共同参画についての情報発信や講演会などの広報・啓発】

○　性年代別にみると、20代男性は「わからない」が全体より22.1ポイント多くなっている。30代男性は＜不要＞が全体より13.6ポイント多くなっている。

【(2)出前講座や学習会など、男女共同参画についての学習機会の提供】

○　性年代別でみると、全年代の女性、20代以上の男性は＜必要＞、10代男性は＜必要＞「わからない」が最も多くなっている。

【性別、年代別、性年代別　男女共同参画社会実現のために必要な取組】

単位：%

		母数(n)	男女共同参画についての情報発信や講演会などの広報・啓発								出前講座や学習会など、男女共同参画についての学習機会の提供							
			必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞
全体		872	33.3	39.7	5.3	2.3	14.3	5.2	73.0	7.6	28.9	41.7	5.7	2.4	15.0	6.2	70.6	8.1
性別	女性	489	31.7	42.3	4.7	1.0	14.7	5.5	74.0	5.7	28.6	44.2	4.9	1.0	14.7	6.5	72.8	5.9
	男性	366	36.6	35.5	6.0	3.8	13.4	4.6	72.1	9.8	30.1	38.5	6.6	4.1	15.0	5.7	68.6	10.7
	その他・無回答	17	5.9	52.9	5.9	5.9	23.5	5.9	58.8	11.8	11.8	41.2	11.8	5.9	23.5	5.9	53.0	17.7
年代別	10代	9	44.4	11.1	－	－	33.3	11.1	55.5	－	55.6	11.1	－	－	22.2	11.1	66.7	－
	20代	47	25.5	40.4	4.3	－	23.4	6.4	65.9	4.3	19.1	42.6	8.5	－	21.3	8.5	61.7	8.5
	30代	81	24.7	44.4	9.9	6.2	13.6	1.2	69.1	16.1	25.9	43.2	4.9	6.2	14.8	4.9	69.1	11.1
	40代	138	28.3	43.5	8.0	2.9	13.8	3.6	71.8	10.9	28.3	43.5	7.2	3.6	13.8	3.6	71.8	10.8
	50代	138	29.0	44.9	7.2	3.6	15.2	－	73.9	10.8	23.2	50.0	8.0	3.6	15.2	－	73.2	11.6
	60代	176	43.2	36.9	5.1	1.1	12.5	1.1	80.1	6.2	36.4	39.8	6.3	1.7	14.2	1.7	76.2	8.0
	70代	163	38.0	38.7	1.2	1.2	12.9	8.0	76.7	2.4	28.8	41.7	3.1	1.2	14.7	10.4	70.5	4.3
	80代以上	108	33.3	29.6	2.8	1.9	13.9	18.5	62.9	4.7	30.6	32.4	2.8	0.9	14.8	18.5	63.0	3.7
性年代別	10代　女性	4	50.0	25.0	－	－	25.0	－	75.0	－	75.0	25.0	－	－	－	－	100.0	－
	10代　男性	5	40.0	－	－	－	40.0	20.0	40.0	－	40.0	－	－	－	40.0	20.0	40.0	－
	20代　女性	25	28.0	52.0	4.0	－	12.0	4.0	80.0	4.0	20.0	48.0	12.0	－	12.0	8.0	68.0	12.0
	20代　男性	22	22.7	27.3	4.5	－	36.4	9.1	50.0	4.5	18.2	36.4	4.5	－	31.8	9.1	54.6	4.5
	30代　女性	47	29.8	42.6	8.5	2.1	14.9	2.1	72.4	10.6	29.8	44.7	4.3	2.1	12.8	6.4	74.5	6.4
	30代　男性	33	18.2	48.5	12.1	9.1	12.1	－	66.7	21.2	21.2	42.4	6.1	9.1	18.2	3.0	63.6	15.2
	40代　女性	85	24.7	50.6	8.2	－	14.1	2.4	75.3	8.2	24.7	54.1	7.1	－	12.9	1.2	78.8	7.1
	40代　男性	51	33.3	31.4	7.8	7.8	13.7	5.9	64.7	15.6	33.3	25.5	7.8	9.8	15.7	7.8	58.8	17.6
	50代　女性	74	31.1	45.9	6.8	2.7	13.5	－	77.0	9.5	25.7	50.0	6.8	2.7	14.9	－	75.7	9.5
	50代　男性	62	27.4	45.2	8.1	4.8	14.5	－	72.6	12.9	21.0	51.6	9.7	4.8	12.9	－	72.6	14.5
	60代　女性	95	40.0	37.9	5.3	1.1	15.8	－	77.9	6.4	36.8	38.9	7.4	1.1	15.8	－	75.7	8.5
	60代　男性	81	46.9	35.8	4.9	1.2	8.6	2.5	82.7	6.1	35.8	40.7	4.9	2.5	12.3	3.7	76.5	7.4
	70代　女性	95	29.5	43.2	－	－	15.8	11.6	72.7	－	24.2	44.2	－	－	17.9	13.7	68.4	－
	70代　男性	68	50.0	32.4	2.9	2.9	8.8	2.9	82.4	5.8	35.3	38.2	7.4	2.9	10.3	5.9	73.5	10.3
	80代以上　女性	63	33.3	30.2	1.6	1.6	14.3	19.0	63.5	3.2	30.2	31.7	1.6	1.6	14.3	20.6	61.9	3.2
	80代以上　男性	44	34.1	29.5	4.5	2.3	13.6	15.9	63.6	6.8	31.8	34.1	4.5	－	15.9	13.6	65.9	4.5

※　＜必要＞は、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせたもの。
※　＜不要＞は、「どちらかといえば必要ない」「必要ない」を合わせたもの。

【(3)学校での男女平等教育の充実】

○　性年代別でみると、20・30代の女性は＜必要＞が全体より約10ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より16.7ポイント多くなっている。

【(4)保育や子育て支援におけるサービスの充実】

○　性別、年代別、性年代別いずれも＜必要＞が最も多くなっている。

単位：%

		母数(n)	学校での男女平等教育の充実								保育や子育て支援におけるサービスの充実							
			必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞
全体		872	60.8	25.6	2.8	1.1	6.0	3.8	86.4	3.9	67.8	20.0	1.4	0.6	5.6	4.7	87.8	2.0
性別	女性	489	64.0	25.2	2.2	0.6	4.3	3.7	89.2	2.8	70.8	20.2	1.0	0.2	3.3	4.5	91.0	1.2
	男性	366	57.7	25.1	3.6	1.9	7.9	3.8	82.8	5.5	63.7	19.7	1.9	1.1	9.0	4.6	83.4	3.0
	その他・無回答	17	35.3	47.1	－	－	11.8	5.9	82.4	－	70.6	17.6	－	－	－	11.8	88.2	－
年代別	10代	9	66.7	11.1	－	－	11.1	11.1	77.8	－	66.7	11.1	－	－	11.1	11.1	77.8	－
	20代	47	59.6	27.7	－	－	10.6	2.1	87.3	－	72.3	17.0	－	－	8.5	2.1	89.3	－
	30代	81	65.4	29.6	1.2	1.2	2.5	－	95.0	2.4	80.2	12.3	1.2	－	3.7	2.5	92.5	1.2
	40代	138	60.9	29.0	2.2	－	5.8	2.2	89.9	2.2	72.5	18.1	0.7	2.2	3.6	2.9	90.6	2.9
	50代	138	59.4	26.8	5.1	3.6	5.1	－	86.2	8.7	71.7	20.3	1.4	－	6.5	－	92.0	1.4
	60代	176	65.9	23.9	2.8	1.7	4.5	1.1	89.8	4.5	71.0	21.0	1.7	0.6	4.0	1.7	92.0	2.3
	70代	163	60.1	23.3	2.5	0.6	7.4	6.1	83.4	3.1	61.3	21.5	1.2	0.6	6.7	8.6	82.8	1.8
	80代以上	108	54.6	19.4	3.7	－	7.4	14.8	74.0	3.7	49.1	26.9	2.8	－	8.3	13.0	76.0	2.8
性年代別	10代　女性	4	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－
	10代　男性	5	40.0	20.0	－	－	20.0	20.0	60.0	－	40.0	20.0	－	－	20.0	20.0	60.0	－
	20代　女性	25	72.0	28.0	－	－	－	－	100.0	－	80.0	20.0	－	－	－	－	100.0	－
	20代　男性	22	45.5	27.3	－	－	22.7	4.5	72.8	－	63.6	13.6	－	－	18.2	4.5	77.2	－
	30代　女性	47	74.5	25.5	－	－	－	－	100.0	－	87.2	8.5	－	－	2.1	2.1	95.7	－
	30代　男性	33	51.5	36.4	3.0	3.0	6.1	－	87.9	6.0	69.7	18.2	3.0	－	6.1	3.0	87.9	3.0
	40代　女性	85	63.5	31.8	－	－	3.5	1.2	95.3	－	74.1	23.5	－	1.2	－	1.2	97.6	1.2
	40代　男性	51	56.9	25.5	5.9	－	7.8	3.9	82.4	5.9	70.6	7.8	2.0	3.9	9.8	5.9	78.4	5.9
	50代　女性	74	59.5	25.7	6.8	2.7	5.4	－	85.2	9.5	71.6	21.6	－	－	6.8	－	93.2	－
	50代　男性	62	59.7	27.4	3.2	4.8	4.8	－	87.1	8.0	72.6	17.7	3.2	－	6.5	－	90.3	3.2
	60代　女性	95	69.5	21.1	3.2	1.1	5.3	－	90.6	4.3	73.7	20.0	2.1	－	3.2	1.1	93.7	2.1
	60代　男性	81	61.7	27.2	2.5	2.5	3.7	2.5	88.9	5.0	67.9	22.2	1.2	1.2	4.9	2.5	90.1	2.4
	70代　女性	95	58.9	25.3	1.1	－	6.3	8.4	84.2	1.1	65.3	17.9	1.1	－	4.2	11.6	83.2	1.1
	70代　男性	68	61.8	20.6	4.4	1.5	8.8	2.9	82.4	5.9	55.9	26.5	1.5	1.5	10.3	4.4	82.4	3.0
	80代以上　女性	63	55.6	22.2	3.2	－	4.8	14.3	77.8	3.2	50.8	28.6	3.2	－	4.8	12.7	79.4	3.2
	80代以上　男性	44	54.5	15.9	4.5	－	11.4	13.6	70.4	4.5	45.5	25.0	2.3	－	13.6	13.6	70.5	2.3

※　＜必要＞は、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせたもの。
※　＜不要＞は、「どちらかといえば必要ない」「必要ない」を合わせたもの。

【(5)高齢者に対する介護サービスの充実】

○　性年代別でみると、20代男性は「わからない」が全体より13.0ポイント多くなっている。30代男性は＜不要＞が全体より10.1ポイント多くなっている。

【(6)企業など職場における男女共同参画を推進する取組への支援】

○　性別、年代別、性年代別いずれも＜必要＞が最も多くなっている。

単位：%

		母数(n)	高齢者に対する介護サービスの充実								企業など職場における男女共同参画を推進する取組への支援							
			必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞
全体		872	66.6	22.7	1.4	0.7	5.2	3.4	89.3	2.1	39.7	39.6	4.5	1.1	9.5	5.6	79.3	5.6
性別	女性	489	69.9	22.3	1.0	0.2	3.5	3.1	92.2	1.2	42.1	39.3	3.7	0.8	8.2	5.9	81.4	4.5
	男性	366	62.0	23.2	1.6	1.4	7.7	4.1	85.2	3.0	37.2	39.6	5.5	1.6	10.9	5.2	76.8	7.1
	その他・無回答	17	70.6	23.5	5.9	－	－	－	94.1	5.9	23.5	47.1	5.9	－	17.6	5.9	70.6	5.9
年代別	10代	9	66.7	11.1	－	－	11.1	11.1	77.8	－	44.4	22.2	－	－	11.1	22.2	66.6	－
	20代	47	57.4	25.5	－	－	12.8	4.3	82.9	－	44.7	27.7	－	－	19.1	8.5	72.4	－
	30代	81	58.0	24.7	4.9	2.5	4.9	4.9	82.7	7.4	45.7	37.0	6.2	－	9.9	1.2	82.7	6.2
	40代	138	61.6	27.5	0.7	0.7	5.8	3.6	89.1	1.4	42.0	37.7	5.8	1.4	9.4	3.6	79.7	7.2
	50代	138	70.3	23.2	0.7	0.7	5.1	－	93.5	1.4	35.5	47.8	5.8	2.2	8.7	－	83.3	8.0
	60代	176	74.4	19.9	1.1	－	2.8	1.7	94.3	1.1	46.0	41.5	3.4	1.1	6.8	1.1	87.5	4.5
	70代	163	69.9	20.9	0.6	0.6	4.3	3.7	90.8	1.2	38.7	39.9	3.1	0.6	9.2	8.6	78.6	3.7
	80代以上	108	61.1	21.3	1.9	0.9	6.5	8.3	82.4	2.8	26.9	35.2	5.6	1.9	11.1	19.4	62.1	7.5
性年代別	10代　女性	4	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－	50.0	25.0	－	－	－	25.0	75.0	－
	10代　男性	5	40.0	20.0	－	－	20.0	20.0	60.0	－	40.0	20.0	－	－	20.0	20.0	60.0	－
	20代　女性	25	60.0	28.0	－	－	8.0	4.0	88.0	－	52.0	28.0	－	－	12.0	8.0	80.0	－
	20代　男性	22	54.5	22.7	－	－	18.2	4.5	77.2	－	36.4	27.3	－	－	27.3	9.1	63.7	－
	30代　女性	47	66.0	21.3	4.3	－	4.3	4.3	87.3	4.3	53.2	34.0	4.3	－	6.4	2.1	87.2	4.3
	30代　男性	33	45.5	30.3	6.1	6.1	6.1	6.1	75.8	12.2	36.4	39.4	9.1	－	15.2	－	75.8	9.1
	40代　女性	85	64.7	27.1	1.2	－	3.5	3.5	91.8	1.2	42.4	42.4	5.9	－	7.1	2.4	84.8	5.9
	40代　男性	51	54.9	29.4	－	2.0	9.8	3.9	84.3	2.0	41.2	31.4	5.9	3.9	11.8	5.9	72.6	9.8
	50代　女性	74	73.0	23.0	－	－	4.1	－	96.0	－	37.8	51.4	2.7	2.7	5.4	－	89.2	5.4
	50代　男性	62	67.7	22.6	1.6	1.6	6.5	－	90.3	3.2	33.9	43.5	9.7	1.6	11.3	－	77.4	11.3
	60代　女性	95	76.8	18.9	2.1	－	2.1	－	95.7	2.1	47.4	38.9	3.2	1.1	9.5	－	86.3	4.3
	60代　男性	81	71.6	21.0	－	－	3.7	3.7	92.6	－	44.4	44.4	3.7	1.2	3.7	2.5	88.8	4.9
	70代　女性	95	73.7	17.9	－	－	3.2	5.3	91.6	－	40.0	37.9	2.1	－	8.4	11.6	77.9	2.1
	70代　男性	68	64.7	25.0	1.5	1.5	5.9	1.5	89.7	3.0	36.8	42.6	4.4	1.5	10.3	4.4	79.4	5.9
	80代以上　女性	63	61.9	27.0	－	1.6	3.2	6.3	88.9	1.6	28.6	33.3	6.3	1.6	11.1	19.0	61.9	7.9
	80代以上　男性	44	59.1	13.6	4.5	－	11.4	11.4	72.7	4.5	25.0	38.6	4.5	2.3	11.4	18.2	63.6	6.8

※　＜必要＞は、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせたもの。
※　＜不要＞は、「どちらかといえば必要ない」「必要ない」を合わせたもの。

【(7)就職に役立つ学習の機会、相談事業など就労のための支援の充実】

○　性年代別でみると、20代男性は「わからない」が全体より23.7ポイント多くなっている。

【(8)女性に対する暴力の根絶・防止に向けた取組の強化】

○　性年代別でみると、40代女性は＜必要＞が全体より10.7ポイント多くなっている。20代男性は「わからない」が全体より17.5ポイント多くなっている。

単位：%

		母数(n)	就職に役立つ学習の機会、相談事業など就労のための支援の充実								女性に対する暴力の根絶・防止に向けた取組の強化							
			必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞
全体		872	44.2	36.7	4.0	1.3	8.1	5.7	80.9	5.3	58.6	29.5	1.4	0.8	5.2	4.6	88.1	2.2
性別	女性	489	48.3	36.6	2.2	1.0	5.7	6.1	84.9	3.2	62.6	28.6	0.4	0.8	3.1	4.5	91.2	1.2
	男性	366	39.6	35.8	6.6	1.6	11.2	5.2	75.4	8.2	53.8	30.1	2.5	0.8	8.2	4.6	83.9	3.3
	その他・無回答	17	23.5	58.8	－	－	11.8	5.9	82.3	－	47.1	41.2	5.9	－	－	5.9	88.3	5.9
年代別	10代	9	66.7	11.1	－	－	11.1	11.1	77.8	－	66.7	11.1	－	－	11.1	11.1	77.8	－
	20代	47	53.2	19.1	4.3	－	19.1	4.3	72.3	4.3	70.2	17.0	－	－	10.6	2.1	87.2	－
	30代	81	42.0	37.0	6.2	2.5	9.9	2.5	79.0	8.7	59.3	29.6	1.2	1.2	7.4	1.2	88.9	2.4
	40代	138	47.8	35.5	5.1	0.7	6.5	4.3	83.3	5.8	59.4	33.3	0.7	－	3.6	2.9	92.7	0.7
	50代	138	43.5	44.9	3.6	2.2	5.8	－	88.4	5.8	57.2	35.5	1.4	0.7	4.3	0.7	92.7	2.1
	60代	176	46.0	42.0	4.5	0.6	5.1	1.7	88.0	5.1	62.5	29.5	2.3	0.6	4.0	1.1	92.0	2.9
	70代	163	43.6	31.3	3.7	1.2	8.6	11.7	74.9	4.9	58.9	26.4	0.6	1.2	4.3	8.6	85.3	1.8
	80代以上	108	36.1	33.3	1.9	1.9	11.1	15.7	69.4	3.8	47.2	26.9	1.9	1.9	7.4	14.8	74.1	3.8
性年代別	10代　女性	4	75.0	25.0	－	－	－	－	100.0	－	75.0	25.0	－	－	－	－	100.0	－
	10代　男性	5	60.0	－	－	－	20.0	20.0	60.0	－	60.0	－	－	－	20.0	20.0	60.0	－
	20代　女性	25	60.0	24.0	4.0	－	8.0	4.0	84.0	4.0	76.0	24.0	－	－	－	－	100.0	－
	20代　男性	22	45.5	13.6	4.5	－	31.8	4.5	59.1	4.5	63.6	9.1	－	－	22.7	4.5	72.7	－
	30代　女性	47	46.8	36.2	6.4	2.1	6.4	2.1	83.0	8.5	74.5	19.1	－	－	4.3	2.1	93.6	－
	30代　男性	33	36.4	39.4	6.1	3.0	12.1	3.0	75.8	9.1	36.4	45.5	3.0	3.0	12.1	－	81.9	6.0
	40代　女性	85	47.1	43.5	2.4	－	3.5	3.5	90.6	2.4	60.0	38.8	－	－	－	1.2	98.8	－
	40代　男性	51	49.0	21.6	9.8	2.0	11.8	5.9	70.6	11.8	58.8	23.5	2.0	－	9.8	5.9	82.3	2.0
	50代　女性	74	51.4	41.9	－	2.7	4.1	－	93.3	2.7	59.5	36.5	－	1.4	2.7	－	96.0	1.4
	50代　男性	62	33.9	48.4	8.1	1.6	8.1	－	82.3	9.7	54.8	33.9	3.2	－	6.5	1.6	88.7	3.2
	60代　女性	95	50.5	38.9	4.2	－	5.3	1.1	89.4	4.2	70.5	22.1	2.1	－	5.3	－	92.6	2.1
	60代　男性	81	40.7	45.7	4.9	1.2	4.9	2.5	86.4	6.1	53.1	38.3	2.5	1.2	2.5	2.5	91.4	3.7
	70代　女性	95	47.4	29.5	－	1.1	7.4	14.7	76.9	1.1	61.1	22.1	－	1.1	4.2	11.6	83.2	1.1
	70代　男性	68	38.2	33.8	8.8	1.5	10.3	7.4	72.0	10.3	55.9	32.4	1.5	1.5	4.4	4.4	88.3	3.0
	80代以上　女性	63	38.1	34.9	1.6	1.6	7.9	15.9	73.0	3.2	44.4	34.9	－	3.2	3.2	14.3	79.3	3.2
	80代以上　男性	44	34.1	31.8	2.3	2.3	15.9	13.6	65.9	4.6	52.3	15.9	4.5	－	13.6	13.6	68.2	4.5

※　＜必要＞は、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせたもの。
※　＜不要＞は、「どちらかといえば必要ない」「必要ない」を合わせたもの。

【(9)相談事業の充実】

○　性年代別でみると、20・30代の男性は「わからない」が全体より約10～20ポイント多くなっている。

【(10)各種団体などの女性リーダーの養成】

○　性別、年代別、性年代別いずれも＜必要＞が最も多くなっている。

単位：%

		母数(n)	相談事業の充実								各種団体などの女性リーダーの養成							
			必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	＜必要＞	＜不要＞
全体		872	51.6	32.8	2.6	0.5	7.0	5.5	84.4	3.1	35.3	37.2	7.1	2.5	13.0	4.9	72.5	9.6
性別	女性	489	55.2	32.7	1.2	－	5.3	5.5	87.9	1.2	37.6	36.8	6.7	1.6	12.1	5.1	74.4	8.3
	男性	366	46.4	32.5	4.6	1.1	9.6	5.7	78.9	5.7	33.3	36.9	7.1	3.8	14.2	4.6	70.2	10.9
	その他・無回答	17	58.8	41.2	－	－	－	－	100.0	－	11.8	52.9	17.6	－	11.8	5.9	64.7	17.6
年代別	10代	9	55.6	11.1	－	－	11.1	22.2	66.7	－	66.7	11.1	－	－	11.1	11.1	77.8	－
	20代	47	48.9	34.0	2.1	－	10.6	4.3	82.9	2.1	27.7	38.3	12.8	4.3	14.9	2.1	66.0	17.1
	30代	81	48.1	34.6	2.5	1.2	11.1	2.5	82.7	3.7	27.2	40.7	12.3	2.5	16.0	1.2	67.9	14.8
	40代	138	50.0	37.0	2.9	－	5.1	5.1	87.0	2.9	37.7	31.9	6.5	4.3	14.5	5.1	69.6	10.8
	50代	138	48.6	41.3	3.6	－	5.8	0.7	89.9	3.6	29.7	47.1	8.7	2.2	12.3	－	76.8	10.9
	60代	176	60.2	28.4	4.0	0.6	5.7	1.1	88.6	4.6	34.7	43.8	5.1	2.3	12.5	1.7	78.5	7.4
	70代	163	55.2	25.2	1.2	0.6	8.0	9.8	80.4	1.8	40.5	33.1	5.5	1.8	11.0	8.0	73.6	7.3
	80代以上	108	40.7	34.3	1.9	0.9	7.4	14.8	75.0	2.8	40.7	25.0	3.7	1.9	13.0	15.7	65.7	5.6
性年代別	10代　女性	4	75.0	－	－	－	－	25.0	75.0	－	75.0	25.0	－	－	－	－	100.0	－
	10代　男性	5	40.0	20.0	－	－	20.0	20.0	60.0	－	60.0	－	－	－	20.0	20.0	60.0	－
	20代　女性	25	52.0	40.0	4.0	－	－	4.0	92.0	4.0	36.0	44.0	16.0	4.0	－	－	80.0	20.0
	20代　男性	22	45.5	27.3	－	－	22.7	4.5	72.8	－	18.2	31.8	9.1	4.5	31.8	4.5	50.0	13.6
	30代　女性	47	57.4	31.9	－	－	6.4	4.3	89.3	－	36.2	38.3	12.8	－	10.6	2.1	74.5	12.8
	30代　男性	33	36.4	36.4	6.1	3.0	18.2	－	72.8	9.1	15.2	45.5	12.1	6.1	21.2	－	60.7	18.2
	40代　女性	85	49.4	41.2	2.4	－	4.7	2.4	90.6	2.4	40.0	32.9	2.4	3.5	16.5	4.7	72.9	5.9
	40代　男性	51	49.0	31.4	3.9	－	5.9	9.8	80.4	3.9	35.3	27.5	13.7	5.9	11.8	5.9	62.8	19.6
	50代　女性	74	54.1	39.2	－	－	5.4	1.4	93.3	－	32.4	47.3	8.1	2.7	9.5	－	79.7	10.8
	50代　男性	62	41.9	43.5	8.1	－	6.5	－	85.4	8.1	27.4	45.2	9.7	1.6	16.1	－	72.6	11.3
	60代　女性	95	66.3	24.2	2.1	－	7.4	－	90.5	2.1	33.7	43.2	5.3	1.1	15.8	1.1	76.9	6.4
	60代　男性	81	53.1	33.3	6.2	1.2	3.7	2.5	86.4	7.4	35.8	44.4	4.9	3.7	8.6	2.5	80.2	8.6
	70代　女性	95	56.8	26.3	－	－	5.3	11.6	83.1	－	41.1	29.5	7.4	1.1	10.5	10.5	70.6	8.5
	70代　男性	68	52.9	23.5	2.9	1.5	11.8	7.4	76.4	4.4	39.7	38.2	2.9	2.9	11.8	4.4	77.9	5.8
	80代以上　女性	63	42.9	36.5	1.6	－	4.8	14.3	79.4	1.6	39.7	28.6	4.8	－	12.7	14.3	68.3	4.8
	80代以上　男性	44	36.4	31.8	2.3	2.3	11.4	15.9	68.2	4.6	43.2	20.5	2.3	4.5	13.6	15.9	63.7	6.8

※　＜必要＞は、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせたもの。
※　＜不要＞は、「どちらかといえば必要ない」「必要ない」を合わせたもの。

【(11)その他】

○　性別、年代別、性年代別いずれも「わからない」が最も多くなっている。

単位：%

		母数(n)	その他							
			必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない	不明・無回答	<必要>	<不要>
全体		872	2.9	1.5	0.6	1.1	27.3	66.6	4.4	1.7
性別	女性	489	2.2	1.4	0.4	0.6	24.5	70.8	3.6	1.0
	男性	366	3.8	1.6	0.8	1.9	31.1	60.7	5.4	2.7
	その他・無回答	17	－	－	－	－	23.5	76.5	－	－
年代別	10代	9	11.1	－	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	22.2
	20代	47	2.1	4.3	－	2.1	48.9	42.6	6.4	2.1
	30代	81	2.5	3.7	－	1.2	29.6	63.0	6.2	1.2
	40代	138	4.3	0.7	0.7	0.7	29.0	64.5	5.0	1.4
	50代	138	2.9	1.4	－	2.2	31.2	62.3	4.3	2.2
	60代	176	2.3	1.1	1.1	1.1	24.4	69.9	3.4	2.2
	70代	163	2.5	1.2	0.6	－	23.9	71.8	3.7	0.6
	80代以上	108	2.8	0.9	－	0.9	18.5	76.9	3.7	0.9
性年代別	10代　女性	4	－	－	25.0	25.0	25.0	25.0	－	50.0
	10代　男性	5	20.0	－	－	－	40.0	40.0	20.0	－
	20代　女性	25	－	8.0	－	－	44.0	48.0	8.0	－
	20代　男性	22	4.5	－	－	4.5	54.5	36.4	4.5	4.5
	30代　女性	47	－	4.3	－	－	25.5	70.2	4.3	－
	30代　男性	33	6.1	3.0	－	3.0	36.4	51.5	9.1	3.0
	40代　女性	85	3.5	－	－	1.2	28.2	67.1	3.5	1.2
	40代　男性	51	5.9	2.0	2.0	－	31.4	58.8	7.9	2.0
	50代　女性	74	5.4	2.7	－	1.4	23.0	67.6	8.1	1.4
	50代　男性	62	－	－	－	3.2	40.3	56.5	－	3.2
	60代　女性	95	2.1	1.1	－	－	27.4	69.5	3.2	－
	60代　男性	81	2.5	1.2	2.5	2.5	21.0	70.4	3.7	5.0
	70代　女性	95	2.1	－	1.1	－	20.0	76.8	2.1	1.1
	70代　男性	68	2.9	2.9	－	－	29.4	64.7	5.8	－
	80代以上　女性	63	－	－	－	－	15.9	84.1	－	－
	80代以上　男性	44	6.8	2.3	－	2.3	22.7	65.9	9.1	2.3

※　<必要>は、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせたもの。
※　<不要>は、「どちらかといえば必要ない」「必要ない」を合わせたもの。

9. 男女共同参画に関する意見・感想について

問 10　男女共同参画に関するご意見、ご感想がございましたらご記入ください。

- 男女が平等に扱われる世の中になったらいいなと思う。**(10代/女性)**
- もっと女性のリーダーや役員、議員が増えればいいのになと思っています。**(20代/女性)**
- 身体的構造を踏まえた上での男女平等が大事だと思う。性暴力に関しては、男女問わずもっと厳しい処罰を受けて欲しい。**(20代/女性)**
- 男女共同参画社会を目指すうえでの活動として、「各種団体などの女性リーダーの養成」に関しては、目的を見失っているように感じる。リーダーとしての素質・能力がある人間を性別に関係なくリーダーに据えればよいのであって、女性のリーダー養成を積極的に実施する時点で、すでに男女の出世や能力獲得の機会の不平等が生じている。能力がある女性を性別という本人の意思に依存しない外部要因によって、与えられるべき立場や役割が付与されないことはあってはならないが、能力獲得の機会は性別で区別されることなく、平等に与えられることが、男女共同参画社会への実現に繋がると思う。**(20代/男性)**
- 現代において、昔の古い考え(男は仕事、女は家事育児)を切り離すべきだと思います。勿論、力仕事などにおいては体のつくりがそもそも男女で違うため、男がやった方が負担が少なくすみます。女性の中にもそういった力仕事などをしたい人もいるかと思うので、それは自由にやらせてあげれば良いですが。
  今の時代、給与も上がらず物価ばかり上がり苦しいです。その為、男性も女性も自由に好きなように暮らせばいいです。
  男女共同参画のアンケートとの事でしたが、内容は女性に偏っていた気がしました。男ですので、そう感じただけで、女性自身は社会生活において、苦労している事があるのかもしれませんが、男性目線としては男も苦労している点が多々あり、そちらの声にも少しは耳を傾けてほしいなと思います。
  最後になりますが、3000人を無造作に抽出との事ですが、年代や性別によってアンケートの回答が大きく差が出ると思うので、今後に活かすなら男女1500人ずつや20代500人30代500人などに分けて、平等に意見に目を通してほしいと思います。**(20代/男性)**
- 高知市(県)は根強く「男尊女卑」が続いています。まさに陸の孤島です。未来が変わり、今やこれからの子どもたちが幸せに暮らせることを祈っています。**(30代/女性)**
- 自分が出産をして、初めて仕事と育児・家事の両立をすることの難しさを感じました。仕事が大好きですぐに戻りたいと思う反面、子が体調を崩して他の方に迷惑をかけたら、2人目を妊娠して産休に入る時に人手が足りなかったら……と考え始めるときりがありません。
  仕事も家庭も大切ではあるけれど、仕事に合わせてしか動けないのではなく、子育てに合わせて、仕事の時間などをこちらが選択できるような社会になればなと考えています。そうすれば出生率も上がり、女性も社会復帰しやすいのではないかと思います。**(30代/女性)**
- 性別に関係なく、社会が平和に、少しでも平等に、相手の気持ちをくんでいける社会になりますようにお願いします。**(30代/女性)**
- 男女共同というものは不可能であると思う！意識は大事！女の人は結婚、出産、育児で男性とは違う過程を通る！それに対しては喜びを感じたり、苦痛に思うことはないが、そこに対して男性の協力は必要であるが、男性も仕事をして帰ってきてから育児となると大変だと思う！家族2人(父親、母親)だけでなく、他の助けがあればもっと仕事も育児も家庭も両立できると思う！そのほかの助けは具体的にはわからないが、ファミリーサポートなどが、もっと身近に普及するといいのかなと思う！**(30代/女性)**

- 働きながら育児もするのは結構大変です。しかし仕事の面で残業をしないと給料があがらない場合もあります。定時以外の時間の会議や講演会などは誰かの協力を得ないと出席できないこともあります。男女共同参画といいますが、男女ともに女性がある程度家事や育児をすることが当たり前のように思っている社会がある以上難しいと思います。残業をしないと給料が上がらず帰宅時間も遅くなる可能性があるのであれば、まずは給料を上げて、早く帰れる仕組みを作った方がよいと思っています。また、共働き、男女共同参画を提唱するのであれば、核家族も多いため、発熱した子どもを迎えに行ってみてくれるサービスや、幼稚園がそのまま病児保育に移行してくれるサービスなどがないと正直働けません。呼び出されてすぐに行けないことも多いですし、両親も働いている人も沢山いますし、特に義両親しか頼れない人もいるなかで、職場や義両親に気遣って働くのはとても苦痛です。**(30代/女性)**
- 過去を鑑みれば女性不遇だと理解できるが、それは現代の価値観でのもの。今の制度や法には優遇が過ぎる為、平等を望む。**(30代/男性)**
- 男女平等、男女共同において女性の社会活動推進は必要だと感じている。しかし、平等を超えて女性の優遇に偏ると平等、共同のバランスが取れなくなり、不公平感の原因になる可能性がある。
  女性向けのサービスやシェルターなどがある一方、男性用のサービスは聞いたことがない。男女差が埋まってきたことで、女性から男性への暴力やハラスメントもあると思う。その場合、男性側は声を上げにくいのではないか。女性の意見を汲み取ることも大切だが、同様に男性の意見も尊重していただきたいと思っています。**(30代/男性)**
- 女性の建設業への魅力発信が今後必要であると考えられる。給与については男女で変わりないと思う。**(30代/男性)**
- 今の若い世代は、家庭や職場においても、どちらが優遇されるわけでもなく家事・育児・仕事にと励んでいると思うが、昭和世代が作ってきた性差の中では苦しんでいると思う。本当に意識を変えるべきは昭和・平成世代だと思う。その反面、今の平和で安全な世の中を作ってきたのは、戦後から必死に日本を建て直すために尽力したバリバリの性差社会の先代たちだという敬意も忘れずに、伝えていくべきだと思う。**(40代/女性)**
- 個人の意見ですが、女性らしくなりたい、男性らしくなりたい、と思っている人が生きづらい世の中になっている気がします。非難するのではなく、女性とか男性とかではなく、その人の仕事ぶりや人柄を見て行動する事が大事なのではないかと思います。**(40代/女性)**
- 高知市や町内会で使われている「女性部」というのをやめていただきたい。女性を応援する会として男性会員がいない。そういう「女性」といった名称はいらないと思う。**(40代/女性)**
- アンケートに回答する作業そのものが意識啓発につながると感じました。ありがとうございました。**(40代/女性)**
- 性別で体力や力の差は当然あるものなので、すべてを平等に！ということよりも、男性でも女性でも同じ機会が与えられ、性別に関係なく「個」を尊重できる社会になることが望ましいです。妊娠、出産で女性は仕事をすることが難しい期間があるのも事実です。そういったことも、性別関係なく周りが自然に助けられる制度だったり、取組だったりが大事かなと思います。**(40代/女性)**
- 民間レベルではずいぶんとフラットになったと思います。あとは、旧姓を本名にできれば個人的には不満はないです。**(40代/女性)**
- 男女共同参画も、やりすぎなのはよくないと思う。男女共同参参画とうたいすぎることで、かえって男女の差を助長する。女性が女性だからと言う理由で、男性が男性だからと言う理由で不利益を被らなければそれでいい。男女の人数合わせだけなら必要ない。**(40代/女性)**

- 昔はハラスメントを訴えても取り上げてくれず、泣き寝入り。我慢していた。パワハラをした人の事は一生忘れません。許さないけれど、何もできない。犯罪になるから。(40代/男性)
- 男性への支援もお願いします。ひとり親への対策、DV対応などについて、法律や支援については男性側が冷遇されていると感じます。(40代/男性)
- 理念自体は非常に共感するところですが、それを実現するための方法論として、疑問に感じることが多々あります。能力や意欲がある者が適材適所で活躍する社会が理想だと思いますが、女性だから登用する、女性だから採用する、といったことが起きていないでしょうか。女性だから下駄をはかせる、ということをやってしまうと、それこそ、本来は能力や意欲に関係ない「性別」というファクターに着目した不当な扱いになってしまうのではないでしょうか。男女平等イコール女性優遇ではないことを、明確にしていただきたいです。(40代/男性)
- 男女共同参画と銘打ちながら、質問内容にかなり性別による不公平感がある質問内容であった。改善を求めます。(40代/男性)
- 男女共同参画という言葉がわかりにくいと思います。もっとわかりやすい単語にするとよいと思います。(50代/女性)
- もっと本質的なところから変えないと変わらない。公務員的な考えでは、解決は難しいかと思います。(50代/女性)
- 女性への暴力だけでなく、女性から男性への暴力もあると思います。男性の生きづらさへの啓発も必要ではないでしょうか。(50代/女性)
- 育休は女性が取るものという意識が根強い。男性の普及率が圧倒的に少なすぎる。その為、男性の上司から冷たい言葉を何度も言われた事が忘れられない。今でも多くの女性が苦労しているのではないかと辛い。(50代/女性)
- DVの相談窓口に電話をしても、話を聞くのみだった。保護を求めたがとりあってもらえなかった。病気で子どもを育てられる状態ではないのに、市に相談しても話を聞いてくれただけで帰された。(50代/女性)
- 女性がリーダー的立場に立てるような社会を目指すことは良いことだと思うが、その前提は、リーダーの立場にふさわしい資質、能力があるか(これは男女問わず)が大切、重要だと思っている。女性活躍の流行りで上の立場に昇格したものの、その役割が全うできず、部下にしわよせが起きている。迷惑な話。(50代/女性)
- 子育て、高齢者ばかりを取り上げているようにみえるが、高齢者にいたらない成人障害者支援にも目を向けてほしい。(50代/女性)
- 男女共同参画について全く知らないので、ネットで調べてみます。能力のある女性はどんどん社会や地域に進出して行くべきだと思います。(50代/女性)
- 法律や施策で差別意識や民度に変化が出るとは考えませんが、地道に活動する必要はあると思います。真に平等とは何かを考え、差別や暴力を許さない土地になることを願います。(50代/女性)
- ソーレの助成団体や講演者が偏っているように思う。その為、特定の利用者だけ利する様な運用になっている印象が否めない。(50代/女性)
- 一部の声が大きい人の意見によって、何でも男女平等にする必要はない。女性の身体には子宮があり子どもを産むことができるように、性別による役割の違いはあるものです。生まれながらに役割の違いがあるのを、何でもかんでも平等にしようとするのは自然の摂理に抗っているように思えます。それを進めるのなら、女性だけが優遇される税制などをまず改めて下さい。専業主婦を中心とした古い家族観で作られた法律がある限り、平等にはなりません。(50代/女性)

- 男女共同参画という言葉を普段の生活で使うことがなく、このアンケートで考えるきっかけになりました。そして、使わないけれどその言葉を知っていました。「こうち男女共同参画センター　ソーレ」の名称を目にする機会がよくあるからです。改めて良いネーミングだと思いました。**(50代/女性)**
- 他県ではこの手の事業は、委託を受けたNPO法人の受けた補助金の経理会計処理がずさんで問題となっている。そのような事をすると、そのようなNPOには不信感しか抱かない。業務の落札、その後の業務の透明化を希望するし、補助金の使い方も前例踏襲ではなく、よく考慮される事を願います。**(50代/男性)**
- 子どもの教育、子育て支援、サービスの充実をしていくことが大切だと思います。高知県の人口減が続いている中、少しでも人口を増やし、男女とも皆が豊かに、しあわせに暮らしていける世の中を構築していくことが必要であると思います。**(50代/男性)**
- 男女で分ける必要は無く、能力と適材適所で考えるべき。**(50代/男性)**
- いまだに封建的社会のなごりが残っているのは恥ずかしい事だと思います。男性にはできない女性の“チカラ”があります。お互いが尊重する時代がまだできない。**(50代/男性)**
- 育児をしない世代の男性が育児や女性について話し合っても意味がないと思います。**(50代/男性)**
- だれもが性別に関わらず、安心、安全に生活できる地域を作っていきたいと思います。**(50代/男性)**
- 女性活躍社会の実現は望ましいが、長い年月をかけてでき上がってきた現在の社会の形を、数字合わせのように無理やり変更するのではなく、社会全体としてどのようなあり方が正しいのか議論をする必要があると思う。そのためにも、子どもの頃からの教育が最も重要になってくると考える。**(50代/男性)**
- 個々の事案に並行的散発的に対応するのではなく、総合的統括的に対応できるよう組織を整理すべき。その上でまずすべての相談を受け付けられる一次総合窓口を周知徹底し、そこから各専門組織に割り振るべき。**(50代/男性)**
- 「固定観念」というのは幼少期から育まれるものだと思うので、子ども達への教育と、親世代への周知、理解と協力への呼びかけが必要だと思います。また、社会全体では、当事者の関係性によって意見や指摘をしにくい場合があるので、第三者目線が入る仕組みや組織があると、大きな問題に繋がる前の防止策になると思います。**(50代/男性)**
- 高知市は「男女共同参画」をどのように発信されているのでしょうか。日々の生活の中で誰の口からもそのような話、「男女共同参画」という言葉を聞いたことがございません。**(60代/女性)**
- 高校時代の友人7人でグループラインをしているのですが、その中の一人が防災や男女共同参画などの資料をよく送ってくれます。このように身近な人の呼びかけがあれば理解しやすいです。**(60代/女性)**
- 男性、女性に関わらず、お互いを尊重しあえる関係性、道徳教育を学校(小さい時から)でする。家庭の意義(社会での最少単位の形)の重要性(大切さ)を教育できる機会を増やす。**(60代/女性)**
- 性に関する犯罪を毎日のようにニュースで目にします。いじめもそうですが、比較をする以上、減らないと思います。根本的な原因はそこにあるのでは。子どもの頃から家庭や学校で、自分がされたら嫌な事を相手にしないよう教育していくことが大切だと思います。**(60代/女性)**
- 何をしているのかわからない。達成したいイメージも。具体的な活動か不明。このアンケートも抽象的。広報しても内容が伴ってなければ拡大しないと思う。**(60代/女性)**
- 最近テレビの番組でDVを受けるのは、女性に限らないということを言っていました。確かに、それも男女平等に取り上げる必要ありだと思います。女性でも暴力暴言は大いにあります。**(60代/女性)**
- まだまだ日本は男社会、家制度に縛られている。夫婦別姓もまだ。女性がシングルのまま子どもを産んだりできるよう、社会の目や制度が変わり、自由な生き方が選べたら少子化の対策にも少しはなるかと思う。**(60代/女性)**

- 日常をふりかえって、もう現役をすぎたので過去という感じになっていると、今日感じました。この先の暮らしが良くなることを望んでいます。**(60代/女性)**
- 男性も女性も備えられている賜物が違うので、それを認め合って、お互いに補い合って、話し合い、仲良く、成長し合っていくことが理想ですが、それが不完全な私達には難しく、昔のように、幼い時からの家庭での愛情や道徳心が培かわれるべきですが、今の時代は、それがこわれたように思います（自分にしてほしいようにも人にしてあげる）。**(60代/女性)**
- 女性が差別されず、男女とも生活しやすい世の中を作っていってほしい。**(60代/女性)**
- 男性の「理解・協力」。女性の積極的な「参加の参画」は欠かせないと考えます。**(60代/男性)**
- 参画自体、男女差別の問題が感じられる。9-（8）の問で「女性に対する暴力・・・」とあるが、女性に質問している事が多い。現在、たしかに女性に対する事が多いと思うが、男女共同であれば、「異性」とか「配偶者」とかにした方が良いのでは！とにかく、年配の方の時代教育のあり方だったと思うので、「子ども達への教育」、大企業はできているが「中小企業や子会社への（自営業も含む）教育」が無ければ、良くならないと思います。**(60代/男性)**
- 職場では会社の利益が優先されるから、女性が犠牲になる。出産時休暇取得者の代替雇用、休業中の給与保障など。**(60代/男性)**
- 日本で起こっている社会問題の本質は、日本人の勉強不足が社会現象として現れているだけ。日本には多くの専門家が存在し、専門分野の知識と知恵を一般向けの本にして情報発信しているのに、本を読まない、勉強しない人が多い。（例）性格が良くなる頭が良くなる、自分に自信のある人間になる、心理学・脳科学。（例）病気や体の不調を改善するセンスと才能を開発する医学、健康法。お金をかけずに勉強する事ができる市民図書館の有用性を啓発する。中卒の学歴で大卒より頭の良い人間になれる可能性を教える。**(60代/男性)**
- 人間構造的に多少の差が出る等あると思いますが、人口減少時代に入り、益々大切な男女共同参画だと思いますので、試行錯誤しながら一歩ずつ積極的に推進していただきたいと思います。**(60代/男性)**
- お互いを尊重し合うこと、それにつきると思います。これは男の仕事、女の仕事と決めつけるのではなく、何が一番二人にとって、あるいは全体にとってベストなのかを話し合って決めていければいいのではないでしょうか。**(60代/男性)**
- 男女の体力差・体格差を無視して対等に共同参画と言うと、何かモヤモヤします。それぞれの特性に合う役割分担はあっても良いと思いますので、この辺は少し広報に織り込んでもよいのではないでしょうか。**(60代/男性)**
- 女性らしさは全てのことに参画することだけではないように思うが、男女の数的比率ありきというのはおかしい気がする。能力対比は必要かと。女性だからという理由で要職に抜擢するようなことはナンセンスだと思う。**(60代/男性)**
- 男女で生物学的な役割が違うのだから、無理に平等に参画しなくてもよい。**(60代/男性)**
- まず選挙においてクオーター制を取り入れ、女性が社会的に発言・活躍の場を確保する事が大切だと考えます。法律を決める機関に圧倒的に女性が少ない事も大きな原因だと思います。生まれた以上、男・女の別に関係なく、それぞれの得意な分野で活躍できる社会を目指しましょう！**(70代/女性)**
- 生まれた時から、人は「人格」を持っているという事を親が理解し、子どもを育てていけば、上下ない人間社会に親から子ども、孫へと繋がってゆくのでは！**(70代/女性)**
- 昭和の時代で生きて来て、その時代では当り前の事が令和の今はダメである事が、多々現存しています。よりよい生活ができる、そんな時代を希望する。**(70代/女性)**

- 女性が女性がと言われ、男性が不利な場合も多々ある気がします。その為、若い方は普通に声をかけ、恋愛に結婚にまでつなげにくいという事もあり、少子化になっている様にも感じます（年寄りの小言です）。**（70代/女性）**
- 家庭環境によって子どもの考え方はかなり左右され、父親が暴君だったらその息子も似てくるなと強く感じる。高齢者の考え方を変えるのは難しいので、学校で男女平等教育の充実をぜひ実行してほしい。**（70代/女性）**
- 子ども達のために、孫達のために、良い社会であってほしいものです。**（70代/女性）**
- ”男女共同参画”という言葉がすっきり”男女平等”となることを願っています。**（70代/女性）**
- 内容に関わりなく色んな会合で多くの人が参加できる場をつくる（趣味嗜好等でも）。ありがとうございました。**（70代/女性）**
- 意見する男性は何も言われないのに、意見する女性を「気が強い」と揶揄するのは女性差別だと思う。性別関係なく意見できて、その意見を真摯に受け止める世の中になってほしい。**（70代/女性）**
- 昔からの慣習をなくすこと。**（70代/男性）**
- 高齢の夫婦2人です。家事など、気が付いたらやる。やってと頼まれたらやる。こんな風に自由で不満なことはない。**（70代/男性）**
- テレビ、ラジオでも放映して下さい。**（70代/男性）**
- この働き方に関する男女対等と選択的夫婦別姓の件とは全く関係ないのですか。このアンケートには全く出てきませんが。**（70代/男性）**
- 共同参画良い事です。会があっても行けない事、残念です。頑張って下さい。**（80代以上/その他・無回答）**
- 後期高齢者の立場なので、行政に従い、質のよい支援をお願い致します。**（80代以上/女性）**
- 私は87歳です。一人で自由に動くのも不自由です。こんな私にアンケートは無駄ではありませんか？書くことも少し申し訳ないと思います。その分を参画活動にまわして欲しいと思います。男女参画の社会が進むことを心から祈っています。**（80代以上/女性）**
- 男女平等は当然の主張ですが、能力の無い女性（男性も）をたてまえだけで採用している場があるように思います。それは女性の為にはなりません。**（80代以上/女性）**
- 知ってるつもりでしたが、このアンケートで知らない事が多かったです。**（80代以上/男性）**
- 日本では理想の社会に到達するまでに、まだまだ長い時間を要すると思います。**（80代以上/男性）**
- コミュニケーションを大事に。**（80代以上/男性）**
- 男女が同じ事をするのが平等とは思わない。男性は男性としての役割を果たし、女性も同じように個性を活かし、互いに補って生活してゆく事が大切だと思う。性差によってできる事とできない事があることを認識し、共通の認識が不可欠だと思う。**（80代以上/男性）**
- 男女に働く場所を提供する機関。**（80代以上/男性）**

高知市男女共同参画に関する市民の意識調査

Ⅳ　その他・自由意見

Ⅳ その他・自由意見

問2（2） 意思決定の場に女性の参画が少ない理由【8 その他】

- 今まで、政策などを定めるのに対して女性の意見が弱いということがどこかにあった為、女性は参画に対して消極的な考えを持っていると思う。**（10代/男性）**
- 出産で仕事を中断せざるを得ないから。**（30代/女性）**
- 感情論者の割合が高く、組織運営に不向き。**（30代/男性）**
- そのための環境が整っていないからだと思います。子育てや家事の負担など。**（40代/女性）**
- 女性は給料も低い。結婚しても家事の分担は圧倒的に多く、結局参加する時間がない。**（40代/女性）**
- 一部の年配議員が女性への積極参加を阻害しているため。また、議員になった女性の意識が低い人がおり、その人が目立っているから。**（40代/男性）**
- 他がそう思っているだけで本人が希望すれば進んでいる面もある。**（40代/男性）**
- 男女の不得意分野の差の現れ。**（40代/男性）**
- 家庭での育児や家事の時間が優先される。**（50代/女性）**
- 社会の育児への協力が少ない為。**（50代/女性）**
- 能力不足。**（50代/女性）**
- そう思わない。統計の取り方の問題だと思う。**（50代/男性）**
- 多数決により男性が優位。**（50代/男性）**
- 会社や社会的に、男女平等になってきている。**（50代/男性）**
- 一部の人間が声高に権利を主張することに、他の多数が嫌悪感を持ってるため。**（50代/男性）**
- 若い世代が活躍できず、昔ながらの偏った考え方しかできない者が上に立っているから。**（50代/男性）**
- 家庭生活の女性の負担比重が大きいため。**（50代/男性）**
- 過去からの教育、制度の結果。**（60代/女性）**
- 女性の収入が少ないため。**（60代/男性）**
- 男女共同参画の意識がようやく浸透しはじめ、変革速度が遅いため。女性が組織のリーダー的な立場につく教育を受けていない、受ける機会が少ないため。**（60代/男性）**
- 子どもの養育に関与する性別意識と行動内容。**（60代/男性）**
- 女性全体が参画したいと思っているわけではない。**（60代/男性）**
- 男女では生物学的に役割が異なるため。**（60代/男性）**
- 女性は家事や育児等に時間を取られる事が多く、参画する機会が少ない。**（70代/男性）**
- 配偶者控除が自立を妨げている。**（80代以上/女性）**
- 女性が優れている。**（80代以上/男性）**
- 町内会防災会会長としてよく活動している。**（80代以上/男性）**

問2（3） 意思決定の場に女性が参画することについての考え【5 その他】

- 能力があるならば男性女性関係なく参画されるべきで、女性だからと特別枠を設けるのはよくない。**（30代/男性）**
- 意思決定対象によるが、原則として性別は関係ない。**（30代/男性）**
- 女性とか男性とかではなく、その人自身を見る事が必要だと思う。**（40代/女性）**
- 本人が望めば必要であるが、女性の参画が必要だからリーダーを女性にしようとかいう理由であれば、あまり意味がないと思う。**（40代/女性）**
- 性別に関係なく適切な意思決定ができる人物が参画すべき。**（40代/男性）**
- 性別であれこれ言うのがおかしくて、本人が参画したいならすれば良いし、希望しなければしなくて良い。それは男女ともに。**（40代/男性）**
- 場合による。**（40代/男性）**
- 女性、男性に拘らずそのような事を考えられる、できる人がやるべきだと思う。**（50代/女性）**
- 職種によって。**（50代/男性）**
- 能力があれば男女は関係ない。**（50代/男性）**
- 女性・男性は関係なく必要である。**（60代/女性）**
- 能力が高まれば必要。現状、困った人が多いかも。**（60代/女性）**
- 一般的に常識に欠けていると思う。**（80代以上/男性）**

問3（3） 理想とする家庭における男女の役割分担【7 その他】

- 役割は可能な者が行い、協力する。できる限り共同。**（20代/女性）**
- できる時にできる事を、できる人がする。**（40代/女性）**
- 自営業（特に）の方は仕事の比率による。**（40代/女性）**
- ①寄りの⑥。家事が苦手な男性に無理強いする気がない。**（40代/女性）**
- 妻が家計を支えているなら、夫はその分家庭での役割を多くする。逆もまた然り。そこに性別は関係ないと思っています。**（40代/男性）**
- 男性が家計、女性が家事。介護は限定しない。**（50代/男性）**
- 家計を考慮すれば共働きが必要になり、家族の理解、協力が必要。**（50代/男性）**
- 男性が家計を支え、家事育児を女性が支える。介護はお互いに協力し合う。**（50代/男性）**
- 男性が家計を支え、家事、育児、介護は女性が率先する中、夫も率先して参加するべきである。**（60代/女性）**
- 母乳による授乳や力仕事を必要とする家事等、性別が限定される。家事、育児、介護の役割分担ができること。**（60代/男性）**
- 能力が発揮され目的が達成できるなら、男女は区別されるべきではないと思います。**（60代/男性）**
- 主に男性が家計を支え、共同で家事、育児、介護を行う。**（60代/男性）**
- 男女ともに協力して家計を支え、家事、育児、介護についても共に学び、そのスキルを身につける事。**（70代/男性）**

問3(5) 職場における性別の違いによる不当な扱いの有無【11 その他】

- 時短勤務が終了となった時、間接的にその後同じ職場で働くことができなくなった。(30代/女性)
- 子どもがいる方は優先的に早く帰る。家族、子どものいない人への負担は？(40代/女性)
- パートの女性はスカート、フルタイムはズボン(前の会社ですが…)。(40代/女性)
- 学年の50代学年主任を含む男性3人、女性2人(私含む)で食事に行った時、男性3人が若い、大学を出たての20代の女性にばかりおごってあげて、40代の老けた私には誰1人おごってくれなかった(差別され、しんどかった)。(40代/女性)
- 私の勤務先では、女性管理職比率を上げるために無理矢理女性を昇進させています。その中には明らかに能力不足の女性もおり、そのため本来昇進すべき男性が昇進できないという、従来とは逆の問題が起きています。(40代/男性)
- 女性が残業すると周囲から注意を受け、男性が残業しても周りは何も言わない。(40代/男性)
- 外部からの女性参画の推進により、女性の下駄履きが散見される。(40代/男性)
- 仕事に手を抜くことが多くみられ、女性職員がフォローしている。(50代/女性)
- 台風の際、女性のみ休日扱いをされたことがある。(50代/女性)
- 同じ職種にもかかわらず、受電は女性が対応すべきと思っているように感じる。(50代/女性)
- 前の上司は顔の可愛いパートの子をひいきしていた。仕事をサボっていても「可愛いから」とおとがめ無しでした。(50代/女性)
- パワハラがひどい。(50代/男性)
- 男性の方が拘束時間が長い。(50代/男性)
- 同性でのハラスメントはある。(70代/女性)
- 子育ての時、仕事をしていないような気分にさせられる。(70代/女性)

問3(6) 望ましい女性の働き方【6 その他】

- 仕事をしたいときに仕事をして、子どもができたら産休、育休をとる。(10代/男性)
- 女性が好きなようにしたらよい。(20代/男性)
- 個人の状況や環境を十分に考慮し、その個人の効用が大きくなる判断を自由に下せばよい。(20代/男性)
- 固定概念に囚われすぎているのではないでしょうか？望ましいのは、人それぞれが自分でどうなりたいか決めること。働きたいなら働く。結婚して専業主婦になるも良し。自由で良いと思います。(20代/男性)
- 個人の意思による。(30代/女性)
- 働く、働かないを自由に選択できるほうがよい。(30代/男性)
- ①～⑤のような意見や風潮にとらわれることなく、社会からの要請などにかかわらず、各人が希望する働き方を選べる。(30代/男性)
- 個人の自由。(30代/男性)
- 本人が決めることであり、他人が決めることではない。(30代/男性)
- その人の自由である。(30代/男性)
- こういう風に枠にはめるから、枠から外れた人が悪いように言われる。十人十色、人それぞれでいいと思う。(40代/女性)
- 家族の状況により左右されず、家族や自分を大切にできるような働き方が選べるようになる。(40代/女性)
- 働きたい時に、働けるようにしたらいいと思う。(40代/女性)
- 自由選択。(40代/男性)

- 結婚、出産に関わらず、本人の意思で選べる社会が望ましい。(40代/男性)
- 本人の好きなようにすれば良いし、好きなようにできる環境が必要だと思います。(40代/男性)
- 本人が何を1番に考えるかを優先する。職業を持ち続けたいか否かは本人の希望を尊重し、周りが騒ぎ立てることではない。(40代/男性)
- ①～⑤のように他人が決めるのでなく、個々人の意志が尊重される社会が私個人としては好ましいです。(40代/男性)
- 人による。(50代/女性)
- その人の生き方の自由なので、○○した方がよいと決める事はできない。(50代/女性)
- 本人の意思が重要。(50代/男性)
- 社会保障で育児支援など、本人の選択が自由にできる環境。(50代/男性)
- 女性が望む方向がいいと思う。(50代/男性)
- 各家庭で自由に決めればよい。(50代/男性)
- 家庭によって判断すれば良い。(50代/男性)
- 本人のやりたいようにするのがいい。(50代/男性)
- 個々別の状態方針で違っていると思う。(60代/女性)
- 自由で良いと思う。(60代/女性)
- 人それぞれ個人の価値観が大切。変に押し付けにならないようになればいいと思う。(60代/女性)
- 働きたいと思うなら職業を持てばよいし、働きつづけたいと思うこともよいと思う。(60代/女性)
- 個人々状況が違うので、決める方がおかしい！(60代/女性)
- 各自立場等で異なると思う。(60代/女性)
- 子どもが小学高学年になるまで家庭に居た方がいい。(60代/女性)
- 本人の意志、方針の選択が可能な職場環境整備が優先と考える。(60代/男性)
- 本人の意見を聞いてから決める。(60代/男性)
- その人の能力と適性によるので、一概に言えない。(60代/男性)
- 個々の考えで・・・。(70代/女性)
- ①が良いと思う。しかし本人がやめたい時はいつでもやめた方が良いと思う。(70代/女性)
- 仕事するもしないも女性の意志が大事かと。女性の意志を尊重できる社会になればいいと思う。(70代/女性)
- ①が理想ですが、選んだ職業によると思う。(80代以上/女性)
- 農業だったので、働けるうちは働いた。(80代以上/その他・無回答)

問3(7) 女性の就労継続・再就職のために必要だと思うこと【11 その他】

- 希望通りに働き続けれないといった話を聞いたこと、見たことがない。自分がどうしたいかだと思うし、仮に職場が拒否するのなら、そんなところは見切りをつけて必要としてくれるところに行くのが良いと思います。(20代/男性)
- 子の発熱などの際に、スムーズに休みが取れ、周りに仕事が偏らない仕組み。(30代/女性)
- 会社内での業務配分や周りへの理解の普及。(30代/女性)
- 産休、育休中に残される職員の体制強化(休む人の分も仕事を回され負担が一定増える人がいると、その人からすれば、なんで私があの人のために…という思いはどうしても生まれるから)。(30代/男性)
- 職場の家庭の状況への理解。(40代/女性)
- 職場の理解。口では理解している様だが、子どもが理由で急に休むと空気が悪くなる。(40代/女性)

- 配偶者の職場の理解。(**40代/女性**)
- 病児保育をしている施設を増やす。(**40代/女性**)
- クオーター制の導入。(**40代/男性**)
- 就職先の子育てに関する理解。(**40代/男性**)
- 解雇規制の緩和。正規雇用者が過剰に保護されている結果として、労働市場への途中参入が難しくなっており、社会復帰の際に賃金の高い職を得られない。(**40代/男性**)
- 休めるように支援するのでなく、働けるように支援されれば、働きたいと思う方が増えるのではないかと感じています。(**40代/男性**)
- 一人ひとりの理解。(**40代/男性**)
- 育児や介護に携わったことのない人(男女両方)の理解や仕事のサポート。(**50代/女性**)
- 社会全体の意識改革。(**50代/女性**)
- 日本人は働くことの内容が他国より多く、責任も課せられるため、制度ができたとしても仕事を休んだり、他の人に頼りにくい。(**50代/女性**)
- 育児の方は昔にくらべだいぶ充実してきたが、介護の方がまだまだで、40代、50代が直面してけっこう大変です。もう少し充実した制度が必要だと思います。(**50代/女性**)
- 育休、時短勤務、介護休暇取得の後任の確保、補充。(**50代/女性**)
- 女性を優遇すべきだが、女性もその立場に甘えてはいけない。(**50代/男性**)
- 職場の人員に余裕が無いと残された従業員が大変なので、人員に余裕を持たす事が必要だが、中小企業には厳しい。(**50代/男性**)
- 本人のやる気。(**50代/男性**)
- 個人のスキルアップ。求められる人材であるよう努力すること。(**60代/女性**)
- 正社員・不正規の壁があるため。(**70代/男性**)
- 「平等」には無理がある。(**無回答/その他・無回答**)

問3(8)(ア) 家庭生活等において男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと【7 その他】

- 協力する意識を持つこと。(20代/女性)
- 家庭の仕事に参加できる労働時間で就労すること。(20代/男性)
- 学校教育で、幼少期から意義を考えていく事。(40代/男性)
- ワーク・ライフ・バランスがとれるような社会になること。(40代/男性)
- ①～⑥のような固定観念を持たず、お互いを尊重すること。(40代/男性)
- 結婚して当たり前のように私が家事をしていましたが、そもそも結婚する時に、お互いの役割分担を決めるなど、生活を共同で営んで行く事を現実的に話し合っておくことが大事だと思います。今でも、夫は私が家事をするのが当たり前の様で、自分ではやりません。(50代/女性)
- 自分の周りには抵抗感を持った者などいない。男女とも家事をしている。(50代/男性)
- 男女ではできる事に違いがあるので区別も必要。それを何もかも男女差別と言ってるうちはダメ。(50代/男性)
- 地域の繋がりを重要視し、育児や介護を皆で手伝う。(60代/女性)
- 心理学や脳科学など、心の仕組みに関する勉強を夫婦でする。→性格が良くなる、頭が良くなる、アイディアを考える、能力を高める。(60代/男性)
- 小さい頃から実践させて家事への抵抗感を下げる。(60代/男性)

問3(8)(イ) 職場において男女がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくために必要なこと【8 その他】

- 急な休みを取りやすい仕組み作り。それを肩代わりする人の負担減や昇給。(30代/女性)
- 制度として必ず休まなければいけないようにすること。(30代/男性)
- 男性は、20代の男性の前だけで良い子を演じるぶりっこ女性ばかりひいきして、優しくしたりおごってあげたり、差別だし傷つくからやめてほしい。(40代/女性)
- ジョブ型雇用の導入。産休育休取得者の同僚への補償。(40代/男性)
- ①～⑦は全て場合によると考えます。全てにおいて、自身を含めた周りを尊重することかと存じます。(40代/男性)
- 育児、介護休暇時に周囲に引継ぐのではなく、きちんと後任補充をすること。(50代/女性)
- 制度ばかり充実してきて、職場に残された人の負担が増えるばかり。制度を充実させる前に職員を増やしてからでないと、専門の技術職員は抜けると代替がおらず、疲労困憊です。制度を当然の権利のように使われると、暖かく見守る心の余裕など全くありません。(50代/女性)
- 性差ではなく能力による参画。女性を参画させたからよいではない。(50代/女性)
- 育児等で優遇されるのは勿論だが、該当する者も「当然の権利」のような態度を取れば職場の関係にヒビが入る事から、優遇されない他者への気遣いを忘れてはいけない。(50代/男性)
- ①～⑦まで全て大事ですが、財務的にギリギリの中小企業には現実的に難しい。(50代/男性)
- 職場に求めるのはいかがなものか。権利ばかり主張する人が多いと思う。(60代/女性)
- 会社のレベルで社員に心理学や脳科学など、心の仕組みについての勉強をさせる。→性格が良くなる、頭が良くなる、心の安定性が高い、自分に自信のある人間にするための勉強をさせる。(60代/男性)

問4(1) 配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験【12 その他】

- 喧嘩レベル。丸をするほどではない。**(30代/男性)**
- 男性には性行為の時、望まない妊娠や性病を防ぐため、学校教育や色々な所でコンドームをきちんと使うことを教えてほしい。また、性病がある方は、性行為をしないでほしい。うつるから(男性はコンドームを使いたがらないのできちんと使ってほしいです)。**(40代/女性)**
- 父は、母に対してDVがあった。**(50代/女性)**
- しつこく浮気していると言われた。**(50代/女性)**
- 浮気された。**(50代/女性)**
- 子どもを殴る、暴言をはく。**(50代/女性)**
- 程度の問題だと思う。**(50代/男性)**
- 車で跳ねられ、気絶中に激しく顔面を蹴られていた。**(50代/男性)**
- 内職をしていると、「生活費が少ない、あてつけか！」と言われた。**(60代/女性)**
- 不倫。**(60代/男性)**
- 直接暴力はないが、物や壁にあたる姿に恐怖を感じ、委縮し我慢してきた。**(70代/女性)**
- 相談なく転職した。家を買って8ヶ月目、借金があるのに生活に困った。収入が1/2になり、足りなくなった。**(80代以上/女性)**

問4(1) 配偶者・恋人などからの暴力を受けた経験
【13 受けたことはないが、身の回りで見聞きしたことがある】

- 身内にDVをうけている家族がいる。**(40代/女性)**
- 友人が恋人からDVを受けていた(過去)。**(50代/女性)**
- 市役所内での上司によるセクハラ。**(50代/女性)**
- 高圧的なモラハラ、家事育児非協力。**(50代/男性)**
- 陰毛を剃られた。**(60代/女性)**
- 同僚が顔にアザを作って出勤してくる。**(60代/女性)**
- 気にいらないと叩かれたという話を聞いたことがある。**(60代/女性)**
- 夫からの暴力。**(60代/男性)**
- 高齢者の時代。近所etc。**(80代以上/女性)**
- 夫婦喧嘩はあります。**(80代以上/女性)**
- すぐ近くの婦人が、夫が、定年直前にクラブ遊びを覚え、給料を渡さないと苦情を云う夫人に暴力を振るい、深更に婦人が泣いて駆け込んだ。再三。**(無回答/その他・無回答)**

問4（3） 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際の相談先【10 その他】

- トイレなどにある相談窓口。（50代/女性）
- カウンセラー。（50代/男性）
- 上司。（60代/女性）
- 本人へのアドバイス。（60代/男性）
- 配偶者の母親。（60代/男性）
- 昔のことを振り返って、本人へ注意をした。（80代以上/女性）

問4（4） 配偶者・恋人などからの暴力を受けた際に相談しなかった理由【10 その他】

- 見聞きした場が、窓口そのものであるため。（30代/男性）
- 問題ないから。（30代/男性）
- ヒステリックなのは性格だから、別に気にしていない。（40代/男性）
- 友人の過去の話であったので。（50代/女性）
- 聞いただけなので。（50代/女性）
- 自分が相談された方だった。（50代/男性）
- 話を聞いた時には、終わったことだからと話していたから。（60代/女性）
- 家を出るのに失敗した。（60代/女性）
- この人（夫）を選んだのは自分だから仕方ない。人間そうそう変わらない。子どもがいるから我慢できる範囲内だと思った。（70代/女性）

問4（5） 配偶者・恋人などからの暴力に対する対策や援助として必要なこと【11 その他】

- 人の性格は変わらないと思うので、ヤバい奴からは引き離して安全に暮らせるようにしてあげてほしい。何かあってからじゃ遅いので、警察の人も忙しいと思いますが、すぐに対応してあげてほしい。（20代/男性）
- 逃げて良い。嫌だという自分の気持ちを大切にする教育を。（40代/女性）
- どのような行動がDVになるのか等、子どもの頃からの教育が必要。（40代/女性）
- 離婚（財産分与）について、女性は生活に困るから、離婚時に財産分与は2年以内にしないといけないというのをやめてほしい。ケチな前の夫は頭を冷やす期間が足りないから、してほしいと思っても、自分勝手な前の夫に「お金をあげたくない」と言われた。強制的に財産分与できる法律を作ってほしい。一生懸命節約して結婚生活をしていたのに、むなしさ、悲しさだけが残ったから。夫は自分の趣味にばかりお金を使い、私は生活に困っていたが。（40代/女性）
- 人のせいにしない。（40代/男性）
- 罰則を与えやすくする。（40代/男性）
- 行政や支援機関による当事者たちへの調査も大切ですが、当事者達はそれが通常だと感じていますので、周囲の声も一定程度の重さをもって捉え、対策/支援等を実施いただきたいです。（40代/男性）
- 対等に対応できる、また、相談することで、生活の保障がなくなるなどの不安解消の為に収入、環境を持てる社会にする。（50代/女性）
- 離婚が悪いと考える年配者への認識の改善。（50代/女性）
- お互いが尊重しあう心が必要。（50代/男性）

- 人間の尊さの道徳教育について、学校や様々な場で教育する機会を持つ。家庭の大切さをもっと教育する。**(60代/女性)**
- 教育の機会をふやす。**(60代/女性)**
- 警察の意識向上。**(60代/男性)**

問5(1) 知っている性暴力等に関する相談窓口【9 その他】

- 全て(相談業務をしていたため)。**(30代/男性)**
- 関心がない。**(40代/男性)**
- 警察の被害者支援。**(60代/女性)**
- 聞いた事はあるが、相談ができるとは知らなかった。**(70代/女性)**
- 高齢でほとんど関心がないため、身近に感じることがない。**(70代/男性)**
- 人権啓発センター。**(70代/男性)**

問5(2) 性暴力等に関する相談窓口などで配慮してほしいと思うこと【9 その他】

- 通信端末を持たない人へのリーチ。壊された時やそもそも止まっているような場合の想定。**(30代/男性)**
- スーパーなど、日常生活で訪れる場所に相談窓口もしくは窓口に繋がる連絡方法があると良い。**(30代/男性)**
- 本当に理解してくれようとする相談員さんが必要。**(40代/女性)**
- 女性に対してだけでなく、男性への性相談もあれば男女に差がなくなると思う。**(40代/女性)**
- 警察との早期の情報共有、シェルターへの紹介。**(40代/女性)**
- 住所や名前、年齢などを無理やり書かせないでほしい。**(40代/女性)**
- チャット形式で相談できるとよい。**(40代/女性)**
- 関心がない。**(40代/男性)**
- 警察の積極的な介入。**(40代/男性)**
- 相手に情報がもれない。社内の場合等、それによる不当な扱いを受けない。**(50代/女性)**
- 情報漏洩がないこと。**(50代/女性)**
- 友達で、同性に相談したが共感を得られず余計に気分が沈んだと言っている方がいたので、その時その時によって変わると思います。**(50代/女性)**
- 警察で受けて、スムーズに相談できるところに連携してほしい。**(50代/男性)**
- 学校教育の中で道徳教育を重要視する。**(60代/女性)**
- 人を信じるのがむずかしい。**(60代/女性)**
- 警察力の行使。ほっとかない警察。**(60代/男性)**
- 無料で相談窓口の広報をせよ。**(無回答/その他・無回答)**

問5(3)性暴力等の解決に向けてあればよいと思う支援【9　その他】

- 加害者への厳罰化。(30代/女性)
- BI(ベーシック・インカム)。(30代/男性)
- 中学生や高校生への教育。(40代/女性)
- 関心がない。(40代/男性)
- 警察の積極的な介入。(40代/男性)
- ②と③の合わさったような場所。(50代/女性)
- DVと一言に言っても、警察が介入しなければならない重大なケースもあれば、そうでないケースもあるため、一概には言えない。(50代/男性)
- 各々の事情により、様々なケースがある。第三者による解決にあたる窓口は、相当の力量をもった人材が必要で、中途半端なことはしない方がいい。(60代/男性)
- 犯罪者として罪の重さを今の10倍以上にする。(60代/男性)
- 犯罪としての立件。(60代/男性)
- 目には目を。(70代/男性)
- 素早く処分を行う。刑法改正する。目には目を！！(無回答/その他・無回答)

問6　ハラスメントを受けた経験【(6)その他のハラスメント】

- カルチャー、教養。(40代/女性)
- コミュニケーションがうまくいかない場合など。(40代/女性)
- 教諭が仕事を教えてくれない。私が失敗したら、それを職場のえらい人に言う。教諭自身の立場が悪くなりそうな時には、うそ泣きをする。管理職には「私は仕事をしっかり教えてます。」と、うその報告をする。上司がいる時だけ、いかにも私は仕事を教えていますアピールをし、私と1対1の時は何も教えてくれないし、大切な情報も私が失敗するよう言わない。悪質でした。(40代/女性)
- 親ハラ。(40代/女性)
- 営業成績を上げるよう再三言われ、ムリなら退職をちらつかせる。(40代/女性)
- 性的指向、自認に関するハラスメントはもちろんあってはならないが、その理解を過剰に求められることをハラスメントと感じる。理解し難い人がいることも事実。もちろんそれは口外しないし、当事者にも言わない。その立場の人がいることも理解してほしい。(40代/女性)
- 前の職場でパワハラを受けて出勤不能(朝起きようとしても、また怒られると思って起きれない)となり、仕事を辞める事になった。許せません。もう10年以上前。今は職場でパートで働いており賃金面は苦しいですが、みな優しくしてくれます。(40代/男性)
- 上司から無能呼ばわりなどされ、無視され続けている。(40代/男性)
- パワハラに無関心をよそおう同僚。(50代/女性)
- カスタマーハラスメント。(50代/女性)
- 母、姉、叔父。(50代/男性)
- 前の職場で、皆の前で吊し上げにあったり、プライバシーの侵害を受けたり、24時間、休みの日もラインで攻撃され「早く返信しろ」と責め立てられ、精神的に病んでいた。(50代/男性)
- 匿名の電話によるカスタマーハラスメント。(50代/男性)
- 義母による嫁呼ばわりし見下されていた。(60代/女性)
- カスタマーハラスメント。(60代/男性)

- 持ち物を隠す。嫌がらせ。**(60代/男性)**
- 常にいやがらせをする。**(80代以上/女性)**
- 人は老人を犬猫以下にみた。**(無回答/その他・無回答)**

問7 防災分野における男女共同参画を進めるために必要だと思う取組【7 その他】

- 幼い頃から性についての理解を深める。生理について、出産、育児について。**(30代/女性)**
- 若い世代が参画できるように。**(40代/女性)**
- どこに参加したらよいかわからないので教えてほしい。**(40代/女性)**
- 個々人の環境や得意分野を意識した、役割分担の明確化と意識付け。**(40代/男性)**
- 女性の性被害を無くすような役割分担や避難所の開設が必要だと思う。子どもだけでの避難も有り得る事なので、その管理をする大人が必要。**(50代/女性)**
- 男女共同参画というものは必要なのか。**(50代/男性)**
- 性別年齢等による体力差はどうしてもある。それを考慮するのが最優先と考える。**(60代/男性)**
- 生か死かを優先することが防災では重要だと認識している。**(60代/男性)**
- 近所とコミュニケーションがとれる関係づくりが必要。**(70代/女性)**
- 老若男女が参加することが望ましいが、なかなか難しいと思う。体験していないと。**(70代/男性)**
- ①～⑥全て必要ですが、私は防災訓練に参加できていません。これから参加するようにします。**(80代以上/女性)**
- PRの映画をたくさん用意して強制的に参加させる。**(無回答/その他・無回答)**

問9　男女共同参画社会実現のために必要な取組【(11)その他】

- 全国的に奨学金返済が結婚への障害になっている。しかし、高知市は他市町村と異なり、住民に対する奨学金返済補助が薄い。**(30代/男性)**
- 行政から市民にわかるように、伝わるようにやって見せていく。**(40代/女性)**
- 職場で、年上、年下問わず、女性からいじめられるので、女性が女性をいじめるパワハラをやめてほしい(えらい立場を利用して)。自分がしたくない嫌な仕事をふってくる先輩とか(女性)。冬の寒いトイレ掃除など。**(40代/女性)**
- 女性自身が男女共同参画や政治、社会参画へ興味を持ったり意識を向上させることができる取組。女性がリーダーシップを発揮していくための教育。**(40代/女性)**
- 今まで女性が男性よりも社会で活躍できなかったのは、活躍するために必要なスキルを得るための教育や役割分担(経験)がなされてこなかったからだと思います。そこが改善されたならば、自然と男女共同参画社会になると思います。ですから、男女共同参画社会という結果(形)だけを先に求めるのではなく、自然とその結果(形)になる土台・環境を作ることに注力すべきだと思います。**(40代/男性)**
- 女性だけの支援ではなく、男性側への支援も検討をお願いします。男性側への支援については聞いたことがありません。**(40代/男性)**
- 少子高齢化の解消及び経済の発展。**(40代/男性)**
- アンケートをとって現状を知ってほしい。**(50代/女性)**
- 専門的な人材育成。**(50代/女性)**
- 個人が自立する意識を高め、経済的・社会的に役割があると自覚する機会を増やしていく。**(50代/女性)**
- 精神教育の重要さ。**(60代/女性)**
- リーダー養成、⑩は男性・女性。**(60代/女性)**
- 行動を具体的に示す。**(60代/女性)**
- 相談しやすい環境作り。**(60代/男性)**
- それぞれの性別にしかできない社会的責務を明確にして(出産、育児他)、相互理解を深めるよう、もっと積極的に自治体が取り組む。**(60代/男性)**
- 社会問題解決型の知識と知恵を持つ必要性を自覚・認識させるための情報発信や講演。啓発をする。日本人の勉強不足が社会現象となって現れている。**(60代/男性)**
- 男女共に他人に思いやりのある社会になりますように！**(70代/女性)**
- 人生相談を聞いていると、妻が夫に暴言を吐いて悩んでいる夫もいるので、男性も相談しやすい環境が必要だと思う。**(70代/女性)**
- 同業種、異業種の交換体験。**(70代/女性)**
- 企業や組織のトップにいる人の教育。**(70代/女性)**
- 各メディアを通じた、意識の高揚。**(70代/男性)**
- どちらかといえば(現在のところ)、女性が担当しがちな子育て、介護等を軽減できるよう、待機児童ゼロ、放課後の預かり、介護サービスの充実などが必要。充分参画して能力が発揮できるよう、女性が職場や地域で活躍できるような環境整備が必要だと思います。**(70代/男性)**
- 町内会への呼びかけ。**(80代以上/男性)**

高知市男女共同参画に関する市民の意識調査

Ⅴ　調査票

令和６年度　高知市男女共同参画に関する市民の意識調査
～アンケート調査へのご協力のお願い～

高知市では、平成17年４月に「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」を制定し、市民の誰もが真に豊かで幸福な人生を送ることができる社会の実現をめざして、様々な取り組みを進めています。

現在は、第４期計画の「高知市男女共同参画推進プラン2021」に基づき、めざす将来像を「ジェンダー平等社会の実現」として取り組みを進めていますが、来年度に「プラン2021」が改定の時期を迎えることから男女共同参画に関する市民の皆様のご意見を伺い、次期計画策定の基礎資料とするために、「高知市男女共同参画に関する市民の意識調査」を実施します。

この調査は、あなた様からいただいた貴重なご意見を、今後の男女共同参画の計画や施策に反映させるための大切な調査で、満18歳以上の市民 3,000人を無作為に抽出し、調査回答用紙をお送りしています。

回答は無記名方式で行いますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。お答えいただいた内容は、他の目的には一切使用いたしません。

本調査の趣旨をご理解いただき、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートの提出にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和６年11月　高知市長　桑名 龍吾

11月28日（木）までにご回答をお願いします。

ご回答にあたっては、次の①、②のいずれかの方法でご回答ください。

①**インターネット**で回答　二次元バーコードを読み込み、アクセスしてください。
回答時にはＩＤ（全て半角）をご入力ください。

QR コード　ID ： G10001

※ＩＤは、郵送とインターネット回答の重複回答を防ぐためのものです。

②**紙の調査票**で回答　調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒（切手不要）にいれてポストに投函してください。

【ご記入にあたってのお願い】

（１）この調査票は、封筒の**あて名のご本人**がご回答ください。
　ご本人による調査票への記入が困難な場合は、ご家族の方などにご協力いただきご記入をお願いします。
（２）回答は、質問ごとに「１つ」「いくつでも」などの指示がありますので、設問をよくお読みいただきご回答ください。
（３）「その他」にあてはまる場合は、その番号に○印をつけ、（ ）の中に具体的にご記入ください。

この調査は、高知市が「ジェイエムシー株式会社」に委託して行っています。
調査についてのお問合せは、下記までお願いします。

【お問合せ先】ジェイエムシー株式会社　〒781-0013 高知市薊野中町33番50号２F
電話：088-813-9001（受付時間 9:00～17:00 土、日、祝日を除く）
（担当課）高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課　高知市本町５丁目１番45号
電話：088-823-9449／FAX：088-823-9351

調査回答用紙
（ご回答はこの用紙に直接ご記入ください）

※　ご回答は可能な範囲でお願いします。回答が難しい場合は空欄で構いません。

１　あなた（回答される方）自身のことについておたずねします

（１）　あなたの年齢は（○は１つ）

１	18～19歳	３	30～39歳	５	50～59歳	７	70～79歳
２	20～29歳	４	40～49歳	６	60～69歳	８	80歳以上

（２）　あなたの性別は（○は１つ）

１　女性　　２　男性　　３　その他・無回答

（３）　あなたの職業は（○は１つ）

１	会社員、各種団体・法人などの職員	５	学生
２	公務員	６	家事専業
３	自営業（家族従業員も含む）	７	無職
４	パートタイマー・アルバイト	８	その他（　　）

（４）　あなたは結婚していますか。（○は１つ）

１　未婚　→(5)へ　　２　既婚（事実婚・パートナーシップ登録を含む）
３　結婚したが離別・死別　→(5)へ

[(4)の問で「２　既婚（事実婚・パートナーシップ登録を含む）」を選んだ方におたずねします]

（４－１）　あなたの世帯は、共働きですか。（○は１つ）

１　共働きしている（パート等含む）　　２　共働きしていない

（５）　あなたと同居しているお子さんはいますか。（○は１つ）

１　いる　　２　いない　→(6)へ

[(5)の問で「１　いる」とお答えの方におたずねします]

（５－１）　一番小さいお子さんの年代（○は１つ）

１　未就学児　　２　小学生　　３　中学生　　４　高校生以上

（６）　あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。（○は１つ）

１	ひとり暮らし	２	夫婦(*)のみ（一世代家族）＊事実婚等含む
３	親と未婚の子ども（核家族）	４	親と子ども夫婦（二世代家族）
５	親と子どもと孫（三世代家族）	６	その他（　　）

2　男女共同参画に関する意識についておたずねします

（1）　あなたは、次の分野においてで男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(8)のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(項目ごとに○は1つずつ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(1)家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(2)職場で	1	2	3	4	5	6
(3)学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(4)地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
(5)政治の場で	1	2	3	4	5	6
(6)法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(7)慣習やしきたりで	1	2	3	4	5	6
(8)社会全体で	1	2	3	4	5	6

（2）　社会においては、政策や方針決定などの意思決定の場への女性の参画が、男性よりも低い状況です。あなたは、女性の参画が少ない理由をどのように考えますか。(○は3つまで)

1　性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているため
2　女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため
3　社会全体として男性中心の組織運営であるため
4　女性自身がリーダー的な立場につくことに消極的なため
5　家族や周囲の理解や協力が得られにくいため
6　現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないため
7　女性の能力を高める機会が少ないため
8　その他（具体的に　　）

（3）　あなたは、意思決定の場に女性が参画することについてどのように考えますか。(○は1つ)

1　女性の参画は必要である
2　女性の参画はどちらかといえば必要である
3　女性の参画はどちらかといえば必要ない
4　女性の参画は必要ない
5　その他（具体的に　　）
6　わからない

3　家庭や職場における男女共同参画についておたずねします

（1）　あなたの1日の労働時間（有償で働いている時間）は平均して何時間になりますか。(○は1つ)

1　「0時間」　2　「1～3時間未満」　3　「3～6時間未満」
4　「6～8時間未満」　5　「8～10時間未満」　6　「10時間以上」

（2）　あなたは1日に平均して家事、育児、介護など家庭生活にかかわる仕事をどれくらいしていますか。(○は1つ)

1　全くしない　2「15～30分未満」　3「30分～1時間未満」　4「1～2時間未満」
5「2～3時間未満」　6「3～4時間未満」　7「4～5時間未満」　8「5時間以上」

（3）　家庭における男女の役割分担について、あなたの理想に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1　男性が家計を支え、女性が家事・育児・介護に専念する
2　女性が家計を支え、男性が家事・育児・介護に専念する
3　男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児・介護を行う
4　男性と女性が共同で家計を支え、主に男性が家事・育児・介護を行う
5　男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児・介護を行う
6　男性と女性の役割を限定せずに、家事・育児・介護も自由に行う
7　その他（具体的に　　）

（4）　あなたの家庭では、次の(1)～(5)にあげる項目は実際にどのように分担されていますか。または、分担されていましたか。(項目ごとに○は1つずつ) なお、ひとり暮らし等で該当する項目がない場合は「該当なし」に○をつけてください。

	主に女性	共同して分担	主に男性	その他	該当なし
(1)家事（料理・洗濯・掃除など）	1	2	3	4	5
(2)育児（子どもの世話、教育など）	1	2	3	4	5
(3)ＰＴＡ活動や子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5
(4)介護（介護や病人の看護など）	1	2	3	4	5
(5)町内会など地域行事への参加	1	2	3	4	5

（5） ［働いている方におたずねします］あなたの職場において、次のようなことで、性別の違いによる不当な扱いをされたことがありますか。（○はいくつでも）

1 賃金に格差がある
2 昇給・昇格に格差がある
3 自由に休暇がとりにくい
4 能力が正当に評価されない
5 教育・訓練を受ける機会が少ない
6 残業時間が長い
7 補助的な仕事しか任せてもらえないなど、仕事の内容に偏りがある
8 妊娠・出産で嫌がらせや不当な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）
9 性的なことがらで嫌がらせを受ける（セクシュアル・ハラスメント）
10 育児・介護に関する休暇がとりにくい
11 その他（具体的に　　）
12 受けたことはない

（6） 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのはどれですか。（○は１つ）

1 結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい
2 結婚するまでは職業を持つほうがよい
3 子どもができるまでは職業を持つほうがよい
4 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
5 女性は職業を持たないほうがよい
6 その他（具体的に　　）
7 わからない

（7） あなたは、女性が希望どおり働き続けたり、再就職したりするために、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）

1 昇進・昇格や賃金、教育・訓練など職場における男女平等の推進
2 働く場の確保、再雇用制度の推進
3 労働時間の短縮、フレックスタイム制の普及など労働条件の整備
4 再就職のための講座やセミナー、技能訓練の充実
5 保育所・放課後学童保育など子育て環境の整備・充実
6 介護サービスの充実
7 育児休業・介護休業制度の普及
8 配偶者や家族など周囲の理解
9 配偶者や家族の家事・育児など家庭生活への参加
10 女性自身の就業意識の向上
11 その他（具体的に　　）
12 わからない
13 必要なことはない

（8） 女性と男性がともに家庭生活や仕事等に積極的に参加していくためには、次の(ア)と(イ)それぞれの場面において、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（項目ごとに○は３つまで）

（ア）家庭生活等において必要なこと

1 配偶者や家族間で、お互いに相手を尊重し合うこと
2 配偶者や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
3 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
4 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
5 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重すること
6 社会の中で男性の家事・育児などに参加することに対する意識を変えること
7 その他（具体的に　　）
8 わからない
9 必要なことはない

（イ）職場において必要なこと

1 労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め、仕事以外の時間を多くもてるようにすること
2 職場において家庭生活や地域活動にかかわりやすい雰囲気をつくること
3 在宅勤務や時短勤務制度など柔軟な勤務体制をすすめること
4 仕事と家庭生活などの両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること
5 育児休業や介護休業などの制度が整っている、または取得しやすい雰囲気があること
6 セクハラ防止や人権に配慮した職場の環境をつくること
7 職場での男女の固定的な役割分担意識を改めること
8 その他（具体的に　　）
9 わからない
10 必要なことはない

4　ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）についておたずねします

「ドメスティック・バイオレンス」は、英語の「domestic violence」をカタカナで表したもので、略して「ＤＶ」と呼ばれています。日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者から振るわれる暴力」という意味で使用されます。配偶者からの暴力を防止し、被害者の保護等を図ることを目的として制定された「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」（平成13年施行）では、国や地方公共団体にその役割が求められています。

（１）　あなたは配偶者（事実婚や同棲、離別等を含む）や恋人などのパートナーから、次のような行為をされたことがありますか。あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- 1　殴る･蹴るなどされた
- 2　大声で怒鳴られた
- 3　物を投げつけられた
- 4　「誰のおかげで生活できているんだ」などと、ことばの暴力を受けた
- 5　人前で馬鹿にされたり、命令するような口調でものを言われたりした
- 6　何を言っても無視されつづけた
- 7　携帯電話やメールなどをチェックされた
- 8　嫌がっているのに性的行為を強要された
- 9　避妊に協力しなかった
- 10　見たくないのにポルノ雑誌やビデオを見せられた
- 11　生活費を渡さなかったり、極端に制限して渡されたりした
- 12　その他（具体的に　　）
- 13　受けたことはないが、身の回りで見聞きしたことがある（具体的に　　）
- 14　受けたことはない　→(5)へ

（２）　**[(1)の問で1から13のいずれかを選んだ方におたずねします]**

そのことについて、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。（○は１つ）

1　相談した　→(3)へ　　2　相談しなかった　→(4)へ

（３）　**[(2)の問で「相談した」とお答えの方におたずねします]**

どこ（誰）に相談しましたか。あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- 1　家族・親せき
- 2　友人・知人
- 3　高知市役所（人権同和・男女共同参画課など）
- 4　高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）
- 5　こうち男女共同参画センター（ソーレ）
- 6　警察
- 7　県・法務局などの公的機関
- 8　民間の相談窓口（弁護士、シェルターなど）
- 9　医療関係者（医師、看護師など）
- 10　その他（具体的に　　）

（４）　**[(2)の問で「相談しなかった」とお答えの方におたずねします]**

相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- 1　どこに相談したらよいのかわからなかった
- 2　相談するのが恥ずかしかった
- 3　相手（配偶者等パートナー）にばれるのが怖かった
- 4　相談しようという考えが思い浮かばなかった
- 5　相談しても無駄だと思った
- 6　自分にも悪いところがあると思った
- 7　自分が我慢すればいいと思った
- 8　相談するほどの事でもないと思った
- 9　大げさにしたくなかった
- 10　その他（具体的に　　）

（５）　配偶者や恋人などのパートナーからの暴力に対する対策や援助として、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）

- 1　相談機関を増やし、質を向上させる
- 2　相談機関の周知･ＰＲ
- 3　行政機関同士が連携するよう体制を強化する
- 4　被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所（シェルター）
- 5　被害者とその子どもが安定した生活を確保するまで安全に暮らせる住宅
- 6　緊急時の生活費を援助する制度の充実
- 7　警察が積極的に対応する
- 8　配偶者暴力防止法（ＤＶ防止法）の周知･ＰＲ
- 9　加害者を再教育するとともに、更正機関をつくる
- 10　「ＤＶは犯罪である」という意識づくりのための啓発活動をする
- 11　その他（具体的に　　）
- 12　わからない

コラム　ひとりで悩んでいませんか　～ＤＶは重大な人権侵害です～

配偶者や交際相手からの暴力（DV）は、いかなる理由であっても、どんな間柄であっても、決して許される行為ではありません。命の危険がある場合など緊急時は迷わず１１０番をしてください。

暴力は、殴る、蹴るなどの身体的暴力だけではなく、身体を傷つけなくても、無視し続けるなどして心理的に攻撃することや、生活費を渡さないなど経済的な暴力もあります。また、嫌がっているのに性的な行為を強要する性的な暴力もあります。

相手との関係が「つらい」「なにかおかしい」と感じたら、「自分が我慢すればいい」と、ひとりで悩まずに、まずは相談してください。どこに相談したらいいか分からない場合は、市役所や「DV相談ナビ」、「DV相談＋（プラス）」をご利用ください。

● 高知市人権同和･男女共同参画課
088-823-9449
● DV相談ナビ
＃8008(はれれば)
● DV相談＋(プラス)
0120-279-889(つなぐ　はやく)

5　困難を抱える女性への支援についておたずねします

令和６年４月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。この法律では、女性をめぐる課題が生活困窮や性暴力・性被害など多様化・複合化している中、公的責務として支援対象者の立場に寄り添った包括的な支援を実施することが定められました。

（１）　あなたは性暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口として知っているものはありますか。（○はいくつでも）

1　高知市役所（人権同和・男女共同参画課など）
2　ＤＶ相談ナビ（＃8008・はれれば）
3　ＤＶ相談プラス（0120-279-889・つなぐ　はやく）
4　性暴力被害者サポートセンターこうち（＃8891・はやくワンストップ／性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター全国共通番号）
5　性暴力に関するＳＮＳ相談（Curetime・キュアタイム）
6　性犯罪被害相談電話全国共通（＃8103・ハートさん）
7　高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）
8　こうち男女共同参画センター（ソーレ）
9　その他（具体的に　　）
10　知っているものはない

（２）　あなたが性暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

1　メールによる相談ができる
2　ＳＮＳなどによる相談ができる
3　24時間いつでも相談ができる
4　電話による相談ができる
5　匿名で相談ができる
6　同性の相談員がいる
7　ＤＶや性暴力等に関する専門の相談員がいる
8　相談内容に関連する他の窓口との連携が行なわれる
9　その他（具体的に　　）
10　わからない

（３）　あなたは性暴力や様々な悩みなどに解決に向けてどのような支援があればよいと思いますか。（○は３つまで）

1　相談窓口の周知と支援に関する情報の発信
2　さまざまな問題や悩みを相談できる専門的な相談を含む相談支援の充実
3　いつでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所の提供
4　同じ悩みをもつ人と集い、情報交換できる居場所の提供
5　解決や自立のために寄り添ってくれる伴走型の支援
6　サポートを受けながら日常生活を取り戻せるような支援
7　就労など経済的な自立に向けた支援
8　一時的に過ごせる住まいに関する支援
9　その他（具体的に　　）
10　わからない

6　ハラスメントについておたずねします

次のハラスメントについて、あなたが被害を受けたと感じた経験がありますか。また、それはどこで感じましたか。(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものをすべて選んでください。
（項目ごとに○はいくつでも）

	感じたことがある			感じたことはない
	職場や学校で	家庭や地域で	その他	
（１）セクシュアル・ハラスメント 職場や家庭、学校、地域社会において、相手の意に反して性的な行為を強要したり、性的な言動によって個人の尊厳を傷つけたり、不利益を与えたりすること	1	2	3	4
（２）パワー・ハラスメント 職場等において、大声による叱責や過度な業務の強要など、立場の優位性を背景に、業務の適切な範囲を超えて嫌がらせをすること	1	2	3	4
（３）モラル・ハラスメント 暴言を浴びせる、無視をする、理由なく不機嫌な態度をとるなど、言動や態度によって相手に精神的苦痛を与えること	1	2	3	4
（４）出産や育児に係るハラスメント 妊娠・出産・育児に関わる制度(産前休業や育児休業等)の利用を理由に、嫌がらせをしたり雇用条件等の面で不当な扱いをすること	1	2	3	4
（５）性的指向*1・性自認*2に係るハラスメント 性的指向や性自認について、勝手に他人に暴露したり、侮辱的な言動や差別によって嫌がらせをすること	1	2	3	4
（６）その他のハラスメント 具体的に（　　） ※(1)～(5)以外のハラスメントについて、経験があれば具体的にお書きください	1	2	3	4

*1 性的指向… 好きになるかならないか、なるとしたらどのような性別の人を好きになるかということ。
*2 性自認　… 自分がどの性別であるかの認識。「こころの性」と呼ばれることもあります。

7　防災分野における男女共同参画についておたずねします

東日本大震災や熊本地震などの教訓から、平常時の防災体制や災害発生後の対応にも男女共同参画の視点が求められています。防災分野における男女共同参画を進めるためには、具体的にどのような取り組みが必要だと思いますか。（○は３つまで）

1　防災や災害対策などの計画や方針を決定する場に、男女がともに参画すること
2　防災や災害対策の対応マニュアルは男女両方の視点を取り入れて作成すること
3　自治会や地域の自主防災組織などの運営に男女がともに参画すること
4　性別を問わず、地域に住むだれもが、防災活動や防災訓練に積極的に参加すること
5　災害対応時のリーダーや炊き出しなど役割を性別で固定しないこと
6　地域の防災を担う人材を性別にかかわらず育成すること
7　その他（具体的に　　）
8　わからない

8　男女共同参画に関する用語についておたずねします

あなたは次にあげる男女共同参画に関する社会の動きや言葉について、知っていますか。
(1)から(13)のそれぞれについて、あてはまるものを１つ選んでください。(項目ごとに○は１つずつ)

	内容まで知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	全く知らない
(1) 男女がともに輝く高知市男女共同参画条例	1	2	3
(2) 高知市男女共同参画推進プラン	1	2	3
(3) こうち男女共同参画センター「ソーレ」	1	2	3
(4) ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	1	2	3
(5) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
(6) アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）	1	2	3
(7) セクシュアル･ハラスメント（セクハラ）	1	2	3
(8) ＤＶ（ドメスティック･バイオレンス）	1	2	3
(9) リプロダクティブ･ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康・権利）	1	2	3
(10) 性的少数者（LGBTQ＋）	1	2	3
(11) アウティング（了承なく、その人の性自認や性的指向を暴露すること）	1	2	3
(12) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3
(13) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（困難女性支援法）	1	2	3

コラム　ジェンダー平等のためにできること～自分らしく生きる～

５ ジェンダー平等を実現しよう

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）のゴールの１つは「ジェンダー平等を実現しよう」です。ジェンダーとは「社会的・文化的につくられた性」で、「女らしさ、男らしさ」といったイメージや、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識などを言います。このジェンダーに基づく価値観は、経験や周囲の環境の影響を受けて、自分では気が付かないうちに、思い込みや決め付けとなっている場合があります。そのこと自体は誰にでもあり、悪いわけではありませんが、場合によっては無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）となり、他者を傷付けたり、自分自身の可能性をも狭めてしまったりすることがあります。

性別で決め付けず、互いを認め合い「その人らしさ」を大切にするために「普通は○○」「○○するべき」と思ったときには、立ち止まって考えてみましょう。考え方や感じ方は人それぞれ違うものだと心掛けておくことは、周りの人だけではなく自分自身の生きやすさにもつながっていきます。

9　高知市の男女共同参画への取り組みについておたずねします

高知市では、誰もが社会の対等な一員として互いに尊重し合いながらともに参画し、喜びも責任も分かち合う「男女共同参画社会」の実現をめざして取り組んでいます。あなたは今後どのような取り組みがさらに必要だと思いますか。(1)から（11）のそれぞれについて、あてはまるものを１つ選んでください。(項目ごとに○は１つずつ)

	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	わからない
(1) 男女共同参画についての情報発信や講演会などの広報・啓発	1	2	3	4	5
(2) 出前講座や学習会など、男女共同参画についての学習機会の提供	1	2	3	4	5
(3) 学校での男女平等教育の充実	1	2	3	4	5
(4) 保育や子育て支援におけるサービスの充実	1	2	3	4	5
(5) 高齢者に対する介護サービスの充実	1	2	3	4	5
(6) 企業など職場における男女共同参画を推進する取組への支援	1	2	3	4	5
(7) 就職に役立つ学習の機会、相談事業など就労のための支援の充実	1	2	3	4	5
(8) 女性に対する暴力の根絶・防止に向けた取組の強化	1	2	3	4	5
(9) 相談事業の充実	1	2	3	4	5
(10)各種団体などの女性リーダーの養成	1	2	3	4	5
(11)その他（具体的に　　）	1	2	3	4	5

10　男女共同参画に関するご意見、ご感想がございましたらご記入ください。

これでアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒に入れて１１月２８日（木）までに切手をはらずに投函ください。

高 知 市

編集・発行 ／ 高知市 市民協働部 人権同和・男女共同参画課

〒780-8571 高知市本町5丁目1－45

TEL (088)823-9449(代表)

FAX (088)823-9351

E-mail kc-101800@city.kochi.lg.jp